



## 取扱説明書

よくお読みになってご使用ください。  
取扱説明書は車の中に保管しましょう。

**HIACE**





**安全・安心のために**

お客様に必ずお読みいただきたいこと

(主な項目：チャイルドシートの取扱い、盗難防止装置)

**走行に関する情報表示**

走行に関する情報を表示する計器類の見方

(主な項目：メーター・マルチインフォメーションディスプレイ)

**運転する前に**

ドア・ドアガラスの開閉や、運転操作前の調整

(主な項目：キー、ドア、シート、パワーウィンドウ)

**運転**

運転に必要な操作やアドバイス

(主な項目：エンジン始動のしかた、給油のしかた)

**室内装備・機能**

室内装備の使い方など

(主な項目：エアコン・収納装備の使い方)

**お手入れのしかた**

車のお手入れ・メンテナンスの方法

(主な項目：内装・外装の手入れ、電球の交換)

**万一の場合には**

故障したときや、緊急時などの対処

(主な項目：バッテリーあがりやタイヤがパンクしたときの対処)

**車両情報**

車の仕様や好みに合わせて選べる機能の情報

(主な項目：指定燃料、各オイル量、タイヤ空気圧)

**さくいん**

症状から検索

音から検索

アルファベットで検索

五十音で検索

1

2

3

4

5

6

7

8

知っておいていただきたいこと	6
本書の見方	12
検索のしかた	13
イラスト目次	14

## 1 安全・安心のために

<b>1-1. 安全にお使いいただくために</b>	
運転する前に	26
安全なドライブのために	27
シートベルト	29
SRS エアバッグ	32
排気ガスに対する注意	36
<b>1-2. お子さまの安全</b>	
お子さまを乗せるときは	37
チャイルドシート	38
<b>1-3. 盗難防止装置</b>	
エンジンイモビライザーシステム	47
オートアラーム	48

## 2 走行に関する情報表示

<b>2-1. 計器の見方</b>	
警告灯／表示灯	52
計器類	55
マルチインフォメーションディスプレイ	58
燃費画面	63

## 3 運転する前に

<b>3-1. キー</b>	
キー	66
<b>3-2. ドアの開閉、ロックのしかた</b>	
フロントドア	69
スライドドア	72
バックドア	80
スマートエントリー＆スタートシステム	84

## 3-3. シートの調整

フロントシート	89
リヤシート	90
ヘッドレスト	92

## 3-4. ハンドル位置・ミラー・アンテナ

ハンドル	94
インナーミラー	95
デジタルインナーミラー	96
アウターミラー	105
アンテナ	106

## 3-5. ドアガラス・スライド式リヤサイドガラスの開閉

パワーウィンドウ	107
スライド式リヤサイドガラス	109

## 3-6. お好み設定

マイセッティング	110
----------	-----

## 4 運転

### 4-1. 運転にあたって

運転にあたって	112
荷物を積むときの注意	119

### 4-2. 運転のしかた

エンジン（イグニッション）スイッチ	120
オートマチックトランスマッision	124
方向指示レバー	127
パーキングブレーキ	128

### 4-3. ランプのつけ方・ワイパーの使い方

ランプスイッチ	129
AHB（オートマチックハイビーム）	132
リヤフォグランプスイッチ	134
ワイパー＆ウォッシャー（フロント）	135
ワイパー＆ウォッシャー（リヤ）	137

### 4-4. 給油のしかた

給油口の開け方	139
---------	-----

## 4-5. 運転支援装置について

ソフトウェアアップデートを確認する (Toyota Safety Sense 装着車)	142
Toyota Safety Sense	145
PCS (プリクラッシュセーフティ)	151
LDA (レーンディバーチャーアラート)	158
発進遅れ告知機能	162
RSA (ロードサインアシスト)	163
レーダークルーズコントロール	166
クルーズコントロール	174
クリアランスソナー	177
PKSB (パーキングサポートブレーキ)	183
パーキングサポートブレーキ (前後方静止物)	187
プラスサポート (販売店装着オプション)	189
運転を補助する装置	194
排出ガス浄化装置	199

## 4-6. 運転のアドバイス

寒冷時の運転	203
--------	-----

## 5 室内装備・機能

<b>5-1. エアコン・デフォッガーの使い方</b>	
オートエアコン	208
リヤクーラー	213
リヤヒーター	215
<b>5-2. 室内灯のつけ方</b>	
室内灯一覧	216
<b>5-3. 収納装備の使い方</b>	
収納装備一覧	218
<b>5-4. その他の室内装備の使い方</b>	
その他の室内装備	223

## 6 お手入れのしかた

### 6-1. お手入れのしかた

外装の手入れ	228
内装の手入れ	230

### 6-2. 簡単な点検・部品交換

エンジン点検口	233
ボンネット	234
ガレージジャッキ	236
AdBlue® (尿素水) の補充 (ディーゼル車)	238
ウォッシャー液の補充	241
タイヤについて	242
タイヤ空気圧について	244
エアコンフィルターの清掃	245
キーの電池交換	247
ヒューズの点検・交換	249
電球 (バルブ) の交換	251

## 7 万一の場合には

### 7-1. まず初めに

故障したときは	262
非常点滅灯 (ハザードランプ)	263
発炎筒	263
消火器	264
車両を緊急停止するには	265
水没・冠水したときは	266
車中泊が必要なときは	267

### 7-2. 緊急時の対処法

けん引について	268
フューエルポンプシャットオフシステム (ガソリン車)	272
警告灯がついたときは	273
警告メッセージが表示されたときは	278
パンクしたときは	284
エンジンがかからないときは	294
キーをなくしたときは	296

電子キーが正常に働かないときは .....	296
バッテリーがあがったときは .....	298
オーバーヒートしたときは .....	302
スタックしたときは .....	304

## 8 車両情報

### 8-1. 仕様一覧

メンテナンスデータ（指定燃料・オイル量など） .....	306
------------------------------	-----

### 8-2. カスタマイズ機能

ユーザーカスタマイズ機能 .....	313
--------------------	-----

### 8-3. 初期設定

初期設定が必要な項目 .....	322
------------------	-----

### 8-4. フリー／オープンソフトウェア

フリー／オープンソフトウェア情報 .....	323
------------------------	-----

## さくいん

こんなときは（症状別さくいん） .....	326
-----------------------	-----

車から音が鳴ったときは（音さくいん） .....	328
--------------------------	-----

アルファベット順さくいん .....	330
--------------------	-----

五十音順さくいん .....	331
----------------	-----

1

2

3

4

5

6

7

8

## 知っておいていただきたいこと

### 本書の内容について

本書はオプションを含むすべての装備の説明をしています。

そのため、お客様の車にはない装備の説明が記載されている場合があります。また、車の仕様変更により、内容がお車と一致しない場合がありますのでご了承ください。

トヨタ販売店で取り付けられた装備（販売店オプション）の取り扱いについては、その商品に付属の取扱説明書をお読みください。

イラストは、記載している仕様などの違いにより、お客様の車の装備と一致しない場合があります。

### 不正改造について

- トヨタが国土交通省に届け出をした部品以外のものを装着すると、不正改造になることがあります。
- 車高を下げたり、ワイドタイヤを装着するなど、車の性能や機能に適さない部品を装着すると、故障の原因になったり、事故を起こし、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。また、このような改造はToyota Safety Senseのような先進安全装備にも影響を与え、正しく作動しない危険や作動すべきでない場面での作動をする恐れがあり危険です。
- ハンドルの改造は絶対にしない

でください。ハンドルにはSRSエアバッグが内蔵されているため、不適切に扱うと、正常に作動しなくなったり、誤ってふくらみ、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- 次の場合はトヨタ販売店にご相談ください。

- ・ タイヤ・ディスクホイール・ホイール取り付けナットの交換

異なった種類や指定以外のものを使用すると、走行に悪影響をおよぼしたり、不正改造になることがあります。

- ・ 電装品・無線機の取り付け・取りはずし

電子機器部品に悪影響をおよぼしたり、故障や車両火災など事故につながるおそれがあり危険です。

RF送信機の取り付けについては、P.9も参照してください。

- フロントウインドウガラス、および運転席・助手席のドアガラスに着色フィルム（含む透明フィルム）などを貼り付けないでください。視界をさまたげるばかりでなく、不正改造につながるおそれがあります。

### サイバー攻撃のリスクについて

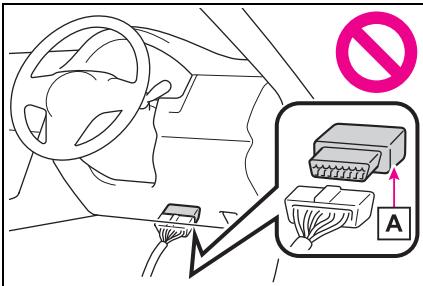
電子機器や無線機を取り付けると、装着された部品を通してサイバー攻撃のリスクを高め、思わぬ事故や個人情報の流出につながるおそれがあります。

トヨタ純正品以外を取り付けたことに起因する問題に関してトヨタは保証いたしません。

## 故障診断コネクターなどへの電装品取り付けについて

故障診断コネクター**A** などに、点検整備用の故障診断装置以外の電装品を取り付けないでください。

電子機器に悪影響をおよぼしたり、バッテリーがあががつたりするなど、思わぬトラブルを招くおそれがあります。



## 車両データの記録

本車両には、車両の制御や操作に関するデータなどを記録するコンピューターが装着されています。

### ■ コンピュータに記録されるデータ<sup>\*1</sup>

<sup>\*1</sup>グレード／オプション装備により記録されるデータ項目は異なります。

各機能の作動時や操作状況により、主に次のようなデータを記録します。

- 車両の挙動に関する基本的なデータ（エンジン回転数・アクセルペダルの操作状況・ブレーキペダルの操作状況、車速など）
- 運転支援システムの作動状況（システムの作動に付随して記録される車両の挙動に関する基本的なデータも含みます）

- 運転支援システムのセンサーのデータ
- 画像データ（前方・後方・周辺カメラの画像）<sup>\*2</sup>

<sup>\*2</sup>車両には複数のカメラがついています。どのカメラが画像を記録しているかはトヨタ販売店にお問い合わせください。

### ● 位置情報

コンピューターは会話などの音声や車内の映像は記録しません。

また、お客様個人を特定できる種類のデータ（氏名・性別・年齢など）は車両に記録されません。

### ■ Toyota Safety Senseによるデータの記録・個人情報の取り扱いについて

トヨタ自動車は Toyota Safety Sense により車両に記録された各システムの作動状況・各センサーのデータ・画像データ（前方・後方カメラの画像）・位置情報を次の場合に該当するときに限り、お客様が販売店に入庫されたときに取得するほか、トヨタ自動車のサーバーに送信する形で取得します。

- 一定の衝突や衝突に近い状態などが発生した場合
- 渋滞や悪路、悪天候などの特定の交通環境にある道路を走行している場合
- 新規開通道路、拡張された道路などの特定の道路を走行している場合
- エンジン始動後の一定のタイミング

Toyota Safety Sense によって記録され、トヨタ自動車が取得したデータの取り扱いについての詳細は、T-Connect ご契約時にご署名いただいた留意事項説明をご覧ください。

## ■ データの利用目的と第三者提供について

コンピューターに記録されたデータは、事故解析・故障診断、自動運転・先進安全・地図関連技術のための研究開発（技術・商品開発、品質向上など）、データを利用した商品・サービス（自動運転・先進安全技術用の地図の提供、走行状況の分析・道路インフラなど走行環境の分析・交通状況の配信など）があります。以下、これらを「個別サービス」といいます。）および事故に関するお客様対応、事故の解決のための協議を目的に利用することがあります。

なお、次の場合に、トヨタ自動車は、取得したデータを第三者へ開示または提供することができます。

- お車の使用者の同意（リース車は借主の同意）がある場合
- 警察／裁判所／政府機関などの法的強制力のある要請に基づく場合
- トヨタ自動車が訴訟で使用する場合
- 統計的な処理を行う目的で、使用者や車両が特定されないように加工したデータを研究機関などに提供する場合

Toyota Safety Senseによって記録され、トヨタ自動車が取得したデータについては、上記に加え、次の場合に第三者に提供することがあります。

- お車の使用者の同意（リース車は借主の同意）がある場合。トヨタ以外の第三者が提供する車両記録データを利用する個別サービスに申し込みされた場合などであって、第三者がトヨタに代わり、トヨタから第三者へのデータの提供についてお客様の同意を取得した場合も含みます。
- 自動運転・先進安全・地図関連技術の

ための研究開発（技術、商品開発、品質向上など）の目的で、自動運転ソフトウェア関連の会社などの第三者に提供する場合

- 地図関連技術のための研究開発の目的で、地図作成会社などの第三者に画像データと位置情報を提供する場合
- 道路整備などの目的で、地方自治体などの第三者に画像データと位置情報を提供する場合
- 交通状況配信などの個別サービスの申込者に対して、画像データと位置情報を加工した情報を提供する場合
- トヨタと別途契約を締結した各自治体の消防組織に対して、火災発生時または救急出動時に、現場付近の画像データを提供する場合

### 知識

車両に記録されている画像情報は、トヨタ販売店にて、消去することが可能です。

また、画像情報を記録する機能を停止することも可能ですが、ただし、機能を停止するとシステム作動時のデータは残りません。

Toyota Safety Senseによって研究開発、および個別サービスの提供を目的としてトヨタのサーバーに送信する形で取得しているデータの取得と利用を停止したい場合は、My TOYOTA より停止いただけます。詳細は、My TOYOTA のマイページをご覧ください。

### イベントデータレコーダー

お車には、イベントデータレコーダー（EDR）が装備されています。EDR は、一定の衝突や衝突に近い状態（SRS エアバッグの作動および路上障害物との接触など）が発生した時に車両システムの作動状況に関するデータを記録しま

す。EDR は車両の動きや安全システムに関するデータを短時間記録するように作られています。ただし、衝突の程度と形態によっては、データが記録されない場合があります。

EDR は次のようなデータを記録します。

- ・ 車両の各システムの作動状況
- ・ アクセルペダルおよびブレーキペダルの操作状況
- ・ 車速

これらのデータは、衝突や傷害が発生した状況を把握するのに役立ちます。

**注意：**EDR は衝突が発生したときにデータを記録します。通常走行時にはデータは記録されません。また、個人情報（例：氏名・性別・年齢・衝突場所）は記録されません。ただし、事故調査の際に法執行機関などの第三者が、通常の手続きとして収集した個人を特定できる種類のデータと EDR データを組み合わせて使用することができます。EDR で記録されたデータを読み出すには、特別な装置を車両または EDR へ接続する必要があります。トヨタにくわえ、法執行機関などの特別な装置を所有する第三者が車両または EDR に接続した場合でも情報を読み出することができます。

#### ● EDR データの情報開示

次の場合を除き、トヨタは EDR で記録されたデータを第三者へ開示することはできません。

- ・ お車の使用者の同意（リース車は借主の同意）がある場合

- ・ 警察・裁判所・政府機関などの法的強制力のある要請に基づく場合
  - ・ トヨタが訴訟で使用する場合
- ただし、トヨタは
- ・ データを車両安全性能の研究に使用することができます。
  - ・ 使用者・車両が特定されないデータを調査目的で第三者に開示することができます。

### RF 送信機の取り付けについて

お車へ RF 送信機を取り付けると、次のようなシステムに影響をおよぼす可能性があります。

- EFI コンピュータ
- Toyota Safety Sense
- ABS（アンチロックブレーキシステム）

● SRS エアバッグ  
● シートベルトプリテンショナー  
悪影響を防ぐための措置や取り付け方法については、必ずトヨタ販売店にお問い合わせください。

ご希望により、RF 送信機の取り付けに関する詳しい情報（周波数帯域・電力レベル・アンテナ位置・取り付け条件）をトヨタ販売店にてご提供します。

### 保証および点検について

保証および点検整備については、別冊「メンテナンスノート」に記載していますので、併せてお読みください。

日常点検整備や定期点検整備は、お客様の責任において実施してください。（法律で義務付けられてい

ます)

### プラスサポートについて

トヨタ販売店で専用の電子キーをご購入し、ご使用いただくことで、プラスサポート（→P.189）の機能が利用可能になります。詳細については、トヨタ販売店にお問い合わせください。

### QR コードについて

QR コードは（株）デンソー・ウェーブの登録商標です。

### アクセサリーパーツ・用品について

下記サイトより取扱説明書（デジタル配信）をご確認いただけます。ご購入いただきましたアクセサリーパーツの取扱説明書をご使用前にお読みいただき、記載された内容に従って正しくお使いください。

商品の使用方法や安全にお使いいただく上での注意点を記載しております。

なお、デジタル配信により印刷や輸送にともなう CO<sub>2</sub> 排出量の低減が見込まれます。

持続可能な社会を構築するためにトヨタはこれからも取扱説明書のあり方を見直してまいります。

アクセサリーパーツ取扱説明書掲載サイト：

お持ちのスマートフォンやタブレット、携帯電話等にて QR コード

ドを読み取りいただくか、URL より閲覧してください。

URL : <https://manual-accessories.toyota/CAWeb/index.html>



なお、紙面で必要な場合はサイトより印刷いただくか、トヨタ販売店にご相談ください。

### 高電圧部品に貼り付けられている記号について

パワーコントロールユニットなどの高電圧部位には、取り扱いに注意することを示すラベルが貼付されている場合があります。

記号の示す意味は次のとおりです。

記号	意味
	危険であることを示しています。
	高電圧部位であることを示しています。

記号	意味
	手で触れてはいけない部位であることを示しています。
	高温部位であることを示しています。

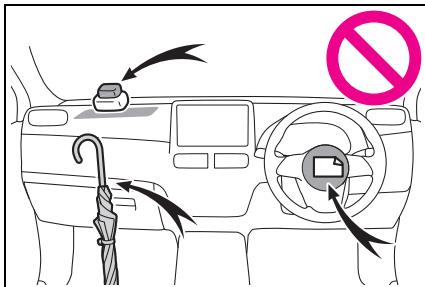
## 本書の見方

本書で使用している、記号について説明します。

### 本文の記号について

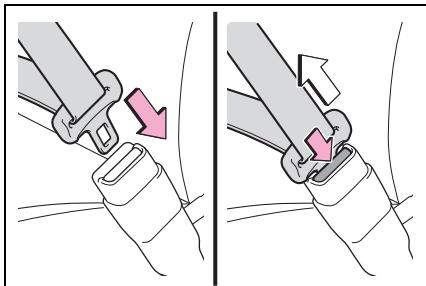
記号	意味
	警告： お守りいただかないと、 お客様自身と周囲の人々 が死亡、または重大な傷 害につながるおそれがあ ることを説明していま す。
	注意： お守りいただかないと、 車や装備品の故障や破損 につながるおそれがあ ることを説明していま す。
1 2 3...	操作・作業の手順を示 しています。番号の順に 従ってください。
	機能や操作方法の説明以 外で知っておいていただき たい、知っておくと便 利なことを説明していま す。

記号	意味
	押す・まわすなど、してい ただきたい操作を示してい ます。
	フタが開くなど、操作後の 作動を示しています。



記号	意味
	説明の対象となるもの・場 所を示しています。
	してはいけません、このよ うにしないでください、こ のようなことを起こさない でくださいという意味で す。

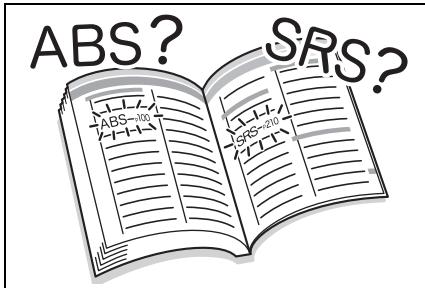
### イラスト上の記号について



## 検索のしかた

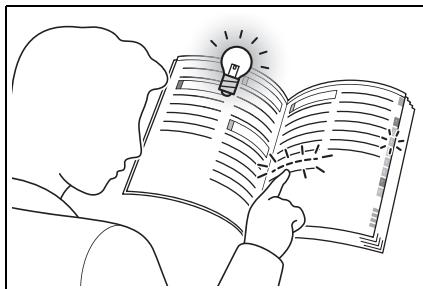
### ■ 名称から探す

- 五十音順さくいん : →P.331
- アルファベット順さくいん : →P.330



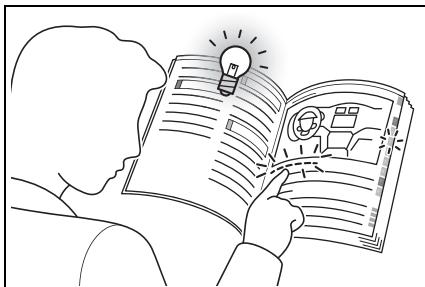
### ■ タイトルから探す

- 目次 : →P.2



### ■ 取り付け位置から探す

- イラスト目次 : →P.14



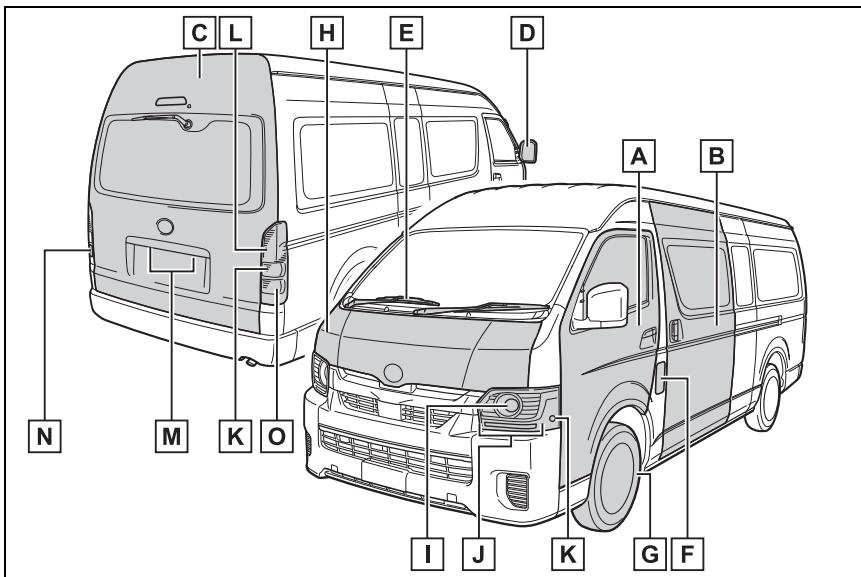
### ■ 症状や音から探す

- こんなときは（症状別さくいん） : →P.326
- 車から音が鳴ったときは（音さくいん） : →P.328



# イラスト目次

## ■ 外観



### **A フロントドア** ..... P.69

- 施錠／解錠 ..... P.69, 70
- ドアガラスの開閉 ..... P.107
- メカニカルキー★での施錠／解錠 ..... P.296
- 警告メッセージ ..... P.279

### **B スライドドア** ..... P.72

- 施錠／解錠 ..... P.73
- スライドドアの開閉 ..... P.75
- パワースライドドア★ ..... P.73
- スライド式リヤサイドガラス★の開閉 ..... P.109
- 警告メッセージ ..... P.279

### **C バックドア** ..... P.80

- 施錠／解錠 ..... P.82
- バックドアの開閉 ..... P.82
- 警告メッセージ ..... P.279

<b>D</b>	アウターミラー .....	P.105
	鏡面の角度調整 .....	P.105
	ミラーの格納 .....	P.106
	曇りを取る（ミラーヒーター）★ .....	P.209
<b>E</b>	ワイパー .....	P.135, 137
	冬季の注意 .....	P.203
	凍結防止（ウインドシールドデアイサー）★ .....	P.210
<b>F</b>	給油口 .....	P.139
	給油方法 .....	P.139
	燃料の種類・燃料タンク容量 .....	P.306
<b>G</b>	タイヤ .....	P.242
	サイズ・空気圧 .....	P.311
	冬用タイヤ・タイヤチェーン .....	P.203
	点検・ローテーション .....	P.242
	パンク時の対処 .....	P.284
<b>H</b>	ボンネット .....	P.234
	開け方 .....	P.234
	オーバーヒート時の対処 .....	P.302

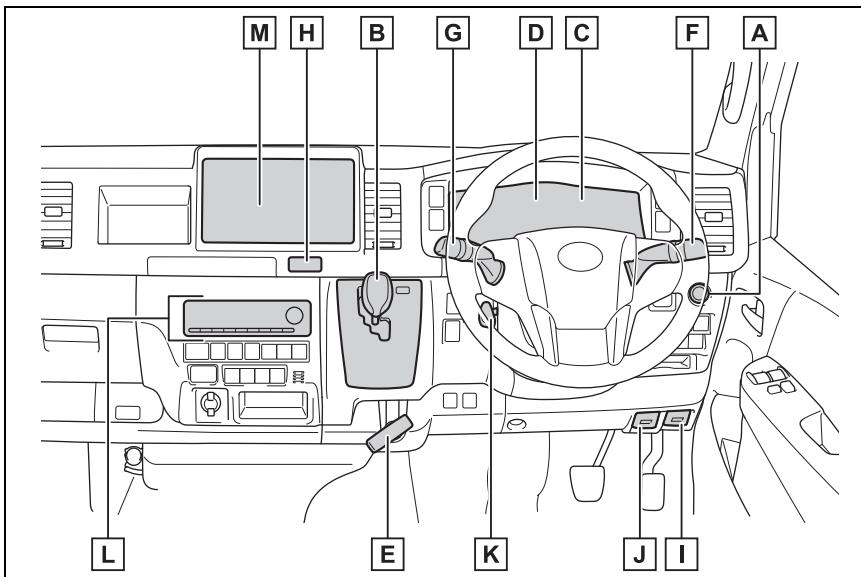
**走行に関わる外装のランプバルブ**

(交換要領：P.251、ワット数：P.311)

<b>I</b>	ヘッドライト .....	P.129
<b>J</b>	車幅灯 .....	P.129
<b>K</b>	方向指示灯 .....	P.127
<b>L</b>	制動灯・尾灯 .....	P.129
<b>M</b>	番号灯 .....	P.129
<b>N</b>	後退灯	
	シフトポジションを R にする .....	P.124
<b>O</b>	リヤフォグランプ★ .....	P.134

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

## ■ インストルメントパネル



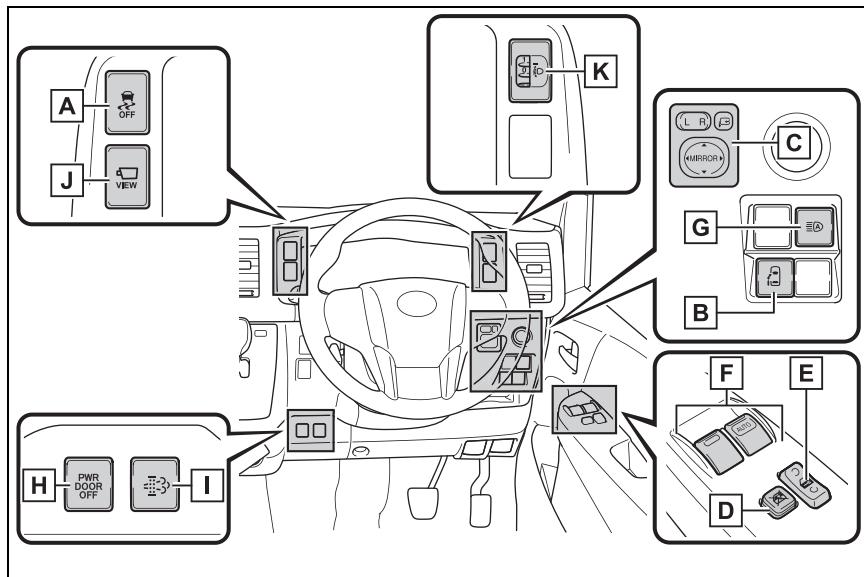
<b>A エンジンスイッチ</b>	P.120
エンジンの始動・モード切りかえ	P.120, 122
エンジンの緊急停止	P.265
エンジンが始動できないときの対処	P.294
警告メッセージ	P.278
<b>B シフトレバー</b>	P.124
シフトポジションの切りかえ	P.124
けん引時の注意	P.268
シフトレバーが動かないときの対処	P.125
<b>C メーター</b>	P.55
見方・明るさの調整	P.57
警告灯／表示灯	P.52
警告灯点灯時の対処	P.273
<b>D マルチインフォメーションディスプレイ</b>	P.58
表示内容	P.58

警告メッセージ表示時の対処	P.278
<b>E パーキングブレーキ</b>	P.128
かける・解除する	P.128
冬季の注意	P.204
警告灯	P.276
警告ブザー	P.277
<b>F 方向指示レバー</b>	P.127
ランプスイッチ	P.129
ヘッドライト・車幅灯・尾灯・番号灯	P.129
リヤフォグランプ★	P.134
<b>G ワイパー&amp;ウォッシャースイッチ</b>	P.135, 137
使い方	P.135, 137
ウォッシャー液の補充	P.241
<b>H 非常点滅灯スイッチ</b>	P.263
<b>I 給油扉オープナー</b>	P.140
<b>J ボンネット解除レバー</b>	P.234
<b>K ハンドル位置調整レバー</b>	P.94
調整方法	P.94
<b>L オートエアコン</b>	P.208
操作方法	P.208
リヤウインドウガラスの曇り取り（リヤウインドウデフォッガー）	P.209
<b>M オーディオ</b> *	

\* : グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

\* 別冊「マルチメディア取扱説明書」を参照してください。

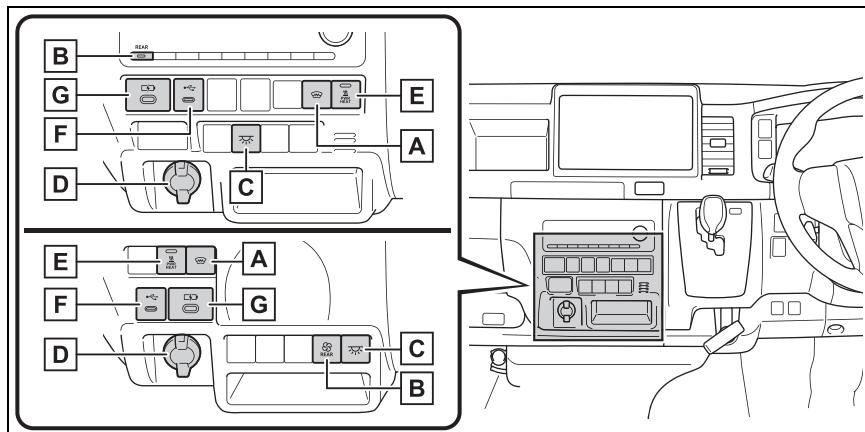
## ■スイッチ類



- A** VSC (ビーグルスタビリティコントロール) OFF スイッチ ..... P.195
- B** パワースライドドア開閉スイッチ★ ..... P.74
- C** アウターミラースイッチ ..... P.105
- D** ウィンドウロックスイッチ ..... P.108
- E** ドアロックスイッチ ..... P.70
- F** パワーウィンドウスイッチ ..... P.107
- G** オートマチックハイビームスイッチ ..... P.132
- H** パワースライドドアメインスイッチ★ ..... P.75
- I** 排出ガス浄化スイッチ ..... P.200
- J** パノラミックビューモニターメインスイッチ\*
- K** 手動光軸調整ダイヤル ..... P.131

\* : グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

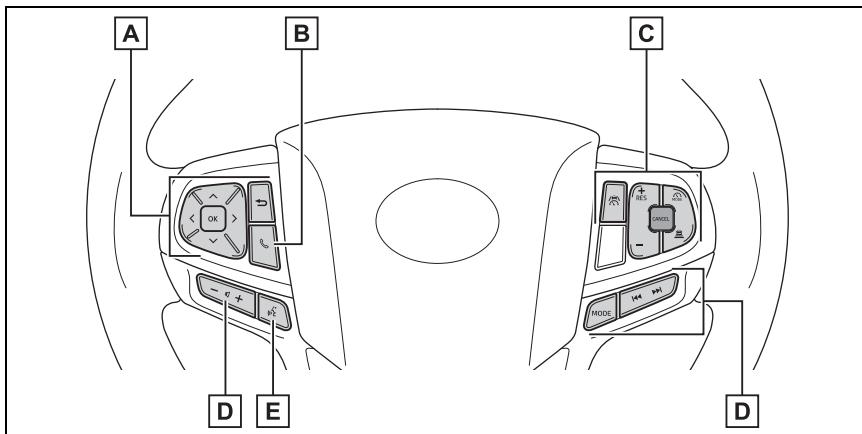
\* 別冊「マルチメディア取扱説明書」を参照してください。



- A** ウィンドシールドデアイサースイッチ★ ..... P.210
- B** リヤクーラーメインスイッチ ..... P.213  
リヤヒーターメインスイッチ ..... P.215
- C** リヤルームランプメインスイッチ ..... P.217
- D** アクセサリーソケット ..... P.223
- E** パワーヒータースイッチ★ ..... P.209
- F** USB Type-C 端子※
- G** 充電用 USB Type-C 端子 ..... P.224

★ : グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

※ 別冊「マルチメディア取扱説明書」を参照してください。



**A** メーター操作スイッチ ..... P.58

**B** 電話スイッチ \*

**C** クルーズコントロールスイッチ

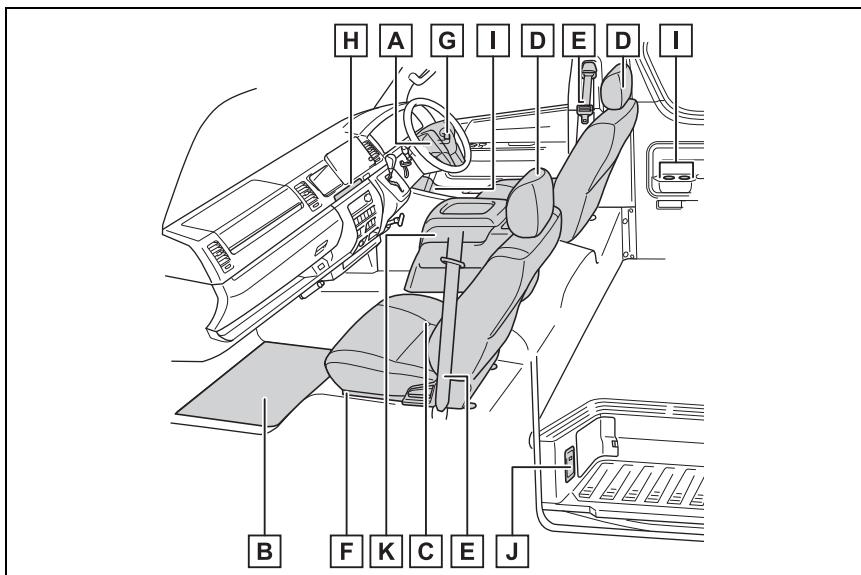
レーダークルーズコントロール ..... P.168, 174

**D** オーディオスイッチ \*

**E** トーススイッチ \*

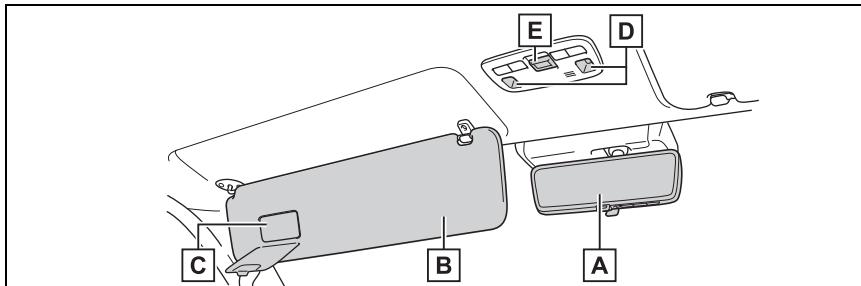
\* 別冊「マルチメディア取扱説明書」を参照してください。

## ■ 室内



- |          |                      |       |
|----------|----------------------|-------|
| <b>A</b> | SRS エアバッグ .....      | P.32  |
| <b>B</b> | フロアマット .....         | P.26  |
| <b>C</b> | フロントシート .....        | P.89  |
|          | リヤシート★ .....         | P.90  |
| <b>D</b> | ヘッドレスト .....         | P.92  |
| <b>E</b> | シートベルト .....         | P.29  |
| <b>F</b> | エンジン点検口 .....        | P.233 |
| <b>G</b> | ロックレバー .....         | P.70  |
| <b>H</b> | カップホルダー .....        | P.220 |
| <b>I</b> | ボトルホルダー .....        | P.221 |
| <b>J</b> | スライドドアステップランプ★ ..... | P.77  |
| <b>K</b> | センターコンソールボックス .....  | P.219 |

\* : グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。



- |          |                    |       |
|----------|--------------------|-------|
| <b>A</b> | デジタルインナーミラー★ ..... | P.96  |
|          | インナーミラー★ .....     | P.95  |
| <b>B</b> | サンバイザー※1 .....     | P.223 |
| <b>C</b> | バニティミラー .....      | P.223 |
| <b>D</b> | パーソナルランプ .....     | P.217 |
|          | リヤルームランプ★※2 .....  | P.217 |
| <b>E</b> | ヘルプネットボタン※3        |       |

※1 やむを得ず助手席にチャイルドシートを取り付ける場合には、チャイルドシートをうしろ向きに取り付けないでください。

重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。(→P.40)



※2 図はフロントですが、リヤにも装着されています。

※3 別冊「マルチメディア取扱説明書」を参照してください。



# 安全・安心のために

～必ずお読みください～

1

## 1-1. 安全にお使いいただくために

運転する前に .....	26
安全なドライブのために .....	27
シートベルト .....	29
SRS エアバッグ .....	32
排気ガスに対する注意 .....	36

## 1-2. お子さまの安全

お子さまを乗せるときは .....	37
チャイルドシート .....	38

## 1-3. 盗難防止装置

エンジンイモビライザーシステム .....	47
オートアラーム .....	48

## 運転する前に

お車を安全に運転していただくために、運転する前は必ず次のことを確認してください。

### 点検整備

日常点検整備や定期点検整備は、お客様の責任において実施していくことが法律で義務付けられています。適切な時期に点検整備を実施し、車に異常がないことを確認してください。

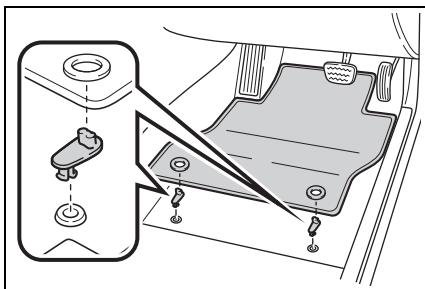
日常点検整備や点検項目などの詳細については、別冊「メンテナンスノート」を参照してください。

異常が見つかった場合は、トヨタ販売店で必ず点検整備を受けてください。

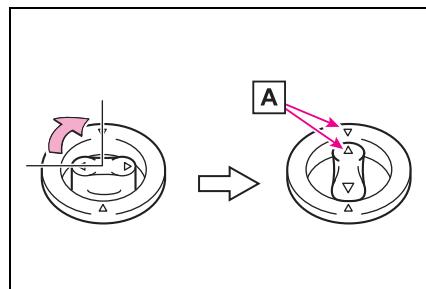
### フロアマットを固定するには

専用のフロアマットを、フロアカーペットの上にしっかりと固定してお使いください。

- 1 固定フック（クリップ）にフロアマット取り付け穴をはめ込む



- 2 固定フック（クリップ）上部のレバーをまわして、フロアマットを固定する



\* △マークAを必ず合わせてください。

固定フック（クリップ）の形状はイラストと異なる場合があります。

### ⚠ 警告

次のことを必ずお守りください。  
お守りいただかないと、フロアマットがずれて運転中に各ペダルと干渉し、思わずスピードが出たり車を停止しにくくなるなど、事故の原因になり重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

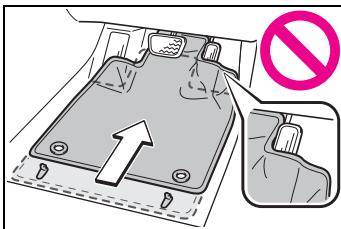
#### ■ 運転席にフロアマットを敷くとき

- トヨタ純正品であっても、他車種および異なる年式のフロアマットは使用しない
- 運転席専用のフロアマットを使用する
- 固定フック（クリップ）を使って、常にしっかりと固定する
- 他のフロアマット類と重ねて使用しない
- フロアマットを前後逆さまにしたり、裏返して使用しない

## ⚠ 警告

### ■ 運転する前に

- フロアマットがすべての固定フック(クリップ)で正しい位置にしっかりと固定されていることを定期的に確認し、特に洗車後は必ず確認を行う

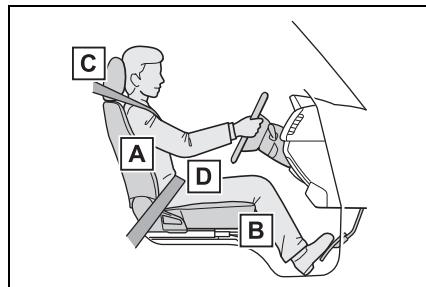


- エンジン停止およびシフトレバーがPの状態で、各ペダルを奥まで踏み込み、フロアマットと干渉しないことを確認する

## 安全なドライブのために

安全に運転するために、走行前にシートやミラーなどを適切に調整してください。

### 正しい運転姿勢をとるには



**A** まっすぐ座り、運転操作時に体が背もたれから離れないよう、背もたれの角度を調整する  
(→P.89)

**B** ペダルがしっかりと踏み込め、ハンドルを握ったときにひじが少し曲がるようなシート位置にする  
(→P.89)

**C** ヘッドレストの中央が耳のいちばん上のあたりになるようにする  
(→P.92)

**D** シートベルトを正しく着用する  
(→P.30)

## 警告

- 次のことを必ずお守りください。  
お守りいただかないと、重大な傷害に  
およぶか、最悪の場合死亡につながる  
おそれがあります。
- 走行中は運転席の調整をしないでく  
ださい。  
運転を誤るおそれがあります。
  - 背もたれと背のあいだにクッション  
などを入れないでください。  
正しい運転姿勢がとれないばかりか、  
衝突したとき、シートベルトやヘッ  
ドレストなどの効果が十分に発揮さ  
れないおそれがあります。
  - フロントシート<sup>\*</sup>の下にものを置か  
ないでください。  
ものが挟まるとシートが固定されず、  
思わぬ事故や調整機構の故障の原因  
になります。
  - ※ 前後位置が固定式のシートを除く
  - 公道を走行するときは、法定速度や  
制限速度を遵守してください。
  - 他の車や歩行者など、周囲の状況に  
常に注意を払い、安全運転を心がけ  
てください。
  - 飲酒運転は絶対にしないでください。  
お酒を飲むと注意力と判断力がにぶ  
り、思いがけない事故を引き起こす  
おそれがあります。また、眠気をも  
よおす薬を飲んだときも運転を控え  
てください。
  - 運転中に携帯電話を使用したり、装  
置の調節などをしないでください。  
周囲の状況などへの注意が不十分に  
なり、大変危険です。ハンズフリー  
以外の自動車電話や携帯電話を運転  
中に使用することは法律で禁止され  
ています。

- 長距離ドライブの際は、疲れを感じ  
る前に定期的に休憩してください。  
また、運転中に疲労感や眠気を感じ  
たときは、無理に運転せず、すみや  
かに休憩してください。

## シートベルトを正しく着用する には

すべての乗員は、走行前に必ず  
シートベルトを正しく着用してく  
ださい。(→P.30)

シートベルトを正しく着用できな  
い小さなお子さまを乗せるときは、  
適切なチャイルドシートをご用意  
ください。(→P.38)

## ミラーを調整するには

後方が確実に確認できるように、  
インナーミラー★・デジタルイン  
ナーミラー★・ドアミラーを正し  
く調整してください。(→P.95,  
96, 105)

★ : グレード、オプションなどにより、  
装備の有無があります。

## シートベルト

**走行前にすべての乗員は必ずシートベルトを正しく着用してください。**

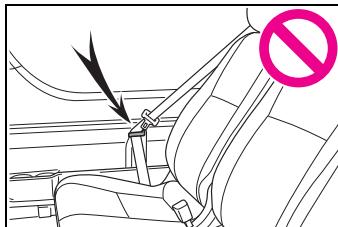
### ⚠ 警告

急ブレーキや事故の際のけがを避けるため、次のことを必ずお守りください。お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

#### ■ シートベルトの着用について

- 全員がシートベルトを着用する
- シートベルトを正しく着用する
- シートベルトは一組につき一人で使用する  
お子さまでも一組のベルトを複数の人で使用しない
- お子さまはリヤシートに座らせてシートベルトを着用させる
- 背もたれは必要以上に倒さず、上体を起こし、シートに深く座る
- 肩部ベルトを腕の下に通して着用しない
- 腰部ベルトはできるだけ低い位置に密着させ着用する

- リヤシートベルトハンガー★にかかる状態でシートベルトを使用しない



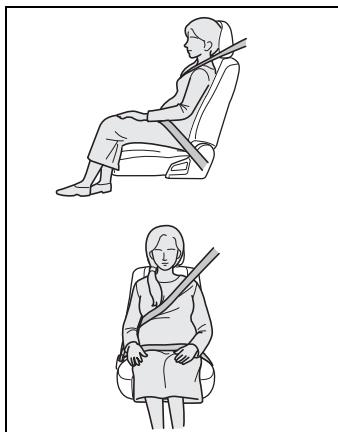
★ : グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

#### ■ 妊娠中の女性の場合

医師に注意事項を確認の上、必ず正しく着用してください。(→P.30)

通常の着用のしかたと同じように、腰部ベルトが腰骨ができるだけ低い位置にかかるようにお腹のふくらみの下に、肩部ベルトは確実に肩を通し、お腹のふくらみを避けて胸部にかかるように着用してください。

ベルトを正しく着用していないと、衝突したときなどに、母体だけでなく胎児までが重大な傷害を受けたり、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。



## ⚠ 警告

### ■ 疾患のある方の場合

医師に注意事項を確認の上、必ず正しく着用してください。

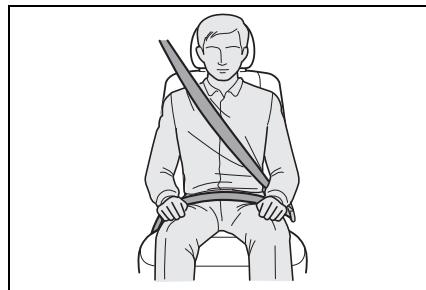
### ■ お子さまを乗せるとき

→P.46

### ■ シートベルトの損傷・故障について

- ベルトやプレート・バックルなどは、シートやドアに挟むなどして損傷しないようにしてください。
- シートベルトが損傷したときはシートベルトを修理するまでシートは使用しないでください。
- プレートがバックルに確実に挿し込まれているか、シートベルトがねじれていなかを確認してください。うまく挿し込めない場合はただちにトヨタ販売店に連絡してください。
- もし重大な事故にあったときは、明らかな損傷が見られない場合でも、シート・シートベルトを交換してください。
- プリテンショナー付きシートベルトの取り付けや取りはずし・分解・廃棄などは、トヨタ販売店以外でしないでください。  
不適切に扱うと、正常に作動しなくなるおそれがあります。

## 正しく着用するには



### ● 肩部ベルトを肩に十分かける

首にかかったり、肩からはずれないようにしてください。

### ● 腰部ベルトを必ず腰骨のできるだけ低い位置に密着させる

### ● 背もたれを調整し、上体を起こし、深く腰かけて座る

### ● ねじりがないようにする

## □ 知識

### ■ お子さまのシートベルトの使い方

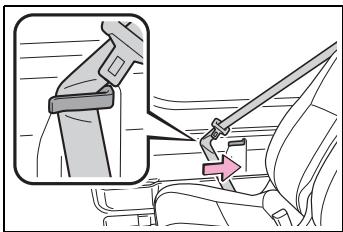
この車のシートベルトは、シートベルトを装着するのに十分な、大人の体格を持った人用に設計されています。

### ● シートベルトが正しい位置で着用できない小さなお子さまの場合は、お子さまの体に合ったチャイルドシートを使用してください。 (→P.38)

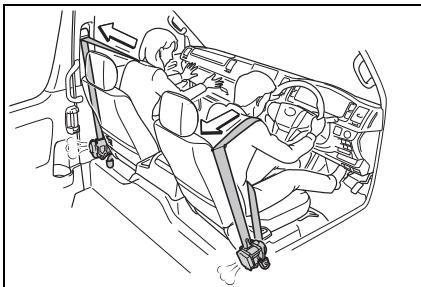
### ● シートベルトが正しい位置で着用できるお子さまの場合は、シートベルトの着用のしかたに従ってください。 (→P.29)

### ■ リヤシートベルトを使用しないとき (シートベルトハンガー装着席)

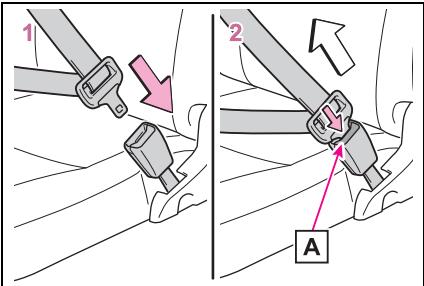
シートベルトをシートベルトハンガーに格納してください。



前方からの衝撃が弱いときや、横やうしろからの衝撃、横転のときは通常は作動しません。



## 着け方・はずし方



- 1 ベルトを固定するには、“力チッ”と音がするまでプレートをバックルに挿し込む
- 2 ベルトを解除するには、解除ボタンAを押す

### 知識

#### ■シートベルトロックの解除方法

急停止や衝撃があったときベルトがロックされます。急に体を前に倒したり、シートベルトをすばやく引き出してもロックする場合があります。一度ベルトを強く引いてからゆるめ、ゆっくり動かせば、ベルトを引き出すことができます。

### シートベルトプリテンショナー（フロント席）

前方から強い衝撃を受けたとき、フロント席のシートベルトを引き込むことで適切な乗員拘束効果を確保します。

### □ 知識

#### ■シートベルトプリテンショナーについて

シートベルトプリテンショナーは、一度しか作動しません。玉突き衝突などで連続して衝撃を受けた場合でも、一度作動したあとは、その後の衝突では作動しません。

#### ■予防連携機能について

プリクラッシュセーフティによって車両との衝突の可能性が高いと判断されたとき、シートベルトプリテンショナーの作動準備を整えます。

### ⚠ 警告

#### ■プリテンショナー付きシートベルトについて

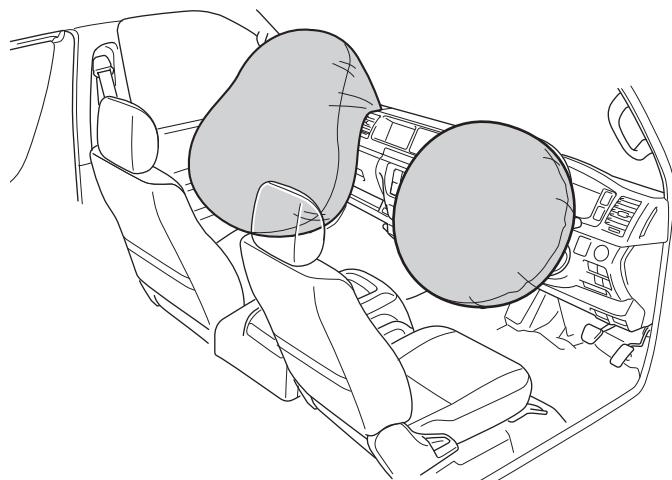
シートベルトプリテンショナーが作動すると、SRSエアバッグ／プリテンショナー警告灯が点灯します。その場合はシートベルトを再使用することができないため、必ずトヨタ販売店で交換してください。お守りいただかないで重大な傷害におよぶか、最悪の場合死ににつながるおそれがあります。

## SRS エアバッグ

SRS エアバッグは乗員に重大な危害がおよぶような強い衝撃を受けたときにふくらみ、シートベルトが体を拘束する働きと併せて乗員への衝撃を緩和させます。

### SRS エアバッグシステム

#### ■ SRS エアバッグの配置



- ▶ フロント SRS エアバッグ(運転席 SRS エアバッグ／助手席 SRS エアバッグ)

運転者と助手席乗員の頭や胸などへの衝撃を緩和

#### 知識

#### ■ SRS エアバッグが作動すると

- SRS エアバッグは高温のガスにより非常に速い速度でふくらむため、すり傷・やけど・打撲などを受けることがあります。
- 作動音と共に白いガスが発生します。
- エアバッグ近辺の部品の一部分などだけでなくエアバッグ構成部品（ハンド

ルのハブ・エアバッグカバー・インフレーター）も数分間熱くなることがあります。エアバッグそのものも熱くなります。

- フロントウインドウガラスが破損することがあります。
- すべてのドアが解錠されます。（→P.69）
- 自動的にブレーキと制動灯を制御します。（→P.194）

- 室内灯が自動で点灯します。  
(→P.216)
- 非常点滅灯が自動で点滅します。  
(→P.263)
- 燃料供給を停止します。(ガソリン車)  
(→P.272)

### ■緊急通報について

- T-Connect の契約期間内は、次の場合、自動的に緊急通報がヘルプネットセンターに送信されます。
  - ・ SRS エアバッグが作動した
  - ・ シートベルトプリテンショナーが作動した
  - ・ 車両に一定以上の衝撃を受けた

オペレーターからの呼びかけに応答がなくとも、緊急車両などを手配することができます。詳しくは「マルチメディア取扱説明書」を参照してください。

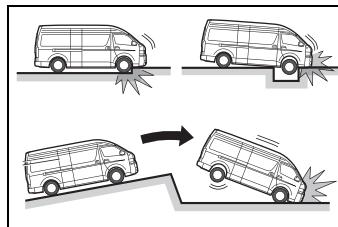
### ■正面からの衝撃で SRS エアバッグが作動するとき

- SRS エアバッグは、衝撃の強さが設定値（移動も変形もしない固定された壁に、車速約 20 ~ 30km/h で正面衝突した場合の衝撃の強さに相当する値）以上の場合に作動します。
- 次の場合はエアバッグが作動する車速は設定値より高くなります。
  - ・ 駐車している車や標識のような衝撃によって移動や変形するものに衝突した場合
  - ・ もぐり込むような衝突の場合（例えば、車両前部がもぐり込む、下に入り込む、トラックの下敷きになるなど）
- 衝突条件によってはシートベルトプリテンショナーのみ作動する場合があります。

### ■車両下部からの衝撃で SRS エアバッグが作動するとき

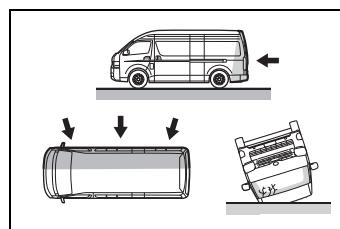
SRS エアバッグは、車両下部が固いものにぶつかったときなどの状況で作動する

場合があります。



### ■SRS エアバッグが作動しないとき

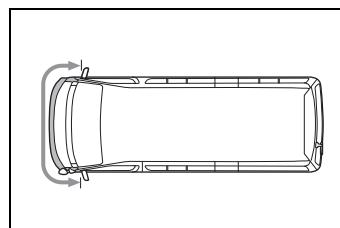
SRS エアバッグは、側面や後方からの衝撃・横転、または低速での前方からの衝撃では、通常は作動しません。ただし、それらの衝撃が前方への減速を十分に引き起こす場合には、作動することがあります。



### ■トヨタ販売店に連絡が必要な場合

次のような場合には、点検・修理が必要になります。できるだけ早くトヨタ販売店へご連絡ください。

- いずれかの SRS エアバッグがふくらんだとき
- SRS エアバッグはふくらまなかつたが、事故で車両の前部を衝突したとき、または破損・変形などがあるとき



- ハンドルのパッド部分・ダッシュボードの助手席 SRS エアバッグ付近が傷付

いたり、ひび割れたり、その他の損傷を受けたとき

## ⚠ 警告

### ■SRSエアバッグについて

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- 運転者と乗員すべてがシートベルトを正しく着用してください。

SRSエアバッグはシートベルトを補助するためのものです。

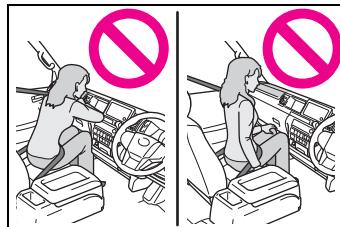
- 助手席 SRSエアバッグは強い力でふくらむため、特に乗員がエアバッグに近付きすぎると、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。乗員が SRSエアバッグのふくらむ場所に近い場合は特に危険です。シートの背もたれを調整して、シートができるだけ SRSエアバッグから離し、まっすぐに座ってください。

- お子さまがシートにしっかりと座っていないと、SRSエアバッグのふくらむ衝撃で重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

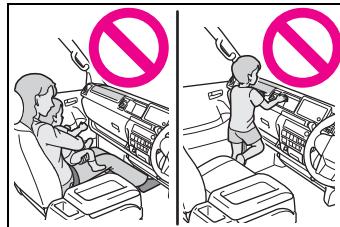
お子さまが小さくてシートベルトを使用できないときは、チャイルドシートでしっかりと固定してください。

お子さまはリヤ席に乗せ、チャイルドシートまたはシートベルトを着用させることをおすすめします。（→P.38）

- シートの縁に座ったり、ダッシュボードにもたれかかったりしない

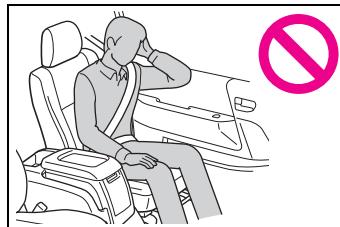


- お子さまを助手席 SRSエアバッグの前に立たせたり、ひざの上に抱いたりしない



- 運転者および助手席乗員は、ひざの上に何も持たない

- ドアやフロントピラー・センターピラー・リヤピラー・ルーフサイドレールへ寄りかからない

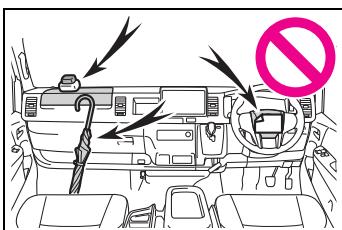


## ⚠️ 警告

- ドアに向かってひざをついたり、窓から顔や手を出したりしない



- ダッシュボード・ハンドルのパッド部分などには何も取り付けたり、置いたりしない



- SRSエアバッグシステム構成部品の周辺およびフロントドアの周辺は、強くたたくなど過度の力を加えないでください。

SRSエアバッグが正常に作動しなくなるおそれがあります。

- SRSエアバッグがふくらんだ直後は、構成部品が熱くなっているため、ふれないでください。

- SRSエアバッグがふくらんだあとに、もし呼吸が苦しく感じたら、ドアやドアガラスを開けて空気を入れるか、安全を確認して車外に出てください。

皮膚の炎症を防ぐため、残留物はできるだけ早く洗い流してください。

- SRSエアバッグが収納されている部分に傷が付いていたり、ひび割れがあるときは、そのまま使用せずトヨタ販売店で交換してください。

## ■ 改造・廃棄について

トヨタ販売店への相談なしに、次の改造・廃棄をしないでください。

SRSエアバッグが正常に作動しなくなったり、誤ってふくらむなどして、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- SRSエアバッグの取りはずし・取り付け・分解・修理

- 次の部品周辺の修理・取りはずし・改造

- ハンドル
- インストルメントパネル
- ダッシュボード

- 次の部品やその周辺の修理・改造

- フロントフェンダー
- フロントバンパー

- 次の部品、または装置の取り付け

- グリルガード
- 除雪装置
- ウインチ

- サスペンションの改造

- CDプレーヤー・無線機などの電化製品の取り付け

## 排気ガスに対する注意

排気ガスには吸引すると人体に有害な物質が含まれています。

### !**警告**

排気ガスには無色・無臭で有害な一酸化炭素（CO）が含まれているため、次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、排気ガスが車内に侵入し、多量の排気ガスが眠気を招き事故の原因になるほか、重大な健康障害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

### ■走行中の留意事項

バックドアを閉じてください。

バックドアが閉じているのに車内で排気ガス臭がするときは、ドアガラス・スライド式リヤサイドガラス★を開けて空気を入れかえ、すみやかにトヨタ販売店で点検整備を受けてください。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

### ■駐車するとき

●車庫内など換気が悪い場所や囲まれた場所では、エンジンを停止してください。

●長時間エンジンをかけたままにしないでください。

やむを得ないときは、開かれた場所に車を停め、排気ガスが車内に入つてこないことを確認してください。

●降雪時や雪が積もった場所では、エンジンをかけたままにしないでください。まわりに積もった雪で排気ガスが滞留して、車内に侵入するおそれがあります。

### ■排気管について

排気管は定期的に点検する必要があります。排気管等の腐食などによる穴や亀裂、および継ぎ手部の損傷、また、排気音の異常などに気付いた場合は、必ずトヨタ販売店で点検を受けてください。

(ディーゼル車は、P.199 の注意も併せて参照してください)

## お子さまを乗せるときは

**お子さまを乗せるときは、次のことをお守りください。**

- お子さまにも必ずシートベルトを着用させてください。  
シートベルトを正しく着用できない小さなお子さまを乗せるときは、適切なチャイルドシートをご用意ください。  
(→P.38)
- 運転装置にふれるのを防ぐため、お子さまはリヤシートに乗せることをおすすめします。
- 走行中にドアを開けたり、パワーウィンドウを誤操作したりしないように、ウィンドウロックスイッチ(→P.108)をご使用ください。
- 小さなお子さまには、パワーウィンドウ・ボンネット・スライドドア・バックドアやシートなど、体を挟まれるおそれがある装備類を操作させないでください。



### ■ お子さまを乗せるとき

- お子さまを車の中に残したまましないでください。車内が高温になって熱射病や脱水症状になり、重大な健康障害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。  
また、お子さまが車内の装置を操作し、ドアガラスなどに挟まれたり、発炎筒などでやけどしたり、運転装置を動かして、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

- 車にお子さまを乗せる場合は、お子さまの安全を確保するための注意事項やチャイルドシートの取り付け方などをまとめた「チャイルドシート」を参照してください。(→P.38)

## チャイルドシート

ここでは、お車にチャイルドシートを取り付ける前にお守りいただきたいことや、チャイルドシートの種類および取り付け方法などを記載しています。

シートベルトを正しく着用できない小さなお子さまを乗せるときは、チャイルドシートをお使いください。お子さまの安全のために、チャイルドシートはリヤシートに取り付けてください。取り付け方法は、商品に付属の取扱説明書に必ず従ってください。

### 目次

知っておいていただきたいこと：P.38

チャイルドシートを使用するときは：P.39

シート位置別チャイルドシートの適合性について：P.41

チャイルドシートをシートベルトで固定する：P.45

### 知っておいていただきたいこと

- チャイルドシートに関する注意事項および法規について、優先してお守りください。
- お子さまが成長し、適切にシートベルトが着用できるようになるまではチャイルドシートを使用してください。
- お子さまの年齢・体格に合わせ

て、適切なチャイルドシートをお選びください。

- すべてのチャイルドシートがすべての車両に適合するわけではありません。チャイルドシートの使用・購入の際は、あらかじめ取り付けるシート位置との適合性を確認してください。  
(→P.41)

### ⚠ 警告

#### ■ お子さまを乗せるとき

次のことを必ずお守りください。お守りいただかない場合、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- 事故や急停止の際、効果的にお子さまを保護するために、必ず正しく取り付けられたチャイルドシートを使用して、しっかりと体を固定してください。お子さまに最適なチャイルドシートについては、チャイルドシート製造業者、または販売業者にご相談ください。
- トヨタでは、お子さまの年齢や体の大きさに合った適切なチャイルドシートをリヤシートに取り付けることを推奨します。事故統計によると、フロントシートよりリヤシートに適切に取り付けるほうがより安全です。
- お子さまを腕の中に抱くのはチャイルドシートのかわりにはなりません。事故の際、お子さまがフロントウインドウガラスや乗員、車内の装備にぶつかるおそれがあります。

## ⚠ 警告

### ■ チャイルドシートについて

次のことをお守りいただかないと、急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに飛ばされるなどして、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- 事故等で車両に強い衝撃を受けた場合は、チャイルドシートにも目に見えない破損があるおそれが強いため、再使用しないでください。
- チャイルドシートによっては、取り付けができない、または取り付けが困難な場合があります。その場合は、車への取り付けに適したチャイルドシートであるか確認してください(→P.43)。本書のチャイルドシート固定方法およびチャイルドシートに付属の取扱説明書をよくお読みの上、確実に取り付け、使用方法をお守りください。
- チャイルドシートを使用しないときであっても、シートに適切にしっかりと取り付けた状態にしてください。ゆるめた状態で客室内に置くことは避けてください。
- チャイルドシートの取りはずしが必要な場合は、車両からはずして保管するか、ラゲージルーム内に容易に動かないように収納してください。

### チャイルドシートを使用するときは

#### ■ 助手席にチャイルドシートを取り付けるとき

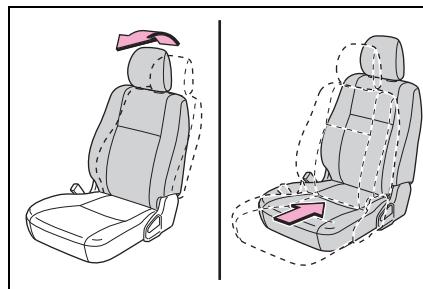
お子さまの安全のために、チャイルドシートはリヤシートに取り付けてください。

やむを得ず助手席にチャイルド

シートを取り付ける場合には、助手席シートを次のように調整し、チャイルドシートを取り付けてください。

#### ● 背もたれを可能な限り起こす

背もたれとチャイルドシートの間にすき間がある場合は、背もたれとチャイルドシートのすき間が少なくなるように背もたれを調整してください。



#### ● 前後位置調整レバー装着車：シートをいちばんうしろに下げる

#### ● ヘッドレストとチャイルドシートが干渉してチャイルドシートが正しく取り付けられない場合は、ヘッドレストの取りはずしが可能なときは、ヘッドレストを取りはずす

取りはずしができない場合は、ヘッドレストをいちばん上まで上げる

## ⚠ 警告

### ■ チャイルドシートを使用するとき

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

**⚠ 警告**

- やむを得ず助手席にチャイルドシートを取り付ける場合には、チャイルドシートをうしろ向きに取り付けないでください。

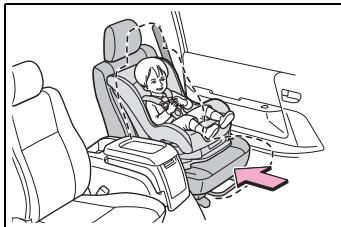
うしろ向きに取り付けていると、事故などで助手席 SRS エアバッグがふくらんだとき、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

助手席側のサンバイザーに、同内容のラベルが貼られています。併せて参照してください。

**⚠ 警告**

## ⚠ 警告

- 助手席の前後位置調整が可能な車両の場合、やむを得ず助手席に前向きにチャイルドシートを取り付ける場合には、助手席シートをいちばんうしろに下げる取り付けてください。助手席 SRS エアバッグはかなりの速度と力でふくらむので、お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。



### ■ チャイルドシートを使用するとき

- ジュニアシートを使用している場合は、肩部ベルトが常にお子さまの肩の中心にくるようにしてください。ベルトを首から離すと共に肩から落ちないようにしてください。
- お子さまの年齢や体の大きさに合ったチャイルドシートを使用して、リヤシートに取り付けてください。
- 運転席とチャイルドシートが干渉し、チャイルドシートが正しく取り付けられない場合は、助手席側のリヤシートに取り付けてください。



- 助手席シートとチャイルドシートが干渉しないように、助手席シートを調整してください。

## シート位置別チャイルドシートの適合性について

### ■ シート位置別チャイルドシートの適合性について

シート位置別チャイルドシートの適合性（→P.42）は、使用可能なチャイルドシートの種類や取り付け可能な座席位置を記号で表しています。

次に記載されている、「シート位置別チャイルドシートの適合性を確認する前に」も併せて確認してください。

### ■ シート位置別チャイルドシートの適合性を確認する前に

#### 1 チャイルドシートの規格を確認する

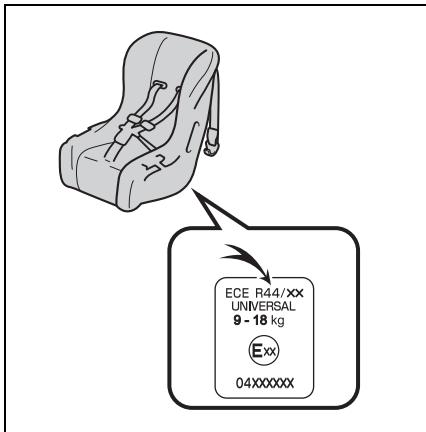
UN (ECE) R44<sup>※1</sup>に適合したチャイルドシートを使用してください。適合したチャイルドシートには、次の認可マークが表示されています。チャイルドシートに付いている認可マークを確認してください。

法規番号の表示例

UN (ECE) R44 認可マーク <sup>※2</sup>

対象となるお子さまの体重の範囲が記載

されています。

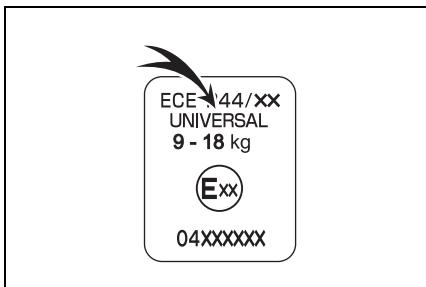


\*<sup>1</sup>UN (ECE) R44 は、チャイルドシートに関する国連法規です。

\*<sup>2</sup>表示されているマークは、商品により異なります。

## 2 チャイルドシートのカテゴリーを確認する

チャイルドシートのカテゴリーが次のどのカテゴリーに該当するのか、チャイルドシートの認可マークを確認ください。また、ご不明な場合はチャイルドシートに付属の取扱説明書を確認頂くか、または販売業者へ確認してください。

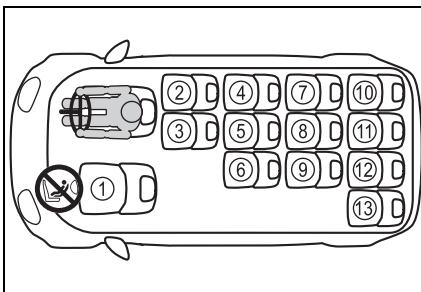


- ユニバーサル「universal (汎用)」
- セミユニバーサル「semi-universal (準汎用)」
- リストリクトィッド

「restricted (限定)」

- ビーグルスペシフィック  
「vehicle specific (特定車両)」

### ■ シート位置別チャイルドシートの適合性



<b>(1)</b> ※1, 2, 3	<b>U</b> ※4
<b>(2)~(13)</b>	純正チャイルドシートの取付けに適しておりません

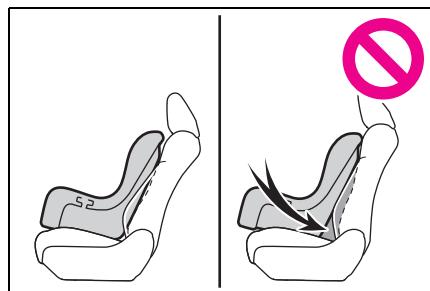
**U** 車両のシートベルトで固定するタイプのユニバーサル（汎用）カテゴリーのチャイルドシートに適しています。

やむを得ず助手席にチャイルドシートを取り付ける場合には、チャイルドシートをうしろ向きに取り付けないでください。

\*<sup>1</sup>シートをいちばんうしろに下げた状態で取り付けてください。シートの高さ調整ができる場合は、いちばん高い位置に調整してください。

\*<sup>2</sup>背もたれを可能な限り起こしてください。

前向きにチャイルドシートを取り付けるときに、背もたれとチャイルドシートの間にすき間がある場合は、背もたれとチャイルドシートのすき間が少なくなるように背もたれを調整してください。



※<sup>3</sup>ヘッドレストとチャイルドシートが干渉してチャイルドシートが正しく取り付けられない場合、ヘッドレストの取りはずしが可能なときは、ヘッドレストを取りはずしてください。

取りはずしができない場合は、ヘッドレストをいちばん上まで上げてください。

※<sup>4</sup>チャイルドシートを必ず、前向きで使用してください。

## ■ チャイルドシート取り付けに関する詳細情報

着座位置		
シート位置の番号	(1)	(2)~(13)
ユニバーサル（汎用）ベルト式が搭載可能な着座位置（有／無）	有	無
アイサイズ着座位置（有／無）	無	無
搭載可能な横向きチャイルドシートの治具（L1／L2）	×	×
搭載可能なうしろ向きチャイルドシートの治具（R1／R2X／R2／R3）	×	×
搭載可能な前向きチャイルドシートの治具（F2X／F2／F3）	×	×
搭載可能なジュニアシートの治具（B2／B3）	×	×

ISOFIX チャイルドシートはいくつかの「治具」に分かれています。上記の表に示す「治具」の着座位置でチャイルドシートを使用することができます。「治具」の種類は、次の表を確認ください。

チャイルドシートの「治具」の種類を確認するために、チャイルドシートに付属の取扱説明書を確認してください。お手持ちのチャイルドシートに「治具」の種類がない（または必要な情報が表の中にはない）場合は、チャイルドシートの「車種別適合リスト」を参照するか、販売業者へお問い合わせの上、適合性を確認してください。

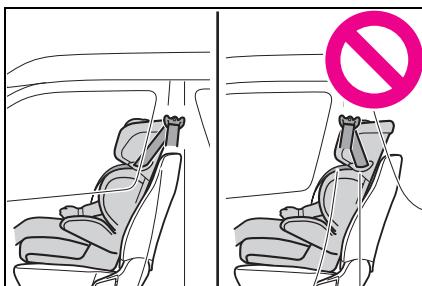
治具	使用の向き・形状・大きさ
F3	全高前向きチャイルドシート
F2	低型前向きチャイルドシート
F2X	低型前向きチャイルドシート
R3	大型うしろ向きチャイルドシート

治具	使用の向き・形状・大きさ
R2	小型うしろ向きチャイルドシート
R2X	小型うしろ向きチャイルドシート
R1	うしろ向きチャイルドシート
L1	左向き寝台式チャイルドシート
L2	右向き寝台式チャイルドシート
B2	ジュニアシート
B3	ジュニアシート

チャイルドシートの隣の席を使用するときは、肩部ベルトが確実に肩を通り、腰部ベルトが腰骨のできるだけ低い位置に密着することを確認してください。チャイルドシートの隣の席に座ったときに、チャイルドシートの種類によっては、乗員の体またはシートベルトがチャイルドシートと干渉するためシートベルトが正しく着用できず、十分な効果を発揮できない場合があります。その場合は、他の席を使用してください。

お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- リヤシートにチャイルドシートを取り付けるときは、お子様やチャイルドシートがフロントシートと干渉しないようにフロントシートを調整してください。
- サポートベース付きのチャイルドシートを取り付けるときに、チャイルドシートをサポートベースへ固定する際にチャイルドシートが背もたれと干渉する場合は、チャイルドシートが干渉しなくなるまで背もたれを調整してください。
- シートベルトのショルダーアンカーがチャイルドシートベルトガイドより前にある場合は、シートを前方に動かします。



- ジュニアシートを取り付けるときに、お子様がかなり直立した姿勢になる場合は、背もたれの角度を最も快適な位置に調整します。また、シートベルトのショルダーアンカーがチャイルドシートベルトガイドより前にある場合は、シートを前方に移動します。

## チャイルドシートをシートベルトで固定する

### ■ シートベルトで固定する

チャイルドシートに付属の取扱説明書に従ってチャイルドシートを取り付けてください。

お手持ちのチャイルドシートが「ユニバーサル」カテゴリーでない（または必要な情報が表の中にならない）場合は、チャイルドシートメーカーが提供する「車種別適合リスト」を参照するか、販売業者へお問い合わせの上、適合性を確認してください。（→P.42, 43）

**1 やむを得ず助手席にチャイルドシートを取り付ける場合は、助手席シートを正しく調整してください。（→P.40）**

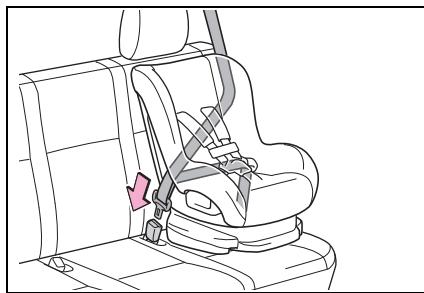
### 2 背もたれを可能な限り起こす

前向きにチャイルドシートを取り付けるときに、背もたれとチャイルドシートの間にすき間がある場合は、背もたれとチャイルドシートのすき間が少なくなるように背もたれを調整してください。

**3 ヘッドラストとチャイルドシートが干渉してチャイルドシートが正しく取り付けられない場合は、ヘッドラストの取りはずしが可能なときは、ヘッドラストを取りはずしてください。取りはずしができない場合は、ヘッドラストをいちばん上まで上げてください（→P.92）**

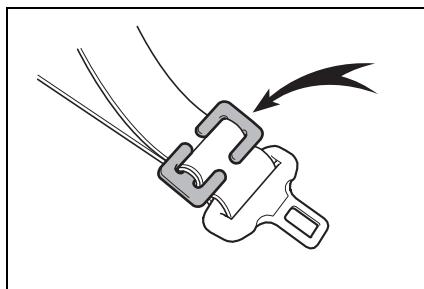
**4 チャイルドシートにシートベルトを取り付け、プレートをバックルに“カチッ”と音がするまで挿し込む。ベルトがねじれていないようにする**

チャイルドシートに付属の取扱説明書に従い、シートベルトをチャイルドシートにしっかりと固定させてください。



**5 チャイルドシートにシートベルトの固定装置が備わっていない場合は、ロッキングクリップ（別売）を使用して固定する**

ロッキングクリップの購入にあたっては、トヨタ販売店にご相談ください。（ロッキングクリップ品番：73119-22010）



**6 取り付け後はチャイルドシートを前後左右にゆすり、しっかりと固定されていることを確認してください。（→P.46）**

### ■ チャイルドシートの取りはずし

バックルの解除ボタンを押し、シートベルトをチャイルドシートから取りはずす

バックル解除時に、シートクッションの反発により、チャイルドシートが跳ね上がることがあります。

チャイルドシートを抑えながらバックル

の解除をしてください。

シートベルトは自動的に巻き取られますので、ゆっくりもどしてください。

### ⚠ 警告

#### ■ チャイルドシートを取り付けるとき

次のことを必ずお守りください。  
お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- お子さまをシートベルトで遊ばせないでください。万一ベルトが首に巻き付いた場合、窒息など重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。  
誤ってそのような状態になってしまい、バックルもはずせない場合は、ハサミなどでシートベルトを切断してください。
- シートベルトのプレートとバックルがしっかりと固定されて、ベルトがねじれていなか確認してください。
- チャイルドシートを前後左右にゆすって、しっかりと固定されているか確認してください。
- チャイルドシートを固定したあとは、シートを調整しないでください。
- ジュニアシートを使用している場合は、肩部ベルトが常にお子さまの肩の中心にくるようにしてください。  
ベルトを首から離すと共に肩から落ちないようにしてください。
- 必ずチャイルドシートに付属の取扱説明書をよくお読みの上、確実に取り付け、使用方法をお守りください。

## エンジンイモビライザーシステム

キーに信号発信機が内蔵しており、あらかじめ登録されたキー以外ではエンジンを始動できません。

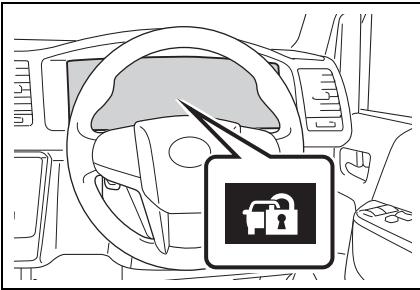
車両から離れる場合は、車内にキーを残さないでください。

このシステムは車両盗難の防止に寄与する機能であり、すべての車両盗難に対する完全なセキュリティを保証するものではありません。

### システムを作動させるには

エンジンスイッチを OFF になると、システムの作動を知らせるためにセキュリティ表示灯が点滅します。

登録されたキーを携帯し、エンジンスイッチを ACC または ON になるとシステムが解除され、セキュリティ表示灯が消灯します。



### □ 知識

#### ■メンテナンスについて

エンジンイモビライザーシステムのメンテナンスは不要です。

#### ■システムが正常に作動しないとき

- キーが金属製のものに接したり、覆われているとき
- キーが他の車両のセキュリティシステム用キー（信号発信機内蔵キー）と重なっているときや接近しているとき

#### 注意

#### ■エンジンイモビライザーシステムを正常に作動させるために

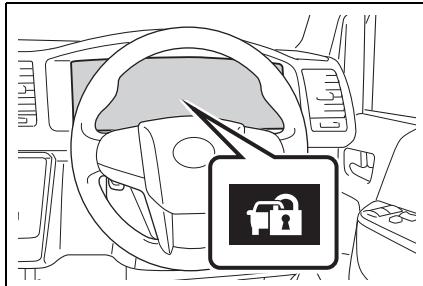
システムの改造や取りはずしをしてください。システムが正常に作動しないことがあります。

## オートアラーム

オートアラームとは、侵入を検知した場合に音と光で警報する機能です。

オートアラームを設定すると、次のような状況でオートアラームが作動します。

- 施錠されたドアまたはバックドアが、スマートエントリー＆スタートシステム・ワイヤレスリモコンを使わずに解錠されたり、開けられたとき
- ボンネットが開けられたとき



### ■ オートアラームを解除／停止するには

次のいずれかを行ってください。

- スマートエントリー＆スタートシステム・ワイヤレスリモコンを使ってドアまたはバックドアを解錠する
- エンジンを始動する（数秒後に解除・停止します）

### □ 知識

#### ■ オートアラームの設定について

ボンネットを開けていても、すべてのドアが閉じていれば、オートアラームは設定できます。

#### ■ メンテナンスについて

オートアラームシステムのメンテナンスは不要です。

#### ■ オートアラームの作動について

次のような場合、オートアラームが作動することがあります。オートアラームを解除・作動を停止する操作を行ってください。

- キーを使ってドアを解錠したとき

## オートアラームを設定／解除／停止する

### ■ ドアを施錠する前の確認

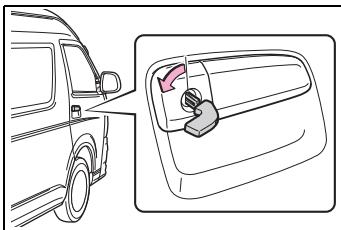
オートアラームの思わず作動、および盗難を防ぐため、次のことを必ず確認してください。

- 車内に人が乗っていないか
- ドアガラスが閉じているか
- 車内に貴重品などを放置していないか

### ■ オートアラームを設定するには

ドア・バックドア・ボンネットを閉め、スマートエントリー＆スタートシステム・ワイヤレスリモコンを使って施錠します。30秒以上経過すると、自動的に設定されます。

オートアラームがセットされるとセキュリティ表示灯は点灯から点滅にかわります。



**!** 注意

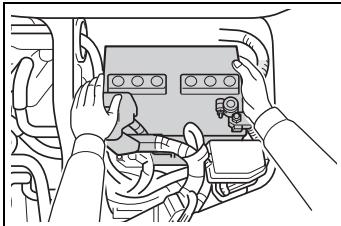
■ オートアラームを正常に作動させるために

システムの改造や取りはずしをしてください。システムが正常に作動しないことがあります。

- 車内に残った人が、ドア・バックドア・ボンネットを開けた、またはロックレバーで解錠したとき



- 施錠後、バッテリー上がりなどでバッテリーの充電や交換をしたとき  
(→P.298)



■ オートアラーム作動によるドアロック機能

次のような場合、車内への不正な侵入を防止するため自動的にドアが施錠されることがあります。

- 車内に残った人がドアを解錠し、オートアラームが作動したとき
- オートアラーム作動中に車内に残った人がドアを解錠したとき
- バッテリー上がりなどで充電・交換したとき



## 走行に関する情報表示

2

### 2-1. 計器の見方

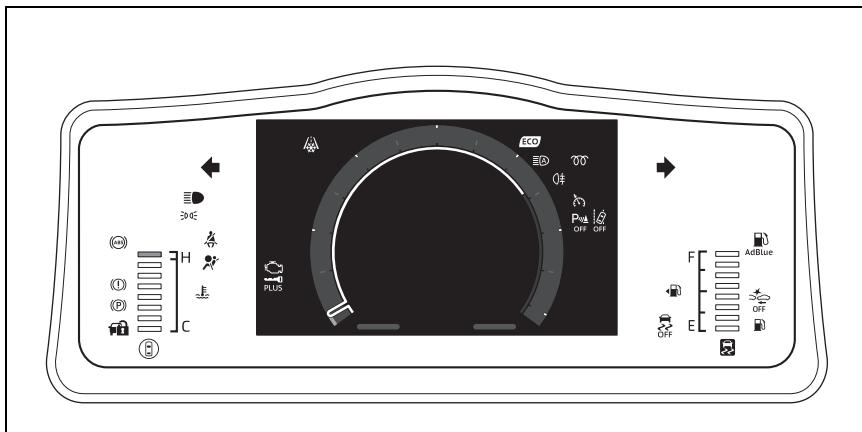
警告灯／表示灯 .....	52
計器類 .....	55
マルチインフォメーションディスプレイ .....	58
燃費画面 .....	63

2

## 警告灯／表示灯

メーターの警告灯／表示灯でお車の状況をお知らせします。

### メーターの警告灯／表示灯



実際の表示内容は、イラストと異なる場合があります。

### 警告灯一覧

システム異常などを警告します。

	ブレーキ警告灯 <sup>※1</sup> (→P.273)		ペダル誤操作警告灯 <sup>※2</sup> (→P.276)
	高水温警告灯 <sup>※2</sup> (→P.273)		燃料残量警告灯 (→P.277)
	充電警告灯 <sup>※2</sup> (→P.273)		運転席・助手席シートベルト 非着用警告灯 (→P.277)
	油圧警告灯 <sup>※2</sup> (→P.273)		PCS 警告灯 <sup>※1</sup> (→P.274)
	エンジン警告灯 <sup>※1</sup> (→P.274)		LDA 表示灯 (→P.275) (黄色)
	SRS エアバッグ／プリテン ショナー警告灯 <sup>※1</sup> (→P.274)		クルーズコントロール表示灯 (→P.275) (黄色)
	ABS & ブレーキアシスト警告 灯 <sup>※1</sup> (→P.274)		レーダークルーズコントロー ル表示灯 (→P.275) (黄色)
			運転支援情報表示灯 <sup>※1</sup> (→P.276)

	クリアランスソナー OFF 表示 灯※1★ (→P.274)
	スリップ表示灯※1 (→P.275)
	パーキングブレーキ表示灯※1 (→P.276)
	AdBlue® 残量警告灯★ (→P.277)

★ : グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

※1 作動確認のためにエンジンスイッチをONにすると点灯し、数秒後またはエンジンを始動すると消灯します。点灯しない場合や点灯したままのときはシステム異常のおそれがあります。トヨタ販売店で点検を受けてください。

※2 メッセージと一緒にマルチインフォメーションディスプレイに表示されます。

## !**警告**

■ 安全装置の警告灯が点灯しないとき  
ABS や SRS エアバッグなど安全装置の警告灯がエンジンスイッチをONにしても点灯しない場合や点灯したままの場合は、事故にあったときに正しく作動せず、重大な傷害を受けたり、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

## 表示灯一覧

システムの作動状況を表示します。

	方向指示表示灯 (→P.127)
	尾灯表示灯 (→P.129)

	ハイビーム表示灯 (→P.131)
	AHB 表示灯 (→P.132)
	リヤフォグランプ表示灯★ (→P.134)
	PCS 警告灯※1, 2 (→P.151)
	LDA 表示灯 (→P.160) (黄色点滅)
	LDA OFF 表示灯※2 (→P.160) (黄色)
	クルーズコントロール表示灯 (→P.176) (緑色)
	クルーズコントロール表示灯 (→P.176) (白色)
	レーダークルーズコントロール表示灯 (→P.172) (緑色)
	レーダークルーズコントロール表示灯 (→P.172) (白色)
	運転支援情報表示灯※1, 2 (→P.184)
	クリアランスソナー OFF 表示 灯★※1, 2 (→P.177)
	クリアランスソナー検知表示 灯★ (→P.177)
	スリップ表示灯※1 (→P.194) (点滅)
	VSC OFF 表示灯※1, 2 (→P.195)
	スマートエントリー＆スター トシステム表示灯※3 (→P.120)
	パーキングブレーキ表示灯 (→P.128)

	エコドライブインジケーター ランプ (→P.59)
	低温表示灯※4 (→P.55)
	セキュリティ表示灯 (→P.47)
	予熱表示灯★ (→P.120)
	プラスサポート表示灯★ (→P.189)
	制動灯表示灯 (→P.54)

★ : グレード、オプションなどにより、  
装備の有無があります。

※<sup>1</sup>作動確認のためにエンジンスイッチを  
ON にすると点灯し、数秒後または工  
ンジンを始動すると消灯します。点灯  
しない場合や点灯したままのときはシ  
ステム異常のおそれがあります。  
トヨタ販売店で点検を受けてくださ  
い。

※<sup>2</sup>システムが OFF のときに点灯します。

※<sup>3</sup>メッセージと一緒にマルチインフォ  
メーションディスプレイに表示されま  
す。

※<sup>4</sup>外気温が約 3° C 以下のとき、約 10  
秒間点滅後に点灯します。

## 知識

### ■クリアランスソナー OFF 表示灯につ いて

マルチメディアまたはリヤカメラ非装着  
車は、クリアランスソナー機能の ON /  
OFF の状態に関わらずシフトポジション  
を R にすると消灯します。

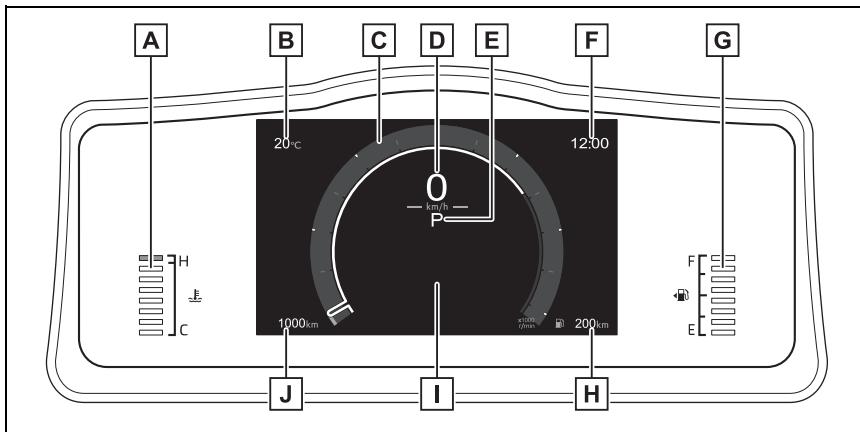
### ■制動灯表示灯について

ブレーキペダルの操作や運転支援システ  
ムの作動により、制動灯が点灯したとき  
に点灯します。

## 計器類

### メーターの表示について

#### ■ 計器類の位置



実際の表示内容は、イラストと異なる場合があります。

#### A 水温計

エンジン冷却水の温度を示します。

#### B 外気温

外気温度を -40° C ~ 60° C のあいだで表示します。

#### C タコメーター／アナログスピードメーター

マルチインフォメーションディスプレイのカスタマイズ画面で、表示を変更できます。

タコメーター：

毎分のエンジン回転数を示します。

アナログスピードメーター：

車両の走行速度を示します。

#### D デジタルスピードメーター

車両の走行速度を示します。

#### E シフトポジション表示

選択されているシフトポジションを表示します。 (→P.124)

#### F 時計

GPS の時刻情報 (GPS 時計) を利用して、時刻を自動で調整します。詳しくは別冊「マルチメディア取扱説明書」を参照してください。

**G 燃料計**

燃料残量を示します。次の場合、実際の燃料残量が正しく表示されないことがあります。

- ・ 少量給油（約 5L 以下）を行ったとき
- ・ 坂道など傾いた場所に停車したとき
- ・ 坂道やカーブを走行したとき

**H 航続可能距離**

現在の燃料残量で走行可能なおよその距離を表示します。（→P.56）

**I マルチインフォメーションディスプレイ**

車両に関するさまざまな情報を表示します。（→P.58）

車両に異常が発生したときは警告メッセージを表示します。（→P.279）

**J オドメーター**

走行した総距離を表示します。

**□ 知識****■ メーター・ディスプレイの作動条件**

エンジンスイッチが ON のとき

**■ 航続可能距離について**

- 運転履歴から学習した燃費と現在の燃料残量から算出した走行可能な距離を表示します。使用環境（気象、渋滞など）や運転方法（急発進、エアコンの使用など）に応じて燃費がかわるため、実際に走行できる距離とは異なります。
- 燃料給油量が少量（約 5L 以下）のとき、表示が更新されないことがあります。この場合、燃料計の表示と共に更新することができます。（→P.56）

- “給油してください”と表示されたときは、燃料残量が少ないため、航続可能距離の計算ができません。その場合は、すみやかに給油してください。

**■ 燃料計と航続可能距離について**

燃料計と航続可能距離は連動しています。少量給油後に燃料計と航続可能距離の表示が更新されない場合、次の操作を行うことで表示を更新することができます。

- 1 車両を平坦な場所に停車させる

- 2 エンジンスイッチを OFF にする

- 3 メーター操作スイッチの OK を押したまま、エンジンスイッチを ON にする

- 4 そのまま約 5 秒間 OK を押し続け、オドメーターが点滅を開始したら手をはなす

オドメーターが約 5 秒間点滅したあと通常の表示にもどれば、更新は終了です。

**■ 外気温表示について**

- 外気温度を -40 ℃～60 ℃のあいだで表示します。

- 外気温度が約 3 ℃以下のときは、外気温表示の横に  が点滅し、その後点灯します。

- 次の場合は、正しい外気温が表示されなかったり、温度表示の更新が遅くなったりすることがあります。故障ではありません。

- ・ 停車しているときや、低速走行（約 20km/h 以下）のとき
- ・ 外気温が急激に変化したとき（車庫・トンネルの出入り口付近など）

- “--”または“E”が表示されたときは、

システム故障のおそれがあります。  
トヨタ販売店で点検を受けてください。

### ■液晶ディスプレイについて

→P.58

### ■カスタマイズ機能

マルチインフォメーションディスプレイ  
ので、計器類の表示を変更できます。  
(→P.61)

- 水温計の表示がHのレッドゾーンに入ったときや、マルチインフォメーションディスプレイに“エンジン冷却水高温 安全な場所に停車して取扱書を確認してください”が表示されたときは、オーバーヒートのおそれがあるので、ただちに安全な場所に停車してください。完全に冷えたあと、エンジンを確認してください。  
(→P.302)

## ⚠ 警告

### ■低温時の画面表示について

画面の温度が極めて低いときは、画面表示の切りかえが遅れる場合がありますので、車室内を暖めてからご使用ください。

例えばギヤ段表示を使用した場合、シフト操作をしてもすぐにギヤ段の表示が切りかわらないことで運転者がダウンシフトしなかったと誤解し、再度ダウンシフトすることによって急激に過度のエンジンブレーキがかかり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

## ⚠ 注意

### ■エンジンや構成部品への損傷を防ぐために

- タコメーターの針がレッドゾーン（エンジンの許容回転数をこえている範囲）に入らないようにしてください。

## メーターの照度を調整するには

- 1 メーター操作スイッチの↖または↙を押して、を選択する
- 2 メーター操作スイッチの↖または↗を押して、を選択する
- 3 メーター操作スイッチの↖または↗を押して、メーターの照度を選択する

## □ 知識

### ■メーターの照度について（昼照度と夜照度）

メーターの照度には昼照度と夜照度があり、それぞれの明るさのレベルを調整することができます。

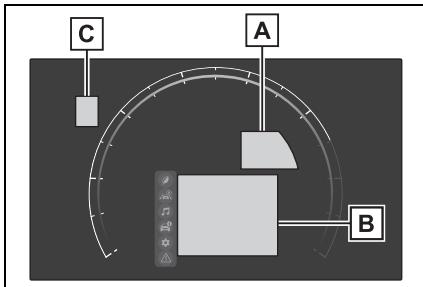
昼照度と夜照度は、次のときに切りかわります。

- 昼照度：周囲が明るいときに車幅灯が点灯しているとき、または車幅灯が消灯しているとき
- 夜照度：周囲が暗いときに車幅灯が点灯しているとき

## マルチインフォメーションディスプレイ

### ディスプレイの表示／メニューアイコン一覧

#### ■ ディスプレイの表示



#### A 走行支援システム表示エリア

以外のメニューアイコンを選択している時に次のシステムが作動していると、システムの作動状況を表示します。

- ・ LDA (レーンディビーチャーアラート)
- ・ レーダークルーズコントロール
- ・ クルーズコントロール

#### B コンテンツ表示エリア

メニューアイコンを選択し、走行に関するさまざまな情報を表示したり、車両設定を変更することができます。

また、状況に応じて注意喚起やアドバイスなどを割り込み表示します。

#### C RSA (ロードサインアシスト) 表示エリア ([→P.163](#))

#### ■ メニューアイコン

メーター操作スイッチの▲または▼を押すとメニューアイコンが表示されます。



走行情報表示 ([→P.59](#))



運転支援機能情報表示  
([→P.60](#))



オーディオシステム連携表示  
([→P.60](#))



車両情報表示 ([→P.60](#))



設定 ([→P.61](#))



警告メッセージ ([→P.279](#))



知識

#### ■ 液晶ディスプレイについて

ディスプレイに小さな斑点や光点が表示されることがあります。これは液晶ディスプレイ特有の現象でそのまま使用しても問題ありません。



#### 警告

##### ■ 運転中の使用について

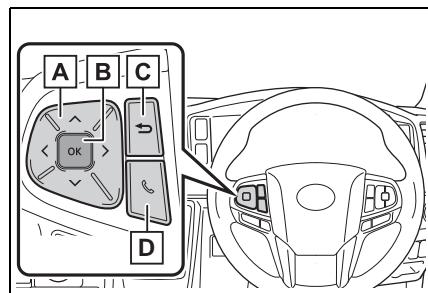
- マルチインフォメーションディスプレイを操作する時は、周囲の安全に十分注意してください。
- マルチインフォメーションディスプレイを見続けないでください。前方の歩行者、障害物などを見落とすおそれがあります。

##### ■ 低温時の画面表示について

[→P.57](#)

#### 表示を切りかえるには

メーター操作スイッチを使って次のように操作します。



**A** </> : 表示項目の切り替え・ページ送り・カーソル移動  
△/▽ : メニューの切り替え

**B** 短押し : 決定  
長押し : リセット／詳細項目表示  
**C** ひとつ前の画面にもどる  
**D** 電話の発着信・履歴表示

ハンズフリーシステムと連携して、発着信の表示や操作を行うことができます。  
ハンズフリーシステムに関しては別冊「マルチメディア取扱説明書」を参照してください。

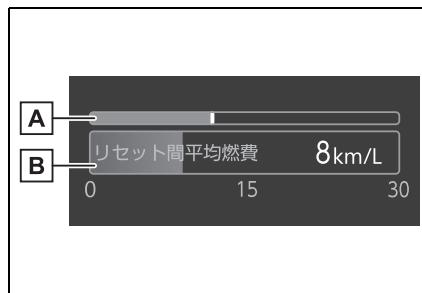
### 走行情報表示について

#### ■ 表示項目

- 燃費グラフ
- エコドライブインジケーター／航続可能距離

#### ■ 燃費グラフ

表示される数値は参考として利用してください。



#### A 瞬間燃費

現在の瞬間燃費を表示します。

#### B 平均燃費

始動後・リセット後・給油後のうち、いずれかの平均燃費を表示します。※1, 2, 3

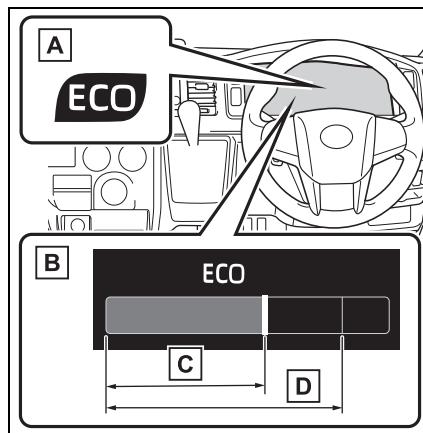
画面の“燃費グラフ”で選択した燃費が表示されます。(→P.61)

※<sup>1</sup>表示される燃費は参考として利用してください。

※<sup>2</sup>始動後平均燃費は、エンジンを始動するたびに、表示がリセットされます。

※<sup>3</sup>リセット後平均燃費の表示中にOKを押し続けると、リセットされます。

#### ■ エコドライブインジケーター



#### A エコドライブインジケーター

**ンプ**

環境に配慮した運転をしているとき、エコドライブインジケーターランプが点灯します。必要以上にアクセルペダルを踏んだときや停車中は消灯します。

**[B] エコドライブインジケーター  
ゾーン表示**

エコ運転の範囲と現状のアクセル開度を表示します。

**[C] 現状のアクセル開度**

現状のアクセル開度がエコ運転の範囲をこえたとき、エコドライブインジケーターゾーン表示の右側が点灯します。

このとき、エコドライブインジケーターランプは消灯します。

**[D] エコ運転の範囲**



**■ エコドライブインジケーターについて**

次の場合、エコドライブインジケーターは作動しません。

- シフトポジションが D 以外にあるとき
- 走行モードがパワーモードのとき
- 車速が約 130km/h 以上のとき

**オーディオシステム連携表示について**

オーディオシステムの作動状況をマルチインフォメーションディスプレイに表示できます。

**運転支援機能情報表示について**

**■ 走行支援システム連携表示**

次のシステムの作動状況を表示します。

- LDA（レーンディビーチャー）

ラート) (→P.158)

- レーダークルーズコントロール (→P.166)
- クルーズコントロール (→P.174)

**■ 車両情報表示について**

**■ ドライブインフォメーション**

「ドライブインフォ項目選択」の設定で選択した項目（平均車速・走行距離・走行時間）を上下に 2 つ、表示させることができます。

表示される情報は、参考としてご利用ください。

- ・ 平均車速：エンジン始動後の平均車速を表示 ※
- ・ 走行距離：エンジン始動後の走行距離を表示 ※
- ・ 走行時間：エンジン始動後の経過時間を表示 ※

※ エンジンを始動するたびに、表示がリセットされます。

**■ トリップインフォメーション**

「TRIP A 項目選択」「TRIP B 項目選択」の設定で選択した項目（平均車速・走行距離・走行時間）を上下に 2 つ、表示させることができます。

表示される情報は、参考としてご利用ください。

- ・ 平均車速：リセット後の平均車速を表示 ※
- ・ 走行距離：リセット後の走行距離を表示 ※
- ・ 走行時間：リセット後の経過時間を表示 ※

※ OK を押し続けると、表示がリセットされます。

### AdBlue® 残量表示（ディーゼル車）

AdBlue® の残量を表示します。  
(→P.238)



### 設定について

#### ■ 設定変更のしかた

- 1 メーター操作スイッチの ▲ または ▼ を押して を選択する
- 2 メーター操作スイッチの < または > を押して、設定を変更したい項目の位置にカーソルを移動する

機能の ON / OFF やブザー音量などを設定する項目では、OK を押すたびに機能の ON / OFF、または調整値が切りかわります。

機能の作動内容を変更できる項目では、OK を押し続けることで、設定画面を表示できます。設定画面が表示されたら、メーター操作スイッチを操作して、いずれかの設定を選択、または時間などを希望の値に設定します。

- 3 設定が完了したら、メーター操作スイッチの を押す

#### ■ 変更できる項目（メーター表示）

##### ● 言語

表示される言語を選択することができます。

##### ● 単位

燃費単位を選択することができます。

##### ● メーターデザイン

メーター表示のデザインを選択することができます。

##### ● アナログメーター切りかえ

アナログメーター (→P.55) に表示する項目を選択することができます。

##### ● エコドライブインジケーターランプ

エコドライブインジケーターランプの作動・非作動を切りかえることができます。



- ・ 燃費グラフ

平均燃費の表示を始動後／リセット間／給油後から選択することができます。  
(→P.59)



オーディオ画面の表示・非表示を変更することができます。



- ・ ドライブインフォタイプ

始動後／リセット後から選択することができます。

##### ・ ドライブインフォ項目

1 行目と 2 行目の項目を別々に、平均車速／走行距離／走行時間から選択することができます。

##### ● 割り込み表示

割り込み表示される項目の表示・非表示を、項目ごとに変更することができます。

### ● マルチインフォメーションディスプレイの消灯

マルチインフォメーションディスプレイの表示をオフにすることができます。

再度表示させるには  $\wedge/\vee/\leftarrow/\rightarrow$

$\times/\text{OK}/\leftarrow$  のいずれかのスイッチを押してください。

### ● 初期化

メーターの表示設定をもとにもどすことができます。

### ■ 変更できる項目（機能の切り替え・車両設定）

→P.313



### ■ 設定画面の操作について

● 一部の項目を除き、車両走行中は設定画面を操作することができません。設定を変更するときは、安全な場所に停車して操作してください。

● 警告メッセージが表示されたときは、設定画面の操作が一時中断されます。

● 車両に装着されていない機能の設定項目は表示されません。

● 設定変更の対象となる機能が OFF になっているときは、関連する設定項目も選択不可になります。



### 警告

#### ■ ディスプレイの設定を変更するとき

エンジンがかかった状態で操作を行う場合、車庫内など囲まれた場所では、十分に換気をしてください。換気をしないと、排気ガスが充満し、排気ガスに含まれる一酸化炭素（CO）により、重大な健康障害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。



### 注意

#### ■ ディスプレイの設定を変更するとき

バッテリー上がりを起こす可能性がありますので、確実にエンジンがかかっている状態で実施してください。

### 警告メッセージ表示画面について

車両に異常が発生した場合に、内容・対処法などのメッセージを表示します。（→P.279）

### 提案サービス機能

状況に応じて運転者に提案メッセージを表示する機能です。提案メッセージが表示されたときにメーター操作スイッチを操作することで、提案された内容を直接操作することができます。

#### ■ ヘッドライト消灯提案

エンジンスイッチを OFF にしたあとにヘッドライトを点灯したましまばらく車内にいると、ヘッドライトの消灯を提案するメッセージを表示します。

## □ 知識

### ■ カスタマイズ機能

提案サービス機能の作動／非作動を変更できます。(カスタマイズ一覧: →P.314)

## 燃費画面

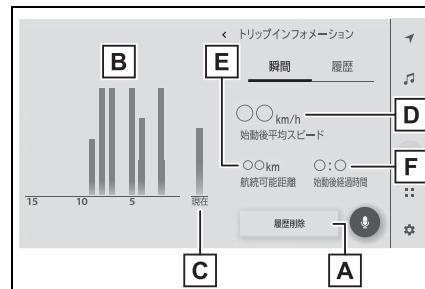
燃費に関する情報をマルチメディアディアディスプレイに表示します。

## 瞬間燃費画面の見方

### ■ 表示のしかた

- 1 メインメニューの を選択する
- 2 “トリップインフォメーション” を選択する
- 3 “瞬間” を選択する

### ■ 表示について



**A** 履歴削除

**B** 過去 15 分間の 1 分ごとの燃費  
(平均燃費)

**C** 瞬間燃費

**D** エンジン始動後平均車速

**E** 航続可能距離

**F** エンジン始動後経過時間

表示される平均燃費は、参考として利用してください。

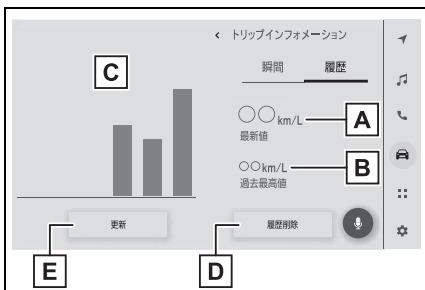
表示画面については実際の状況とわずかに異なる場合があります。

## 燃費履歴画面の見方

### ■ 表示のしかた

- 1 メインメニューの  を選択する
- 2 “トリップインフォメーション” を選択する
- 3 “履歴” を選択する

### ■ 表示について



**A** 最新値表示

**B** 過去最高値表示

**C** 過去平均燃費表示

**D** 履歴削除

**E** 最新値更新

表示される平均燃費は、参考として利用してください。

表示画面については実際の状況とわずかに異なる場合があります。

### □ 知識

#### ■ 過去の区間平均燃費の記録を更新するには

燃費履歴画面で “更新” を選択すると、平均燃費の値とグラフが更新され、新たに平均燃費の記録を開始します。

#### ■ 燃費データをリセットするには

“履歴削除” を選択すると、燃費データ

がリセットされます。

#### ■ 音声対話サービスでの操作について★

★ : グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

音声対話サービスを使用して、燃費や航続可能距離などの情報を確認することができます。

音声対話サービスについては、別冊「マルチメディア取扱説明書」を参照してください。

#### ■ 航続可能距離について

現在の燃料残量で走行できるおよその距離を示します。

表示される距離は、過去の平均燃費をもとに算出されるため、表示される距離を実際に走行できるとは限りません。

## 3-1. キー

キー	66
----	----

## 3-2. ドアの開閉、ロックのしかた

フロントドア	69
スライドドア	72
バックドア	80
スマートエントリー&スタートシステム	84

## 3-3. シートの調整

フロントシート	89
リヤシート	90
ヘッドレスト	92

## 3-4. ハンドル位置・ミラー・アンテナ

ハンドル	94
インナーミラー	95
デジタルインナーミラー	96
アウターミラー	105
アンテナ	106

## 3-5. ドアガラス・スライド式リヤサイドガラスの開閉

パワーウィンドウ	107
スライド式リヤサイドガラス	109

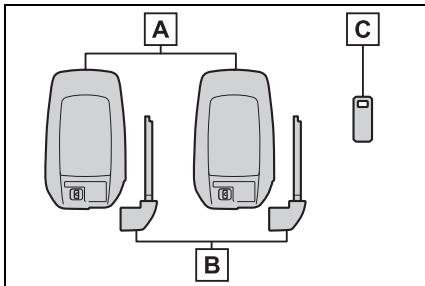
## 3-6. お好み設定

マイセッティング	110
----------	-----

## キー

### キーの種類

お客様へ次のキーをお渡しします。



#### A 電子キー

- ・スマートエントリー&スタートシステムの作動（→P.84）
- ・ワイヤレス機能の作動（→P.68）

#### B メカニカルキー

#### C キーナンバープレート

### □ 知識

#### ■キーの構成について

車の仕様により、ここで説明している内容とキーの枚数・組み合わせが異なる場合があります。

#### ■航空機に乗るとき

航空機に電子キーを持ち込む場合は、航空機内で電子キーのスイッチを押さないでください。また、かばんなどに保管する場合でも、簡単にスイッチが押されないように保管してください。スイッチが押されると電波が発信され、航空機の運行に支障をおよぼすことがあります。

#### ■電池の消耗について

- 電池の標準的な寿命は1～2年です。
- 電池残量が少なくなると、エンジンを停止した際に車内から警告音が鳴りま

す。

●長期間使用しない電子キーは、節電モードにすることで電池の消耗を抑えることができます。（→P.85）

●電子キーは常に電波を受信しているため、使用していないあいだでも電池が消耗します。次のような状態になったときは、電池が消耗している可能性があります。新しい電池に交換してください。（→P.247）

- ・スマートエントリー&スタートシステムやワイヤレスリモコンが作動しない
- ・作動範囲が狭くなった
- ・電子キーのLEDが点灯しない

電池はお客様自身で交換することができます（→P.247）が、交換の際にキーが破損するおそれがあるため、トヨタ販売店での交換をおすすめします。

●電池の著しい消耗を防ぐため、次のような磁気を発生する電化製品の1m以内に電子キーを保管しないでください。

- ・TV
- ・パソコン
- ・携帯電話やコードレス電話機、および充電器
- ・電気スタンド
- ・電磁調理器

#### ■電子キーの状態や、エンジンスイッチのモードに関するメッセージが表示されたとき

車内への電子キーの閉じ込みや、同乗者による電子キーの持ち出し、電源の切り忘れなどを防止するため、電子キーやエンジンスイッチなどの状態の確認をうながすメッセージがマルチインフォメーションディスプレイに表示されることがあります。その場合は、表示内容に従ってすみやかに対処してください。

■マルチインフォメーションディスプレイに“キーの電池残量が少なくなっています 電池を交換してください”が表示されたとき

電子キーの電池残量が少なくなっています。新しい電池と交換してください。  
(→P.247)

■電子キーの取り扱いについて

■電池の交換方法

→P.247

■キー登録本数の確認について

車両に登録されたキーの本数を確認することができます。詳しくはトヨタ販売店へご相談ください。

JP

電子キーは電波法の認証に適合しています。  
必ず以下のことをお守り下さい。

- ・電池交換時以外は、不用意に分解しないで下さい。分解、改造したものを使用することは法律で禁止されています。
- ・必ず日本国内でご使用下さい。

3

00

JP

ワイヤレスドアロックリモコンは電波法の認証に適合しています。  
必ず以下のことをお守り下さい。

- ・電池交換時以外は、不用意に分解しないで下さい。分解、改造したものを使用することは法律で禁止されています。
- ・必ず日本国内でご使用下さい。

運転する前に

01

■マルチインフォメーションディスプレイに“新しいキーが登録されました 詳しくは販売店に問い合わせください”と表示されたとき

追加で新しく電子キーが登録された場合、車外から解錠して運転席ドアを開けたときにメッセージが表示されることが10日ほど続きます。電子キーの登録をした覚えがないにも関わらずメッセージが表示されたときは、お持ちの電子キー以外に登録されている電子キーがないかをトヨタ販売店で確認してください。



注意

■キーの故障を防ぐために

- 落としたり、強い衝撃を与えたり、曲げたりしない
- 温度の高いところに長時間放置しない
- ぬらしたり超音波洗浄器などで洗つたりしない
- キーに金属製または磁気を帯びた製品を取り付けたり、近付けたりしない
- 分解しない

**⚠ 注意**

- 電子キー表面にシールなどを貼らない
- テレビやオーディオ・電磁調理器などの磁気を帯びた製品の近くに置かない
- 電気医療機器（マイクロ波治療機器や低周波治療機器など）の近くに置いていたり、身に付けたまま治療を受けない

**■ キーを携帯するとき**

電源を入れた状態の電化製品とは10cm以上離して携帯してください。10cm以内にあると電化製品の電波と干渉し正常に機能しない場合があります。

**■ スマートエントリー＆スタートシステムの故障などで販売店に車両を持っていくとき**

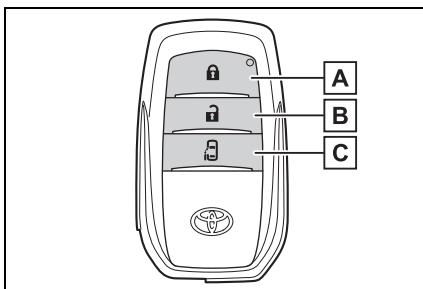
→P.296

**■ 電子キーを紛失したとき**

→P.296

**ワイヤレス機能について**

キーには次のワイヤレス機能が装備されています。



**A** 全ドアを施錠する (→P.69)

**B** 全ドアを解錠する (→P.69)

**C** パワースライドドア★を開閉する (→P.73)

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

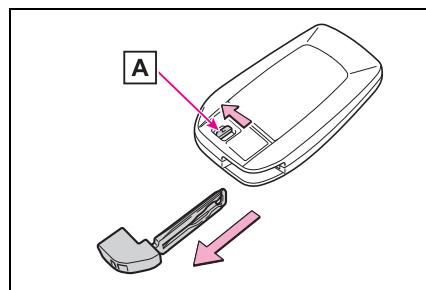
**メカニカルキーを使うには**

メカニカルキーを取り出すには、解除レバー**A**をスライドさせてキーを取り出す

メカニカルキーは挿し込み方向に指定のある片溝キーです。キーシリンダーに挿し込めないときは、キー溝面の向きをかえて挿し込んでください。

使用後はもとにもどし、電子キーと一緒に携帯してください。電子キーの電池が切れたときやスマートエントリー＆スタートシステムが正常に作動しないとき、メカニカルキーが必要になります。

(→P.296)



**□ 知識**

**■ キーまたはメカニカルキーを紛失したとき**

→P.296

**■ 不正キーの使用について**

指定のメカニカルキー以外のキーを使用すると、キーシリンダーが空まわりして解錠できません。

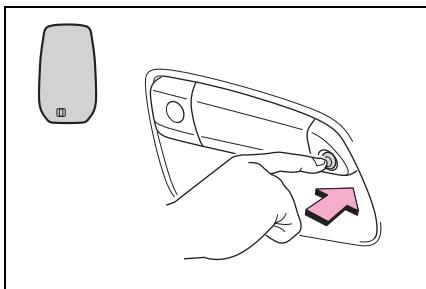
## フロントドア

スマートエントリー＆スタートシステムやワイヤレスリモコン・ドアロックスイッチ・ロックレバーを使って施錠・解錠できます。

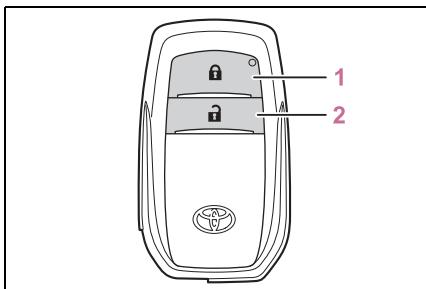
### 車外から解錠／施錠するには

#### ■ スマートエントリー＆スタートシステムを使用する

電子キーを携帯し、ロック／アンロックスイッチを押して施錠・解錠します。



#### ■ ワイヤレス機能を使用する



**1 全ドアを施錠する**  
必ず施錠されたことを確認してください。

**2 全ドアを解錠する**

## 知識

### ■ 衝撃感知ドアロック解除システム

車両が前後左右から強い衝撃を受けると、すべてのドアが解錠されます。衝撃の度合いや事故の状況によっては作動しないことがあります。

### ■ 作動の合図

スマートエントリー＆スタートシステムまたはワイヤレスリモコンでのドアの施錠・解錠を、ブザーと非常点滅灯の点滅で知らせます。(施錠は1回、解錠は2回)

### ■ 解錠操作のセキュリティ機能

スマートエントリー＆スタートシステムまたはワイヤレスリモコンでの解錠操作後、約30秒以内にドアを開けなかったときは、盗難防止のため自動的に施錠されます。

### ■ 半ドア警告ブザー

ドアが完全に閉まっていない状態でドアを施錠しようとすると、ブザーが鳴ります。

ドアを完全に閉めてから、もう一度施錠してください。

### ■ スマートエントリー＆スタートシステムやワイヤレスリモコンが正常に働かないおそれのある状況

→P.86

### ■ スマートエントリー＆スタートシステムやワイヤレスリモコンが正常に作動しないとき

- メカニカルキーを使ってドアの施錠・解錠ができます。(→P.296)

- 電子キーの電池が消耗しているときは、電池を交換してください。(→P.247)

### ■ バッテリーがあがったとき

スマートエントリー＆スタートシステムでドアを施錠・解錠することはできませ

ん。

メカニカルキーを使ってドアの施錠・解錠をしてください。(→P.296)



### 警告

#### ■事故を防ぐために

運転中は次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、不意にドアが開き車外に放り出されるなど、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- すべてのドアを確実に閉め、施錠する

- 走行中はドア内側のドアハンドルを引かない

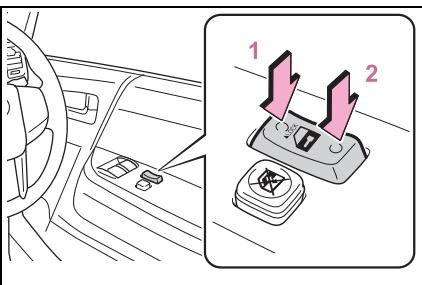
特に、運転席はロックレバーが施錠側になっていてもドアが開くため、注意してください。

#### ■ドアを開閉するときの留意事項

傾斜した場所・ドアと壁などのあいだが狭い場所・強風など、周囲の状況を確認し、予期せぬ動きにも対処できるよう、ドアハンドルを確実に保持してドアを開閉してください。

### 車内から施錠／解錠するには

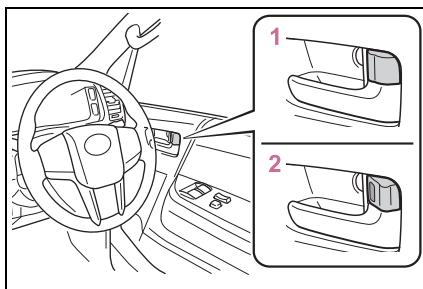
#### ■ドアロックスイッチを使用する



**1** 全ドアを施錠する

**2** 全ドアを解錠する

#### ■ロックレバーを使用する



**1** ドアを施錠する

**2** ドアを解錠する

運転席ドアは、ロックレバーが施錠側になっていても、車内のドアハンドルを引くと開けられます。



### 知識

#### ■キーを使わずに外側からフロント席を施錠するとき

1 ロックレバーを施錠側にする

2 ドアハンドルを引いたままドアを閉める

エンジンスイッチが ACC または ON のときや、車内に電子キーが放置されているときは施錠されません。ただし、キーが正しく検知されずに施錠される場合があります。

#### ■半ドア走行時警告ブザー

いずれかのドアが確実に閉まっていない状態のまま、車速が約 5km/h をこえると警告ブザーが鳴ります。

開いているドアがマルチインフォメーションディスプレイに表示されます。

### オートドアロック・アンロック機能

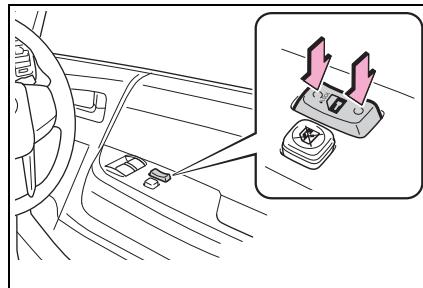
次の機能を設定・解除することができます。

設定変更のしかたについては、P.71 を

参考してください。

機能	作動内容
車速感応オートドアロック	速度が約 20km/h 以上になると全ドアが施錠されます。
シフト操作連動ドアロック	エンジン回転中にシフトレバーを P 以外にしたとき全ドアが施錠されます。
シフト操作連動アンロック	シフトレバーを P にしたとき全ドアが解錠されます。
運転席ドア開運動アンロック	エンジンスイッチを OFF にしてから約 43 秒以内に運転席ドアを開けると全ドアが解錠されます。

す。



機能	シフトレバーの位置	ドアロックスイッチの位置
シフト操作連動ドアロック	P	LOCK
シフト操作連動アンロック		UNLOCK
車速感応オートドアロック	N	LOCK
運転席ドア開運動アンロック		UNLOCK

## 設定・解除のしかた

次の手順で、各機能の設定と解除が交互に切り替わります。

- 1 すべてのドアを閉め、エンジンスイッチを ON にする（その後 10 秒以内に 2 を行う）
- 2 シフトレバーを P または N に入れ、ドアロックスイッチの LOCK 側または UNLOCK 側を約 5 秒間押して離す

設定を行う機能によってシフトレバーとスイッチの位置を次の表から選択します。

機能を解除するには、同じ手順を行いま

## スライドドア

スライドドアは次の方法で解錠・施錠および開閉することができます。

### ⚠ 警告

#### ■走行中の留意事項

走行中は次のことをお守りください。  
お守りいただかないと思いもよらずドアが開き、外に投げ出されるなどして、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- すべてのドアを確実に閉める
- すべてのドアを施錠する
- シートベルトを必ず着用する
- 走行中はインサイドドアハンドルを操作しない

#### ■お子さまを乗せているときは

次のことをお守りください。  
お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- お子さまを車内に残さないでください。

誤って閉じ込められた場合、熱射病などを引き起こすおそれがあります。

- お子さまにはスライドドアの開閉操作をさせないでください。

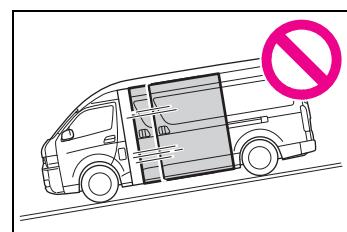
不意にスライドドアが動いたり、閉めるときに手・頭・首などを挟んだりするおそれがあります。

#### ■スライドドアの操作にあたって

次のことを必ずお守りください。

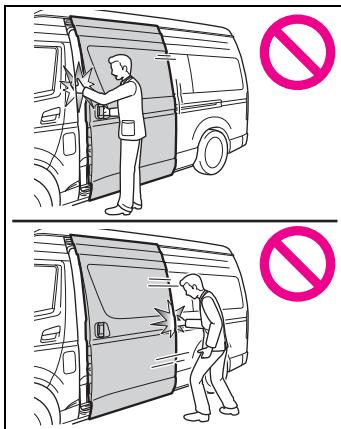
お守りいただかないと、体を挟むなどして重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- 乗り降りするときは、スライドドアが全開位置であることを確認してください。
- スライドドアを開閉するときは、十分に周囲の安全を確かめてください。
- スライド式リヤサイドガラス★を開けた状態でスライドドアを開閉するときは、窓から手・足・顔などを出さないでください。
- 人がいるときは安全を確認し、動かすことを知らせる「声かけ」をしてください。
- スライドドアを開けるときは、必ず全開位置まで開き固定してください。(全開にするとスライドドアがストッパーで固定されます) 半開状態ではスライドドアが確実に固定されないため、傾斜地などで不意に動き出すおそれがあります。
- 車内からスライドドアにもたれかからないでください。スライドドアを開いたとき、車外へ落ちるなど思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 傾斜した場所ではスライドドアの開閉スピードが速くなります。スライドドアにあたったり挟んだりしないように注意してください。

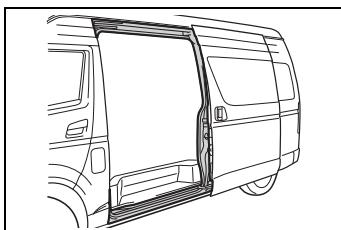


## ⚠ 警告

- 下り坂で乗り降りするときは、スライドドアを全開にしておいてください。また、途中でドアハンドルやドアハンドルスイッチを操作しないでください。スライドドアが突然動き出すことがあります。
- スライドドアを閉めるときは、指などを挟まないよう十分注意してください。



- スライドドアのアーム、レール、ピラー部および配線部には、手足をかけないでください。



★ : グレード、オプションなどにより、  
装備の有無があります。

## 車外から解錠／施錠するには

### ■ ワイヤレス機能を使用する

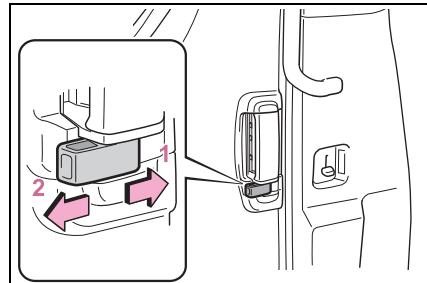
→P.69

## 車内から解錠／施錠するには

### ■ ドアロックスイッチを使用する

→P.70

### ■ ロックレバーを使用する



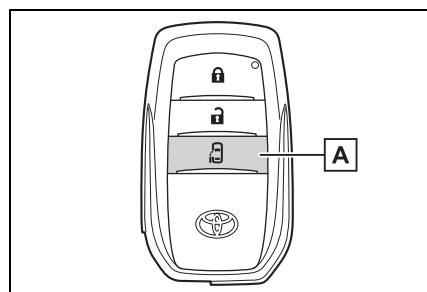
1 ドアを施錠する

2 ドアを解錠する

車外から施錠するときは、ロックレバーを施錠側にしてスライドドアを閉じます。

## スライドドアの自動開閉（パワースライドドア装着車）

### ■ ワイヤレス機能を使用する



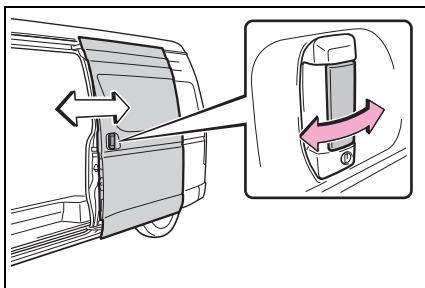
A パワースライドドアを開閉する  
(押し続ける)

開閉作動中に再度スイッチを押すと、反転作動します。

ただし、作動開始から約1秒間は反転作動に切りかわりません。

### ■ アウトサイドドアハンドルを使用する

パワースライドドアメインスイッチ（→P.75）がONのとき、アウトサイドドアハンドルを操作するとパワースライドドアが自動で全開または、全閉になります。

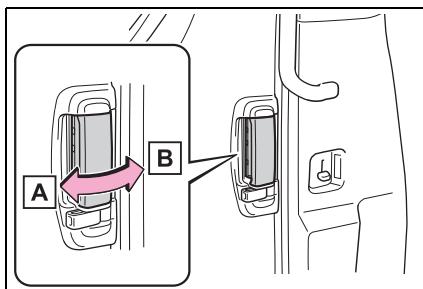


スライドドアを解錠してから操作してください。

開閉作動中、ドアハンドルを逆方向に操作すると、反転作動します。ただし、作動開始から約1秒間は反転作動に切りかわりません。

### ■ インサイドドアハンドルを使用する

パワースライドドアメインスイッチ（→P.75）がONのとき、インサイドドアハンドルを操作するとパワースライドドアが自動で全開または、全閉になります。



開閉作動中、ドアハンドルを逆方向に操作すると、反転作動します。ただし、作動開始から約1秒間は反転作動に切りかわりません。

#### A 開ける

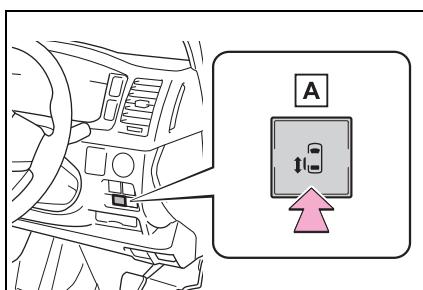
スライドドアを解錠してから操作してください。

#### B 閉める

### ■ パワースライドドア開閉スイッチを使用する

スイッチを約1秒押す

スライドドアを解錠してから操作してください。



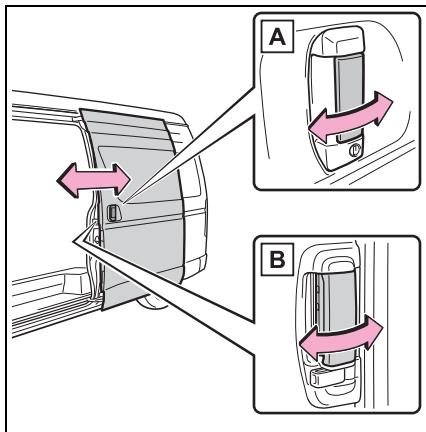
#### A パワースライドドア開閉スイッチ

開閉作動中に再度スイッチを押すと、反転作動します。

ただし、作動開始から約1秒間は反転作動に切りかわりません。

## スライドドアの手動開閉

パワースライドドアメインスイッチ（→P.75）がOFFのとき、車外のアウトサイドドアハンドル、または車内のインサイドドアハンドルを操作します。



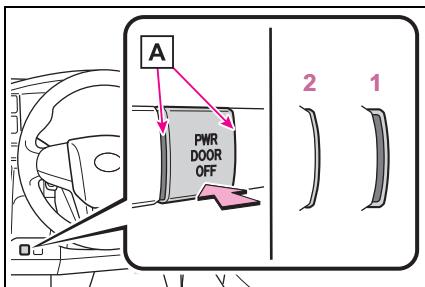
**A** アウトサイドドアハンドル

**B** インサイドドアハンドル

## パワースライドドア★の機能を停止するには

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

パワースライドドアメインスイッチをOFFにしてパワースライドドアの機能を停止します。



## 1 ON\*

パワースライドドアをワイヤレスリモコン／アウトサイドドアハンドル／インサイドドアハンドル／パワースライドドア開閉スイッチの操作により、自動で開閉できます。

## 2 OFF

スライドドアを手動でのみ開閉できます。

\* ON にすると、スイッチ左右部にオレンジ色**A**のマークが表れます。

### □ 知識

#### ■ スライドドアイージークローザー★

スライドドアが半ドア状態になったとき、スライドドアイージークローザーが作動し、スライドドアが自動で完全に閉まります。

- エンジンスイッチの位置、またはモードに関係なく、スライドドアイージークローザーは作動します。
- パワースライドドア装着車：パワースライドドアメインスイッチがOFFのときでも作動します。
- アウトサイドドアハンドルまたはインサイドドアハンドルを操作したままドアを閉めたときは、スライドドアイージークローザーが作動しないことがあります。
- スライドドアイージークローザーが作動中でもアウトサイドドアハンドルまたはインサイドドアハンドルを操作してドアを開けることができます。（ロックリバーベーが施錠側のときを除く）

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

#### ■ 作動の合図（パワースライドドア使用時）

ブザーで知らせます。（作動開始時に1回、閉作動中は継続）

### ■パワースライドドア★の作動可能条件

次の作動条件をすべて満たしているときに、自動で開閉できます。

- パワースライドドアメインスイッチがONのとき
- スライドドアのドアロックが解錠されている（閉作動を除く）

エンジンスイッチがONのときは上記に加え、車速が3km/h以下かつ次のいずれかの条件を満たしていることが必要です。ただし、ワイヤレスリモコンによる開閉はできません。

- シフトレバーの位置がPのとき
  - パーキングブレーキがかかっているとき
  - ブレーキペダルを踏んでいるとき
  - 作動条件を満たしていても、エンジンスイッチがONのときは、ワイヤレスリモコンで開閉することはできません。
- ★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

### ■パワースライドドア★の作動について

- パワースライドドアメインスイッチがOFFのときは、手動でのみ開閉できます。

●パワースライドドアの自動開閉中に、人や異物などにより異常を感じると、ブザーが鳴り、その位置から反転作動します（連続して2回異常を感じると、ブザーが鳴り、自動開閉できなくなります）。

ただし、自動で開けているときに全開位置から約20cm手前の範囲で異常を感じた場合は、その位置で作動を停止します。

その場合は、パワースライドドアメインスイッチをOFFにし、スライドドアをいったん手動で全閉、または全開にしてから、操作し直してください。

- パワースライドドアの自動開閉中に反

転操作をすると、連続2回まで反転作動し、3回目は反転作動を停止します。その場合は、パワースライドドアメインスイッチをOFFにし、スライドドアをいったん手動で全閉、または全開にしてから、操作し直してください。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

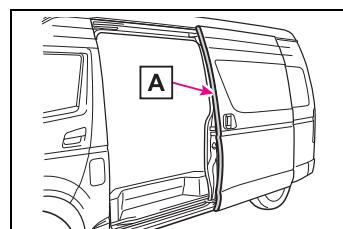
### ■バッテリー端子を脱着したとき

パワースライドドア★を適切に作動させるために、初期設定が必要です。アウトサイドドアハンドルまたはインサイドドアハンドルを使用して、スライドドアを手動で一度全閉にしてください。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

### ■挟み込み防止機構（パワースライドドア装着車）

パワースライドドアの前端部には、センサーAが付いています。ドアを自動で閉めているときに、センサーが異物の挟み込みなどを感知すると、スライドドアが反転作動し、全開位置で自動停止します。



### ■リヤシートリマインダー機能

リヤシートへの荷物の置き忘れなどを防止するため、次の操作を行ってからエンジンスイッチをOFFにするとブザーが鳴り、約6秒間マルチインフォメーションディスプレイにメッセージが表示されます。

また、ドアを施錠したときにマルチインフォメーションディスプレイにメッセージが表示され、ブザーと非常点滅灯が数

秒作動します。

エンジンスイッチを OFF にしてからスライドドアを開けた場合は、ドアを施錠してもリヤシートリマインダー機能は作動しません。

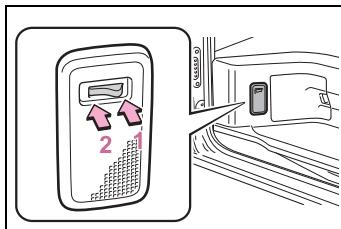
- スライドドアを開閉したあと約10分以内にエンジンを始動した
- エンジンがかかっている状態でスライドドアを開閉した

ただし、スライドドアを開けてから約2秒以内にスライドドアを閉めたときは、リヤシートリマインダー機能は作動しません。

リヤシートリマインダー機能は、スライドドアの開閉によりリヤシートに荷物などを載せたと判断します。そのため、使い方によってはリヤシートに荷物を置き忘れていてもリヤシートリマインダー機能が作動しないなど、実際の状況とは異なる作動をする場合があります。

### ■スライドドアステップランプ

スイッチを ON にしておくと、スライドドアまたはバックドアを開けたときに点灯します。



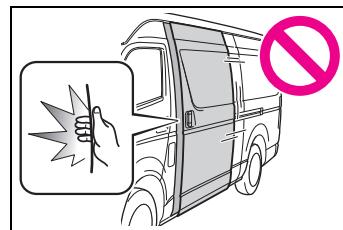
1 ON

2 OFF

### ⚠️ 警告

#### ■スライドドアイージークローザー★について

- スライドドアが半ドア状態になったとき、スライドドアイージークローザーが動き自動で完全に閉まります。また、作動し始めるまでに数秒かかります。指などを挟まないように注意してください。骨折など重大な傷害を受けるおそれがあります。  
(→P.75)



- スライドドアイージークローザーは、パワースライドドアメインスイッチ★が OFF であっても作動するため、指などの挟み込みには十分注意してください。

- ロックレバーが施錠側のとき、スライドドアイージークローザー作動中にインサイドドアハンドルを操作しても作動は停止しません。指などを挟まれないように注意してください。骨折など重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

## ⚠ 警告

### ■パワースライドドア★について

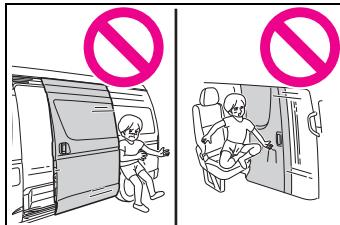
パワースライドドアの操作時は、次のことを必ずお守りください。お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- パワースライドドア作動中に乗り降りしないでください。



- アウトサイドドアハンドルまたはインサイドドアハンドルを使ってパワースライドドアを開閉するときは、操作後すぐにドアハンドルから手を離してください。ドアハンドルを握ったままスライドドアが作動すると、手・指・腕などに無理な力がかかるおそれがあるので十分注意してください。
- 周辺の安全を確かめ、障害物がないか、身のまわりの品が挟み込まれる危険がないか確認してください。

- 人がいるときは、作動させる前に安全を確認し、動かすことを知らせる「声かけ」をしてください。また、車外および車内のスライドドア付近にもたれている人がいるときは、パワースライドドアを作動させないでください。



- 自動開閉中にパワースライドドアメインスイッチをOFFにすると、作動が停止し手動操作に切りかわります。この場合、傾斜した場所では、スライドドアが急に開いたり閉じたりするおそれがあるので、十分注意してください。
- 傾斜した場所では、開いたあとにドアが閉まる場合があります。ドアは必ず全開で静止していることを確認してください。
- 次のような場合、システムが異常と判断し自動動作が停止することがあります。手動作動に切り替わり、急にスライドドアが閉まるなどして思わぬ事故につながるおそれがあるので、十分に注意してください。
  - ・自動動作中、障害物に干渉したとき
  - ・エンジン停止時でパワースライドドアが自動動作しているときに、エンジンスイッチをONにしたりエンジンを始動したりして、バッテリー電圧が急に低下したとき

## ⚠ 警告

- タイヤ交換時や洗浄機を使用する際は、パワースライドドアメインスイッチをOFFにしてください。OFFにしないと誤ってスイッチにぶれたときにスライドドアが動き、手・頭・首などを挟んだりするおそれがあります。

★ : グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

### ■ 挟み込み防止機能（パワースライドドア装着車）

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- 挟み込み防止機構を故意に作動させようとして、体の一部を挟んだりしないでください。
- 挟み込み防止機能は、スライドドアが完全に閉まる直前に異物を挟むと作動しない場合があります。指などを挟まないように注意してください。
- 挟み込み防止機能は、挟まれるもののが形状や挟まれ方によっては作動しない場合があります。指などを挟まないように注意してください。

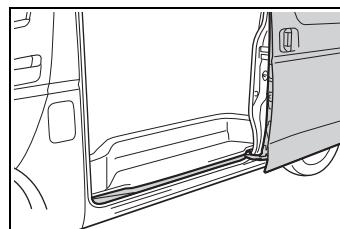
## ⚠ 注意

### ■ スライドドアについて

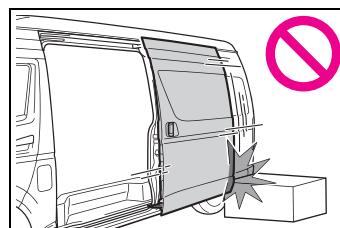
- スライドドアを開閉する前に、運転者はスライドドアが安全に開閉できるように車外および車内のスライドドア付近の状態を必ず確認してください。

- 走行するときやドアを開閉するときは、ジュースなどが入っている紙コップやガラス製のコップなどをスライドドア内側のボトルホルダー(→P.221)に収納しないでください。

- スライドドアのリヤステップ下のローラー滑走面に、石などの異物が入り込まないように注意してください。異物が入り込んだままスライドドアを開閉すると、スライドドアの故障の原因になります。



- スライドドアを開けるときは縁石や壁などにあたらないように注意してください。スライドドアを損傷するおそれがあります。



### ■ スライドドアイージークローザー★について

- スライドドアイージークローザーの作動中は無理な力をかけないでください。

### ⚠ 注意

- ドアの開け閉めを短時間にくり返すとスライドアイージークローザーが作動しないことがあります。この場合、一度ドアを開け、少し時間をおいてから閉め直すと作動します。

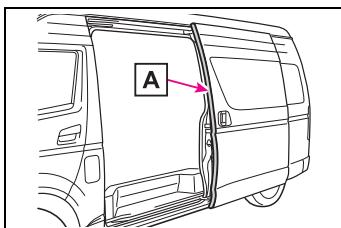
★ : グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

#### ■ パワースライドドア★について

パワースライドドア前端部のセンサー

**A** を刃物などの鋭利なもので傷付けないよう注意してください。

センサーが切断されると自動で閉めることができなくなります。



★ : グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

### バックドア

バックドアは次の方法で施錠・解錠および開閉することができます。

### ⚠ 警告

次のことを必ずお守りください。  
お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

#### ■ 走行する前に

- 走行前にバックドアが閉まっていることを確認してください。  
完全に閉まっていないと走行中に突然開き、車外のものにあたったり、荷物が投げ出されたりして思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ラゲージスペース、またはシートをスペースアップした場所 ※ でお子さまを遊ばせないでください。  
誤って閉じ込められた場合、熱射病などを引き起こすおそれがあります。
- お子さまにはバックドアの開閉操作をさせないでください。  
不意にバックドアが開いたり、閉めるときに手・頭・首などを挟んだりするおそれがあります。

※ スペースアップシート装着車のみ

#### ■ 走行中の留意事項

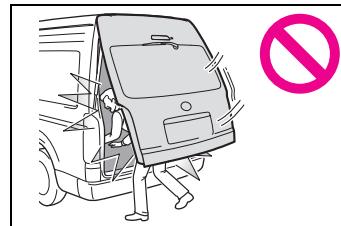
- 走行中はバックドアを閉めてください。  
開けたまま走行すると、バックドアが車外のものにあたったり荷物が投げ出されたりして、思わぬ事故につながるおそれがあります。

## ⚠ 警告

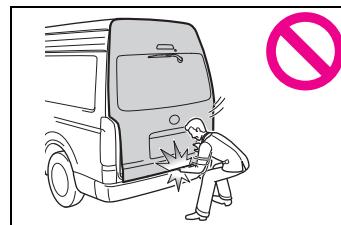
- ラゲージスペース、またはシートをスペースアップした場所<sup>※</sup>には絶対に人を乗せないでください。  
急ブレーキ・急旋回をかけたときや衝突したときなどに、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- 走行中は車内のバックドアハンドルを操作しないでください。  
バックドアが開き車外に放り出されたりして、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- ※ スペースアップシート装着車のみ
- バックドアの操作にあたって**
- 次のことを必ずお守りください。  
お守りいただかないと、体を挟むなどして重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- バックドアを開ける前に、バックドアに貼り付いた雪や氷などの重量物を取り除いてください。開いたあとに重みでバックドアが突然閉じるおそれがあります。
- バックドアを開閉するときは、十分に周囲の安全を確かめてください。
- 人がいるときは、安全を確認し、動かすことを知らせる「声かけ」をしてください。
- 強風時の開閉には十分注意してください。  
バックドアが風にあおられ、勢いよく開いたり閉じたりするおそれがあります。

- 半開状態で使用すると、バックドアが突然閉じて重大な傷害を受けるおそれがあります。

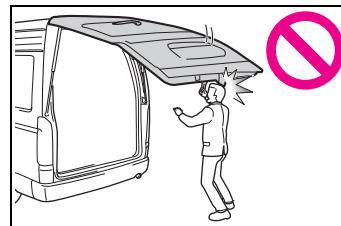
特に傾斜した場所では、平坦な場所よりもバックドアの開閉がしにくく、急にバックドアが開いたり閉じたりするおそれがあります。必ずバックドアが全開で静止していることを確認して使用してください。



- バックドアを閉めるときは、指などを挟まないよう十分注意してください。



- バックドアは必ず外から軽く押して閉めてください。バックドアストラップで直接バックドアを閉めると、頭をぶつけたり手や腕を挟むおそれがあります。



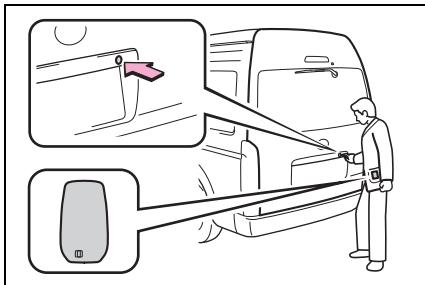
## ⚠️ 警告

- バックドアダンパーステー  
(→P.83) を持ってバックドアを閉めたり、ぶら下がったりしないでください。手を挟んだり、バックドアダンパーステーが破損したりして、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- バックドアにキャリアなどの重いものを取り付けると、開けたあとにドアが突然閉じて、手・頭・首などを挟むおそれがあります。バックドアへのアクセサリー用品の取り付けは、トヨタ純正品を使用することをおすすめします。

## 車外から施錠／解錠するには

### ■ スマートエントリー＆スタートシステムを使用する

電子キーを携帯し、ロック／アンロックスイッチを押して施錠・解錠する



### ■ ワイヤレス機能を使用する

→P.69



### ■ 作動の合図

スマートエントリー＆スタートシステムまたはワイヤレスリモコンでのドアの施錠・解錠を、ブザーと非常点滅灯の点滅

で知らせます。(施錠は1回、解錠は2回)

### ■ 解錠操作のセキュリティ機能

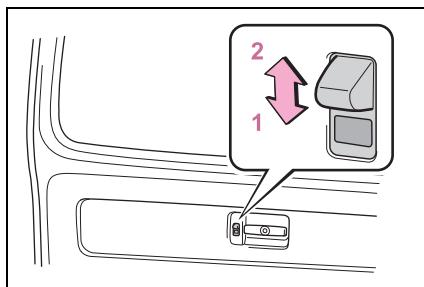
スマートエントリー＆スタートシステムまたはワイヤレスリモコンでの解錠操作後、約30秒以内にドアを開けなかったときは、盗難防止のため自動的に施錠されます。

## 車内から施錠／解錠するには

### ■ ドアロックスイッチを使用する

→P.70

### ■ ロックレバーを使用する



1 ドアを施錠する

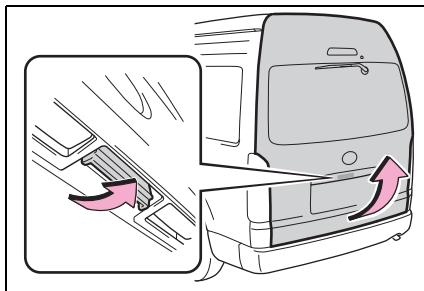
2 ドアを解錠する

車外から施錠するときは、ロックレバーを施錠側にしてバックドアを閉じます。

## バックドアを開けるには

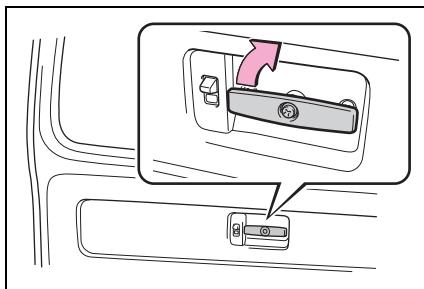
### ■ バックドアハンドル（車外）を使用する

バックドア解錠時に、バックドアハンドルを引いたまま、バックドアを持ち上げる



### ■ バックドアハンドル（車内）★ を使用する

バックドア解錠時に、バックドアハンドルを右にまわして、バックドアを押し上げる

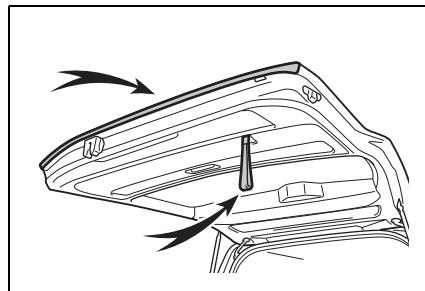


★：グレード、オプションなどにより、  
装備の有無があります。

### バックドアを閉めるには

バックドアストラップまたはバックドアの下端を持ってバックドアを引き下げ、必ず外から押して閉めてください。

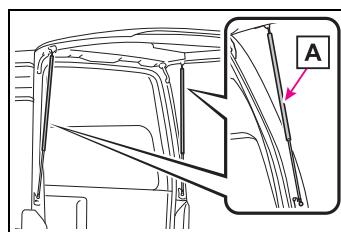
バックドアストラップを持って引き下げるときは、横方向に力をかけないように引き下げます。



### ⚠ 注意

#### ■ ダンパーステーについて

バックドアにはバックドアを支えるためのダンパーステーAが取り付けられています。ダンパーステーAの損傷や作動不良を防ぐため次のことをお守りください。



- ビニール片・ステッカー・粘着材などの異物をステーのロッド部（棒部）に付着させない
- ロッド部を軍手などでふれない
- バックドアにトヨタ純正品以外のアクセサリー用品をつけない
- ステーに手をかけたり、横方向に力をかけたりしない

**⚠ 注意**

■ バックドアを操作するときは

車内のドアハンドル★や、バックドアの下端に付いているロック部品などをつかんで、バックドアを操作しないでください。ドアハンドルやロック部品などが破損するおそれがあります。

★ : グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

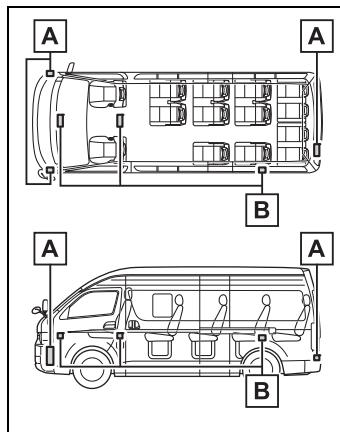
**スマートエントリー&スタートシステム**

電子キーをポケットなどに携帯していると、次の操作が行えます。必ず運転者がキーを携帯してください。

- ドアを解錠・施錠する  
(→P.69)
- バックドアを解錠・施錠する  
(→P.69)
- エンジンを始動する  
(→P.120)

**□ 知識**

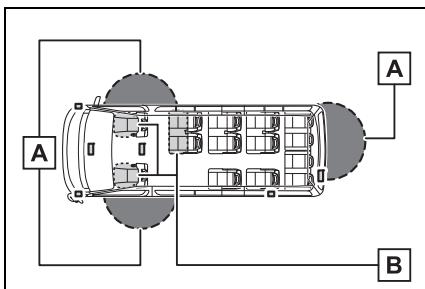
■ アンテナの位置



[A] 車外アンテナ

[B] 車室内アンテナ

### ■作動範囲（電子キーの検知エリア）

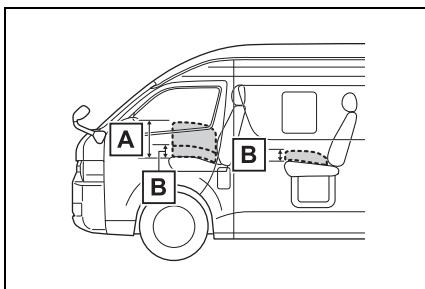


#### A ドアの施錠・解錠時

各ドアのロック／アンロックスイッチから周囲約70cm以内で電子キーを携帯している場合に作動します。（電子キーを検知しているドアのロック／アンロックスイッチのみ作動します）

#### B エンジン始動時またはエンジンスイッチ切りかえ時

車内で電子キーを携帯している場合に作動します。



#### A シートからの高さ50cm（運転席）

#### B シートからの高さ15cm（助手席およびセカンドシート）

フロア上、ダッシュボード上、サードシートよりうしろの座席などは作動範囲の対象外です。

#### ■警告音が鳴ったり警告表示が出たりしたとき

誤操作などによる予期せぬ事故や盗難を

防ぐため、警告音が鳴ったり、マルチインフォメーションディスプレイに警告が表示されることがあります。警告が表示されたときは、ディスプレイの表示とともに適切に対処してください。

警告音のみが鳴る場合の状況と対処方法は次の通りです。

#### ●車外から警告音が“ピー”と5秒鳴るとき

状況	対処方法
いずれかのドアが開いているときにスマートエントリー＆スタートシステムもしくは、ワイヤレス機能で施錠しようとした	全ドアを閉めたあと、再度施錠する

#### ●車内から警告音が“ポーン、ポーン”と鳴り続けるとき

状況	対処方法
運転席ドアが開いている状態でエンジンスイッチをACCにした（エンジンスイッチがACCのとき運転席ドアを開いた）	エンジンスイッチをOFFにしたあと、運転席ドアを閉める

#### ■マルチインフォメーションディスプレイに“車室内にキーがあります”が表示されたときは

車内に電子キーを置いたまま、スマートエントリー＆スタートシステムでドアを施錠しようとすると、警告メッセージが表示されます。車内から電子キーを取り出したあと、再度施錠してください。

#### ■節電機能

長期駐車時に電子キーの電池と車両のバッテリーあがりを防止するため、節電機能が働きます。

#### ●次の状況では、スマートエントリー＆スタートシステムによる解錠に時間が

かかる場合があります。またイルミネーテッドエントリーシステムが作動しない、接近時オートアンロック機能による解錠が作動しない場合があります。

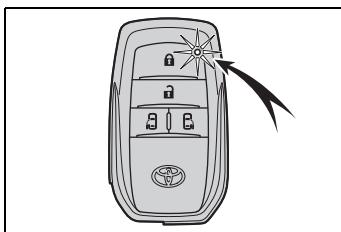
- ・車の外約 3.5m 以内に電子キーを 10 分以上放置した
- ・5 日間以上スマートエントリー＆スタートシステムを使用しなかった
- 14 日間以上スマートエントリー＆スタートシステムを使用しなかった場合、運転席以外での解錠ができなくなります。この場合は、運転席のドアハンドルを握る、もしくは、ワイヤレス機能、メカニカルキーで解錠してください。

#### ■電子キーを節電モードにするには

- 節電モードに設定すると、電子キーによる、電波の受信待機を停止し、電子キーの電池の消耗を抑えることができます。

電子キーの  を押しながら、  
 を 2 回押し、電子キーのインジケータが 4 回光ることを確認してください。

節電モード中は、スマートエントリー & スタートシステムを使用できません。節電モードを解除するには、電子キーのいずれかのスイッチを押してください。



- 長期間使用しない電子キーは、節電モードにしておくことをおすすめします

#### ■電子キーの機能が停止するとき

電子キーを置いたままにするなど、一定

時間電子キーの位置に変化がなかった場合、電池の消耗を抑えるために電子キーの機能が停止します。

この場合は、電子キーを持ち上げるなどして位置を動かすことで、自動的に復帰します。

#### ■機能が正常に働かないおそれのある状況

スマートエントリー＆スタートシステムは微弱な電波を使用しています。次のような場合は電子キーと車両間の通信をさまたげ、スマートエントリー＆スタートシステムやワイヤレスリモコン、エンジンイモビライザーシステムが正常に作動しない場合があります。

- 電子キーの電池が消耗しているとき
- 近くにテレビ塔や発電所・ガソリンスタンド・放送局・大型ディスプレイ・空港があるなど、強い電波やノイズの発生する場所にいるとき
- 電子キーが、次のような金属製のものに接していたり、覆われたりしているとき
  - ・アルミ箔などの金属の貼られたカード
  - ・アルミ箔を使用したタバコの箱
  - ・金属製の財布やかばん
  - ・小銭
  - ・カイロ
  - ・CD や DVD などのメディア
- 近くで他の電波式ワイヤレスリモコンを使用しているとき
- 電子キーを、次のような電波を発信する製品と一緒に携帯しているとき
  - ・無線機や携帯電話・コードレス式電話などの無線通信機器
  - ・他の電子キーや電波式ワイヤレスリモコン
  - ・パソコンや携帯情報端末（PDA など）
  - ・デジタルオーディオプレーヤー
  - ・ポータブルゲーム機器
- リヤウインドウガラスに金属を含む

フィルムなどが貼ってあるとき

- 充電器など電子機器の近くに電子キーを置いたとき

- コインパーキングなど通信をさまたげる電波がある場所に駐車したとき

スマートエントリー＆スタートシステムでドアを施錠・解錠できない場合は、次の方法を試してください。

- ドアハンドルに電子キーを近付けて操作する

- ワイヤレス機能を使用する

上記の方法でも施錠・解錠できない場合は、メカニカルキーを使用してください。  
(→P.68)

また、スマートエントリー＆スタートシステムでエンジンが始動できない場合は、P.297 を参照してください。

### ■ご留意いただきたいこと

●電子キーが作動範囲内（検知エリア内）にあっても、次のような場合は正しく作動しないことがあります。

- ・ドアの施錠・解錠時に電子キーがドアガラスやドアハンドルに近付きすぎている、または地面の近くや高い場所にある
- ・エンジン始動時またはエンジンスイッチの切りかえ時に、電子キーがインストルメントパネルやフロア上・ラゲージルーム・ドアポケット・またはグローブボックス内などに置かれている

●インストルメントパネル上面やドアポケット付近に電子キーを置いたまま車外に出ると、電波の状況によっては車外アンテナに検知され車外から施錠でき、電子キーが車内に閉じ込められるおそれがあります。

●電子キーが作動範囲内にあれば、電子キーを携帯している人以外でも施錠・解錠できます。ただし、電子キーを検知しているドア以外では解錠できません。

ん。

●車外でも電子キーがドアガラスに近付いていると、エンジンを始動できることがあります。

●電子キーが作動範囲内にあるとき、洗車や大雨などでドアハンドルに大量の水がかかると、ドアが施錠・解錠することができます。（ドアの開閉操作がなければ、解錠されても約 30 秒後に自動で施錠します）

●ワイヤレスリモコンなどの施錠時にキーが車両の近くにあると、スマートエントリー＆スタートシステムでの解錠ができないことがあります。（ワイヤレスリモコンを使用すると解錠できます）

●手袋を着用していると施錠・解錠しないことがあります。

●ロック操作は、連続で 2 回まで有効です。3 回目以降はロック動作しません。

●電子キーを携帯したまま洗車をすると、水がドアハンドルにかかったときに施錠・解錠をくり返すことがあります。その場合は次のような処置をしてください。

- ・キーを車両から約 2m 以上離れた場所に置く（盗難に注意し保管してください）
- ・キーを節電モードに設定してスマートエントリー＆スタートシステムの作動を停止する（→P.86）

●洗車機での洗車中にキーが車内にあると、水がドアハンドルにかかったときに、マルチインフォメーションディスプレイに警報が表示され車外のブザーが吹鳴することがあります。すべてのドアを施錠すると警報は止まります。

●ロックセンサーの表面に氷や雪、泥が付着すると、センサーが反応しないことがあります。その場合は氷や雪、泥を取り除いて再度操作してください。

- すばやいドアハンドル操作や、車外アンテナの作動範囲内へ入ってすぐのドアハンドル操作では、解錠しないことがあります。センサーにふれ解錠したことを確認してからドアハンドルを引いてください。

- 作動範囲内に他の電子キーがあると、解錠に時間がかかることがあります。

### ■ 長期間運転しないとき

- 盗難防止のため、電子キーを車両から2m以上離しておいてください。
  - あらかじめスマートエントリー＆スタートシステムを非作動にすることができます。（→P.316）
  - 電子キーを節電モードに設定すると、電池の消耗を抑えることができます。（→P.86）

■ システムを正しく作動させるために

電子キーを必ず携帯した上で作動させてください。また、車外から操作する場合は電子キーを車両に近付けすぎないようしてください。

作動時の電子キーの位置や持ち方によつては、電子キーが正しく検知されず、システムが正しく作動しないことがあります。(誤って警報が鳴ったり、キー閉じ込み防止機能が働かないこともあります)

#### ■電子キーが正常に働かないときは

- ドアの解錠・施錠（→P.69）
  - エンジンの始動（→P.120）

## ■ カスタマイズ機能

スマートエントリー＆スタートシステムを非作動にするなどの変更ができます。（カスタマイズ一覧：→P.314）

カスタマイズ機能でスマートエントリー＆スタートシステムを非作動にしたときは、次の操作の説明を参照してください。

- ドアの施錠・解錠：ワイヤレス機能、またはメカニカルキーを使ってドアの

施錠・解錠ができます。( $\rightarrow$ P.68, 296)

- エンジンの始動・エンジンスイッチのモード切りかえ : →P.122
  - エンジンの停止 : →P.121



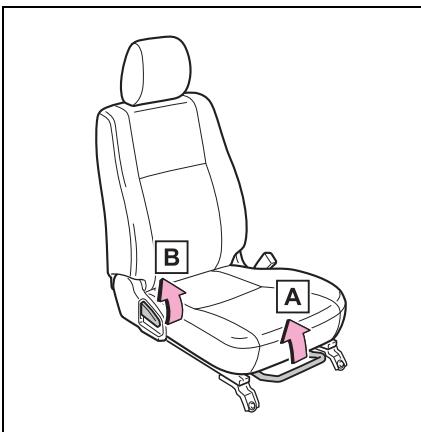
### ■電波がおよぼす影響について（スマートエントリー&スタートシステムアンテナ）

- 植込み型心臓ペースメーカー、植込み型両心室ペーシングパルスジェネレータまたは植込み型除細動器を装着されている方は、スマートアンテナ（→P.84）から22cm以内に植込み型心臓ペースメーカー、植込み型両心室ペーシングパルスジェネレータまたは植込み型除細動器が近づかないようにしてください。電波により植込み型心臓ペースメーカー、植込み型両心室ペーシングパルスジェネレータまたは植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。
  - 植込み型心臓ペースメーカー、植込み型両心室ペーシングパルスジェネレータまたは植込み型除細動器以外の医療用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医療用電気機器メーカーなどにご確認ください。電波により医療用電気機器の動作に影響を与える場合があります。

スマートエントリー＆スタートシステムを作動しないようにすることもできます。詳しくはトヨタ販売店にご相談ください。

## フロントシート

### 調整のしかた



**A** 前後位置調整★

**B** リクライニング調整

★：グレード、オプションなどにより、  
装備の有無があります。

### ⚠ 警告

#### ■シートを調整するとき

- 同乗者がシートにあたってけがをしないように注意してください。
- シートの下や動いている部分に手を近付けないでください。  
指や手を挟み、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- 足元のスペースを確保し足を挟まないように注意してください。

#### ■シート調整について

- 背もたれは必要以上に倒さないでください。

必要以上に倒しすぎると、事故のときに体がシートベルトの下にもぐり、腹部などに強い圧迫を受けたり肩部ベルトが首にかかるなどして、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- シート調整後はシートがきちんと固定されていることを確認してください。

#### ■背もたれをもとの位置にもどしたあと

次のことを必ずお守りください。お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- シートを前後に軽くゆさぶり、確実に固定する
- シートベルトを挟み込まないようにする

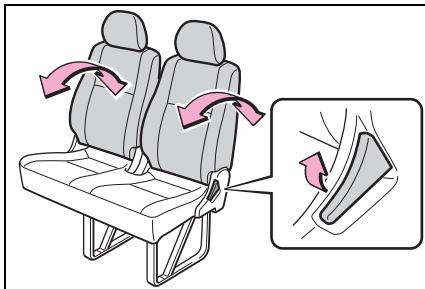
## リヤシート

リヤシートは折りたたむことができます。

### 調整のしかた

#### ■ リクライニング角度の調整

左右いずれかのレバーを引いたまま、背もたれを前後に動かす

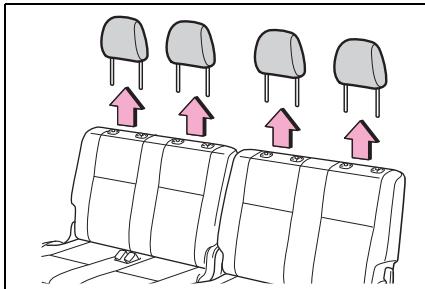


### スペースアップシート

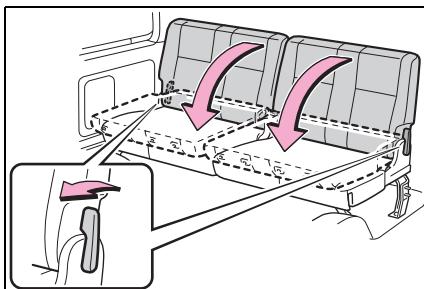
#### ■ スペースアップするときは

- 1 車を安全な場所に駐車し、パーキングブレーキを確実にかける
- 2 ヘッドラストを取りはずす

解除ボタンを押しながらヘッドラストを引き上げます。( $\rightarrow$ P.93)

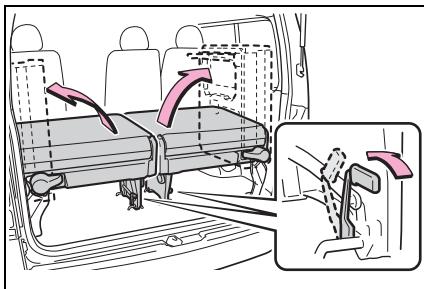


- 3 レバーを引いて背もたれを前に倒す

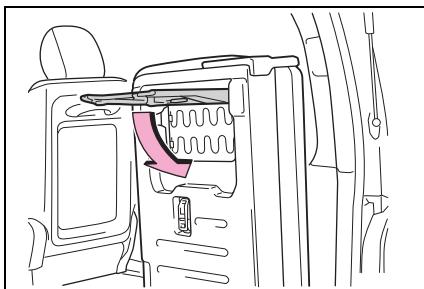


- 4 ロック解除レバーを動かしてシート脚部のロックを解除し、シート全体を窓側に起こす

シートを起こしたあとは、手でしっかりと支えてください。

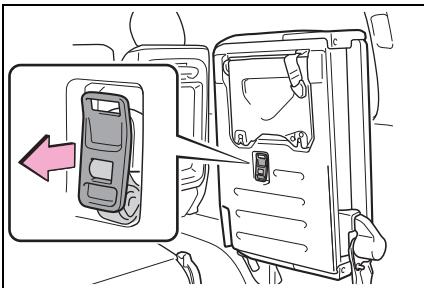


- 5 シート脚部を折りたたむ



- 6 シート固定バンドを取り出す  
プレートを手前に引いて、固定バンドを

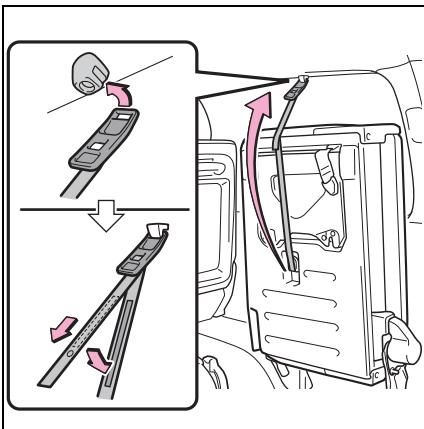
取り出します。



- 7 プレートをフックに掛けてから、バンドの端を引いてたるみをなくし、シートを確実に固定する

バンドの端をマジックテープで確実に固定します。

シートを軽くゆさぶり、確実に固定されていることを確認してください。



### ■ もとにもどすときは

スペースアップしたときと逆の手順で操作を行います。



### ■ スペースアップシートについて

前倒しから起こした状態で、レバーを前側に引きながら後方に倒すと、背もたれ

を3段階うしろに倒すことができます。

## ⚠ 警告

### ■ シート調整について

- 背もたれは必要以上に倒さないでください。

必要以上に倒しすぎると、事故のときに体がシートベルトの下にもぐり、腹部などに強い圧迫を受けたり肩部ベルトが首にかかるなどして、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- シート調整後は、シートがきちんと固定されていることを確認してください。

### ■ スペースアップシートについて

スペースアップシートを操作するときは、次のことをお守りください。

お守りいただかないで、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- 走行中に操作をしない
- 平坦な場所でパーキングブレーキを確実にかけ、シフトレバーをPにする
- 操作中は、可動部や結合部に手足を挟まないように注意する
- お子さまに操作させない
- スペースアップして広げた場所に人を乗せて走行しない
- スペースアップして広げた場所にお子さまが入らないよう注意する
- スペースアップ操作をしたあとは、シートを軽くゆさぶり確実に固定されていることを確認する

### ⚠ 警告

- スペースアップシートをもとにもどしたあとは

次のことを必ずお守りください。お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- シートを前後・上下に軽くゆさぶり、確実に固定する
- シートベルトを挟み込まないようにする
- ヘッドレストをもとどおりに取り付ける

### ヘッドレスト

ヘッドレストはすべてのシートに装備されています。

**一体式ヘッドレスト★はシート一体式のため、調整できません。**

★ : グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

### ⚠ 警告

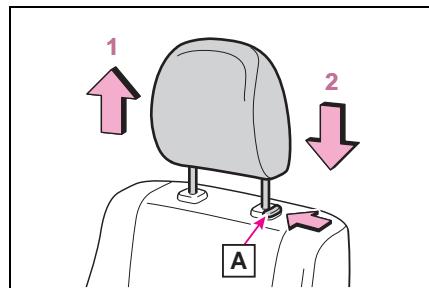
- ヘッドレストについて

次のことをお守りください。お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- ヘッドレストは、それぞれのシート専用のものを使用する
- ヘッドレストを必ず正しい位置に調整する
- ヘッドレストを調整したあとは、ヘッドレストを押し下げて固定されていることを確認する
- ヘッドレストをはずしたまま走行しない

### 上下調整するには

#### ■ 分割式ヘッドレスト



1 上げる

2 下げる

下げるときは、解除ボタン**A**を押しながら操作します。

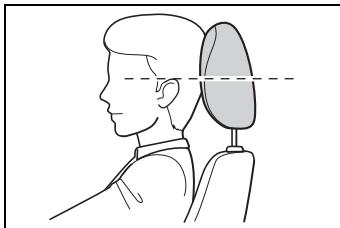
## ■ 一体式ヘッドレスト

ヘッドレストの調整・取りはずしはできません。



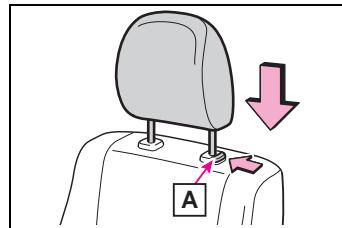
### ■ ヘッドレストの高さについて

必ずヘッドレストの中心が両耳のいちばん上のあたりになるよう調整してください。



ください。

さらに下げるときは、解除ボタン**A**を押しながら操作してください。



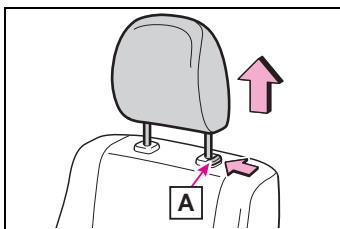
3

運転する前に

### ヘッドレストを取りはずすには

解除ボタン**A**を押しながらヘッドレストを引き上げます。

ヘッドレストが天井にあたって取りはずしにくいときは、シートの高さや角度をかえてください。  
(→P.90)



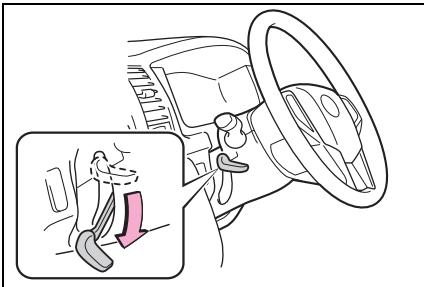
### ヘッドレストを取り付けるには

ヘッドレストを取り付け穴に合わせて、ロック位置まで押し下げて

## ハンドル

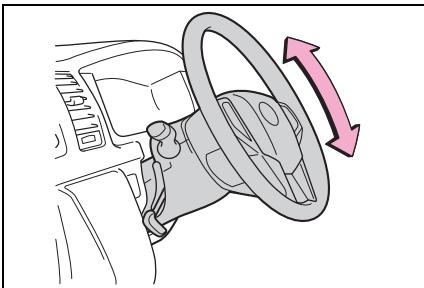
### 調整のしかた

- 1 ハンドルを持ち、レバーを下げる



- 2 ハンドルを上下に動かし、適切な位置にする

位置が決定したら、レバーを上げてハンドルを固定してください。



### ■走行中の留意事項

走行中はハンドル位置の調整をしないでください。

運転を誤り、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

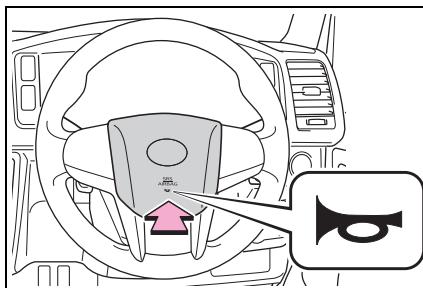
### ■ハンドル位置を調整したあとは

ハンドルが確実に固定されていることを確認してください。

固定が不十分だとハンドルの位置が突然かわり、思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。また、固定が不十分だとホーンが鳴らない場合があります。

### ホーン（警音器）

ハンドルの 周辺部を押すとホーンが鳴ります。



## インナーミラー★

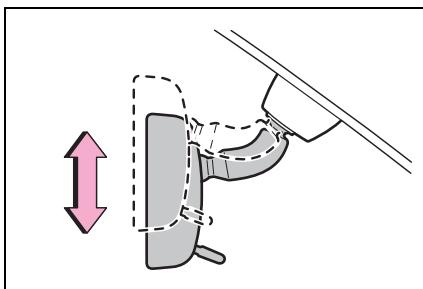
★ : グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

**後方を十分に確認できるようにミラーの位置を調整することができます。**

### 上下調整のしかた

運転姿勢に合わせてインナーミラーの高さを調整することができます。

インナーミラー本体を持って、上下方向に調整する



#### ⚠ 警告

##### ■走行中の留意事項

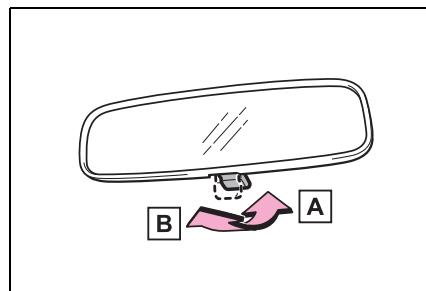
走行中はミラーの調整をしないでください。

運転を誤って、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

### 防眩機能

#### ▶ 手動防眩ミラー

レバーを操作することで、後続車のヘッドライトによる反射光を減少させます。



**A** 通常使用時

**B** 防眩時

#### ▶ 自動防眩ミラー

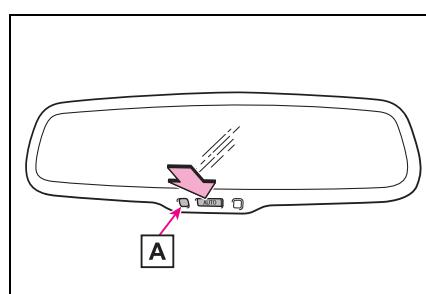
後続車のヘッドライトのまぶしさに応じて反射光を自動的に減少させます。

自動防眩機能の ON / OFF を切りかえる

ON のときはインジケーター **A** が点灯します。

エンジンスイッチを ON にしたときは、ミラーは常に自動防眩機能が ON になっています。

ボタンを押すと OFF になりインジケーター **A** が消灯します。

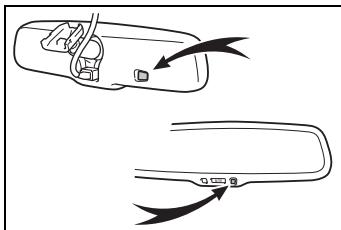


#### □ 知識

##### ■センサーの誤作動防止（自動防眩ミラー装着車）

センサーの誤作動を防ぐため、センサー

にふれたりセンサーを覆ったりしないでください。



## デジタルインナーミラー★

- ★ : グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

車両後方カメラの映像をミラー内のディスプレイに表示する運転補助装置です。

切りかえレバーを操作することで、鏡面ミラーモードとデジタルミラーモードを切りかえることができます。

ヘッドレストや荷物などで視界をさえぎられずに後方を確認することができます。また、リヤ席を映さないことで乗員のプライバシーを保護することができます。

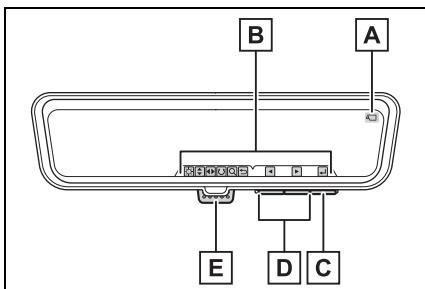
### ⚠ 警告

次のことをお守りください。お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

#### ■ デジタルインナーミラーをお使いになる前に

- 走行前に必ずミラーの調整を行ってください。 (→P.98)
  - ・ 鏡面ミラーモードに切りかえて、鏡面を後方が正しく映る位置に調整する
  - ・ デジタルミラーモードに切りかえて、ディスプレイに表示される映像を調整する
- ディスプレイに表示される映像と鏡面ミラーに映る範囲は異なりますので、あらかじめ違いを確認してください。

## 各部の名称



### A カメラインジケーター

カメラが正常に作動していることを示します。

### B アイコン表示エリア

調整アイコン（→P.98）などが表示されます。

### C メニュー／決定スイッチ

調整アイコンの表示や、項目の決定を行います。

### D 選択スイッチ

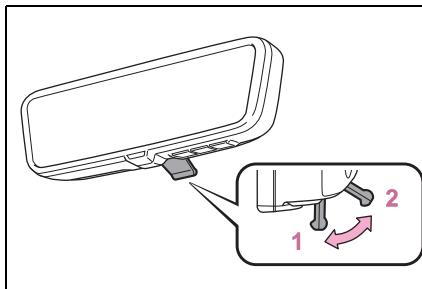
調整アイコンの選択や、ディスプレイ表示の調整を行います。

### E 切りかえレバー

デジタルミラーモードと鏡面ミラーモードの切り替えを行います。

## モードを切りかえるには

切りかえレバーを操作することで、デジタルミラーモードと鏡面ミラーモードを切りかえることができます。



### 1 デジタルミラーモード

車両後方の映像を表示します。

ディスプレイに□が表示されます。

### 2 鏡面ミラーモード

映像が消え、鏡面ミラーとして使用できます。

## 知識

### ■デジタルミラーモードの作動条件

エンジンスイッチが ON のとき

エンジンスイッチを ON から OFF または ACC にすると、数秒後に表示が消えます。

### ■デジタルミラーモードについて

- カメラに水滴やホコリが付いているなどで、ディスプレイに表示される車両後方の状態が見えにくい場合は、リヤウォッシャー（→P.100）を作動させてください。それでも見えにくい場合は、鏡面ミラーモードに切りかえてください。

- ミラーの反射や汚れで、ディスプレイに表示される車両後方の状態が見えにくい場合や、後続車のライトのちらつきや圧迫感が気になる場合は、鏡面ミラーモードに切りかえてください。

- バックドアが開いているときは、デジタルインナーミラーの映像が正しく表示されません。走行前に必ずバックドアが閉まっていることを確認してください。

さい。

- 夜間など暗いところでは、次のような現象が発生することがありますか、異常ではありません。
- ・映像の色と実際の色が異なって見える
- ・後続車のライトの高さなどによっては、後続車の周囲が白くぼやけて見える
- ・周辺を明るく見せるために映像が自動的に調整されることにより、特有のちらつきが発生する

映像が見えにくい場合や、ちらつきが気になる場合は、鏡面ミラーモードに切りかえてください。

- デジタルインナーミラー本体が発熱することがありますか、異常ではありません。
- 体調、年齢などにより、ディスプレイに表示される映像に焦点が合うまで時間がかかる場合があります。焦点を合わせづらいと感じたときは、鏡面ミラーモードに切りかえてください。
- 主に同乗者がディスプレイを凝視すると、車酔いを起こすことがあります。

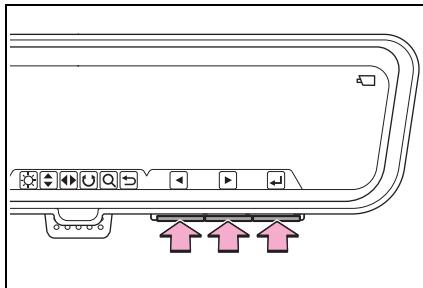
### 調整するには

#### ■ ディスプレイの調整（デジタルミラーモード）

デジタルミラーモードの調整ができます。

- 1 メニュー／決定スイッチまたは選択スイッチのいずれかを押す

調整アイコンが表示されます。



- 2 選択スイッチを押して調整したい項目（調整アイコン）にカーソルを合わせて、メニュー／決定スイッチを押す

各調整画面が表示されます。

調整アイコン	設定内容
💡	ディスプレイの明るさを調整することができます。
◆	ディスプレイの表示映像を上下に調整することができます。
◀▶	ディスプレイの表示映像を左右に調整することができます。
⟳	ディスプレイの表示映像の傾きを調整することができます。
🔍	ディスプレイの表示映像を拡大／縮小することができます。

- 3 選択スイッチを押して調整し、メニュー／決定スイッチを押す

調整アイコンの表示画面に戻ります。

- 4 選択スイッチを押して ↵ にカーソルを合わせてメニュー／決定スイッチを押す

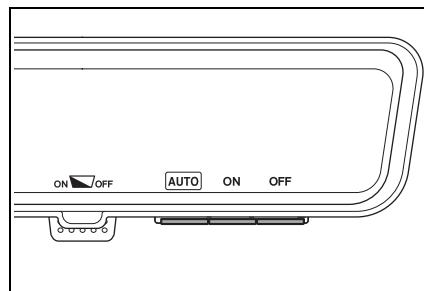
調整アイコンの表示が消えます。

## ■ 防眩機能の切りかえ（鏡面ミラーモード）

防眩設定画面が表示されているときに、選択したい防眩機能アイコンのスイッチを押すことで、鏡面ミラーモードの防眩機能を切りかえることができます。

鏡面ミラーモードでいずれかのスイッチを押したとき、またはデジタルミラーモードから鏡面ミラーモードへ切りかえたときに防眩設定画面が表示されます。

約 5 秒以上スイッチ操作をしないと防眩設定画面の表示が消えます。



防眩機能アイコン	設定内容
<b>AUTO</b>	<p>スイッチを押すごとに、自動防眩機能の ON/OFF が切りかわります。</p> <p>自動防眩機能 ON：車両前方が暗いとき、車両後方の明るさに応じて、自動的に防眩状態の ON（ミラーの反射率が低い状態）/OFF（ミラーの反射率が高い状態）を切りかえて、まぶしさを低減します。</p> <p>ON ：防眩 ON の状態</p> <p> OFF：防眩 OFF の状態</p> <p>自動防眩機能 OFF：ミラーの反射率が高い状態で固定されます。</p>
<b>ON</b>	自動防眩機能 OFF かつ防眩 ON 状態（ミラーの反射率が低い状態）で固定されます。
<b>OFF</b>	自動防眩機能 OFF かつ防眩 OFF 状態（ミラーの反射率が高い状態）で固定されます。

### □ 知識

#### ■ ディスプレイの調整について（デジタルミラーモード）

- 約 5 秒以上スイッチ操作をしないと、調整アイコンと各調整画面の表示が消えます。
- ディスプレイ表示の調整を限界値まで行うと、映像がゆがむ場合がありますが故障ではありません。

● ディスプレイ表示が明るすぎると、目が疲れことがあります。適度な明るさに調整してください。  
目が疲れた場合には、鏡面ミラーモードに切りかえてください。

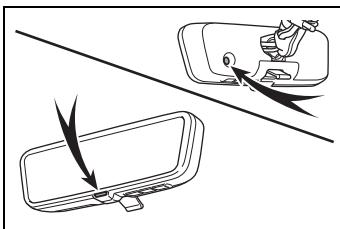
● ディスプレイ表示の明るさは、車両前方の明るさに合わせて自動でかわります。

#### ■ センサーの誤作動防止

本体の 2ヶ所に明るさを測定するセン

サーがあります。

センサーの誤作動を防ぐため、センサーにふれたりセンサーを覆ったりしないでください。



### ■ 警告

次のことを必ずお守りください。  
お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

#### ■ 走行中の留意事項

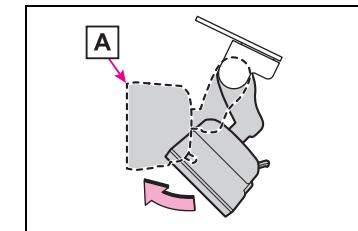
- 走行中は、デジタルインナーミラーの位置やディスプレイに表示される映像を調整しないでください。  
デジタルインナーミラーの操作スイッチは、安全な場所に停車して操作してください。走行中に操作すると、ハンドル操作を誤るなど、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- 必ず車両周辺の状況を直接確認してください。  
デジタルミラーモード使用時は、ディスプレイ上に映る車両や障害物が実際の大きさと異なる場合があります。後退時は、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。また、夜間など暗いところで後続車が接近したときは、周囲が暗く映る場合があります。

#### ■ 安全にお使いいただくために

煙が出る、異臭がするなど異常な状態で使用を続けると、発火の原因になります。ただちに鏡面ミラーモードに切りかえてトヨタ販売店にご相談ください。

#### ■ ミラー本体の位置が下がってしまったときは

ミラー本体を“カチッ”と音がして固定されるところA（通常使用位置）まで引き上げてください。下がった状態のままでは、運転者の視界のさまたげとなり、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。



#### お手入れについて

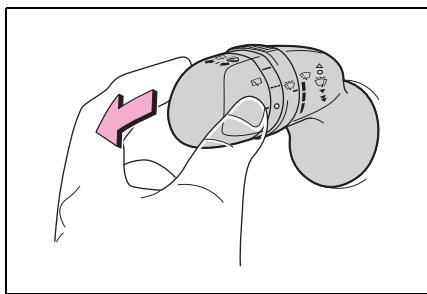
##### ■ デジタルインナーミラーのお手入れについて

ミラー表面が汚れていると、映像が見えにくくなることがあります。あらかじめ、乾いたやわらかい布などで汚れをふき取ってください。

##### ■ カメラのお手入れについて

カメラレンズに水滴、雪、泥などの異物や汚れが付着していると、車両後方の状態を鮮明に見ることができません。この場合、リヤウォッシュャーでカメラレンズの汚れを流してください。

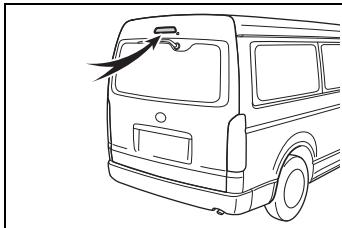
ワイパーレバーを前方へ押すとリヤウォッシュャーが作動します。



## □ 知識

### ■ カメラについて

デジタルインナーミラーのカメラは、図の位置にあります。



### ■ ウオッシャー液によるカメラ洗浄について

- カメラ洗浄中は、噴射されるウォッシャー液により、車両後方の状態が見えにくくなることがありますので、周囲の状況に注意して運転してください。
- カメラ洗浄後にウォッシャー液がカメラレンズ面に残った場合、夜間に後方車両のヘッドライトの高さや傾きにより、車両後方の状態が見えにくくなることがあります。この場合、鏡面ミラーモードに切りかえてください。
- カメラ洗浄をしても、汚れによっては完全にきれいにならない場合があります。この場合、大量の水でカメラの汚れを流し、水で湿らせた柔らかい布でカメラレンズの水滴をふき取ってください。
- カメラ洗浄は、カメラレンズ面にウォッシャー液を噴射するため、カメ

ラ周辺に付着した氷や雪などの映り込むものについては、洗浄することができます。

### △ 注意

#### ■ デジタルインナーミラーの故障や誤作動を防ぐために

- ミラー本体の取り外し・分解・改造はしないでください。
- ミラー表面を強くこすらぬいてください。強くこすると、ミラー表面が傷ついて車両後方の状態が見えにくくなることがあります。

#### ■ カメラの故障や誤作動を防ぐために

- デジタルインナーミラーが正常に作動しなくなるおそれがありますので、次のことにご注意ください。
  - ・ カメラ部を強くたたいたり、ものをぶつけるなど、強い衝撃を与えないでください。カメラの位置・取りつけ角度がずれるおそれがあります。
  - ・ カメラ部は防水構造となっていますので、取りはずし・分解・改造しないでください。
  - ・ カメラレンズを洗うときは、大量の水でカメラの汚れを流したあと、水で湿らせたやわらかい布でカメラレンズの水滴をふき取ってください。カメラレンズを強くこするとカメラレンズが傷付いて、車両後方の状態を鮮明に見ることができなくなるおそれがあります。
  - ・ カメラのカバーは樹脂ですので、有機溶剤・ボデーワックス・油膜取り剤・ガラスコート剤などを付着させないでください。付着したときは、すぐにふき取ってください。
  - ・ 寒いときにお湯をかけるなどして急激な温度変化を与えないでください。

 注意

- 洗車時に高圧洗浄機でカメラやカメラ周辺に直接水をあてないでください。強い水圧により衝撃が加わり、装置が正常に作動しなくなるおそれがあります。
- カメラ部をぶつけたときは、カメラの故障などのおそれがあります。早めにトヨタ販売店で点検を受けてください。

**故障とお考えになる前に**

デジタルミラーモード使用時に次のような症状で気になったときやお困りになったときは、考えられる原因と処置を参考に、もう一度確認してください。

処置をしても直らないときは、トヨタ販売店で点検を受けてください。

症状	考えられる原因	処置
ディスプレイに表示される車両後方の状態が見にくい	ミラー表面が汚れている 強い光（太陽やヘッドライトの光など）がデジタルインナーミラーに当った	乾いたやわらかい布などで汚れをふき取ってください。 鏡面ミラーモードに切りかえてください。
	・ 夜間など暗いところで使用した ・ テレビ塔・放送局・発電所など、強い電波やノイズが発生する場所の近くで使用した ・ カメラ付近の温度が高い、または低い ・ 外気温が低い ・ 雨天時など湿度が高い ・ 太陽やヘッドライトの光が直接カメラのレンズに当った ・ 蛍光灯、ナトリウム灯、水銀灯などの照明の下で使用した ・ 排気ガスが映り込んでいる	鏡面ミラーモードに切りかえてください。 (カメラおよびその周辺環境が改善されてから、再びデジタルミラーモードをご使用ください)
ディスプレイに表示される車両後方の状態がずれている	カメラのレンズに水滴、ほこりなどの異物や汚れが付着している	・ リヤウォッシャーを作動させ、カメラレンズの汚れを洗浄してください。（→P.100） ・ 鏡面ミラーモードに切りかえてください。 ・ 大量の水でカメラの汚れを流したあと、水で湿らせたやわらかい布でカメラレンズの水滴をふき取ってから、再びデジタルミラーモードをご使用ください。
	バックドアが完全に閉まっていない カメラ部に強い衝撃が与えられた	バックドアを閉めてください。 鏡面ミラーモードに切りかえて、トヨタ販売店で点検を受けてください。

症状	考えられる原因	処置
ディスプレイ上に ■が表示され、 ディスプレイに表 示される映像が暗 くなった	システムに異常が発生した	鏡面ミラーモードに切りかえて、 トヨタ販売店で点検を受けてく ださい。
ディスプレイ上の ■が消灯した		
ディスプレイ上に ▲が表示された	デジタルインナーミラーの温度 が非常に高い (徐々にディスプレイが暗くな り、その後も温度が上がり続け ると映像が消えます)	ミラーの温度を下げるために、 車室内の温度を下げることを推 奨します。 (ミラーの温度が下がると ▲ が 消えます) ミラーの温度が下がっても ▲ が消えない場合は、鏡面ミ ラーモードに切りかえて、 トヨタ販売店で点検を受けてく ださい。
切りかえレバーが 正常に作動しない	切りかえレバーに異常が発生し た	鏡面ミラーモードに切りかえて、 トヨタ販売店で点検を受けてく ださい。 (メニュー／決定スイッチを約 10秒間押し続けることで、鏡 面ミラーモードに切りかえるこ とができます)

## アウターミラー

安全に運転していただくために、運転する前に視界が確保できるようミラーの角度を調整してください。

### 知識

#### ■ 寒冷時にアウターミラーを使用するとき

寒冷時にアウターミラーが凍結していると、アウターミラーの格納・復帰や鏡面の調整ができない場合があります。アウターミラーに付着している氷や雪などを取り除いてください。

#### ■ ミラーが曇ったとき（ミラーヒーター装着車）

リヤウインドウデフオッガーを作動させると、ミラーヒーターが同時に作動し、曇りを取ることができます。（→P.209）

### 警告

#### ■ 走行中の留意事項

走行中は次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、運転を誤って重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- ミラーの調整をしない
- ミラーを格納したまま走行しない
- 走行前に必ず、運転席側および助手席側のミラーをもとの位置にもどして、正しく調整する

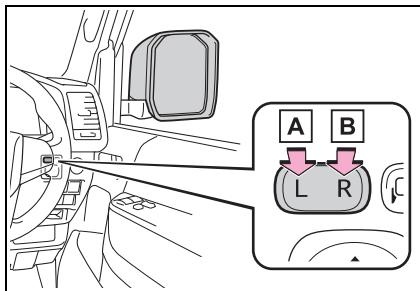
#### ■ ミラーヒーターが作動しているとき（ミラーヒーター装着車）

鏡面が熱くなるのでふれないでください。

## 調整のしかた

スイッチで鏡面の角度調整をします。

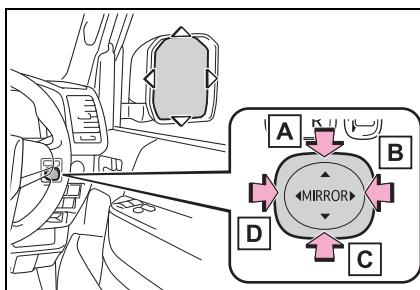
#### 1 調整するミラーを選ぶには、スイッチを押す



A 左

B 右

#### 2 ミラーの鏡面を調整するには、スイッチを押す



A 上

B 下

C 左

D 右

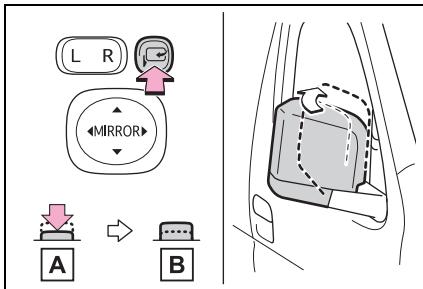
### 知識

#### ■ 作動条件

エンジンスイッチが ACC または ON のとき

### アウターミラーを格納する

ボタンを押してアウターミラーを格納する



**A** 格納状態

**B** 復帰状態

もう一度押すと、もとの位置にもどります。

### 警告

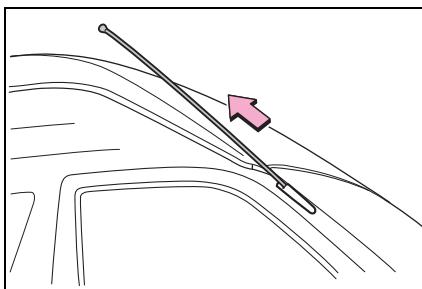
#### ■ミラーが動いているとき

手をふれないでください。

手を挟んだけがや、ミラーの故障などの原因になるおそれがあります。

### アンテナ

ラジオ使用時は、いっぱいまで引き出してください。



### 注意

#### ■アンテナの損傷を防ぐために

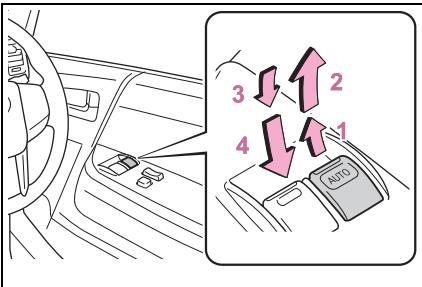
次のようなときはアンテナを格納してください。

- 車庫の天井などにアンテナがあたるとき
- カーカバーをかけるとき
- 自動洗車機で洗車するとき

## パワーウィンドウ

### ドアガラスを開閉するには

スイッチを操作し、自動でドアガラスを開閉できます。



**1 閉める**

**2 自動全閉（運転席のみ）※**

**3 開ける**

**4 自動全開（運転席のみ）※**

\* 中途で停止するときは、スイッチを反対側へ操作します。

### □ 知識

#### ■ 作動条件

エンジンスイッチが ON のとき

#### ■ エンジン停止後の作動（運転席ドアガラスのみ）

エンジンスイッチを ACC または OFF にしたあとでも、約 45 秒間はドアガラスを開閉できます。ただし、そのあいだに運転席ドアを開閉すると作動しなくなります。

#### ■ 挟み込み防止機能（運転席ドアガラスのみ）

ドアガラスを閉めているときに、窓枠とドアガラスのあいだに異物が挟まると、作動が停止し、少し開きます。

#### ■ ドアガラスを閉じることができないとき（運転席ドアガラスのみ）

挟み込み防止機能が異常に作動してしまい、ドアガラスを閉じることができないときは、パワーウィンドウスイッチで、次の操作を行ってください。

●車を停止し、エンジンスイッチを ON の状態で、パワーウィンドウスイッチを「自動全閉」の位置で引き続ける。

●上記の操作を行ってもドアガラスが閉じない場合、機能の初期化を次の手順で実施してください。

1 エンジンスイッチを ON にする

2 半分までドアガラスを開ける

3 パワーウィンドウスイッチを「自動全閉」の位置で引き続けてドアガラスを全閉し、そのままスイッチを約 11 秒以上引き続ける

ドアガラス作動途中でスイッチから手をはなすと、最初からやり直しとなります。以上の操作を行っても反転して閉じ切らない場合は、トヨタ販売店で点検を受けてください。

#### ■ バッテリーを再接続したときは

運転席ドアガラスの自動開閉や挟み込み防止機能などが作動しなくなります。

パワーウィンドウを適切に作動させるために、下記の初期設定を行ってください。

1 半分まで運転席のドアガラスを開ける  
2 スイッチを引き上げて運転席のドアガラスを全閉し、そのままスイッチを 11 秒間保持する

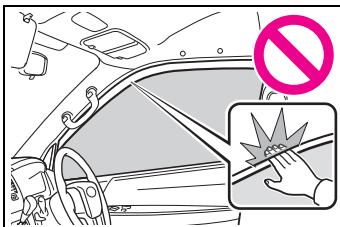
### ⚠ 警告

次のことを必ずお守りください。  
お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

## ⚠ 警告

### ■ ドアガラスを開閉するとき

- 運転者は、乗員の操作を含むすべてのドアガラス開閉操作について責任があります。特にお子さまの誤った操作による事故を防ぐため、お子さまにはドアガラスの操作をさせないでください。お子さまや他の人がドアガラスに挟まれたり巻き込まれたりするおそれがあります。
- また、お子さまが同乗するときはウインドウロックスイッチを使用することをおすすめします。（→P.108）
- ドアガラスを開閉するときは、乗員の手・腕・頭・首などを挟んだり巻き込んだりしないようにしてください。特にお子さまへは手などを出さないよう声かけをしてください。



- 車から離れるときはエンジンスイッチをOFFにし、キーを携帯してお子さまも一緒に車から離れてください。いたずらなどによる誤った操作により、思わぬ事故につながるおそれがあります。

### ■ 挟み込み防止機能（運転席ドアガラスのみ）

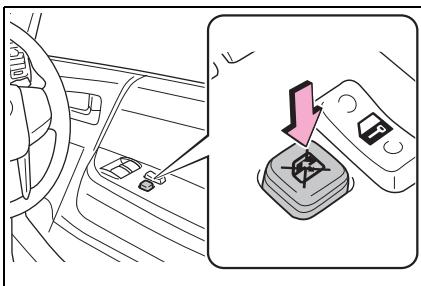
- 挟み込み防止機能を故意に作動させるため、乗員の手・腕・頭・首などを挟んだりしないでください。

- 挟み込み防止機能は、ドアガラスが完全に閉まる直前に異物を挟むと作動しない場合があります。また、挟み込み防止機能は、スイッチを引き続けた状態では作動しません。指などを挟まないように注意してください。

### 誤操作を防止するには（ウインドウロックスイッチ）

お子さまが誤ってドアガラスを開閉することを防止できます。

スイッチを押すと、助手席のドアガラスが非作動になります。



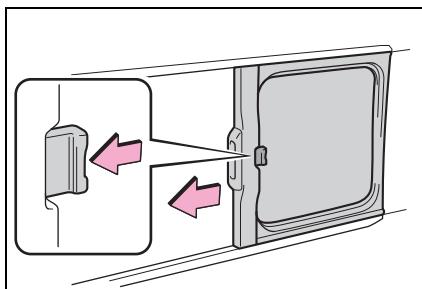
## スライド式リヤサイドガラス★

★：グレード、オプションなどにより、  
装備の有無があります。

開けるときは、ノブを押してロッ  
クをはずし、ガラスをスライドさ  
せる

ガラスの開度は、3段階から選択できま  
す。

操作後は、ガラスが確実に固定されたこ  
とを確認してください。



3

運転する前に

### ⚠ 警告

#### ■スライド式リヤサイドガラスを開閉 するときは

次のことを必ずお守りください。  
お守りいただかないと、重大な傷害に  
およぶか、最悪の場合死亡につながる  
おそれがあります。

- リヤサイドガラスを開閉するときは、  
乗員の手・腕・頭・首などを挟んだり  
巻き込んだりしないようにしてください。  
特にお子さまへは手などを出さないよう声かけをしてください。
- お子さまには、リヤサイドガラスの  
操作をさせないでください。  
リヤサイドガラスに挟まれたり巻き  
込まれたりするおそれがあります。

## マイセッティング

電子キーなどのデバイスから個人を特定し、運転者ごとの車両設定を記憶しておくことで、次回乗車時に再生します。

あらかじめ認証デバイスを割り当てておくことで、運転者に合わせたお好みの設定で乗車することができます。

マイセッティングには、運転者3名分の設定を記憶することができます。

**マルチメディア装着車：認証デバイスの割り当て／削除、ドライバー名の設定、初期化方法、運転者の手動切り替え、記憶してあるドライバーの削除については別冊「マルチメディア取扱説明書」を参照してください。**

### 割り当てる認証デバイスの種類

次の認証デバイスから個人を特定します。

#### ● 電子キー

スマートエントリー＆スタートシステム★が電子キーを検出することで個人を特定します。（→P.66）

#### ● Bluetooth® デバイス★

Bluetooth® 機器をマルチメディアシステムに接続することで個人を特定します。

Bluetooth® 機器の接続方法については、別冊「マルチメディア取扱説明書」を参照してください。

電子キー検出して個人を特定したときは、Bluetooth® 機器での個人の特定はしま

せん。

Bluetooth® ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

### 再生される機能

認証デバイスから個人が特定されたとき、次の機能の設定を再生します。

#### ● 表示設定※（メーター、マルチメディアディスプレイ★）

個人が特定されると、前回エンジンスイッチを OFF にしたときの表示設定を再生します。

#### ● 車両設定※（マルチインフォメーションディスプレイ、マルチメディアディスプレイ★で設定できる項目）

個人が特定されると、前回エンジンスイッチを OFF にしたときの車両設定を再生します。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

※一部の設定項目を除く

<b>4-1. 運転にあたって</b>	
運転にあたって .....	112
荷物を積むときの注意 .....	119
<b>4-2. 運転のしかた</b>	
エンジン（イグニッション）スイッチ .....	120
オートマチックトランスマッision .....	124
方向指示レバー .....	127
パーキングブレーキ .....	128
<b>4-3. ランプのつけ方・ワイパーの使い方</b>	
ランプスイッチ .....	129
AHB（オートマチックハイビーム） .....	132
リヤフォグランプスイッチ .....	134
ワイパー＆ウォッシャー（フロント） .....	135
ワイパー＆ウォッシャー（リヤ） .....	137
<b>4-4. 給油のしかた</b>	
給油口の開け方 .....	139
<b>4-5. 運転支援装置について</b>	
ソフトウェアアップデートを確認する（Toyota Safety Sense 装着車） .....	142
Toyota Safety Sense .....	145
PCS（プリクラッシュセーフティ） .....	151
LDA（レーンディバーチャーアラート） .....	158
発進遅れ告知機能 .....	162
RSA（ロードサインアシスト） .....	163
レーダークルーズコントロール .....	166
クルーズコントロール .....	174
クリアランスソナー .....	177
PKSB（パーキングサポートブレーキ） .....	183
パーキングサポートブレーキ（前後方静止物） .....	187
プラスサポート（販売店装着オプション） .....	189
運転を補助する装置 .....	194
排出ガス浄化装置 .....	199
<b>4-6. 運転のアドバイス</b>	
寒冷時の運転 .....	203

## 運転にあたって

**安全運転を心がけて、手順に従って走行してください。**

### 安全に走行するには

#### ■ エンジンを始動する

→P.120

#### ■ 発進する

- 1 ブレーキペダルを踏んだまま、シフトレバーをDにする  
→P.124)
- 2 パーキングブレーキを解除する  
→P.128)
- 3 ブレーキペダルから徐々に足を離し、アクセルペダルをゆっくり踏み発進する

#### ■ 停車する

- 1 シフトレバーはDのまま、ブレーキペダルを踏む
- 2 必要に応じて、パーキングブレーキをかける  
→P.128)

長時間停車する場合は、シフトレバーをPまたはNにします。  
→P.124)

#### ■ 駐車する

- 1 シフトレバーはDのまま、ブレーキペダルを踏む
  - 2 パーキングブレーキをかけて  
→P.128)、シフトレバーをPにする  
→P.124)
  - 3 エンジンスイッチを押してエンジンを停止する
  - 4 電子キーを携帯していることを確認し、ドアを施錠する
- 坂道の途中で駐車をする場合は、必要に応じて輪止め  
→P.285) を使用してください。

ださい。

#### ■ 上り坂で発進する

- 1 パーキングブレーキをしっかりとかけ、シフトレバーをDにする
- 2 アクセルペダルをゆっくり踏む
- 3 車が動き出す感触を確認したら、パーキングブレーキを解除し、発進する

### □ 知識

#### ■ エンジン出力の抑制について（ブレーキオーバーライドシステム）

- アクセルペダルとブレーキペダルが同時に踏まれたとき、エンジン出力を抑制する場合があります。
- ブレーキオーバーライドシステム作動中は、マルチインフォメーションディスプレイにメッセージが表示されます。

#### ■ 上り坂発進について

ヒルスタートアシストコントロールが作動します  
→P.194)

#### ■ 雨の日の運転について

● 雨の日は視界が悪くなり、またガラスが曇ったり、路面がすべりやすくなったりするので、慎重に走行してください。

- 雨の降りはじめは路面がよりすべりやすいため、慎重に走行してください。
- 雨の日の高速走行などでは、タイヤと路面のあいだに水膜が発生し、ハンドルやブレーキが効かなくなるおそれがあるので、スピードは控えめにしてください。

#### ■ 走行中のエンジン回転数について

次の場合、走行中にエンジン回転数が高くなることがあります。これは走行状況に合わせてシフトアップの制限、または

シフトダウンの実施を自動的に行うためで、急加速を示すものではありません。

- 車両が上り坂、または下り坂を走行していると判断したとき

- アクセルペダルを離したとき

### ■運転標識の取り付けについて

磁石式の初心運転者標識や高齢運転者標識などを樹脂バンパーやアルミボデー部に取り付けることはできません。

### ■オーバーヒートについて

次のようなきびしい走行状況ではオーバーヒートになるおそれがあります。

- 暑い日に長い上り坂を走行する

- 高速走行直後に急減速や急停止をする

### ■エンジン停止前のアイドリング運転について（ディーゼル車）

ターク装置の損傷を防ぐため、高負荷走行直後は、アイドル運転を行ってからエンジンを停止してください。

走行状況	アイドリング運転時間
市街地、郊外などの一般走行および高速走行（高速道路の法定または制限速度）	不要
山岳ドライブウェイなどの急な登坂路走行およびサーキットなどの連続走行	約1分

### ■環境に配慮した運転

→P.59

### ■路面状態の悪い泥水路を走行したあとは（ディーゼル車）

尿素水インジェクターの冷却フィンに詰まった異物（泥や木の葉）を取り除いてください。

必要に応じてトヨタ販売店にご相談くだ

さい。

## ▲警告

次の警告をお守りください。お守りいただかないと重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

### ■発進するとき

車が動き出すことによる事故を防ぐため、エンジンがかかったまま停車しているときは、常にブレーキペダルを踏んでください。クリープ現象で車が動き出すのを防ぎます。

### ■運転するとき

- 踏み間違いを避けるため、ブレーキペダルとアクセルペダルの位置を十分把握した上で運転してください。

- ・アクセルペダルをブレーキペダルと間違えて踏むと、車が急発進して思わぬ事故につながるおそれがあります。

- ・後退するときは体をひねった姿勢となるため、ペダルの操作がしにくくなります。ペダル操作が確実にできるよう注意してください。

- ・車を少し移動させるときも正しい運転姿勢をとり、ブレーキペダルとアクセルペダルが確実に踏めるようにしてください。

- ・ブレーキペダルは右足で操作してください。左足でのブレーキ操作は緊急時の反応が遅れるなど、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

- 燃えやすいものの上を走行したり、可燃物付近に車を停めたりしないでください。排気管や排気ガスは高温になり、可燃物が近くにあると火災になるおそれがあり危険です。

## ⚠ 警告

- 通常走行時は、走行中にエンジンを停止しないでください。走行中にエンジンを停止してもハンドルやブレーキの操作は可能ですが、操作力補助がなくなり、ハンドルとブレーキの操作が困難になります。安全を確認した上で、すみやかに道路脇に停車してください。  
なお、通常の方法で車両を停止することができないような緊急時は、P.265 を参照してください。
- 急な下り坂では、エンジンブレーキを使用してスピードを下げてください。フットブレーキを連続して使いすぎると、ブレーキが過熱して正常に機能しなくなります。（→P.124）
- 走行中はハンドル・シート・ドアミラー・インナーミラー★・デジタルインナーミラー★の調整をしないでください。運転を誤るおそれがあります。
- すべての乗員は頭や手、その他の体の一部を車から出さないようにしてください。
- オフロード走行をしないでください。やむを得ずオフロードを走行するときは、慎重に運転してください。また4WD車でも、この車は本格的なオフロード走行を目的とした車両ではありません。
- 渡河などの水中走行はしないでください。  
電装品のショートやエンジンの破損など、重大な車両故障の原因になるおそれがあります。

● シートの上や付近に荷物を置いて走行しないでください。  
急ブレーキをかけたときや、旋回しているときなどに荷物が飛び出したりして乗員にあたったり、荷物を破損したり、荷物に気をとられたりして、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

### ■ すべりやすい路面を運転するとき

- 急ブレーキ・急加速・急ハンドルはタイヤがスリップし、車両の制御ができなくなるおそれがあります。
- 急激なアクセル操作、シフト操作によるエンジンブレーキやエンジン回転数の変化は、車が横すべりするなどして、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- 水たまり走行後はブレーキペダルを軽く踏んでブレーキが正常に働くことを確認してください。ブレーキパッドがぬれるとブレーキの効きが悪くなったり、ぬれていない片方だけが効いたりしてハンドルをとられるおそれがあります。

### ■ シフトレバーを操作するとき

- シフトレバーを前進側のシフトポジションに入れたまま惰性で後退したり、Rに入れたまま惰性で前進することは絶対にやめてください。  
エンジンが停止し、ブレーキの効きが悪くなったり、ハンドル操作が重くなったりして、思わぬ事故や故障の原因になるおそれがあります。
- 車両が動いているあいだは、シフトレバーをPに入れないでください。  
トランスミッションにダメージを与えたり、車両のコントロールができなくなるおそれがあります。

## ⚠ 警告

- 車両が前進しているあいだは、シフトレバーをRに入れないとください。トランスミッションにダメージを与えることなく、車両のコントロールができなくなるおそれがあります。
- 車両が後退しているあいだは、シフトレバーを前進側のシフトポジションに入れないとください。トランスミッションにダメージを与えることなく、車両のコントロールができなくなるおそれがあります。
- 走行中にシフトレバーをNに入れると、トランスミッションとエンジンの動力伝達が解除され、エンジンブレーキが効かなくなります。
- アクセルペダルを踏み込んだまま操作しないように気を付けてください。シフトレバーがPまたはN以外になると、車が急発進して思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

### ■ 繼続的にブレーキ付近から警告音（キーキー音）が発生したとき

できるだけ早くトヨタ販売店で点検を受け、ブレーキパッドを交換してください。必要なときにパッドの交換が行われないと、ディスクローターの損傷につながる場合があります。

パッドやローターなどの部品は、役割を果たすと共に摩耗していきます。摩耗の限界をこえて走行すると故障を引き起こすばかりでなく、事故につながるおそれがあります。

### ■ 停車するとき

- 空ぶかしをしないでください。シフトレバーがPまたはN以外になると、車が急発進して思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

●車が動き出すことによる事故を防ぐため、エンジン回転中は常にブレーキペダルを踏み、必要に応じてparkingブレーキをかけてください。

●坂道で停車するときは、前後に動き出して事故につながるのを防ぐため、常にブレーキペダルを踏み、必要に応じてparkingブレーキをかけてください。

●停車中に空ぶかしをしないでください。

排気管が過熱し、可燃物が近くにあると火災につながるおそれがあり危険です。

### ■ 駐車するとき

●炎天下では、メガネ・ライター・スプレー缶・炭酸飲料の缶などを車内に放置しないでください。

放置したままでいると、次のようなことが起こるおそれがあり危険です。

- ・ライターやスプレー缶からガスがもれたり、出火する
- ・プラスチックレンズ・プラスチック素材のメガネが、変形またはひび割れを起こす
- ・炭酸飲料の缶が破裂して車内を汚したり、電気部品がショートする原因になる

●ライターを車内に放置したままにしないでください。ライターをグローブボックスなどに入れておいたり、車内に落としたままにしておくと、荷物を押し込んだりシートを動かしたときにライターの操作部が誤作動し、火災につながるおそれがあり危険です。

## ⚠️ 警告

- フロントウインドウガラスなどには吸盤を取り付けないでください。また、インストルメントパネルやダッシュボードの上に芳香剤などの容器を置かないでください。  
吸盤や容器がレンズの働きをして、車両火災につながるおそれがあり危険です。
- シルバー色などの金属蒸着フィルムを曲面ガラスに貼った場合は、ドアやドアガラスを開けたまま放置しないでください。直射日光が曲面ガラスの内側に反射し、レンズの働きをして火災につながるおそれがあり危険です。
- 車から離れるときは、必ずシフトレバーをPに入れ、パーキングブレーキをかけて、エンジンを停止し、施錠してください。  
エンジンがかかっているあいだは、車から離れないでください。  
パーキングブレーキをかけずにシフトレバーをPにした状態では、車が動き思わず事故につながるおそれがあり危険です。
- エンジン回転中または停止直後は排気管にふれないでください。  
やけどをするおそれがあります。特にディーゼル車は高温になる場合があるので、注意してください。  
(→P.199)

## ■ 仮眠するとき

必ずエンジンを停止してください。エンジンをかけたまま仮眠すると、無意識にシフトレバーを動かしたり、アクセルペダルを踏み込んだりして、事故やエンジンの異常過熱による火災が発生するおそれがあります。さらに、風通しの悪い場所に停めると、排気ガスが車内に侵入し、重大な健康障害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

## ■ ブレーキをかけるとき

- ブレーキがぬれているときは、普段よりも注意して走行してください。ブレーキがぬれると、制動距離が長くなり、ブレーキのかかりに、左右の違いが出るおそれがあります。また、パーキングブレーキがしっかりとつからないおそれもあります。
- ブレーキ倍力装置が機能しないときは、他の車に近付いたりしないでください。また、下り坂や急カーブを避けてください。  
この場合ブレーキは作動しますが、通常よりもブレーキペダルを強く踏む必要があります。また制動距離も長くなります。ただちにブレーキの修理を受けてください。
- 万一本体が停止したときは、ブレーキペダルをくり返し踏まないでください。ペダルを踏むたびに、ブレーキのアシスト力の蓄えを使いつらくなります。
- ブレーキシステムは2つの独立したシステムで構成されており、一方の油圧システムが故障しても、もう一方は作動します。この場合、ブレーキペダルを通常より強く踏む必要があり、制動距離が長くなります。ただちにブレーキの修理を受けてください。

## ⚠ 警告

### ■ 万一脱輪したとき（4WD車）

いずれかのタイヤが宙に浮いているときは、むやみに空転させないでください。

駆動系部品の損傷や、車両の飛び出しによる思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

## ⚠ 注意

### ■ 運転しているとき

- 運転中にアクセルペダルとブレーキペダルを同時に踏まないでください。アクセルペダルとブレーキペダルを同時に踏むと、エンジン出力を抑制する場合があります。
- 坂道で停車するために、アクセルペダルを使ったり、アクセルペダルとブレーキペダルを同時に踏んだりしないでください。

### ■ 部品の損傷を防ぐために

- パワーステアリングポンプの損傷を防ぐため、ハンドルをいっぱいにまわした状態を長く続けないでください。
- ディスクホイールなどの損傷を防ぐため、段差などを通過するときは、できるだけゆっくり走行してください。

### ■ ターボ装置の故障を防ぐために（ディーゼル車）

- 高負荷走行直後は、エンジンを停止しないでください。必ずアイドル運転を行い、ターボ装置などを冷却してからエンジンを停止してください。（→P.113）
- 排気管・エアクリーナなどには純正部品または同等品をお使いください。

- 排気管の改造は絶対にしないでください。

- 極寒の環境では、エンジン始動後に30秒以上アイドリング運転を行ってください。また、アイドリング運転中は空ぶかしをしないでください。

- 定期的なオイル交換を必ず行ってください。（→P.308）

### ■ 走行中にタイヤがパンクしたら

次のようなときはタイヤのパンクや損傷が考えられます。ハンドルをしっかり持って徐々にブレーキをかけ、スピードを落としてください。

- ハンドルがとられる
- 異常な音や振動がある
- 車両が異常に傾く

タイヤがパンクした場合の対処法はP.284を参照してください。

### ■ 冠水路走行に関する注意

大雨などで冠水した道路では、次のような重大な損傷を与えるおそれがあるため、走行しないでください。

- エンストする
- 電装品がショートする
- 水を吸い込んでのエンジン破損
- 万一、冠水した道路を走行し、水中に浸かってしまったときは必ずトヨタ販売店で次の点検をしてください。
- ブレーキの効き具合
- 電動ファンシステム
- エンジン・トランスミッション・トランスマスター（4WD車）・ディファレンシャルなどのオイルやフルードの量および質の変化
- プロペラシャフト・各ベアリング・各ジョイント部などの潤滑不良



### ■駐車するとき

必ずパーキングブレーキをかけ、シフトレバーをPにしてください。パーキングブレーキをかけシフトレバーをPにしておかないと、車が動き出したり、誤ってアクセルペダルを踏み込んだときに急発進するおそれがあります。

## 急発進および後退速度の抑制 (ドライブスタートコントロール)

### ■急発進の抑制制御

アクセルペダルを踏み込んだまま、次のようにシフトポジションを切りかえたとき、エンジン出力を抑制することがあります。

- Rに切りかえたとき\*
- PまたはRからDなどの前進シフトポジションに切りかえたとき\*

この場合、マルチインフォメーションディスプレイにメッセージが表示されます。表示された画面の指示に従ってください。

\* 状況によっては操作できない場合があります。

### ■後退速度の抑制制御

後退時の速度が所定以下となるようエンジン出力を抑制\*します。

後退速度の抑制制御が作動しているときは、マルチインフォメーションディスプレイに“速度抑制中”が表示されます。

\* 状況によっては所定の速度以下に抑制

できない場合があります。



### ■ドライブスタートコントロールについて

- TRCの作動を停止（→P.195）すると、急発進の抑制制御も停止します。急発進の抑制制御により、ぬかるみや新雪などからの脱出が困難な場合は、TRCの作動を停止してください。（→P.195）
- タイヤがスリップ（空転）していると、後退速度の抑制制御が作動することがあります。
- 後退速度の抑制制御のON（作動）／OFF（非作動）を切りかえることができます。（→P.313）
- ・ エンジンスイッチをONにしたときは、後退速度の抑制制御は常にON（作動）になっています。
- ・ 後退速度の抑制制御をOFF（非作動）にしても、急発進の抑制制御は作動します。

## 荷物を積むときの注意

安全で快適なドライブをするために、荷物を積むときは次のことをお守りください。



### ■ 警告

#### ■ 積んではいけないもの

次のようなものを積むと引火するおそれがあり危険です。

- 燃料が入った容器
- スプレー缶

#### ■ 荷物を積むとき

次のことを必ずお守りください。  
お守りいただかないと、ブレーキペダル・アクセルペダルを正しく操作できなかったり、荷物が視界をさえぎったり、荷物が乗員に衝突したりして、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

- できるだけ荷物はラゲージスペース、またはシートを起こしてスペースアップした場所<sup>\*</sup>に積んでください。

<sup>\*</sup> スペースアップシート装着車のみ

- シート背もたれより高いものをラゲージスペースに積まないでください。

- 寸法が長い荷物を積むときは、できるだけ前席シート背もたれの真うしろには積まないでください。

● シート以外の場所には、絶対に人を乗せて走行しないでください。  
乗員は、適切にシートベルトを着用させ、座席に座らせてください。  
お守りいただかないと、急ブレーキや衝突の際に、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

● 次の場所には荷物を積まないでください。

- ・ 運転席足元
- ・ 助手席やリヤ席（荷物を積み重ねる場合）
- ・ インストルメントパネル
- ・ ダッシュボード

● 室内に積んだ荷物はすべてしっかりと安定させてください。

#### ■ 荷物の重量・荷重のかけ方について

- 荷物を積み過ぎないでください。
- 荷重を不均等にかけないようにしてください。

これはタイヤに負担をかけるだけでなく、ハンドル操作性やブレーキ制御の低下により思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

## エンジン（イグニッショ ン）スイッチ

電子キーを携帯して次の操作を行ふことで、エンジンの始動またはエンジンスイッチのモードを切りかえることができます。

### エンジンをかけるには

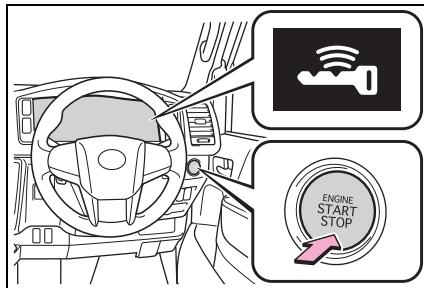
- 1 パーキングブレーキがかかっていることを確認する
- 2 シフトレバーが P の位置にあることを確認する
- 3 ブレーキペダルをしっかりと踏む  
マルチインフォメーションディスプレイに  が表示されます。
- 4 エンジンスイッチを短く確実に押す

短く確実に押せば、押し続ける必要はありません。  
エンジンが始動するまで最大 30 秒間スタートー<sup>タ</sup>ーが回転します。

完全にエンジンが始動するまでブレーキペダルを踏み続けてください。

ディーゼル車：  (予熱表示灯) が点灯後消灯したらエンジンが始動します。  
エンジンスイッチのどのモードからでも

エンジンを始動できます。



プラスサポート★をご使用の方は、P.189 も併せて参照してください。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

### □ 知識

#### ■ エンジンスイッチ文字照明

状況に応じて、次のようにエンジンスイッチ文字照明が切りかわります。

- 運転席または助手席ドアが開いているときは、エンジンスイッチ文字照明が点灯します。
- エンジンスイッチが OFF のとき、電子キーを携帯したままブレーキペダルを踏むと、エンジンスイッチ文字照明が点滅します。
- エンジンスイッチが ACC または ON のときは、エンジンスイッチ文字照明が点灯します。
- エンジンスイッチを ACC または ON から OFF にしたときは、エンジンスイッチ文字照明がしばらく点灯し、その後消灯します。

#### ■ 電子キーの検知に関する留意事項

電子キーはポケットなどに携帯してください。

電子キーがフロア上、ダッシュボード上、オープントレイ内、カップホルダー内、荷室内などにあるときは、スマートエン

トリー＆スタートシステムが正常に作動しません。また、リヤシート上にある場合も、正常に作動しないことがあります。（作動範囲：→P.85）

### ■エンジンが始動しないとき

- エンジンイモビライザーシステムが解除されていない可能性があります。（→P.47）  
トヨタ販売店へご連絡ください。
- 始動操作に関するメッセージがマルチインフォメーションディスプレイに表示されている場合は、画面の指示に従ってください。
- メカニカルキーを使ってドアを解錠した場合は、スマートエントリー＆スタートシステムでエンジンを始動することができません。エンジンを始動するには、P.301 を参照してください。または、乗車中に電子キーを携帯し、施錠した場合（→P.120）はエンジンを始動できます。

### ■電池の消耗について

→P.66

### ■スマートエントリー＆スタートシステムが正常に働かないおそれのある状況

→P.86

### ■ご留意いただきたいこと

→P.87

### ■マルチインフォメーションディスプレイに“スマートエントリー＆スタートシステム故障 取扱書を確認”が表示されたとき

システムに異常があるおそれがあります。ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

### ■電子キーの電池交換

→P.247

### ■エンジンスイッチの操作について

- スイッチを短く確実に押せていない場合は、モードの切りかえやエンジン始動ができない場合があります。
- エンジンスイッチ OFF 後、すぐに再始動させようとする場合は、エンジンが始動しない場合があります。エンジンスイッチ OFF 後の再始動は、数秒待つてから操作してください。

### ■カスタマイズ機能

カスタマイズ機能でスマートエントリー＆スタートシステムを非作動にしたときは、P.316 を参照してください。



### 警告

#### ■エンジンを始動するとき

必ず運転席に座って行ってください。このとき決してアクセルペダルは踏まないでください。  
思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。



### 注意

#### ■エンジンを始動するとき

- エンジンが冷えた状態で空ぶかしないでください。
- もしエンジンが始動しにくかったり、ひんぱんにエンストする場合は、ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

#### ■エンジンスイッチの操作について

エンジンスイッチ操作時に引っかかりなどの違和感があるときは、故障のおそれがあります。すみやかにトヨタ販売店にご連絡ください。

### エンジンを停止するには

#### 1 車両を完全に停止させる

- 2 パーキングブレーキをかける**  
(→P.128) メーター内のパーキングブレーキ表示灯が点灯していることを確認します。
- 3 シフトレバーを P の位置にする**  
(→P.125)  
シフトレバーを P にしたあとは、シフトレバーのボタンを押さないでください。
- 4 エンジンスイッチを短く確実に押す**  
エンジンが停止し、メーター表示が消えます。
- 5 ブレーキペダルから足を離してマルチインフォメーションディスプレイの“アクセサリー”や“パワー ON”的表示が消灯していることを確認する**

### ⚠ 警告

#### ■緊急時のエンジン停止方法

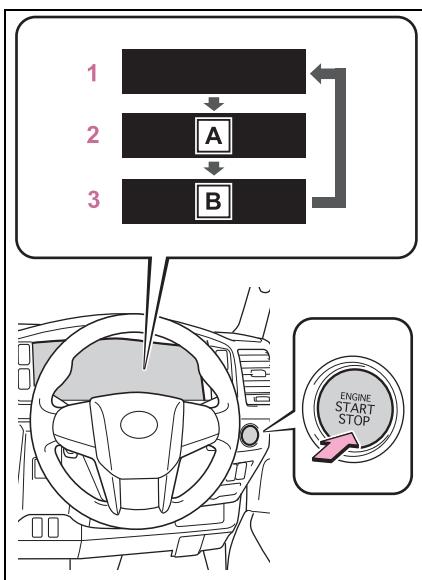
●走行中にエンジンを緊急停止したい場合には、エンジンスイッチを2秒以上押し続けるか、素早く3回以上連続で押してください。(→P.265)ただし、緊急時以外は走行中にエンジンスイッチにふれないでください。走行中にエンジンを停止してもハンドルやブレーキの操作は可能ですが、車両が停止する前に操作力補助がなくなり、ハンドルとブレーキの操作が困難になります。安全を確認した上で、すみやかに道路脇に停車してください。

●走行中にエンジンスイッチを操作すると、マルチインフォメーションディスプレイに警告メッセージが表示され、警告ブザーが鳴ります。

- 走行中にエンジンを緊急停止したあと、走行中にエンジンを再始動される場合は、シフトレバーを N にし、エンジンスイッチを短く確実に押してください。

#### エンジンスイッチを切りかえるには

ブレーキペダルを踏まずにエンジンスイッチを押すと、モードを切りかえることができます。(スイッチを押すごとにモードが切りかわります)



**A アクセサリー**

**B パワー ON**

**1 OFF<sup>※1</sup>**

非常点滅灯が使用できます。

**2 ACC<sup>※2</sup>**

オーディオなどの電装品が使用できます。  
マルチインフォメーションディスプレイに“アクセサリー”が表示されます。

### 3 ON

すべての電装品が使用できます。

マルチインフォメーションディスプレイに“イグニッションON”が表示されます。

\*1 シフトレバーがP以外のときはONのままになり、OFFなりません。

\*2 カスタマイズメニューでON／OFFを切りかえることができます。  
(→P.321)



### ■ ACC カスタマイズ★が“OFF”的とき

エンジンスイッチがOFFの状態でも、節電機能が働くまでの一定時間はマルチメディアシステムが使用できます。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

### ■ 自動電源 OFF 機能

● シフトレバーがPにあるとき、20分以上ACCかON（エンジンがかからない状態）にしたままにしておくと、エンジンスイッチが自動でOFFになります。

● シフトレバーがPにあるとき、エンジンスイッチがACCまたはON（エンジンが始動していない状態）のときにバッテリーの残量が少なくなると、ブザーが鳴りマルチインフォメーションディスプレイにメッセージが表示されます。そのままの状態を続けると、エンジンスイッチが自動でOFFになります。

ただし、自動電源OFF機能は、バッテリーあがりを完全に防ぐものではありません。エンジンがかからないときは、エンジンスイッチをACCまたはONにしたまま長時間放置しないでください。

### 注意

#### ■ バッテリーあがりを防止するために

● エンジンがかからないときは、エンジンスイッチをACCまたはONにしたまま長時間放置しないでください。

● エンジンがかからないときに、マルチインフォメーションディスプレイの“アクセサリー”または“パワーON”的表示が消灯していない場合、エンジンスイッチがOFFになってしまいません。エンジンスイッチをOFFにしてから車両を離れてください。

### シフトレバーがP以外でエンジンを停止したとき

シフトレバーがP以外でエンジンを停止させた場合、エンジンは停止しますが、エンジンスイッチのモードはOFFなりません。次の手順でOFFにしてください。

- 1 パーキングブレーキがかかっていることを確認する
- 2 シフトレバーをPの位置にする  
シフトレバーをPにしたあとは、シフトレバーのボタンを押さないでください。
- 3 マルチインフォメーションディスプレイに“パワーON”が表示されていることを確認し、エンジンスイッチを短く確実に押す
- 4 マルチインフォメーションディスプレイの“アクセサリー”または“パワーON”的表示が消灯していることを確認する

 **注意**

■バッテリーあがりを防止するために

シフトレバーが P 以外でエンジンを停止させないでください。シフトレバーが P 以外でエンジンを停止させた場合、エンジンスイッチは ON のままになるため、そのまま放置するとバッテリーあがりの原因になります。

**オートマチックトランスマッision**

目的や状況に応じてシフトポジションを選択してください。

**シフトポジションの使用目的について**

シフトポジション	目的および状態
P	駐車またはエンジンの始動
R	後退
N	動力が伝わらない状態
D	通常走行 ※1
S	S モード走行 ※2 (→P.126)

※1 燃費向上や騒音の低減のために、通常は D ポジションを使用してください。

※2 S モードではエンジンブレーキ力の選択が可能です。また、D ポジションにくらべエンジン回転数を高く制御するため、加速応答性が向上します。

 **知識**

■リバース警告ブザー

シフトレバーを R に入れるとブザーが鳴り、R にあることを運転者に知らせます。

■レーダークルーズコントロールを使って走行しているとき

エンジンブレーキを目的に S モード走行中に 5 または 4 レンジにシフトダウンしても、レーダークルーズコントロールが解除されないためエンジンブレーキは効きません。

## ■オートマチックトランスマッision保護機能

ぬかるみや砂地・雪道などでスタックしてタイヤが空転する状態が続くときや、走行時にアクセルペダルをくり返し踏んだり離したりする状況が続くと、トランスマッisionが高温になり損傷するおそれがあります。

このとき、トランスマッisionが損傷しないように、ギヤが一時的に固定される場合があります。

トランスマッisionの温度が下がるとギヤの固定は解除され、通常作動に戻ります。

## ■急発進の抑制について（ドライブスタートコントロール）

→P.118

## ■AI-SHIFT

AI-SHIFT は、運転者の運転操作と走行状況により、自動的に適切なギヤ段に切り替えます。

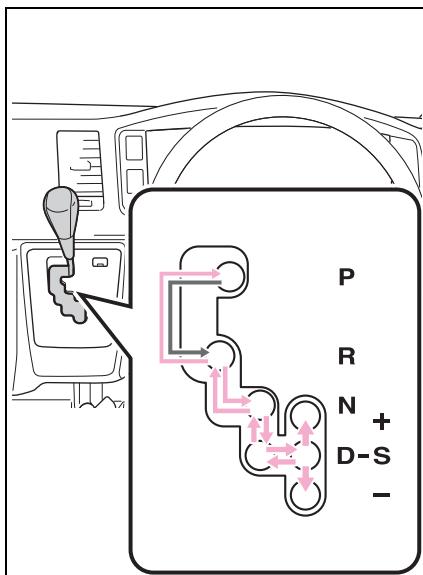
AI-SHIFT は、シフトレバーを D にしているとき自動的に作動します。（シフトレバーを S にすると機能が解除されます。）



### ■すべりやすい路面を走行するとき

急なアクセル操作や、シフト操作を行わないでください。エンジンブレーキ力の急激な変化が横すべりやスピンの原因になりますので注意してください。

## シフトレバーの動かし方



← エンジンスイッチが ON の

状態で、ブレーキペダルを踏んだまま操作します。

P と D のあいだの操作は、ブレーキペダルを踏み、車を完全に止めてから行ってください。



## ■シフトロックシステム

シフトロックシステムは、発進時のシフトレバーの誤操作を防ぐシステムです。

エンジンスイッチが ON でブレーキペダルを踏んだ状態でなければ、シフトレバーを P からシフトできません。

## ■シフトレバーを P からシフトできないとき

ブレーキペダルを踏んでいることを確認してください。

ブレーキペダルを踏んだ状態でシフトレ

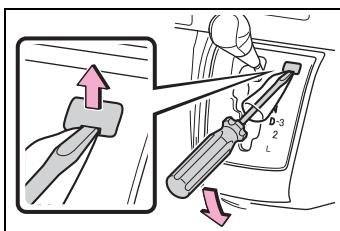
バーがシフトできない場合、シフトロックシステムなどの故障が考えられます。ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

ただし一時的な処置として、次の方法でシフトレバーをシフトすることができます。

#### シフトロックの解除のしかた：

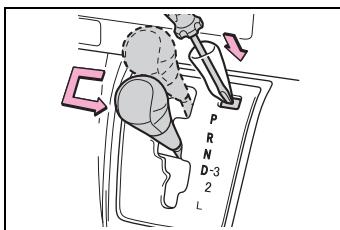
- 1 パーキングブレーキがかかっていることを確認する
- 2 エンジンスイッチを OFF にする
- 3 ブレーキペダルを踏む
- 4マイナスドライバーなどを使ってバーを取りはずす

傷が付くのを防ぐため、マイナスドライバーの先端に布などを巻いて保護してください。



- 5 ドライバーの先などでシフトロック解除ボタンを押す

ボタンを押しているあいだは、レバーをシフトできます。



#### ■ 警告

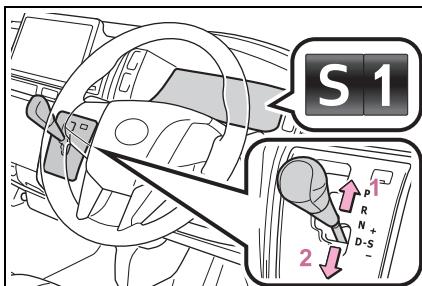
##### ■ シフトロック解除時の事故を防ぐために

シフトロック解除ボタンを押すときは、必ずパーキングブレーキをかけブレーキペダルを踏んでください。

誤ってアクセルペダルを踏んでいると、シフトロック解除ボタンを押してシフトレバーを操作したときに、車が急発進して思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

#### S モードでのシフトレンジ選択

シフトレバーを S ポジションにすると、S モードに切りかわります。シフトレバーの操作で思いどおりのシフトレンジを選択し、運転することができます。



##### 1 シフトアップ

##### 2 シフトダウン

1 ~ 6 レンジのあいだで選択されているレンジがメーターに表示されます。

S ポジションへ操作したときの初期シフトレンジは、車速に応じて 5 または 4 レンジに設定されます。

ただし、D ポジションにて AI-SHIFT 制御中はそれに従い、初期のシフトレンジが 3 レンジになる場合があります。

(→P.125)

## ■ シフトレンジ機能

- 車速と走行状況によって、1～6速を自動的に選択します。しかし、選択したシフトレンジによってギヤは制限されます。
- エンジンブレーキ力は、6段階から選択が可能です。
- シフトレンジの数字が小さい方が、エンジンブレーキ力は大きくなり、エンジン回転数も高くなります。

### 知識

#### ■ S モードについて

- 4レンジ以下のとき、シフトレバーを“+”側へ保持すると6レンジに設定されます。
- エンジン過回転前に自動的にシフトアップします

#### ■ シフトダウン制限警告ブザー（S モード走行時）

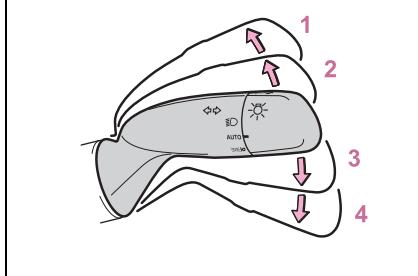
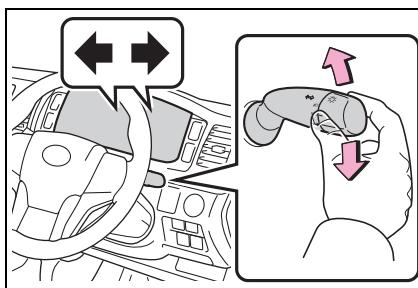
安全や走行性能を確保するため、シフトダウン操作には制限があり、シフトレバーを操作してもシフトダウンできない場合があります。（このときブザーが2回鳴ります）

#### ■ シフトレバーを S にしても、シフトポジション表示が S にならないとき

システム異常のおそれがあります。ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

## 方向指示レバー

### 操作のしかた



1 左折

2 左側へ車線変更（レバーを途中で保持）

レバーを離すまで、左側方向指示灯が点滅します。

3 右側へ車線変更（レバーを途中で保持）

レバーを離すまで、右側方向指示灯が点滅します。

4 右折

### 知識

#### ■ 作動条件

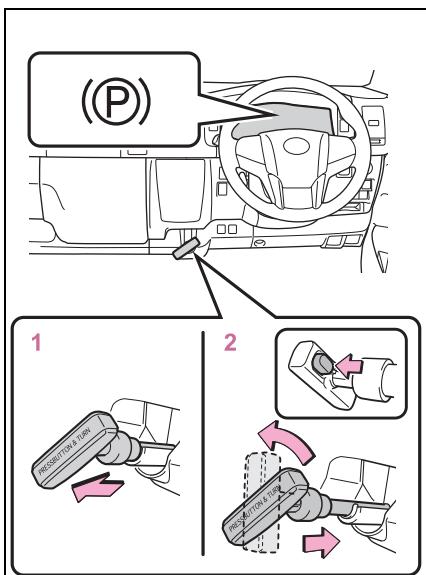
エンジンスイッチが ON のとき

#### ■ 表示灯の点滅が異常に速くなったときは

各方向指示灯の電球が切れていないか確認してください。

## パーキングブレーキ

### 操作のしかた



#### 1 パーキングブレーキをかける

ブレーキペダルを踏みながら、パーキングブレーキレバーをいっぱいまで引いてください。

パーキングブレーキ表示灯が点灯します。

#### 2 パーキングブレーキを解除する

レバー裏側にあるボタンを押しながら左にまわし完全に奥までもどしてください。



### ■駐車するとき

→P.112

#### ■パーキングブレーキ未解除走行時警告ブザー

パーキングブレーキをかけたまま、車速が5km/hをこえたとき、警告ブザーが鳴ります。

### ■冬季のパーキングブレーキの使用について

→P.203



#### 注意

##### ■走行前の注意

パーキングブレーキを完全に解除してください。

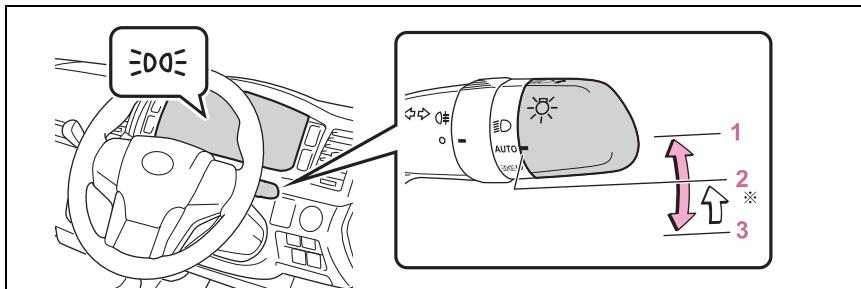
パーキングブレーキをかけたまま走行すると、ブレーキ部品が過熱し、ブレーキの効きが悪くなったり、早く摩耗したりするおそれがあります。

## ランプスイッチ

自動または手動でヘッドライトなどを点灯・消灯できます。

### 点灯のしかた

次のように  スイッチを操作すると、ランプが点灯します。



4

通話

\* スイッチを **3 ショット** の位置へ操作し手を離すと、自動的に **2 AUTO** の位置へ戻ります。

	点灯状態	
ポジション	周囲が明るいとき	周囲が暗いとき
<b>1 ハロ</b>	ヘッドライト・スマートランプが点灯	
<b>2 AUTO</b> ※1	ヘッドライト・スマートランプが消灯	ヘッドライト・スマートランプが点灯
<b>3 ショット</b> ※1	スマートランプが点灯	スマートランプが点灯 ※2

上記の表のスマートランプは、車幅灯・尾灯・インストルメントパネルランプを意味します。

\*1 **3 ショット** の状態に切りかえるには  スイッチを下に回した状態で約 1 秒保持してから、手を離します。

約 1 秒保持しないと、ランプ類の作動は **2 AUTO** のまま変化しません。

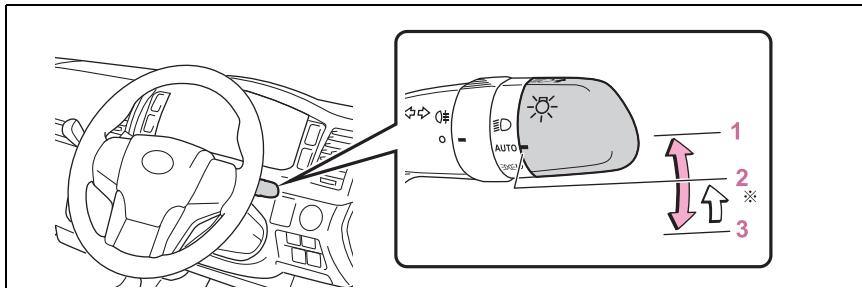
\*2 停車中のみ点灯可能。車両を発進させると **2 AUTO** による点灯状態に切りかわります。

### 消灯のしかた

 スイッチを **3 ショット** の位置で 2 秒以上保持すると、次のように作動

します。

消灯中に **1**  か **3**  の位置へ操作すると消灯状態が解除されます。



\* スイッチを **3**  の位置へ操作し手を離すと、自動的に **2** AUTOの位置へ戻ります。

点灯状態		
ポジション	周囲が明るいとき	周囲が暗いとき
<b>3</b> 	ヘッドライト・スマートランプが消灯	ヘッドライト・スマートランプが消灯*

\* 停車中のみ消灯可能。車両を発進させると消灯状態が解除されます。

## □ 知識

### ■ AUTO モードの作動条件

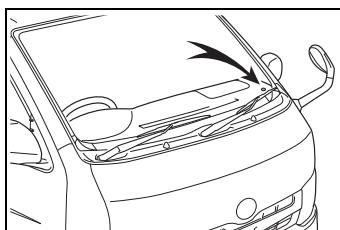
エンジンスイッチが ON のとき

### ■ 自動で点灯 / 消灯する明るさについて

周囲の明るさに応じて自動的にランプが点灯 / 消灯します。日中走行中でも周囲の環境や明るさによって、ヘッドライトが自動点灯する場合があります。

### ■ ライトセンサーについて

センサーの上にものを置いたり、センサーをふさぐようなものをフロントワインドウガラスに貼らないでください。周囲からの光がさえぎられると、自動点灯・消灯機能が正常に働かなくなります。



### ■ ランプ消し忘れ防止機能

エンジンスイッチを ACC または OFF にしてバックドアを除くいずれかのドアを開けるとすべてのランプが自動的に消灯します。

再びランプを点灯する場合は、エンジンスイッチを ON にするか、一度ランプスイッチを AUTOにしてから  または  の位置にします。

### ■ カスタマイズ機能

ライトセンサーの感度の設定などを変更できます。(カスタマイズー

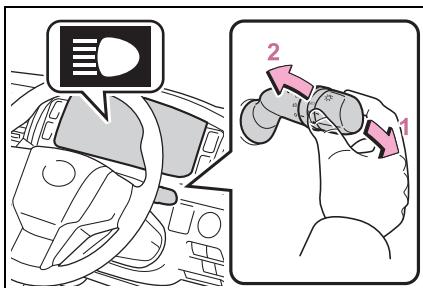
覧: →P.316)

### 注意

#### ■バッテリーあがりを防止するために

エンジンを停止した状態でランプ類を長時間点灯しないでください。

### ハイビームにするには



- 1** ヘッドライト点灯時ハイビームに切り替え

レバーをもとの位置へもどすとロービームにもどります。

- 2** レバーを引いているあいだ、ハ

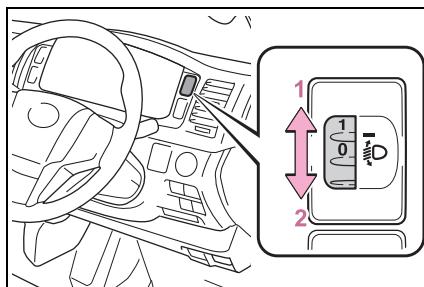
#### ■ 目盛り設定の目安

### イビームを点灯

ランプが消灯していても、ハイビームが点灯します。レバーを離すと、ロービームにもどる、または消灯します。

### 手動光軸調整ダイヤル

乗車人数や荷物の量などによる車の姿勢の変化に合わせて、ヘッドランプの光軸を調整することができます。



- 1** 上向きに調整

- 2** 下向きに調整

### 乗員と荷物の条件

### ダイヤル位置

乗員	荷室	ハロゲンランプ	LED ランプ	
			2TR-FE	1GD-FTV
運転者	なし	0	0	0
	ラゲージルーム 満載時	1.5	1	1.5

## AHB (オートマチックハイビーム)

オートマチックハイビームは、フロントウインドウガラス上部に設置された前方カメラにより前方車両のランプや街路灯などの明るさを判定し、自動的にハイビームとロービームを切り替えます。

### ⚠️ 警告

#### ■ 安全にお使いいただくために

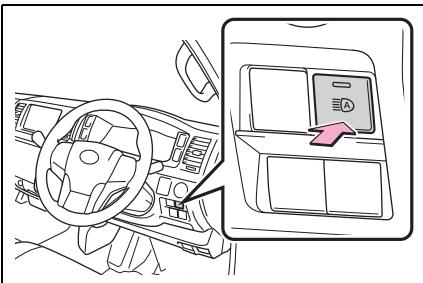
オートマチックハイビームを過信しないでください。運転者は常に自らの責任で周囲の状況を把握し、安全運転を心がけ、必要に応じて手動でハイビームとロービームを切りかえてください。

#### ■ オートマチックハイビームの誤作動を防ぐために

システムを OFF にする必要があるとき：→P.145

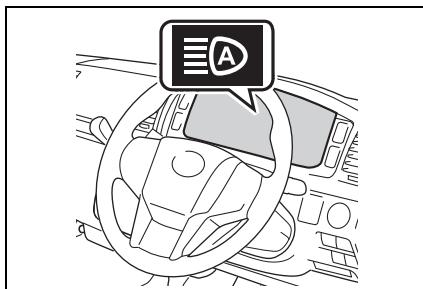
### オートマチックハイビームを使うには

#### 1 オートマチックハイビームスイッチを押す



#### 2 ランプスイッチを AUTO または ⚡ にする

レバーがロービームの位置にあるとき、オートマチックハイビームシステムが動作し、AHB 表示灯が点灯します。



### □ 知識

#### ■ ハイビームとロービームの自動切り替え条件

- 次の条件をすべて満たすと、ハイビームを点灯します。

- ・車速が約 30km/h 以上
- ・車両前方が暗い
- ・前方にランプを点灯した車両がいない
- ・前方の道路沿いの街路灯などの光が少ない

- 次の条件のいずれかのときはロービームが点灯します。

- ・車速が約 25km/h 以下
- ・車両前方が明るい
- ・前方車両がランプを点灯している
- ・前方の道路沿いの街路灯などの光が多い

#### ■ 前方カメラの検知について

- 次の状況では、ハイビームが自動でロービームに切りかわらない場合があります。

- ・車両が割り込んできたとき
- ・他車が前方を横切ったとき
- ・連続するカーブや中央分離帯、街路樹などで前方車両が見え隠れするとき
- ・前方車両が離れた車線から接近してきたとき
- ・前方車両が遠方を走行しているとき
- ・前方車両が無灯火のとき

- ・前方車両のランプ類の照度が低いとき
  - ・前方車両が自車のヘッドライトなどの強い光を反射しているとき
  - ・センサーが正しく作動しないおそれがあるとき：→P.149
- 前方車両のフォグランプにより、ハイビームがロービームに切りかわる場合があります。
- 街路灯や信号・広告などの照明、または標識・看板などの反射物によりハイビームがロービームに切りかわる場合や、ロービームが継続する場合があります。
- 次の原因により、ハイビームとロービームの切りかえのタイミングが変化する場合があります
- ・前方車両のランプの明るさ
  - ・前方車両の動きや向き
  - ・前方車両との車間距離
  - ・前方車両のランプが片側のみ点灯しているとき
  - ・前方車両が二輪車のとき
  - ・道路の状態（勾配やカーブ、路面状況など）
  - ・乗車人数や荷物の量
- ハイビームとロービームが運転者の感覚に合わず切りかわる場合があります。
- 自転車などの軽車両は検知しない場合があります。
- 次の状況では、周囲の明るさが正確に検知されず、ハイビームが歩行者や前方車両などの迷惑になる場合や、ロービームが継続する場合があります。このような場合は、手動でハイビームとロービームを切りかえてください。
- ・周囲にヘッドライトや尾灯などに似た光があるとき
  - ・前方車両のランプが無灯火のときや、ランプに汚れや変色があつたり光軸がずれていますとき
  - ・ハイビームとロービームをひんぱんに切りかえているとき
- ・ハイビームの点灯が不適切と思われるとき、またはほかの運転者・付近の歩行者の迷惑になるとと思われるとき
  - ・システムをOFFにする必要があるとき：→P.145
  - ・センサーが正しく作動しないおそれがあるとき：→P.149

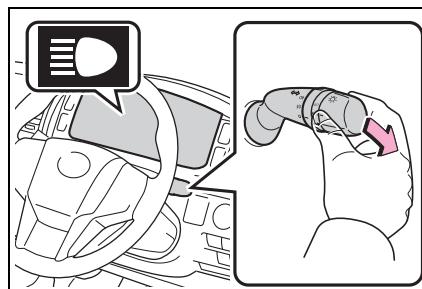
## 手動制御に切りかえるには

### ■ ハイビームへの切りかえ

レバーを前方へ押す

AHB 表示灯が消灯し、ハイビーム表示灯が点灯します。

オートマチックハイビームにもどすには、再度レバーをもとの位置にもどします。

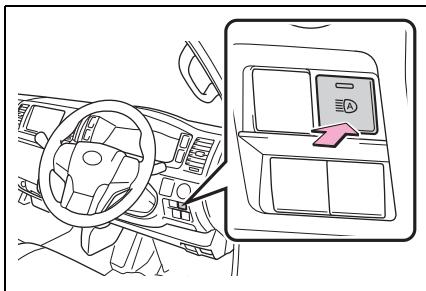


### ■ ロービームへの切りかえ

オートマチックハイビームスイッチを押す

AHB 表示灯が消灯します。

オートマチックハイビームにもどすには、再度オートマチックハイビームスイッチを押します。

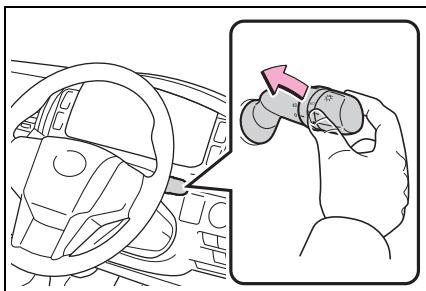


### 一時的なロービームへの切り替え

ハイビームの使用に問題がある、または他の運転者・付近の歩行者の迷惑になると思われるときに使用します。

レバーを手前に引き、もとの位置にもどす

レバーを引いているあいだはハイビームが点灯しますが、レバーがもとの位置にもどるとしばらくのあいだロービームが点灯します。その後、再度オートマチックハイビームが作動します。

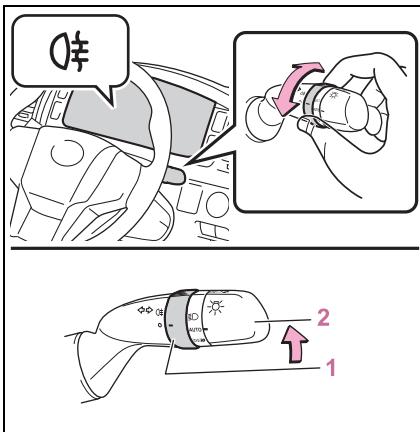


## リヤフォグランプスイッチ

★ : グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

雨や霧などの悪天候下では、後続車に自車の存在を知らせるためにリヤフォグランプを点灯させます。

### 操作のしかた



**1 ○ 消灯する**

**2 ○ 点灯する**

手を離すと ○ の位置までもどります。

再度操作すると消灯します。

### 知識

#### ■ 点灯条件

ヘッドライトが点灯しているときに使用できます。

#### ■ リヤフォグランプについて

● リヤフォグランプが点灯しているとき

は、メーター内の表示灯が橙色に点灯します。

- 雨や霧、雪などで視界が悪いときに後続車に自分の車の存在を知らせるために使用します。視界が悪いとき以外に使用すると後続車の迷惑になる場合があります。必要なとき以外は使用しないでください。

## ワイパー＆ウォッシャー（フロント）

レバー操作で、ワイパーの作動を自動／手動に切りかえたり、ウォッシャーを作動させたりすることができます。



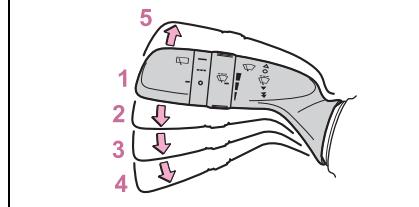
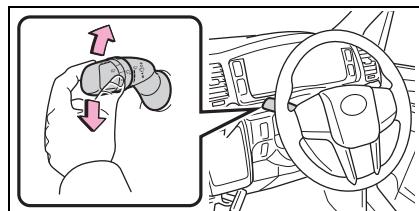
注意

- フロントウインドウガラスが乾いているときは

ワイパーを使わないでください。  
ガラスを傷付けるおそれがあります。

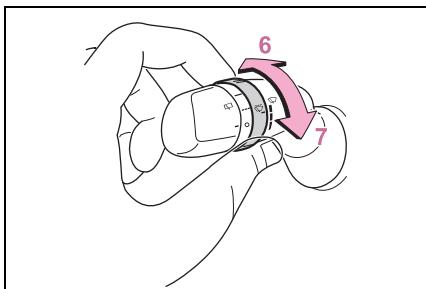
## 操作のしかた

次のように レバーを操作すると、ワイパーまたはウォッシャーが作動します。



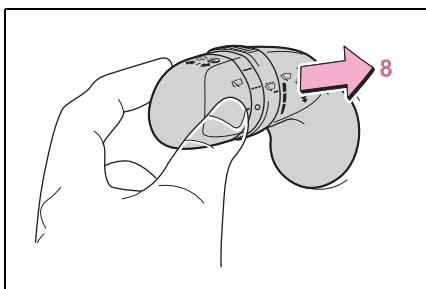
- 1 ○ 停止
- 2 ▽ 間欠作動
- 3 ▼ 低速作動 (LO)
- 4 ▼ 高速作動 (HI)
- 5 △ 一時作動 (MIST)

間欠作動を選択しているとき、間欠作動の頻度を調整することができます。



**6** 間欠ワイパーの作動頻度（増）

**7** 間欠ワイパーの作動頻度（減）



**8**  ウオッシャー液を出す

レバーを手前に引くとワイパーと連動してウォッシャーが作動します。

## □ 知識

### ■ 作動条件

エンジンスイッチが ON のとき

### ■ 車速による作動への影響

車速によってワイパー作動の間欠時間への影響があります。

### ■ ウオッシャー液が出ないときは

ウォッシャー液量が不足していないのにウォッシャー液が出ないときは、ノズルのつまりを点検してください。

## ⚠ 警告

### ■ ウオッシャー使用時の警告

寒冷時はフロントウインドウガラスが暖まるまでウォッシャー液を使用しないでください。ウォッシャー液がフロントウインドウガラスに凍り付き、視界不良を起こして思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

## ⚠ 注意

### ■ ウオッシャー液が出ないときは

ウォッシャースイッチを操作し続けないでください。

ポンプが故障するおそれがあります。

### ■ ノズルがつまつたときは

ノズルがつまつたときはトヨタ販売店へご連絡ください。

ピンなどで取り除かないでください。  
ノズルが損傷するおそれがあります。

### ■ バッテリーあがりを防止するために

エンジンを停止した状態でワイパーを長時間作動しないでください。

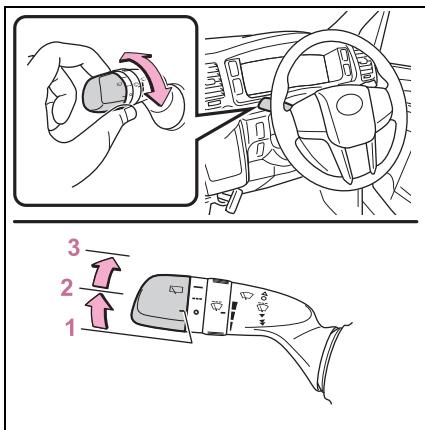
## ワイパー＆ウォッシャー（リヤ）

### 注意

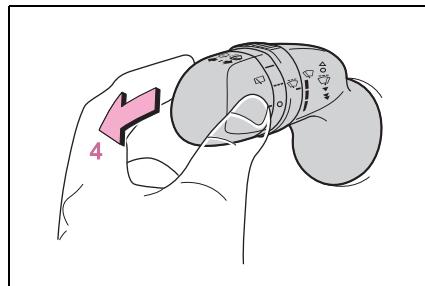
- リヤウインドウガラスが乾いているときは  
ワイパーを使わないでください。  
ガラスを傷付けるおそれがあります。

### 操作のしかた

次のように  スイッチを操作すると、リヤワイパーが作動します。



- 1 ○ 停止
- 2 --- 間欠作動
- 3 — 通常作動



### 4 ウォッシャー液を出す

レバーを前方へ押すとワイパーと連動してウォッシャーが作動します。デジタルインナーミラー★（→P.101）を洗浄するウォッシャーも同時に作動します。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

### 知識

#### ■作動条件

エンジンスイッチがONのときは

#### ■ウォッシャー液が出ないときは

ウォッシャー液量が不足していないのにウォッシャー液が出ないときは、ノズルのつまりを点検してください。

#### ■リバース連動機能

フロントワイパーが作動中、シフトレバーをRに入れるときリヤワイパーが1回作動します。

#### ■バックドア開運動リヤワイパー停止機能

停車状態でリヤワイパーが作動しているときにバックドアを開けると、ワイパーの水しぶきが車両の近くにいる人にかかるのを防ぐためにワイパーの作動が停止します。バックドアを閉めると作動を再開します。

#### ■カスタマイズ機能

リバース連動機能などの設定を変更することができます。（カスタマイザー

覧: →P.313)

 注意

■ ウオッシャー液が出ないときは

ウォッシャースイッチを操作し続けないでください。

ポンプが故障するおそれがあります。

■ ノズルがつまつたときは

ノズルがつまつたときはトヨタ販売店へご連絡ください。

ピンなどで取り除かないでください。

ノズルが損傷するおそれがあります。

■ バッテリーあがりを防止するために

エンジンを停止した状態でワイパーを長時間作動しないでください。

## 給油口の開け方

### 給油する前に

- ドアとドアガラスを閉め、エンジンスイッチを OFF にしてください。
- 燃料の種類を確認してください。

### 知識

#### ■ 燃料の種類について

- ▶ ガソリン車
- 無鉛レギュラーガソリン
- バイオ混合ガソリン（レギュラー）
- ▶ ディーゼル車
- 超低硫黄軽油（S10ppm 以下）

#### ■ バイオ混合ガソリンについて

ガソリン車は、エタノールの混合率 10% 以下、または ETBE の混合率 22% 以下のガソリン（酸素含有率 3.7% 以下）を使用することができます。

### 警告

#### ■ 給油するときは

次のことを必ずお守りください。  
お守りいただかないと火災を引き起こすなど、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- 給油前にボデーなどの金属部分にふれて体の静電気を除去してください。  
除去したあとは給油が完了するまで、車内にもどったり、他の人やものにふれないでください。また、給油口に静電気を除去していない人を近付けないでください。  
静電気を帯電した人が給油口に近付くと、放電による火花で燃料に引火するおそれがあります。

- キャップはツマミ部分を持ち、ゆっくりと開けてください。また、キャップをゆるめたときに、“シュー”という音がする場合は、その音が止まるまでキャップを保持してください。

すぐに開けると、気温が高いときなどに、給油口から燃料が噴き出るおそれがあります。

- 気化した燃料を吸わないようにしてください。  
燃料の成分には、有害物質を含んでいるものもあります。
- 噫煙しないでください。
- 給油口にノズルを確実に挿入してください。
- 繰ぎ足し給油をしないでください。
- 正常に給油できない場合は、スタンドの係員を呼んで指示に従ってください。

### 注意

#### ■ 給油するとき（ガソリン車）

指定のガソリンを使用してください。  
指定以外のガソリンまたは軽油や他の燃料（粗悪ガソリン・軽油・灯油・高濃度バイオ混合ガソリン※）を使用したり、燃料をこぼしたりしないでください。

次のような状態になるおそれがあります。

- エンジンの始動性が悪くなる
- エンジンからの異音や振動など（ノッキング）が発生する
- エンジン出力が低下する
- 排気制御システムが正常に機能しない
- 燃料系部品が損傷する

**⚠ 注意**

- 塗装が損傷する

\* エタノール混合率 10% をこえるもの、または ETBE の混合率 22% をこえるもの

**■ 給油するとき（ディーゼル車）**

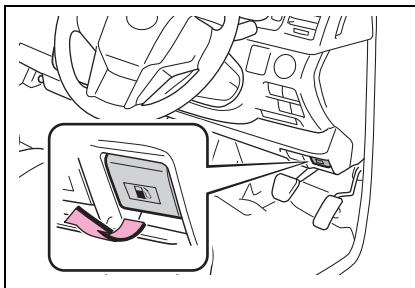
指定の軽油を使用してください。  
指定以外の軽油や他の燃料（ガソリン・灯油・高濃度バイオ混合軽油<sup>\*</sup>）を使用したり、燃料をこぼしたりしないでください。  
次のような状態になるおそれがあります。

- エンジンの始動性が悪くなる
  - エンジンからの異音や振動など（ノックング）が発生する
  - エンジン出力が低下する
  - 排気制御システムが正常に機能しない
  - 燃料系部品が損傷する
  - 塗装が損傷する
  - 排出ガス浄化装置が正常に機能しない  
指定以外の軽油を補給すると、白煙が発生し続ける場合があります。また、排出ガス浄化装置の故障につながるおそれがあります。
- \* 脂肪酸メチルエステル混合率 5% をこえるもの

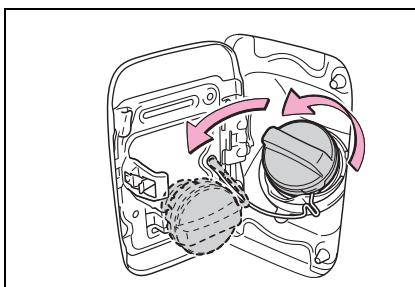
**給油口の開け方／閉め方**

**■ 給油口を開けるには**

- 1 オープナーを引いて、給油扉を開く



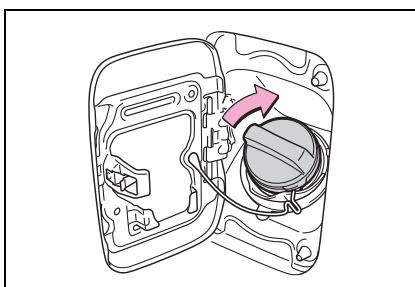
- 2 キャップをゆっくりまわして開け、ホルダーにはめ込む



**■ 給油口を閉めるには**

キャップを“カチッ”と音がするまでまわして閉める

手を離すと、キャップが逆方向に少しあります。



 **警告****■ キャップが正常に閉まらないとき**

必ずトヨタ販売店へご連絡ください。  
正常に閉まらないキャップをそのまま  
使用したり、純正品以外のキャップを  
使用すると、火災などを引き起こし、  
重大な傷害におよぶか、最悪の場合死  
亡につながるおそれがあります。

## ソフトウェアアップデートを確認する (Toyota Safety Sense 装着車)

T-Connect ご利用契約中のお客様は通信モジュール (DCM) を使ってソフトウェアアップデートを実施することで、システムのアップデート・機能の変更／追加ができます。

### ⚠️ 警告

#### ■ 安全にお使いいただくために

- Toyota Safety Sense は、ソフトウェアを更新することで各機能の取り扱い方法が変わることがあります。正しい取り扱い方法を知らずにシステムを使用すると、思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- トヨタ公式 Web サイトにある、システムのソフトウェアバージョンに合ったデジタル取扱説明書をお読みいただいた上でご使用ください。

### Toyota Safety Sense の取扱説明書での記載内容について

本取扱説明書では、Ver.3までの情報を記載しています。Toyota Safety Sense 各機能の制御内容・取り扱い・警告／注意事項などの最新情報については、トヨタ公式 Web サイトにあるデジタル取扱説明書で確認することができます。

ご使用前に必ずシステムのソフトウェアバージョンに合った取扱説明書をお読みください。

### □ 知識

#### ■ ご使用にあたっての留意事項

- お客様の安全に関わる問題や法規上の問題が発生したときは、一時的に一部の機能を作動不可にすることがあります。あらかじめご了承ください。
- T-Connect 利用契約が未契約／未更新の場合、無線通信によるソフトウェアアップデートは行われません。

### 自車の Toyota Safety Sense のバージョンに合った取扱方法をお読みいただくには

システムのソフトウェアバージョンを確認した上で、トヨタ公式 Web サイトにアクセスする必要があります。

## ■ マルチメディアディスプレイ\*／スマートフォンでバージョンを確認する

運転支援機能の更新に関するお知らせ、または運転支援アップデートアプリケーションから現在のソフトウェアバージョンを確認することができます。

- 1 メインメニューの  にタッチする

- 2 “運転支援アップデート” にタッチする

\* マルチメディアのバージョンによっては表示されない場合があります。

## ■ 自車のToyota Safety Senseのバージョンに合った取扱方法をお読みいただくには

- 1 パソコンやスマートフォンから、以下 URL にアクセスする

URL	QR コード
<a href="https://manual.toyota.jp/safetysu/">https://manual.toyota.jp/safetysu/</a>	

- 2 事前に確認したバージョンが含まれたファイルを選択する



知識

## ■ デジタル取扱説明書について

ご希望の場合、印刷した冊子を購入することもできます。詳しくはトヨタ販売店にお問い合わせください。

### ソフトウェアを更新する

ソフトウェアアップデートがある場合、マルチメディアディスプレイに通知画面が表示されます。画面の指示に従ってください。

ソフトウェアを更新することで、各機能の取り扱い方法が変わったり、機能が追加されたりすることがあります。

変更・追加された内容は、トヨタ公式 Web サイトにあるデジタル取扱説明書で確認することができます。



知識

## ■ ソフトウェアアップデートについて留意事項

- 一度ソフトウェアアップデートを実施すると、前のバージョンにもどすことはできません。

- 通信環境や更新内容によって、ソフトウェアアップデートに数時間かかることがあります。エンジンスイッチを OFF になると更新は中断されますが、再度 ON にすると前回の続きから再開します。
  - ソフトウェアアップデートに失敗した場合、前のバージョンでシステムを起動します。
  - ソフトウェアアップデートの実施中でも Toyota Safety Sense を使用することができます。
  - 次のようなときは自動でソフトウェアアップデートを実施することがあります。
    - ・ システムの不具合など、お客様の安全に関わる問題が発生したとき ※
    - ・ 法規上の問題が発生したとき ※
    - ・ 取り扱い方法や性能に影響がない、軽微な修正を行うとき
- ※ すべての更新内容がインストールされ、ソフトウェアが最新の状態になることがあります。

#### ■ 運転支援機能の更新通知で確認できること

次の項目を確認、または実行できます。

- ソフトウェアのバージョン、更新内容、注意事項、使い方などの表示
- ソフトウェアの更新履歴表示へのリンク
- ソフトウェアの更新

## Toyota Safety Sense

**Toyota Safety Sense は、運転支援装置によって運転者を補助し、安全で快適なドライブを支援します。**



### ■ Toyota Safety Sense について

Toyota Safety Sense は運転者の安全運転を前提としたシステムであり、事故被害や運転負荷の軽減に寄与することを目的としています。

本システムは認識性能・制御性能に限界があります。システムを過信せず、運転者は常に自らの責任で周囲の状況を把握し、安全運転を心がけてください。

### ■ 安全にお使いいただくために

- システムを過信しないでください。運転者は常に自らの責任で周囲の状況を把握し、安全運転を心がけてください。本システムはあらゆる状況で動作するものではなく、支援には限界があります。システムに頼ったり、安全を委ねる運転をしたりすると思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- お客様ご自身で作動テストを行わないでください。

対象や状況によってはシステムが正常に作動せず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

- 走行操作に関して注意が必要な場合や、システムに異常が発生したときには、警告メッセージ・警告ブザーで注意をうながします。ディスプレイに警告メッセージが表示されたときは、表示された画面の指示に従ってください。

- 外部の騒音やオーディオの音などにより、警報ブザーが聞きとりにくい場合があります。また、路面状況などにより、システムの作動を感じにくい場合があります。

### ■ システムを OFF にする必要があるとき

次のときは、システムを OFF にしてください。

システムが正常に作動せず、思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- 過積載やパンクで車両が傾いているとき

- 過度な高速走行をしているとき

- けん引時

- トラック／船舶／列車などに積載するとき

- 車両をリフトで上げ、タイヤを空転させるとき

- 点検でシャシーダイナモやフリーローラーなどを使用するとき

- オフロード走行やスポーツ走行をするとき

- 洗車機を使用するとき

- センサーヤやセンサー周辺への衝撃などによりセンサーの向きがずれいるとき、変形しているとき

- センサーヤやライトをさえぎるような装備品を装着しているとき

### ⚠ 警告

- 応急用タイヤ・タイヤチェーンなどを装着しているとき、タイヤパンク応急修理キットで修理したとき
- タイヤの残り溝が十分にないとき、または空気圧が不足しているとき
- メーカー指定のサイズ以外のタイヤを装着しているとき
- 事故や故障などにより走行不安定なとき

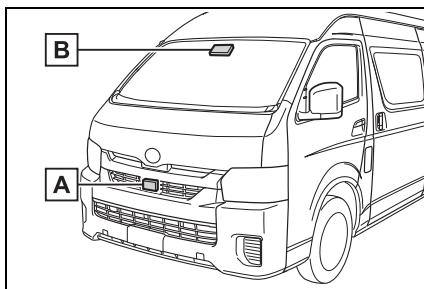
### 運転支援装置

- AHB（オートマチックハイビーム）  
→P.132
- PCS（プリクラッシュセーフティ）  
→P.151
- LDA（レーンディバーチャーラート）  
→P.158
- 発進遅れ告知機能  
→P.162
- RSA（ロードサインアシスト）  
→P.163
- レーダークルーズコントロール  
→P.166
- クルーズコントロール  
→P.174

### Toyota Safety Sense で使用するセンサー

複数のセンサーにより、システムの作動に必要な情報を認識します。

### ■ 周囲の状況を検出するセンサー



**A** 前方レーダー

**B** 前方カメラ

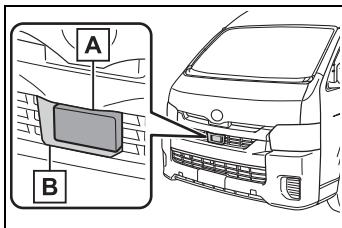
### ⚠ 警告

- レーダーの故障や誤作動を防ぐために

次のことをお守りください。  
お守りいただかないと、レーダーが正常に作動せず、思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

## ⚠️ 警告

- レーダーとレーダー専用カバーは常にきれいにしておく  
レーダー前面やレーダー専用カバー前後面に汚れ・水滴・雪などが付着した場合は、取り除いてください。  
お手入れをする際は、レーダーやレーダー専用カバーを傷付けないよう、やわらかい布で汚れをふき取ってください。



**A** レーダー

**B** レーダー専用カバー

- レーダーやレーダー専用カバー周辺にアクセサリーを付けたり、ステッカー（透明なものを含む）などを貼ったりしない
- レーダー周辺への衝撃を避ける  
レーダー／フロントグリル／フロントバンパーに衝撃を受けた際は、必ずトヨタ販売店で点検を受けてください。
- レーダーを分解しない
- レーダーやレーダー専用カバーを改造、塗装したりしない。純正部品以外に交換しない。

● 次のようなときは、レーダーの再調整が必要です。詳しくはトヨタ販売店にてご相談ください。

- レーダーを脱着や交換したとき
- フロントバンパー／フロントグリルを交換したとき

## ■ 前方カメラの故障や誤作動を防ぐために

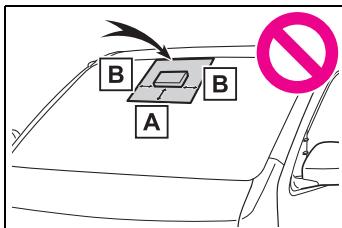
次のことをお守りください。

お守りいただかないと、前方カメラが正常に作動せず、思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- フロントウインドウガラスは常にきれいにしておく
- フロントウインドウガラス外側に汚れ・油膜・水滴・雪などが付着した場合は、取り除いてください。
- フロントウインドウガラスにガラスコーティング剤を使用していても、前方カメラ前部に水滴などが付着した場合は、ワイパーでふき取ってください。
- フロントウインドウガラス内側の前方カメラ取り付け部が汚れた場合は、トヨタ販売店にてご相談ください。

**⚠ 警告**

- フロントウインドウガラスの前方カメラ前部（図に示す範囲内）にステッカー（透明なものを含む）などを貼り付けない



[A] 約 4cm

[B] 約 4cm

- 前方カメラ前部のフロントウインドウガラスが曇ったり、結露したり、凍結したりした場合は、エアコンの機能を使用する
- 前方カメラ前部のフロントウインドウガラスの水滴をワイパーが正しくふき取れないときは、ワイパーゴムまたはワイパークリーナーを交換する
- フロントウインドウガラスにフィルムを貼らない
- フロントウインドウガラスに傷・ひびなどが生じた場合は、そのまま放置せずに交換する  
フロントウインドウガラスの交換後は、前方カメラの再調整が必要です。  
詳しくはトヨタ販売店にご相談ください。
- 前方カメラに液体をかけない
- 前方カメラに強い光を照射しない

- 前方カメラのレンズを汚したり、傷を付けたりしない

フロントウインドウガラス内側を掃除するときは、ガラスクリーナーがレンズに付着しないようにしてください。また、レンズにはふれないでください。

レンズに汚れ・傷がある場合は、トヨタ販売店にご相談ください。

- 前方カメラに強い衝撃を加えない

- 前方カメラの取り付け位置や向きを変更したり、取りはずしたりしない

- 前方カメラを分解しない

- インナーミラーなどの前方カメラ周辺部品や天井を改造しない

- ポンネット・フロントグリル・フロントバンパーに、前方カメラの視界をさえぎる可能性のあるアクセサリーを取り付けない

詳しくはトヨタ販売店にご相談ください。

- ルーフ上に全長の長い荷物（サーフボードなど）を積むときは、前方カメラの視界をさえぎらないようにする

- ヘッドライトなどのランプ類を改造しない

### ■ フロントウインドウガラスの前方カメラ取り付け部について

フロントウインドウガラスが曇る可能性があるとシステムが判断した場合、ヒーターにより前方カメラ周辺のフロントウインドウガラスの曇り取りが自動的に作動します。お手入れなどで前方カメラ周辺にふれるときは、十分にフロントガラスが冷めてからにしてください。やけどをするおそれがあります。

知識

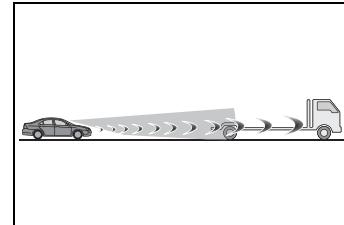
■ センサー やシステムが正しく作動しないおそれがあるとき

- 車両の高さや傾きが変わらるような改造をしているとき
- フロントウインドウガラスが汚れているときや、曇っているとき、ひび割れや破損があるとき
- 外気温が高温または低温のとき
- センサー前面に泥、雨滴、雪、虫、ゴミなどが付着したとき
- 悪天候時（雨・霧・雪・砂嵐など）
- 前方に水／雪／土ぼこりなどの巻き上げや水蒸気・煙があるとき
- 夜間やトンネル内など暗い場所でヘッドライトを点灯していないとき
- ヘッドライトのレンズが汚れて照射が弱いとき
- ヘッドライトの光軸がずれているとき
- ヘッドライトが故障しているとき
- 対向車のヘッドライト光／太陽光／反射光などが前方カメラに入射しているとき
- 急激な明るさの変化があるとき
- テレビ塔／放送局／発電所／レーダー搭載車両など、強い電波やノイズが発生する場所の近くを走行するとき
- ワイパー ブレードがセンサーの視界をさえぎっているとき
- 周囲に次のようなレーダーの電波を反射するものがあるとき
  - ・ トンネル
  - ・ トラス橋
  - ・ 砂利道
  - ・ 輻のある雪道
  - ・ 壁
  - ・ 大型トラック
  - ・ マンホール

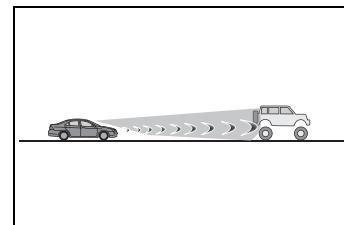
・ ガードレール

・ 鉄板

- 周囲に段差や突起物があるとき
- 超小型モビリティなどのように対象車両の全幅が狭いとき
- 空荷のトラックなど対象車両の前端・後端面積が小さいとき
- 低床トレーラーなど対象車両の前端・後端が低い位置にあるとき



- 対象車両の最低地上高が極端に高いとき



- 対象車両の荷台から荷物がはみ出しているとき
- 対象車両の一部が布で覆われているなど金属の露出が少ない車両のとき
- トラクター・サイドカーなど対象車両が特殊な形状のとき
- 対象車両との車間距離が極端に短くなったとき
- 対象車両の位置がずれているとき
- 対象車両に雪や泥などが付着しているとき
- 次のような道路を走行しているとき
  - ・ 急なカーブや曲がりくねった道
  - ・ 急な上り坂や下り坂など、路面勾配が

変化する道

- ・左右に傾きのある道

・路面に深いわだちがある道

・整備されていない荒れた道

・起伏や段差が多い道路

●ハンドル操作が不安定なとき

●車線内の自車の位置が一定でないとき

●本システム部品もしくはブレーキ等の関連部品が冷えている・過熱している・ぬれているなど

●ホイールアライメントがずれているとき

●凍結路・積雪路・砂利道などのすべりやすい路面を走行するとき

●カーブの形状とは異なる経路で走行するとき

●カーブに対して進入速度が過度に高いとき

●駐車場や車庫、カーエレベータなどに出入りするとき

●駐車場内を走行するとき

●生い茂った草・垂れ下がった枝・垂れ幕など自車に覆い被さるような障害物がある場所を走行するとき

●風が強いとき

■車線を検知できないおそれがあるとき

●車線の幅が極端に狭い、または広いとき

●車線変更をした直後、または交差点を通過した直後

■レーダーの取り扱い

レーダーセンサーは電波法の基準に適合しています。センサーに印字されているマークはその証明ですので消さないでください。また、製品を分解・改造すると罰せられることがあります。必ず日本国内でご使用下さい。

●工事によって規制された車線、または仮設の車線を走行しているとき

●周囲に車線もしくは類似の構造物、模様、影があるとき

●同一車線上に複数の白線があるとき

●車線が明瞭でないとき、濡れた路面を走行しているとき

●車線が縁石等の上に引かれているとき

●コンクリート路のような照り返しなどで明るい路面を走行しているとき

■システムの一部もしくは全てが作動しないとき

●本システムもしくはブレーキ、ステアリング等関連システムに異常検出時

●VSC、TRC 等の安全システムが作動時

●VSC、TRC 等の安全システムが OFF のとき

■ブレーキの作動音や踏み応えの変化について

●ブレーキが作動したときにブレーキの作動音が聞こえたり、ブレーキペダルの踏み応えがかわったりすることがあります。異常ではありません。

●システムの制御によるブレーキ作動中はブレーキペダルがお客様の想定よりも固く感じられたり、ブレーキペダルが沈みこんだりすることがあります。どちらの場合もブレーキの踏み増しは可能です。必要に応じてブレーキを踏み増ししてください。

## PCS (プリクラッシュセーフティ)

進路上の作動対象（→P.151）をセンサーで検出し、衝突の可能性が高いとシステムが判断したときに、警報やブレーキ力制御により運転者の衝突回避操作を補助します。また、衝突の可能性がさらに高まったと判断したときは、自動的にブレーキを作動させることで、衝突回避を支援、あるいは衝突被害の軽減に寄与します。

必要に応じて、プリクラッシュセーフティのON／OFFや、警報タイミングを切りかえることができます。（→P.157）

### ⚠ 警告

#### ■ 安全にお使いいただくために

- 安全運転を行う責任は運転者にあります。常に周囲の状況を把握し、安全運転に努めてください。  
プリクラッシュセーフティを日常のブレーキ操作のかわりには絶対に使用しないでください。本システムはあらゆる状況で衝突を回避または衝突の被害を軽減するものではありません。システムに頼ったり、安全を委ねる運転をしたりすると思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

● プリクラッシュセーフティは衝突回避を支援、あるいは衝突被害の軽減に寄与することを目的としていますが、その効果はさまざまな条件によりかわります。そのため、常に同じ性能を発揮できるものではありません。

次の項目をお読みいただき、システムを過信せず安全運転に努めてください。

- ・ 安全にお使いいただくために：  
→P.145

#### ■ プリクラッシュセーフティを OFF にするとき

システムを OFF にする必要があるとき：→P.145

## システムの作動対象

システムは次のものを作動対象として検出しています。（機能によって、作動対象が異なります）

- 車両
- 自転車 ※
- 歩行者
- 自動二輪車 ※
- 壁

※ 人が乗車している場合のみを作動対象としています。

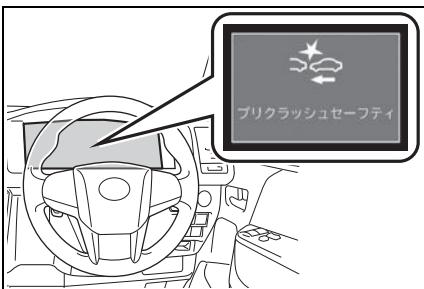
## 機能一覧

### ■ 衝突警報

衝突の可能性が高いとシステムが判断したとき、“ピピピ・・・”とブザー音が鳴り、マルチインフォメーションディスプレイにアイコンとメッセージを表示し、回

避操作をうながします。

作動対象が車両の場合、緩ブレーキによる警告を行う場合もあります。



アクセルが強く踏み込まれているとシステムが判断した場合は、図で示すアイコンとメッセージがマルチインフォメーションディスプレイに表示されます。



### ■ プリクラッシュブレーキアシスト

衝突の可能性が高いとシステムが判断したとき、運転者のブレーキ操作で不足しているブレーキ力を増強します。

### ■ プリクラッシュブレーキ

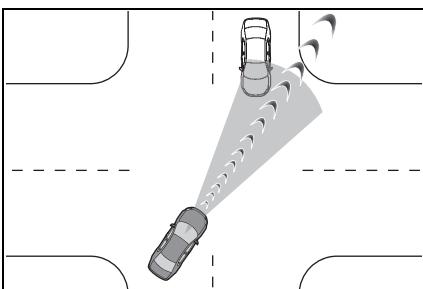
衝突の可能性が高いとシステムが判断したときは、ブレーキが自動でかかり、衝突回避を支援、あるいは衝突被害の低減に寄与します。

### ■ 交差点衝突回避支援（右左折）

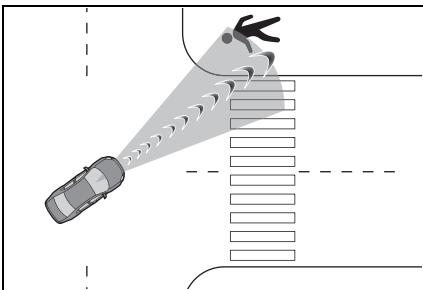
次のような状況において衝突の可能性が高いとシステムが判断したとき、衝突警報およびプリクラッシュブレーキによる支援を行います。

交差点の形状によっては正しく支援できない場合があります。

- 交差点で右折して対向車／対向自動二輪車の進路を横切るとき



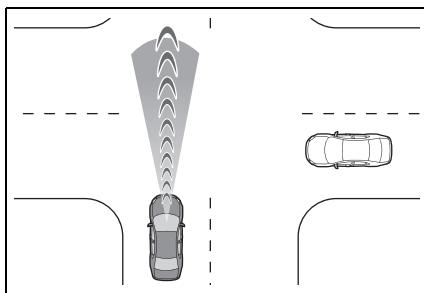
- 右左折中に、横断歩行者や、自転車を検出したとき



### ■ 交差点衝突回避支援（出合頭車両）

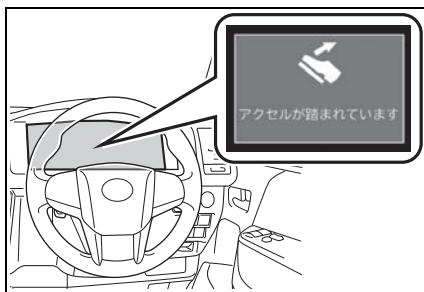
交差点など、側方から接近する車両や自動二輪車との衝突の可能性が高いとシステムが判断したとき、衝突警報およびプリクラッシュブレーキによる支援を行います。

交差点の形状によっては正しく支援できない場合があります。



### ■ 低速時加速抑制

低速走行時にアクセルペダルが強く踏み込まれ、衝突の可能性があるとシステムが判断したとき、エンジン出力を抑制または弱いブレーキをかけることで加速を抑制します。作動時には、ブザー音が鳴り、マルチインフォメーションディスプレイに図で示すアイコンとメッセージを表示します。



## ▲ 警告

- ブリクラッシュブレーキについて
  - ブリクラッシュブレーキが作動したときは、強いブレーキがかかります。
  - ブリクラッシュブレーキは停止状態を保持する機能ではありません。ブリクラッシュブレーキの作動により車両が停止したときは、必要に応じて速やかに運転者自らブレーキをかけてください。
  - ブリクラッシュブレーキは運転者の操作状態によっては作動しません。運転者がアクセルペダルを強く踏んでいたり、ハンドルを操作したりしていると、運転者の回避操作とシステムが判断し、ブリクラッシュブレーキが作動しない、または作動が解除される場合があります。
  - ブレーキペダルを踏んでいるときは、運転者の回避操作とシステムが判断し、ブリクラッシュブレーキの作動開始タイミングが遅れる場合があります。

### ■ 低速時加速抑制について

運転者がハンドルを操作していると、回避操作とシステムが判断し、低速時加速抑制が作動しない、または作動が解除される場合があります。

## □ 知識

### ■ ブリクラッシュセーフティ各機能の作動条件

ブリクラッシュセーフティが ON で、前方の作動対象と衝突の可能性が高いとシステムが判断したときに作動します。

ただし、次のときシステムは作動しません。

- バッテリー端子を脱着したあと、しばらく走行するまでのあいだ
- シフトレバーが R のとき
- VSC OFF 表示灯が点灯しているとき（衝突警報のみ作動可能状態になります）

各機能の作動速度、作動解除は次のとおりです。

### ●衝突警報

作動対象	自車速度	相対速度
先行車両、静止車両	約 5 ~ 180km/h	約 5 ~ 180km/h
対向車両	約 30 ~ 180km/h	約 80 ~ 220km/h
自転車	約 5 ~ 80km/h	約 5 ~ 80km/h
歩行者	約 5 ~ 80km/h	約 5 ~ 80km/h
先行自動二輪車、静止自動二輪車	約 5 ~ 180km/h	約 5 ~ 80km/h
対向自動二輪車	約 30 ~ 180km/h	約 30 ~ 180km/h

衝突警報が作動中にハンドルを大きく操作するか、すばやく操作すると、衝突警報が解除される場合があります。

### ●プリクラッシュブレーキアシスト

作動対象	自車速度	相対速度
先行車両、静止車両	約 30 ~ 180km/h	約 10 ~ 180km/h
自転車	約 30 ~ 80km/h	約 30 ~ 80km/h
歩行者	約 30 ~ 80km/h	約 30 ~ 80km/h
先行自動二輪車、静止自動二輪車	約 30 ~ 180km/h	約 10 ~ 80km/h

### ●プリクラッシュブレーキ

作動対象	自車速度	相対速度
先行車両、静止車両	約 5 ~ 180km/h	約 5 ~ 180km/h
対向車両	約 30 ~ 180km/h	約 80 ~ 220km/h
自転車	約 5 ~ 80km/h	約 5 ~ 80km/h
歩行者	約 5 ~ 80km/h	約 5 ~ 80km/h
先行自動二輪車、静止自動二輪車	約 5 ~ 180km/h	約 5 ~ 80km/h
対向自動二輪車	約 30 ~ 180km/h	約 30 ~ 180km/h

プリクラッシュブレーキ作動中に次の操作をすると、プリクラッシュブレーキの作動が解除される場合があります。

- ・アクセルペダルを強く踏み込む
- ・ハンドルを大きく操作する、またはすばやく操作する
- 交差点衝突回避支援（右左折）

方向指示灯が点滅していないときは、対向車に対する交差点右左折支援が作動しません。

作動対象	自車速度	対向車速度	相対速度
対向車両	約 5 ~ 40km/h	約 5 ~ 75km/h	約 10 ~ 115km/h
歩行者	約 5 ~ 30km/h	—	約 5 ~ 40km/h
自転車	約 5 ~ 30km/h	—	約 5 ~ 50km/h
対向自動二輪車	約 5 ~ 40km/h	約 5 ~ 75km/h	約 10 ~ 115km/h

### ● 交差点衝突回避支援（出合頭車両）

作動対象	自車速度	相手車速度	相対速度
車両、自動二輪車（側面）	約 5 ~ 60km/h	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自車速度以下</li> <li>・ 約 40km/h 以下</li> </ul>	約 5 ~ 60km/h

### ● 低速時加速抑制

方向指示灯が点滅しているときは、低速時加速抑制が作動しません。

作動対象	自車速度	相対速度
先行車両、静止車両、歩行者、自転車、壁	約 0 ~ 15km/h	約 0 ~ 15km/h

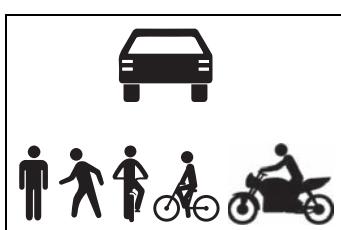
低速時加速抑制の作動中に次の動作をすると、低速時加速抑制の作動が解除されます。

- ・ アクセルペダルを離す
- ・ ハンドルを大きく操作する、またはすばやく操作する

### ■ 作動対象の検出

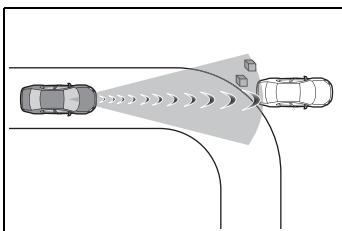
大きさ・輪郭・動きなどから検出します。周囲の明るさや、作動対象の動き・姿勢・角度などによっては、作動対象を検出できず、システムが正常に作動しないおそれがあります。

図は作動対象として検出する対象のイメージです。

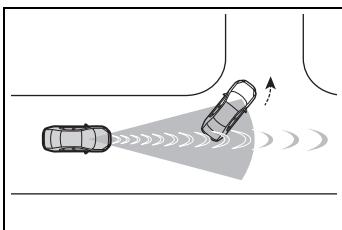


### ■ 衝突の可能性が高くなくてもシステムが作動するおそれがあるとき

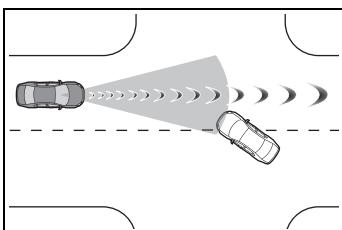
- 例えば次のような状況では、システムが衝突の可能性が高いと判断し、作動するおそれがあります。
  - ・ 作動対象などのすぐそばを通過するとき
  - ・ 車線を変更して作動対象などを追いこすとき
  - ・ 作動対象などに急接近したとき
  - ・ 道路脇の作動対象や物体（ガードレール・電柱・木・壁など）に近付いたとき
  - ・ カーブの道路脇に作動対象や物体などが存在するとき



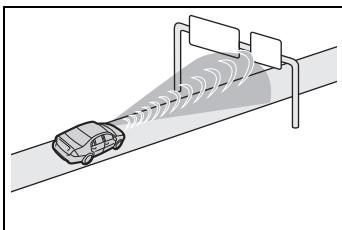
- ・自車の前方に作動対象との区別がつきにくい模様・ペイントがあるとき
- ・車線変更や右左折している作動対象などを追い抜くとき



- ・右左折待ちの作動対象などとそれ違うとき

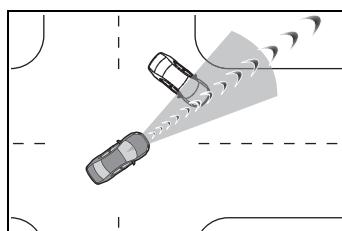


- ・作動対象などが自車進路内に入る手前で停止または進路変更したとき
- ・道路上方に物体（道路標識や看板など）がある場所を走行するとき

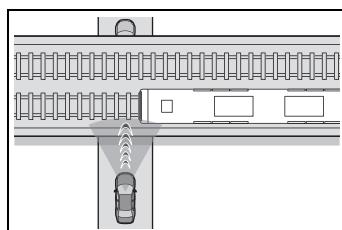


- ・ETC ゲートや駐車場のゲートなどの開閉バーに接近したとき

- ・右左折中に、対向車／対向自動二輪車／横断歩行者／横断自転車が自車の前方を通過したとき
- ・右左折中に、対向車／対向自動二輪車／横断歩行者／横断自転車の手前を通過しようとしたとき
- ・右左折中に、対向車／対向自動二輪車／横断歩行者／横断自転車が自車進路に入る手前で停止または進路変更したとき
- ・交差点内で右折中、対向車／対向自動二輪車が右折しているとき、または左折しているとき



- ・対向車の進路に接近するようにハンドルを操作したとき
- ・道路上方／下方を移動するものがあるとき

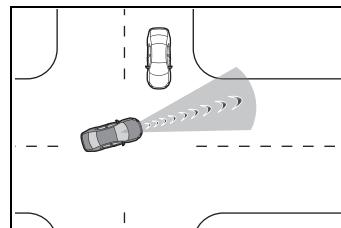


### ■システムが正常に作動しないおそれがあるとき

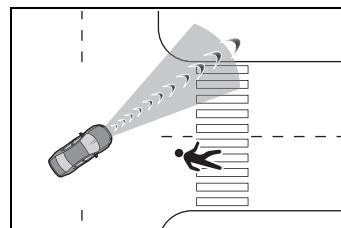
- 例えば次のような状況では、前方センサーが作動対象を検出できず、システムが正常に作動しないおそれがあります。
- ・自車に向かって作動対象が近付いてくるとき
- ・自車や作動対象がぶらついているとき
- ・作動対象が急な動きをしたとき（急ハンドル・急加速・急減速など）

- ・作動対象に急接近したとき
- ・作動対象が壁やフェンス・ガードレール・マンホール・路面の鉄板、他の車両などのそばにいるとき
- ・上方に構造物がある場所の下に作動対象がいるとき
- ・作動対象の一部が他のもので隠れているとき（大きな荷物や傘、またはガードレールなど）
- ・作動対象が複数重なっているとき
- ・作動対象が太陽光などの強い光を反射しているとき
- ・作動対象の色合いが白系統で、極端に明るく見えるとき
- ・作動対象の色合いや明るさが背景に溶け込んでいるとき
- ・作動対象が割り込んできたり、飛び出してきたりしたとき
- ・斜めを向いている前方車両に近付いたとき
- ・子供用自転車、大きい荷物を載せた自転車、2人以上乗車している自転車、前傾姿勢で乗車している自転車、または特殊な形状の自転車（チャイルドシート装着車・タンデム自転車など）
- ・歩行者・自転車の大きさが約1m以下、または約2m以上のとき
- ・歩行者・自転車の全身の輪郭があいまいなとき（レインコート・ロングスカートを着用している場合など）
- ・歩行者が前かがみになっている、またはしゃがんでいるとき
- ・歩行者・自転車の移動速度が速いとき
- ・歩行者がベビーカー・車いす・自転車などを押しているとき
- ・周囲が薄暗い（朝方・夕方など）、または周囲が暗い（夜間やトンネル内など）など、作動対象が背景に溶け込んでいるとき
- ・エンジンを始動したあと、走行を開始してしばらくのあいだ
- ・右左折中および右左折後の数秒間
- ・カーブ走行中およびカーブを曲がりきってからの数秒間

- ・右折中に、対向車／対向自動二輪車が自車の走行する車線よりも3つ以上離れた車線を走行しているとき
- ・右折中に、自車の向きが対向車線に対する正対方向から大きく外れているとき



- ・右左折中に、歩行者や自転車が自車の後方から追い抜くように前にでてくるとき



- ・交差点で出会い頭に大型トラック／けん引トレーラーなど全長の長い車両が接近してくるとき

- 上記に加えて、例えば次のような状況では壁を作動対象として検知できず、低速時加速抑制が作動しないおそれがあります。
- ・ガラス扉や網目状のフェンスなど壁の背面が透けているとき
- ・壁が傾いていたり、高さが低いとき
- ・壁がポールなど幅の狭いもののとき
- ・壁が生垣など草木のとき
- ・壁に路面などが映りこんでいるとき
- ・自車が壁に斜めに近づくとき

### PCS の設定を変更する

- PCS の作動／非作動は、力スタ

マイズメニューから切りかえることができます。( $\rightarrow$ P.313)  
エンジンスイッチがONになるとシステムはONになります。

- システムをOFFにすると、PCS警告灯が点灯し、マルチインフォメーションディスプレイにメッセージが表示されます。
- カスタマイズ設定から、PCSの設定を変更することができます。  
( $\rightarrow$ P.313)
- レーダークルーズコントロール制御中はユーザー設定に関わらず、衝突警報が■(早い)のタイミングで作動します。

## LDA（レーンディビーチャーアラート）

### 基本機能

車線または走路<sup>※</sup>からの逸脱の可能性を警告します。

車線または走路<sup>※</sup>を前方カメラで認識します。

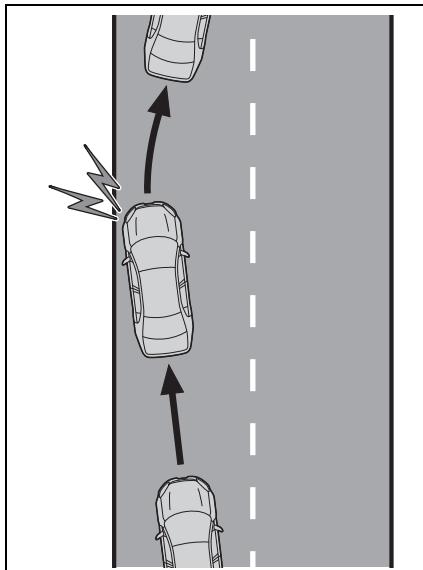
<sup>※</sup>アスファルトと草・土などの境界や、縁石、ガードレールなどの構造体

### ■ 車線逸脱警報機能

車両が車線または走路<sup>※</sup>から逸脱する可能性がある場合にディスプレイの表示および、警報ブザーにより注意をうながします。

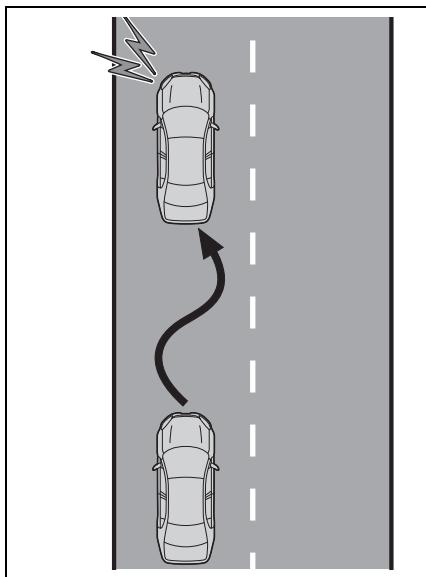
道路状況を確認の上、ハンドルを慎重に操作して、車線または走路<sup>※</sup>内の中央付近にもどってください。

<sup>※</sup>アスファルトと草・土などの境界や、縁石、ガードレールなどの構造体



## ■ 休憩提案機能

車両がふらついて走行しているときに、ディスプレイの表示およびブザーにより休憩をうながします。



### ⚠ 警告

#### ■ LDA をお使いになる前に

- LDA を過信しないでください。LDA は自動で運転する装置でも前方への注意を軽減する装置でもないため、運転者は常に自らの責任で周囲の状況を把握し、ハンドル操作で進路を修正し、安全運転を心がけてください。また、長時間の運転などによる疲労時は適切に休憩をとってください。
- 適切な運転操作をしなかったり、注意を怠ったりすると、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

### □ 知識

#### ■ 各機能の作動条件

- 車線逸脱警報機能

次の条件をすべて満たしたときには作動します。

- ・ 車速が約 50km/h 以上のとき

車線の周囲に車両、自動二輪車、自転車、歩行者を検知した場合は約 40km/h 以上のときに作動することがあります。

対象が縁石、ガードレールなどの構造体の場合は約 35km/h 以上のときに作動します。(カスタマイズメニューで低車速支援を作動にしたとき)

- ・ システムが車線または走路<sup>\*</sup>を認識しているとき(車線または走路<sup>\*</sup>が片側しかないとき、認識している方向のみ作動します)
- ・ 車線の幅が約 3m 以上のとき
- ・ 方向指示レバーを操作していないとき
- ・ 急カーブを走行していないとき
- ・ 一定以上の加減速がないとき
- ・ VSC または TRC を OFF にしていないとき

<sup>\*</sup> アスファルトと草・土などの境界や、縁石、ガードレールなどの構造体

#### ■ 機能の一時解除

作動条件 (→P.159) が満たされなくなった場合、一時的に機能が解除されますが、ふたたび作動条件が満たされると、自動的に復帰します。

#### ■ 車線逸脱警報機能の作動について

- 走路<sup>\*</sup>がはっきり見えない場合、または直線的でない場合は走路逸脱に対する警報が作動しない場合があります。

- 意図的に歩行者や駐車車両を避けたと判断した場合に警報が作動しない場合があります。

<sup>\*</sup> アスファルトと草・土などの境界や、縁石、ガードレールなどの構造体

#### ■ 休憩提案機能について

次の条件をすべて満たしたときには作動します。

- 車速が約 50km/h 以上のとき
- 車線の幅が約 3m 以上のとき
- 車両の状態や路面状況によっては休憩提案が行われない場合があります。



### LDA の設定を変更する

- LDA の作動／非作動は、カスタマイズメニューから切りかえることができます。→P.313)
- エンジンスイッチが ON になるとシステムは ON になります。
- カスタマイズ設定から、LDA の設定を変更することができます。→P.313)

### 警告

#### ■機能が正常に作動しないおそれのある状況

次のような状況では、各機能が正しく作動しないおそれがあります。運転者は常に自らの責任で周囲の状況を把握し、本機能を過信せずにハンドル操作で進路を修正してください。

- アスファルトと草・土などの境界や、縁石、ガードレールなどの構造体が不明瞭または直線的でないとき
- 横風を受けているときなど、周辺車両の走行によって発生する風の影響を受けているとき
- 車線を検知できないおそれがあるとき：→P.150
- センサーが正しく作動しないおそれがあるとき：→P.149
- システムの一部もしくは全てが作動しないとき：→P.150
- システムを OFF にする必要があるとき：→P.145

### ディスプレイ表示とシステムの作動状況

車線逸脱警報の作動状態をディスプレイ表示で示します。

表示灯	車線表示	状態
	消灯 黄色点灯	システムが非作動
消灯		システムが車線を認識していない

表示灯	車線表示	状態
消灯	 白色	システムが車線を認識している
 黄色点滅	 白色	点滅している側の車線に対して車線逸脱警報機能が作動中

## 発進遅れ告知機能

**先行車の発進または信号が青にかわったあと、自車が停止し続けた場合、告知音とマルチインフォメーションディスプレイの表示でお知らせする機能です。**

### 先行車発進告知機能

前の車に続いて停止中、先行車が発進しても停止し続けた場合にお知らせします。

### 信号切替り告知機能

交差点の先頭で停止中、信号が青（方向指示器と同一方向の青矢印信号も含む）にかわっても停止し続けた場合にお知らせします。

#### □ 知識

#### ■ 作動条件

次の条件を満たしたときに作動します。

- シフトレバーが P・R 以外でブレーキペダルを踏んで、停止している、またはシフトレバーが N で停止しているとき

#### ■ 発進遅れ告知機能が正しく作動しない恐がある状況

例えば次のような状況では、前方カメラとレーダーが対象を検出できず、システムが正常に作動しない場合があります。

- 先行車がオートバイ・自転車などのとき
- 車両や樹木、看板などにより信号を正しく認識できないとき
- 右左折や車線変更などのために、ハンドルを大きくまわしたとき
- センサーが正しく作動しないおそれがあるとき

あるとき：→P.149

#### ■ 先行車が発進していないても告知する場合があるとき

例えば次のような状況では、先行車が発進したと判断し、システムが作動する場合があります。

- 先行車がいない状態での停止時に、交差点の先にいる車両や自車の正面を横切る車両などを先行車として認識したとき
- 自車と先行車とのあいだに、ほかの車両が割り込んだり通過したりしたとき
- 信号機が青にかわっていなくても告知する場合があるとき

例えば次のような状況では、信号が青にかわったと判断し、システムが作動する場合があります。

- 道路標識や看板などの信号機でないものを信号機と認識したとき
- 歩行者用、または自転車用の信号機の形状が自動車用と似ているとき
- 交差側や遠くの交差点にある信号機など、自車の対象ではない信号機を認識したとき
- 日照条件などにより、正しく自車対象の信号機を判別できないとき

### システムの ON / OFF を変更する

発進遅れ告知機能の作動／非作動は、カスタマイズメニューから切りかえることができます。  
(→P.313)

### 発進遅れ告知機能の設定を変更する

カスタマイズ設定から発進遅れ告知機能の設定を切りかえることが

できます。 (→P.313)

## RSA (ロードサインアシスト)

前方カメラを使って特定の道路標識や信号などを認識し、ディスプレイ表示やブザーで運転者にお知らせします。

### ⚠ 警告

#### ■ 安全にお使いいただくために

- 安全運転を行う責任は運転者にあります。システムを過信せず、運転者は常に自らの責任で周囲の状況を把握し、安全運転に努めてください。
- RSA は、道路標識などの情報を知ることで運転の支援を行いますが、支援の範囲には限りがあります。運転者は常に道路標識などに従い、ご自身で適切な運転操作をしてください。

#### ■ RSA を使用してはいけない状況

- システムを OFF にする必要があるとき : →P.145
- 機能が正常に作動しないおそれのある状況
- センサーが正しく作動しないおそれがあるとき : →P.149

## ディスプレイ表示機能

- 前方カメラによって道路標識などを認識すると、ディスプレイに表示します。
- 複数の道路標識を表示できます。  
車の仕様によっては表示される標識が制限される場合があります。

## 知識

### ■ 標識表示の作動条件

次の条件を満たしたとき、標識の表示を行います。

- システムが標識を認識しているとき

次の状況では、標識の表示が消えることがあります。

- 一定の距離を走行中、新しい標識が認識されないとき

- 右左折等により走行する道路が変わったとシステムが判定したとき

- 終わりを示す補助標識を認識したとき

### ■ 表示機能が正常に作動しないおそれのある状況

次のような状況では、システムが正常に標識を認識できず、正しい標識の表示がされない場合があります。

- 標識に汚れ・色あせ・傾きや曲がりがあるとき

- 電光標識のコントラストが低いとき

- 標識の全体または一部が、木・電柱などで隠れているとき

- 前方カメラが標識を認識する時間が短いとき

- 運転の状況（曲がる・車線変更等）が誤って判断されたとき

- 標識が高速道路の分岐した直後、または合流直前の隣の車線にあるとき

- 先行車の後部分にステッカーが貼っているとき

- システムが対応している標識と類似した標識が認識されたとき

- 側道の速度標識が前方カメラの認識範囲内に入ったとき

- ロータリー（環状交差路）を走行しているとき

- トラックなどの車両を対象にした標識を認識したとき
- 補助標識（区間の終わり、曜日、時間など）があるとき
- 工事などの通行規制区間に標識があるとき
- 標識の後ろに木・電柱・建物・看板などがあるとき

## 告知機能

次の状況では、システムが運転者に告知（例えば、強調表示やブザー吹鳴）します。

- 速度超過告知：自車の車速がディスプレイに表示されている制限速度より一定の速度を超過したときには、強調表示やブザーにより注意をうながします。

- 車両進入禁止告知：進入禁止の標識を認識し、自車が進入禁止区域に進入したとシステムが判定したときには、強調表示やブザーにより注意をうながします。

- 赤信号告知：赤信号を認識している場合に、信号を見落として交差点に進入する可能性があるとシステムが判定したときには、強調表示やブザーにより注意をうながします。

## 知識

### ■ 告知機能の作動条件

- 速度超過告知に対する作動条件

次の条件を満たしたとき作動します。

- ・ 最高速度を表示しているとき

- 車両進入禁止告知に対する作動条件

次の条件をすべて満たしたとき作動しま

す。

- ・進入禁止標識を2つ以上認識しているとき
- ・進入禁止標識の間を通過するとき
- 赤信号告知に対する作動条件

次の条件をすべて満たしたとき作動します。

- ・システムが信号機や路面ペイントを認識しているとき
- ・車速が約20～70km/hのとき
- ・一定以上の減速がないとき
- ・方向指示レバーを操作していないとき
- ・一定以上のハンドル操作をしていないとき
- ・先行車がないとき

### ■ 告知機能が正常に作動しないおそれのある状況

- 表示機能の項目に加えて、次のような状況では告知対象があるのにシステムが作動しないおそれがあります。

- ・右左折等により標識が検知できないとき
- ・信号機が矢印信号のとき
- ・信号機が点滅信号のとき
- ・信号機の庇で発光部の一部が隠れているとき
- ・ルーバー信号機で発光部が見えづらいとき
- ・停止線などの路面ペイントが先行車などで隠れているとき
- ・停止線などの路面ペイントがかすれているとき
- ・停止線に対し信号機が遠くにあるとき
- ・交差点間の距離が近いとき

- 表示機能の項目に加えて、次のような状況では告知対象がないのにシステムが作動するおそれがあります。

- ・標識が通常とは異なる大きさのとき
- ・標識や信号機が多数あるとき
- ・自車が走行するレーンではない側道や分岐地点などの標識や信号機を認識したとき

- ・作動対象の標識、信号機や路面ペイントとは区別がつきにくい模様・光源・ペイントがあるとき
- ・信号機の灯色が黄色のとき
- ・信号機が矢印信号のとき
- ・予告信号があるとき

### ディスプレイ表示および告知される道路標識などの種類

- 次の種類の道路標識を表示します。

ただし、規定外の道路標識、新しく導入された道路標識は表示されない場合があります。

	最高速度
	はみ出し通行禁止
	車両進入禁止
	転回禁止
	一時停止
	赤信号

### RSA の設定を変更する

RSA の設定は、カスタマイズ設定から変更することができます。  
(→P.313)

## レーダークルーズコントロール

車両前方の先行車の有無・先行車との車間距離を判定して、先行車との適切な車間距離を確保する制御をします。また、車間距離切りかえスイッチを操作して、希望の車間距離に設定することもできます。

高速道路や自動車専用道路で使用してください。

### !**警告**

#### ■安全にお使いいただくために

- 安全運転を行う責任は運転者にあります。システムを過信せず、運転者は常に自らの責任で周囲の状況を把握し、安全運転に努めてください。
- レーダークルーズコントロールは運転者の操作の一部を支援し、操作負担を軽減するためのシステムで、支援の範囲には限りがあります。  
次の項目をお読みいただき、システムを過信せず安全運転に努めてください。  
システムが正しく作動しないおそれのある状況：→P.171
- 設定速度は、制限速度・交通の流れ・路面環境・天候などを考慮して適切に設定してください。設定速度の確認は、運転者が行う必要があります。

● システムが正常に機能していても、運転者が認識している先行車の状況とシステムが検知している状況が異なる場合があります。従って注意義務・危険性の判断・安全の確保は運転者が行う必要があります。システムに頼ったり、安全を委ねる運転をしたりすると思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

#### ■システムの支援内容に関する注意点

システムの支援には限界があるため、次の点に注意してください。システムを過信すると思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

#### ●運転者が見る過程での支援内容

レーダークルーズコントロールは、自車と設定された先行車との車間距離を検知するのみであり、わき見やぼんやり運転を許容するシステムでも、視界不良を補助するシステムでもありません。

走行中に限らず、運転者自らが周囲の状況に注意を払う必要があります。

#### ●運転者が判断する過程での支援内容

レーダークルーズコントロールは、自車と設定された先行車との車間距離が適正かどうかを判断しており、それ以外の判断はしません。このため、危険性があるかどうかなど運転者は自ら安全の判断をする必要があります。

#### ●運転者が操作する過程での支援内容

レーダークルーズコントロールは、先行車への追突を防止する機能はありません。このため、危険性があれば運転者自らが安全を確保する必要があります。

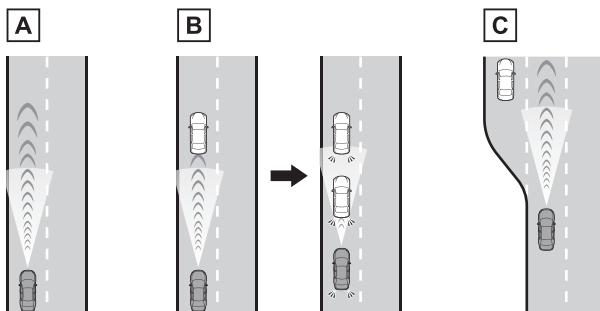
## ⚠ 警告

### ■ レーダークルーズコントロールを使用してはいけない状況

次の状況では、レーダークルーズコントロールを使用しないでください。適切な制御が行われず、思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- 歩行者や自転車等が混在している道
- 高速道路や自動車専用道路の出入口
- 接近警報がひんぱんに鳴るとき
- センサーが正しく作動しないおそれがあるとき : →P.149
- システムを OFF にする必要があるとき : →P.145

## 基本機能



**A** 定速走行：  
先行車がいないとき

運転者が設定した速度で定速走行します。

下り坂走行で設定車速を超えた時、設定車速が点滅し警報ブザーが吹鳴します。

### **[B] 減速走行—追従走行：**

設定した速度より、遅い先行車が現れたとき

先行車を検知すると自動で減速し、より大きな減速が必要な場合はブレーキがかかります（このとき制動灯が点灯します）。先行車の車速変化に合わせて、運転者の設定した車間距離になるように追従走行します。十分に減速できない状態で先行車に接近した場合は、接近警報を鳴らします。

先行車が停止したときは、続いて停止し、停止後に制御が解除されます。制御を再開させる場合は、再度“RES”もしくは“走行支援スイッチ”を操作する必要があります。

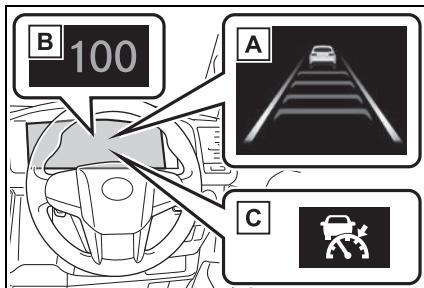
### **[C] 加速走行：**

設定した速度より、遅い先行車がいなくなったとき

設定速度まで加速し、定速走行にもどります。

#### ■ システムの構成部品

##### ■ メーター表示

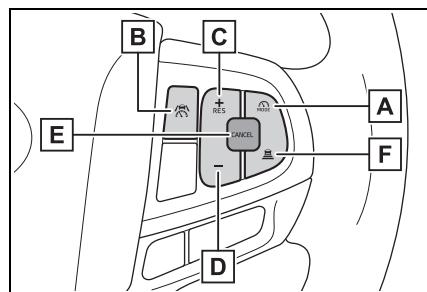


**[A]** マルチインフォメーションディスプレイ

**[B]** 設定速度

**[C]** 表示灯

#### ■ 操作スイッチ



**[A]** 走行支援モード選択スイッチ

**[B]** 走行支援スイッチ

**[C]** +スイッチ、RESスイッチ

**[D]** -スイッチ

**[E]** キャンセルスイッチ

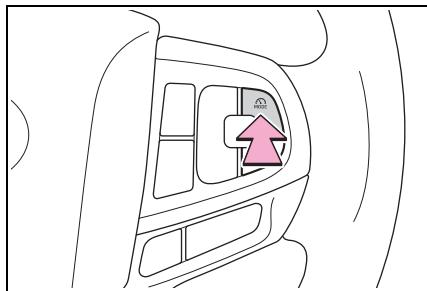
**[F]** 車間距離切りかえスイッチ

## レーダークルーズコントロール を使用する

### ■ 速度を設定する

- 走行支援モード選択スイッチを押して、レーダークルーズモードを選択する

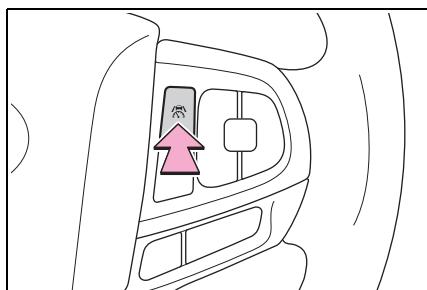
レーダークルーズコントロール表示灯が点灯します。



- 希望の車速（約30km/h以上）までアクセルペダル操作で加速／減速し、走行支援スイッチを押して速度を設定する

マルチインフォメーションディスプレイに設定した速度が表示されます。

スイッチを離したときの車速で定速走行できます。

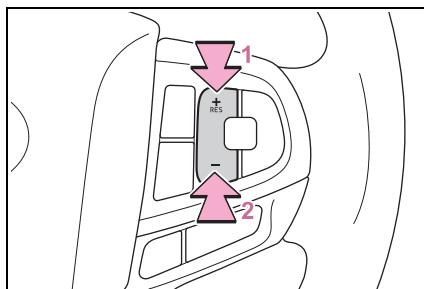


### ■ 設定速度をかえる

#### ● スイッチで設定速度をかえる

設定速度をかえるには、希望の速度が表示されるまで+スイッチま

たは-スイッチを押します。



#### 1 速度を上げる

#### 2 速度を下げる

短押し調整：スイッチを押す

長押し調整：スイッチを押し続けて速度をかえ、希望の速度で手を離す

設定速度は、次のとおりに増減されます：

短押し調整：スイッチを操作ごとに1km/h

長押し調整：スイッチを押し続けているあいだ、5km/hずつ

カスタマイズメニューから、設定速度の変化量を変更することができます。

#### ● アクセルペダルで設定速度を上げる

- 設定したい車速になるまで、アクセルペダルを踏んで加速する

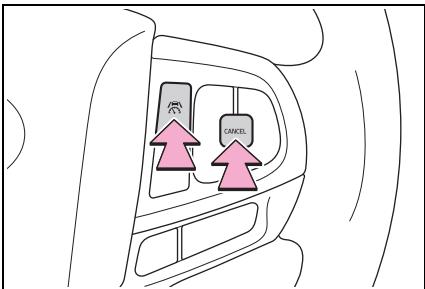
#### 2 +スイッチを押す

### ■ 制御を解除する・復帰させる

- 制御を解除するには、キャンセルスイッチまたは走行支援スイッチを押す

ブレーキペダルを踏んだときも解除され

ます。

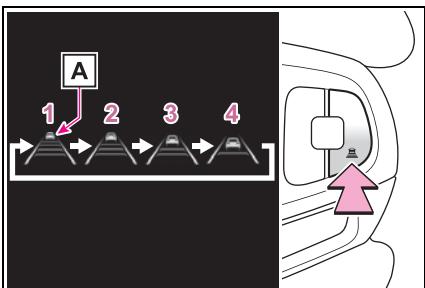


**2 制御を復帰させるには、RESスイッチを押す**

### ■ 車間距離を変更する

スイッチを押すごとに次のように車間距離を切り替えます。

先行車がいる場合、先行車マーク**A**も表示されます。



イラスト番号	車間距離	距離の目安（車速100km/hの場合）
<b>1</b>	最長	約 70m
<b>2</b>	長	約 60m
<b>3</b>	中	約 45m
<b>4</b>	短	約 30m

車速に応じて実際の車間距離は増減します。

### □ 知識

#### ■ 設定条件について

- シフトレバーがDのとき設定できます。
- 車速が約30km/h以上のとき、希望の設定速度に設定できます。
- ・ 車速が約30km/h未満のときに設定すると、約30km/hに設定されます。
- ・ 車速がシステムの上限を超えているときに設定すると、設定速度の上限に設定されます。

#### ■ 車速設定後の加速について

通常走行と同様にアクセルペダル操作で加速できます。加速後、車速が設定速度にもどります。ただし、車間制御モード時は先行車との距離を保持するため車速が設定速度以下になることもあります。

#### ■ 車間制御モードの自動解除

次のとき、自動的に車間制御モードが解除されます。

- 車両が停車したとき
- 運転支援装置によるブレーキ制御、出力抑制が作動したとき  
(例: ブリクラッシュセーフティ、ドライブスタートコントロール)
- パーキングブレーキが作動したとき
- 走行中に運転席シートベルトを着用していないとき
- ブリクラッシュセーフティがOFFのとき
- システムの一部もしくは全てが作動しないとき: →P.150

#### ■ レーダークルーズコントロールの警告メッセージ・警告ブザー

安全にお使いいただくために: →P.145

#### ■ センサーが正しく検知しないおそれのある先行車

次のような場合にシステムによる減速が

不十分な場合はブレーキペダルを、加速が必要な場合はアクセルペダルを、状況に応じて操作してください。

センサーが正しく車両を検知できず、接近警報（→P.171）も作動しないおそれがあります。

- 割込み車両、離脱車両の車線変更が極端に速い、または遅いとき
- 自車が車線変更しているとき
- 先行車が低速で走行中のとき
- 同じ車線に停車中の車がいるとき
- 同じ車線を二輪車が走行中のとき
- システムが正しく作動しないおそれのある状況

次の状況では、必要に応じてブレーキペダルで減速（場合によってアクセルペダルを操作）してください。

センサーが正常に車両を検知できず、システムが正常に作動しないおそれがあります。

- 先行車が急ブレーキをかけたとき
- 渋滞時等、低速で車線変更したとき

## 接近警報

追従走行中の他車の割り込みなど、十分な減速ができない状態で先行車に接近したときは、表示の点滅とブザーで運転者に注意をうながします。その場合は、ブレーキペダルを踏むなど適切な車間距離を確保してください。

### ■ 警報されないとき

車間距離が短くても、次のような場合は警報されないことがあります。

- 先行車と自車の車速が同じか先行車の方が速いとき

- 先行車が極端な低速走行をしているとき
- 速度を設定した直後
- アクセルペダルを踏んだとき

## カーブ速度抑制機能

カーブを認識すると車速の抑制を開始します。カーブが終了すると車速の抑制が終了します。

状況に応じて設定速度まで復帰します。先行車に割り込まれる等で、追従走行が優先された場合も車速抑制は終了します。



## 知識

### ■ カーブ速度抑制機能が作動しないおそれがある状況

次のような状況では、カーブ速度抑制機能が作動しない場合があります。

- 緩やかなカーブを走行しているとき
- アクセルペダルを操作しているとき
- 極端に短いカーブを走行しているとき

## 車線変更時の補助機能

約 80km/h 以上で走行中に追い越し車線側へ車線変更する場合、方向指示レバーの操作と連動して設定速度まで加速することで、追い越しを支援します。

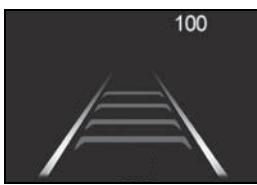
約 80km/h 以上で走行中に自車より遅い車両の後方へ車線変更する場合、方向指示レバーの操作と連動して緩減速することで、車線変更を補助します。

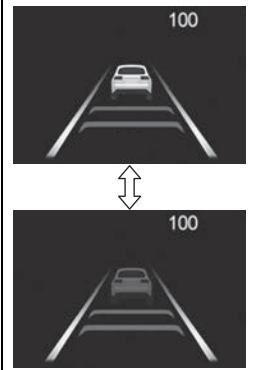
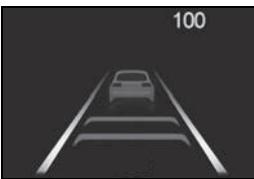
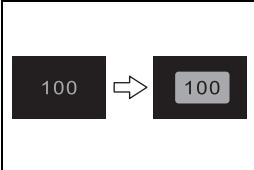
### レーダークルーズコントロールの設定を変更する

レーダークルーズコントロールの設定は、カスタマイズ設定から変更することができます。  
(→P.313)

### ディスプレイ表示とシステムの作動状況

レーダークルーズコントロールの作動状態を示しています。

表示灯	マルチインフォメーションディスプレイ表示	状態
 白色		設定車間距離：灰色 レーダークルーズコントロール OFF
 緑色		設定車間距離：青色 設定速度：緑色 定速走行
 緑色		設定車間距離：青色 設定速度：緑色 先行車：白色 追従走行

表示灯	マルチインフォメーションディスプレイ表示	状態
 緑色		設定車間距離：橙色 点滅 設定速度：緑色 先行車：橙色点滅  接近警報
 緑色		設定車間距離：灰色 設定速度：白色 先行車：灰色  アクセルペダルによる加速中
		設定速度：緑色反転表示  設定速度超過時

## クルーズコントロール

アクセルペダルを踏まなくても、一定の車速で走行できます。

高速道路や自動車専用道路で使用してください。

### 警告

#### ■ 安全にお使いいただくために

- 安全運転を行う責任は運転者にあります。システムを過信せず、運転者は常に自らの責任で周囲の状況を把握し、安全運転に努めてください。
- 設定速度は、制限速度・交通の流れ・路面環境・天候などを考慮して適切に設定してください。設定速度の確認は、運転者が行う必要があります。

#### ■ クルーズコントロールを使用してはいけない状況

次の状況では、クルーズコントロールを使用しないでください。適切な制御が行われず、思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

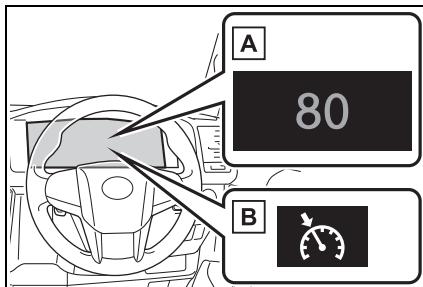
- 急カーブのある道
- 曲がりくねった道
- 雨天時や、凍結路・積雪路などのすべりやすい路面
- 急な下り坂や急で勾配の変化が激しい坂

急な下り坂では車速が設定速度以上になることがあります。

- システムを OFF にする必要があるとき：→P.145

## システムの構成部品

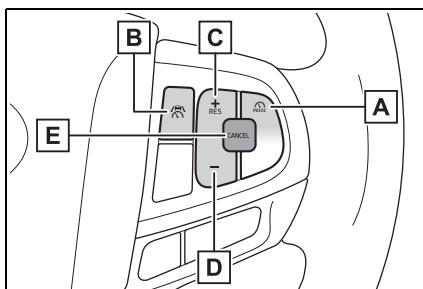
### ■ メーター表示



A 設定速度

B クルーズコントロール表示灯

### ■ 操作スイッチ



A 走行支援モード選択スイッチ

B 走行支援スイッチ

C + スイッチ、RES スイッチ

D - スイッチ

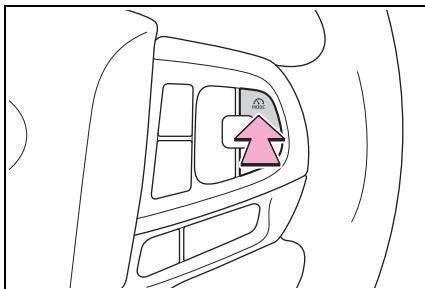
E キャンセルスイッチ

## クルーズコントロールを使用する

### ■ 速度を設定する

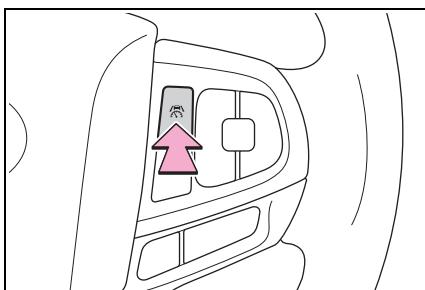
- 1 走行支援モード選択スイッチを押してクルーズコントロールモードを選択する

クルーズコントロール表示灯が点灯します。



- 2 希望の車速（約 30km/h 以上）までアクセルペダル操作で加速／減速し、走行支援スイッチを押して速度を設定する**

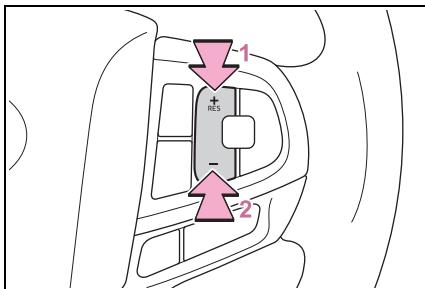
スイッチを離したときの車速で定速走行できます。



#### ■ 設定速度をかえる

- スイッチで設定速度をかえる

設定速度をかえるには、希望の速度が表示されるまで + スイッチまたは - スイッチを押します。



#### 1 速度を上げる

#### 2 速度を下げる

設定速度は、次のとおりに増減されます：

微調整：スイッチを押すごとに 1km/h

大幅調整：スイッチを押し続けているあいだ連続して変化

- アクセルペダルで設定速度を上げる

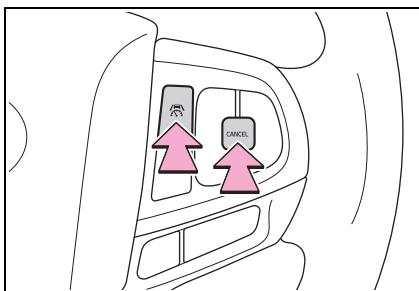
**1 設定したい車速になるまで、アクセルペダルを踏んで加速する**

- 2 + スイッチを押す**

#### ■ 制御を解除する・復帰させる

- 1 制御を解除するには、キャンセルスイッチまたは走行支援スイッチを押す**

ブレーキペダルを踏んだときも解除されます。



- 2 制御を復帰させるには、RES スイッチを押す**

#### □ 知識

#### ■ クルーズコントロールの自動解除

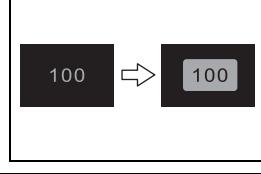
次のとき、自動的にクルーズコントロー  
ルが解除されます。

- 設定速度より車速が約 16km/h 以上低  
下したとき
- 車速が約 30km/h 未満になったとき

- 運転支援装置によるブレーキ制御、出力抑制が作動したとき  
(例: プリクラッシュセーフティ、ドライブスタートコントロール)
- 運転席シートベルトを着用していないとき
- システムの一部もしくは全てが作動しないとき: →P.150
- パーキングブレーキが作動したとき

### ディスプレイ表示とシステムの作動状況

クルーズコントロールの作動状態を示しています。

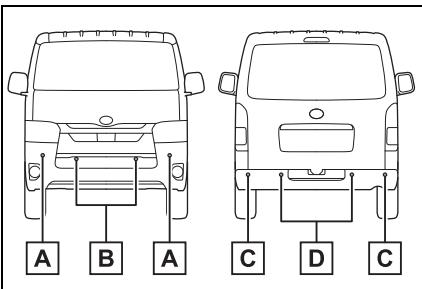
表示灯	マルチインフォメーションディスプレイ表示	状態
 白色		なし クルーズコントロール OFF
 緑色	 100	設定速度: 緑色 定速走行
 緑色	 100 → 100	設定速度: 緑色反転表示 設定速度超過時

## クリアランスソナー

クリアランスソナーは、車両と壁などの静止物とのおおよその距離を超音波センサーによって検知して、マルチメディアディスプレイの距離表示とブザー音、音声案内で運転者にお知らせします。

### システムの構成部品

#### ■ センサーの種類



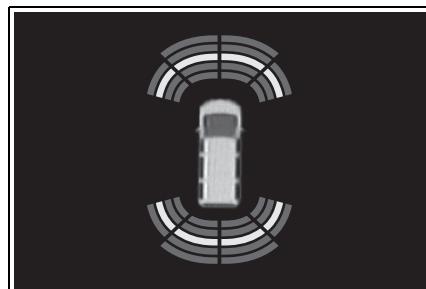
- A** フロントコーナーセンサー
- B** フロントセンターセンサー
- C** リヤコーナーセンサー
- D** リヤセンターセンサー

#### ■ クリアランスソナーの表示のしかた

壁などの静止物を検知すると、マルチメディアディスプレイに表示されます。

イラストは説明のための例であり、仕様により異なります。

#### ▶ マルチメディアディスプレイの表示



#### ■ クリアランスソナー検知表示灯 ★

★ : グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

静止物を検知するとクリアランスソナー検知表示灯が点灯します。

#### □ 知識

クリアランスソナー検知表示灯の有無について

クリアランスソナーが OFF の状態でシフトポジションを R にしたとき、クリアランスソナー OFF 表示灯 (→P.177) が消灯する車両はクリアランスソナー検知表示灯があります。

#### クリアランスソナーの ON / OFF を切りかえるには

クリアランスソナーの ON / OFF は、カスタマイズメニューから切りかえることができます。  
(→P.313)

クリアランスソナー機能が OFF のときは、クリアランスソナー OFF 表示灯 (→P.53) が点灯します。

OFF (非作動) に切りかえて、クリアランスソナーを停止させた場

合、再度、カスタマイズメニュー（→P.313）から ON（作動）に切りかえないとシステムは復帰しません。（エンジンスイッチを OFF にしたあとで再度 ON にしても、復帰しません）

クリアランスソナー検知表示灯がある車両は、シフトポジションを R にすると自動的に ON（作動）になり、クリアランスソナー OFF 表示灯が消灯します。

このとき、クリアランスソナー機能の ON / OFF を切りかえることができません。

クリアランスソナー機能の設定 자체は変更されません。

## ⚠ 警告

### ■ 安全にお使いいただくために

本システムは認識性能／制御性能に限界があります。システムを過信せず、運転者は常に自らの責任で周囲の状況を把握し、安全運転を心がけてください。

### ■ システムを正しく作動させるために

必ず次のことをお守りください。  
正常に作動しないことがあり、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。  
守れないときはシステムを OFF してください。

- センサーに傷を付けたりせずに、常にきれいにしておいてください。
- センサー付近に市販の部品（字光式ナンバープレート・フォグランプ・フェンダーポール・無線アンテナなど）を取り付けないでください。

● センサー周辺へ衝撃を与えないでください。衝撃を受けた際はトヨタ販売店で点検を受けてください。前後のバンパーやグリルの脱着や交換が必要な場合はトヨタ販売店にご相談ください。

● 改造・分解・塗装をしないでください。

● ライセンスプレートカバーを取り付けないでください。

● 適正なタイヤ空気圧を維持してください。

● 純正品以外のサスペンションを取り付けないでください。

## ■ 洗車時の注意

● 高圧洗車機を使用して洗車するときは、センサー部に直接水をあてないでください。強い水圧により衝撃が加わり、正常に作動しなくなるおそれがあります。

● スチームを使用した洗車機などで洗車するときは、スチームをセンサー部に近付けすぎないようにしてください。スチームにより、正常に作動しなくなるおそれがあります。

## □ 知識

### ■ 作動条件

- エンジンスイッチが ON のとき
- クリアランスソナー機能が ON のとき
- 車両の速度が約 10km/h 以下のとき
- フロントコーナーセンサー：  
・ シフトポジションが P 以外にあるとき
- フロントセンターセンサー：  
・ シフトポジションが P・R 以外にあるとき
- リヤコーナー、リヤセンターセンサー：  
・ シフトポジションが R にあるとき

- クリアランスソナー検知表示灯がある車両は、シフトポジションをRになると、クリアランスソナー機能をOFF（非作動）に設定している場合でも、自動的にON（作動）になり、クリアランスソナーOFF表示灯が消灯します。クリアランスソナー機能の設定自体は変更されません。

### ■センサーの検知について

- センサーの検知範囲は車両前部と後部のバンパー周辺に限られます。
- 静止物の形状・条件によって検知できる範囲が短くなることや、検知できないことがあります。
- センサーが静止物に近付きすぎると検知できないことがあります。
- 静止物を検知してから、表示が出る（ブザーが鳴る）までに多少時間がかかります。低速走行時の場合でも表示が出る（ブザーが鳴る）までに、静止物まで約30cm以内に接近するおそれがあります。
- オーディオ・エアコン使用時は、音楽やファンの音などにより、ブザーの音が聞き取りづらくなる場合があります。
- 他システムのブザー音などにより本システムの音が聞き取りづらくなる場合があります。
- メーター故障時はブザーの音が鳴らないことがあります。
- システムが正しく検知できないことがある静止物**
- 静止物の形状・条件によっては検知できる範囲が短くなることや、次のようなものは検知しないことがあります。注意して運転してください。
- 針金・フェンス・ロープなどの細いもの
- 綿・雪などの音波を吸収しやすいもの

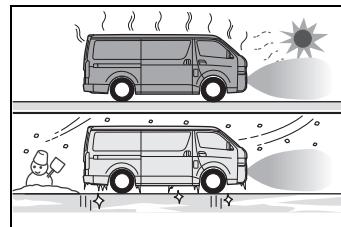
- 鋭角的な形のもの
  - 背の低いもの
  - 背が高く上部が張り出しているもの
- 特に人は衣類の種類によっても検知できない場合がありますので、常に目視で確認してください。

### ■システムが正常に作動しないおそれのある状況

次のような状況では、センサーが正常に作動しないことがあります。

- センサーに水滴・氷・雪・泥などが付着したとき（取り除けば、正常に復帰します）
  - センサー部が凍結したとき（解ければ、正常に復帰します）
- 特に低温時には凍結などにより異常表示が出たり、壁などの静止物があっても検知しないことがあります。

### ●炎天下や寒冷時



- 凸凹道・坂道・砂利道・草むら走行時など
- 他車のホーン・オートバイのエンジン音・大型車のエアブレーキ音・他車のセンサーなど超音波を発生するものが近付いたとき
- 大雨や水しぶきがかかったとき
- センサーに静止物が近付きすぎたとき
- 超音波を反射しにくい歩行者（例：ギャザーやフリルの多いスカートなど）
- 地面に対して垂直でないものの、車両進行方向に対して直角でないもの、凸凹なもの、波打っているものが検知範囲

にあるとき

- 風が強いとき

- 霧・雪・砂嵐などの悪天候のとき

- 作動対象物と車両のあいだに検知できない対象物があるとき

- 車・オートバイ・自転車・歩行者などの作動対象が車両の横から割り込んだり、飛び出してきたとき

- 衝突などで、センサーの方向がずれたとき

- センサー付近にけん引フック・輸送用フック・バンパープロテクター・バンパー・トリム・サイクリルキャリア・除雪装置（スノーブラウ）などを取り付けたとき

- 積載状況などにより車高が著しく変化したとき（ノーズアップ・ノーズダウンなど）

- 事故や故障で自車の走行が不安定なとき

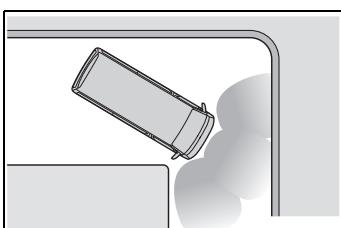
- タイヤチェーン・応急用タイヤ・タイヤパンク応急修理キットを使用しているとき

- けん引しているとき

#### ■ 衝突の可能性がなくてもシステムが作動する状況

次のような状況では、衝突の可能性がなくともシステムが作動する場合があります。

- 狹い道路を走行するとき



- 垂れ幕や旗やのれん、垂れ下がった枝、遮断機（踏切のバー・ETC のバー・駐

車場のバーなど）に向かって走行するとき

- 地面にわだちや穴があるとき

- 排水溝などの金属のフタ（グレーチング）走行時

- 急な登坂路や降坂路を走行するとき

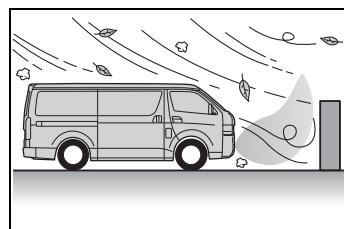
- 冠水している道路でセンサーに水がかぶったとき

- センサーに水滴・氷・雪・泥などが付着したとき（取り除けば、正常に復帰します）

- 大雨や水しぶきがかかったとき

- 霧・雪・砂嵐などの悪天候のとき

- 風が強いとき



- 他車のホーン・オートバイのエンジン音・大型車のエアブレーキ音・他車のセンサーなど超音波を発生するものが近付いたとき

- 積載状況などにより車高が著しく変化したとき（ノーズアップ・ノーズダウンなど）

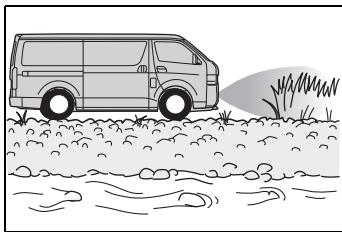
- 衝突などで、センサーの方向がずれたとき

- 背の高い縁石や直角の縁石に向かって進んだとき

- 立体駐車場や工事現場などで柱（H形鋼など）の付近を走行するとき

- 事故や故障で自車の走行が不安定なとき

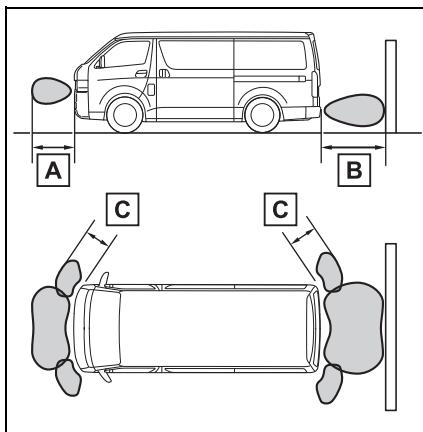
- 凸凹道・坂道・砂利道・草むら走行時など



- タイヤチェーン・応急用タイヤ・タイヤパンク応急修理キットを使用しているとき
- けん引しているとき

## 距離表示の見方

### ■ 静止物を検知できる範囲



A 約 100cm

B 約 150cm

C 約 60cm

検知できる範囲は図のとおりです。ただし、静止物がセンサーに近付きすぎると検知できません。

静止物の形状・条件によっては、検知できる距離が短くなることや、検知できないことがあります。

### ■ 検知距離とブザー音

静止物までのおおよその距離	ブザー音
フロントセンターセンサー： 約 100cm～60cm*	
リヤセンターセンサー： 約 150cm～60cm*	断続音
約 60cm～45cm*	速い断続音
約 45cm～30cm*	非常に速い断続音
約 30cm 以下	連続音

\* 自動ミュート機能あり (→P.182)

## 音声案内とブザー音

静止物を検知すると、ブザーが鳴ります。

ブザー音と同時に音声案内を行います。

- 静止物との距離が近付くと、ブザーの断続時間が短くなります。  
静止物との距離が約 30cm 以下のとき、ブザーは断続音「ピピ」から連続音「ピー」になります。
- 複数のセンサーが同時に静止物を検知しているときは、もっとも近い静止物との距離に合わせたブザー音が鳴ります。
- 断続音ブザー吹鳴後、静止物との距離が近付かない場合は、自動でブザーが消音されます。(自動ミュート機能)

### 知識

#### ■ ブザー音量調整

カスタマイズメニューから、クリアランスソナーの音量を切りかえることができます。( $\rightarrow$ P.313)

#### ■ ブザー音の一時ミュート（消音）について

マルチメディアディスプレイに一時ミュート（消音）スイッチが表示されているときにこのスイッチを押すと、一時的にブザー音を消すことができます。

クリアランスソナーのブザー音がミュート（消音）されます。

- 次のとき、自動でミュート（消音）が解除されます。
  - ・シフトポジションを切りかえたとき
  - ・車速が一定値以上になったとき
  - ・センサー異常やシステムが一時使用不可となったとき
  - ・使用中の機能を OFF にしたとき

- ・エンジンスイッチを OFF にしたとき

## PKSB（パーキングサポートブレーキ）

PKSB（パーキングサポートブレーキ）は、駐車時などの低速走行時に作動対象を検知した場合、警報と自動ブレーキ抑制で作動対象との衝突被害の低減に寄与するシステムです。

### 駐車支援機能

システムは次のものを作動対象として検出しています。（機能によって、作動対象が異なります。）

- パーキングサポートブレーキ  
(前後方静止物) : →P.187



#### ■ 安全にお使いいただくために

システムを過信しないでください。システムを過信すると思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。必ず車両周辺の安全を確認しながら運転してください。

道路状況、車両状態および天候など、状況によっては作動しない場合があります。

センサー、レーダーでの検知には限界があります。必ず車両周辺の安全を確認しながら運転してください。

- 安全運転を行う責任は運転者にあります。常に周囲の状況を把握し、安全運転に努めてください。PKSB（パーキングサポートブレーキ）は作動対象への衝突を緩和し、衝突被害低減に寄与できる場合がありますが、状況によっては作動しない場合もあります。

● PKSB（パーキングサポートブレーキ）は、完全に車両を停止させるシステムではありません。また、車両を停止させることができたとしても、ブレーキ制御は約2秒で解除されるため、すぐにブレーキペダルを踏んでください。

● 故意に車や壁に向かって走行するなど、システムの作動を確認する行為は大変危険です。絶対におやめください。

#### ■ パーキングサポートブレーキをOFFにするとき

次のときは、PKSB（パーキングサポートブレーキ）をOFFにしてください。衝突の可能性がなくともシステムが作動する場合があります。

- 点検などで、シャシーローラー・シャシーダイナモ・フリーローラーなどを使用するとき
- 船舶・トラックなどへ積載する際の進入時
- ローダウンサスペンションや、純正と異なるサイズのタイヤを取り付けたとき
- 積載状況などにより車高が著しく変化したとき（ノーズアップ、ノーズダウンなど）
- センサー付近にけん引フック・輸送用フック・バンパー・プロテクター・バンパートリム・サイクリックキャリア・除雪装置（スノープラウ）などを取り付けたとき
- 自走式洗車機を利用するとき
- 事故や故障で自車の走行が不安定なとき
- オフロード走行やスポーツ走行をするとき
- タイヤの空気圧が適正でないとき

## ⚠️ 警告

- 著しく摩耗したタイヤを装着しているとき
- タイヤチェーン・応急用タイヤ・タイヤパンク応急修理キットを使用しているとき
- けん引しているとき
- サスペンションの取り扱いについて**  
車高や車の傾きが変化すると、センサーが作動対象物を正しく検知できなくなり、システムが正しく作動しなくなるおそれがあり危険です。サスペンションの改造はしないでください。

## システムを作動させるには

パーキングサポートブレーキの ON / OFF は、カスタマイズメニューから切りかえることができます。（→P.313）

PKSB（パーキングサポートブレーキ）が OFF のとき、運転支援情報表示灯（→P.53）が点灯し、マルチインフォメーションディスプレイにメッセージが表示されます。

PKSB（パーキングサポートブレーキ）を OFF（非作動）にした場合、再度、カスタマイズメニュー（→P.313）から ON（作動）にしないとシステムは復帰しません。

（エンジンスイッチを OFF にしたあとで再度 ON にしても、復帰しません）

## エンジン出力抑制制御・ブレーキ制御の表示・ブザーについて

エンジン出力抑制制御・ブレーキ制御が作動したときは、ブザーでお知らせするとともに、マルチメディアディスプレイおよびマルチインフォメーションディスプレイに、システムによる加速制限を示すメッセージや、ブレーキ操作を促すメッセージが表示されます。

出力抑制制御は状況により、加速制限制御か出力最大抑制制御のいずれかが作動します。

### ● エンジン出力抑制制御作動中 (加速制限制御)

一定以上の加速をシステムが制限しているとき：

マルチメディアディスプレイ表示：表示なし

マルチインフォメーションディスプレイ表示例：“ 加速抑制中です ”

運転支援情報表示灯：消灯のまま

ブザー：吹鳴なし

### ● エンジン出力抑制制御作動中 (出力最大抑制制御)

通常よりやや強めのブレーキ操作が必要だとシステムが判断したとき：

マルチインフォメーションディスプレイ表示例：“ ブレーキ！ ”

運転支援情報表示灯：消灯のまま

ブザー：ピー（単発音）

### ● ブレーキ制御作動中

急ブレーキが必要だとシステムが判断したとき：

マルチインフォメーションディスプレイ表示例：“ ブレーキ！ ”

運転支援情報表示灯：消灯のまま

ブザー：ピー（単発音）

● システム作動により車両停止

ブレーキ制御作動後に車両が停止したとき：

マルチインフォメーションディスプレイ  
表示例：“アクセルが踏まれています  
ブレーキを踏んでください”、“ブレ  
キを踏んでください”

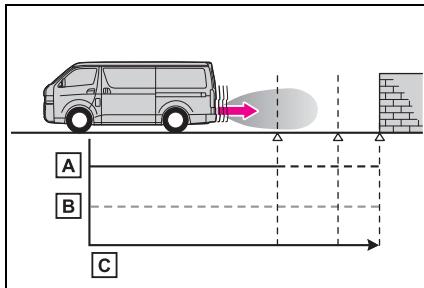
運転支援情報表示灯：点灯

ブザー：ピピピピ（連続音）

### PKSB（パーキングサポートブレーキ）の作動について

PKSB（パーキングサポートブレーキ）は、衝突の可能性がある作動対象（壁などの静止物）を検知したとき、エンジンの出力を抑制することにより車速の上昇を抑えます。（エンジン出力抑制制御：図2）また、そのままアクセルペダルを踏み続けた場合は、ブレーキをかけ減速させます。（ブレーキ制御：図3）

● 図1（PKSB [パーキングサポートブレーキ] 非作動時）

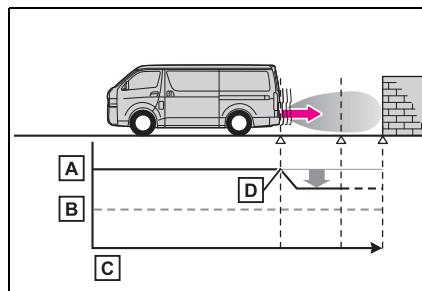


**A** エンジン出力

**B** 制動力

**C** 時間

● 図2（エンジン出力抑制制御時）



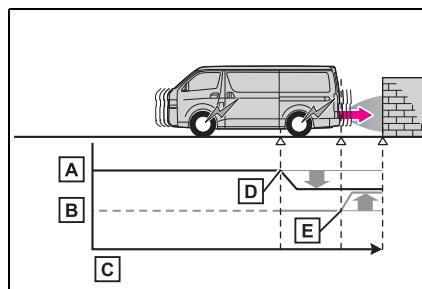
**A** エンジン出力

**B** 制動力

**C** 時間

**D** エンジン出力抑制制御開始（作動対象と衝突の可能性があるとシステムが判断したとき）

● 図3（エンジン出力抑制制御かつブレーキ制御時）



**A** エンジン出力

**B** 制動力

**C** 時間

**D** エンジン出力抑制制御開始（作動対象と衝突の可能性があるとシステムが判断したとき）

**E** ブレーキ制御開始（作動対象と

衝突の可能性が非常に高いとシステムが判断したとき)

およその距離をお知らせします。

## □ 知識

### ■PKSB (パーキングサポートブレーキ) が作動したときは

システム作動により車両が停止した場合、PKSB (パーキングサポートブレーキ) が停止して、運転支援情報表示灯が点灯します。また、PKSB (パーキングサポートブレーキ) が作動した場合でもブレーキ制御は約 2 秒で解除されるため、そのまま発進できます。また、ブレーキペダルを踏んでも解除されるため、再度アクセルペダルを踏むと発進できます。

### ■PKSB (パーキングサポートブレーキ) 作動後の復帰について

システム作動により PKSB (パーキングサポートブレーキ) が停止したときに、PKSB (パーキングサポートブレーキ) を復帰させたい場合は、再度 PKSB (パーキングサポートブレーキ) を ON にするか、エンジンスイッチをいったん OFF にしてから、再度 ON してください。

また、次の状況でも自動的に PKSB (パーキングサポートブレーキ) が復帰し、運転支援情報表示灯が消灯します。  
(→P.53)

- シフトポジションを P にする
- 進行方向の作動対象がなくなった状態で走行する
- 車両の進行方向を切りかえる

### ■クリアランスソナーのブザーについて

クリアランスソナーの ON / OFF に関係なく (→P.177)、PKSB (パーキングサポートブレーキ) を停止させていなければ (→P.184)、ブレーキ制御とエンジン出力抑制制御が作動すると、クリアランスソナーのブザーも鳴り、作動対象との

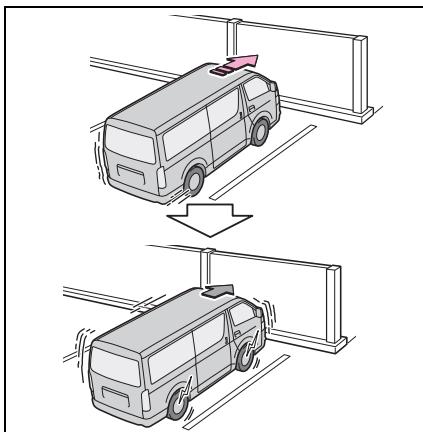
## パーキングサポートブレーキ（前後方静止物）

駐車時や低速走行時において、壁などの静止物への衝突のおそれがあるときや、アクセルペダルの踏み間違いや踏みすぎによる急発進、および、シフトポジション選択を誤っての発進時に、センサーが前後進行方向の静止物を検知するとシステムが作動し、衝突を緩和し衝突被害低減に寄与します。

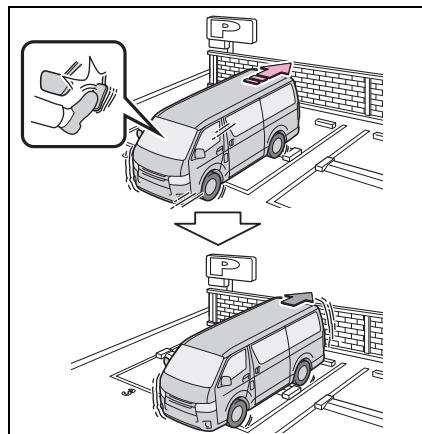
### システム作動例（前後方静止物）

次のようなときに進行方向の静止物を検知してシステムが作動します。

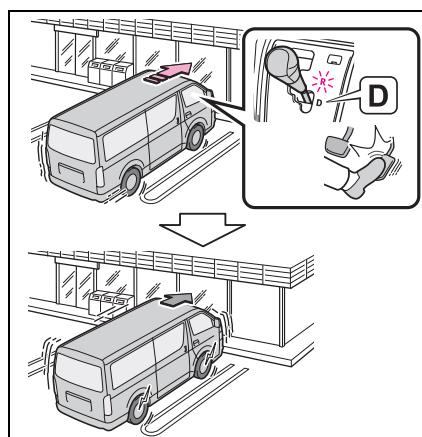
- 低速走行時にブレーキペダルを踏み損なってしまった、または踏み遅れてしまったとき



- アクセルペダルを踏みすぎてしまったとき



- 誤ってシフトポジションを D にして前進してしまったとき



### センサーの種類

→P.177

#### 警告

- システムを正しく作動させるために

→P.178

## ⚠ 警告

- 万一、踏切内などで PKSB (パーキングサポートブレーキ) が誤って作動したときは

→P.186

- 洗車時の注意

→P.178

## □ 知識

### ■ パーキングサポートブレーキ（前後方静止物）の作動開始条件

運転支援情報表示灯が点灯（→P.52）しておらず、次の条件をすべて満たすと作動します。

#### ● エンジン出力抑制制御

- ・ PKSB (パーキングサポートブレーキ) を ON (作動) にしているとき
- ・ 車速が約 15km/h 以下
- ・ 車両進行方向に作動対象となる静止物があるとき（約 2 ~ 4m 先まで）
- ・ 衝突回避には、通常よりやや強めのブレーキ操作が必要とシステムが判断したとき

#### ● ブレーキ制御

- ・ エンジン出力抑制制御作動中
- ・ 衝突回避には、急ブレーキ操作が必要とシステムが判断したとき

### ■ パーキングサポートブレーキ（前後方静止物）の作動終了条件

次のいずれかの条件のときに作動が終了します。

#### ● エンジン出力抑制制御

- ・ PKSB (パーキングサポートブレーキ) を OFF (非作動) にしたとき
- ・ 通常のブレーキ操作で衝突回避が可能になったとシステムが判断したとき
- ・ 車両進行方向の作動対象となる静止物がなくなったとき（約 2 ~ 4m 先まで）

#### ● ブレーキ制御

- ・ PKSB (パーキングサポートブレーキ) を OFF (非作動) にしたとき
- ・ ブレーキ制御により車両が停止して約 2 秒が経過したとき
- ・ ブレーキ制御により車両が停止したあとに、ブレーキペダルを踏んだとき
- ・ 車両進行方向の作動対象となる静止物がなくなったとき（約 2 ~ 4m 先まで）

### ■ パーキングサポートブレーキ（前後方静止物）の検知範囲について

パーキングサポートブレーキ（前後方静止物）の検知範囲は、クリアランスソナーの検知範囲（→P.181）とは異なります。そのため、クリアランスソナーが静止物との接近をお知らせしても、パーキングサポートブレーキ（前後方静止物）は作動を開始していない場合があります。

### ■ システムが正常に作動しないおそれのある状況

→P.179

### ■ 衝突の可能性がなくてもシステムが作動する状況

→P.180

## プラスサポート（販売店装着オプション）

プラスサポートは、お客様の運転を補助し、より安全なドライブを支援します。プラスサポートを使用するためには、プラスサポート用スマートキー（以下、サポキー）が必要です。プラスサポートおよびサポキーは販売店装着オプションです。

### プラスサポートでできること

プラスサポートを使用すると、機能の追加や、音声案内シーンの追加でより安心なドライブを支援します。また、通常の電子キーとは異なるカスタマイズ設定が可能です。

#### ■ 機能の追加

- 急アクセル時加速抑制
- 交差点対向車注意喚起

#### ■ 音声案内シーンの追加（進入禁止区間に進入した場合など）

対象機能：

- PCS（プリクラッシュセーフティシステム）
- RSA（ロードサインアシスト）
- 急アクセル時加速抑制
- PKSB（パーキングサポートブレーキ）

#### ■ 通常の電子キーとは異なるカスタマイズ設定

対象機能：

- PCS（プリクラッシュセーフ

ティシステム）

- LDA（レーンディパーチャーラート）
- RSA（ロードサインアシスト）
- PKSB（パーキングサポートブレーキ）
- クリアランスソナー

### 知識

#### ■ カスタマイズの初期値変更

カスタマイズ設定から、各システムの設定を変更することができます。サポキーで起動した場合、通常の電子キーとは異なる設定でシステムが作動します。サポキーで起動後に変更した設定はサポキーにのみ記憶されます。通常キーには記憶されません。より安全に運転いただくため、通常の電子キーでは設定の変更ができた音声案内など、一部の項目が作動状態に固定されます。

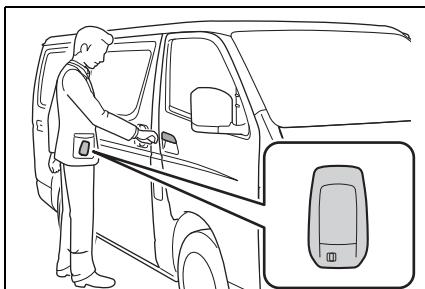
### プラスサポートを使用するには

#### ■ プラスサポートを始動するには

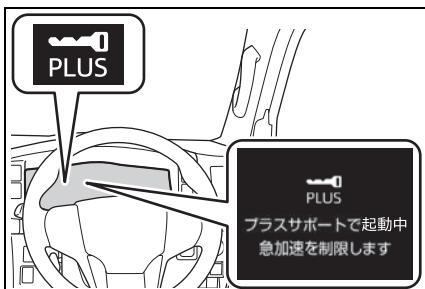
- 1 サポキーを携帯していることを確認して、ドアを解錠する  
(→P.66, 69)

エンジンスイッチが OFF 以外の状態でドアが施錠されているときは、サポキーでドアを解錠

しても、プラスサポートは作動可能になりません。



- 2 通常の手順でエンジンをかける  
(→P.120)
- 3 “プラスサポートで起動中 急加速を制限します”というメッセージが表示され、プラスサポート表示灯が点灯したことを見認する  
エンジンスイッチを OFF にするまで、プラスサポートが作動可能な状態になります。  
エンジンの始動後は、プラスサポート表示灯が点灯していることを必ず見認してください。プラスサポート表示灯が点灯していないときは、プラスサポートが作動しません。また、プラスサポートが不要なときは、プラスサポート表示灯が消灯していることを必ず見認してください。



- 4 メーター操作スイッチの  を押してメッセージを非表示にする

メッセージ表示後約 30 秒経過するまで、またはスイッチ操作によりメッセージを非表示とするまで、“プラスサポートで起動中 急加速を制限します”的メッセージは表示されたままになります。

### ■ プラスサポートが不要なときは

標準装備の電子キーを携帯してドアを解錠し、エンジンを始動してください。プラスサポートが非作動になり、標準車と同様の制御になります。

#### 警告

##### ■ プラスサポートを正しく使用するため

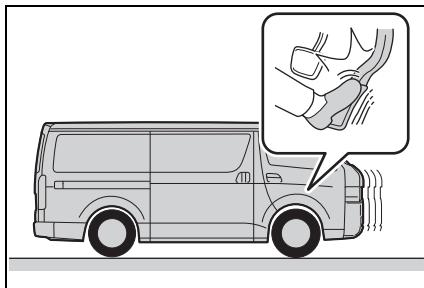
- 必ずサポキーを携帯していることを確認してください。標準装備の電子キーを携帯しているときは、プラスサポートが始動しません。
- サポキーと標準装備の電子キーを同時に携帯しないでください。プラスサポートが始動しない場合があります。

エンジンの始動後は、プラスサポート表示灯が点灯していることを必ず確認してください (→P.52)。プラスサポート表示灯が点灯していないときは、プラスサポートが作動しません。また、プラスサポートが不要なときは、プラスサポート表示灯が消灯していることを必ず確認してください。

#### 急アクセル時加速抑制について

低速走行 (約 30km/h 以下) 中

に、ペダルの踏み間違いなどでアクセルペダルが速く強く踏み込まれたとシステムが判断したとき、エンジンの出力を抑制することで、車両が急加速しないように制御します。



## ⚠️ 警告

### ■ 安全にお使いいただくために

- システムを過信しないでください。システムを過信すると思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。必ず車両周辺の安全を確認しながら運転してください。
- 安全運転を行う責任は運転者にあります。常に周囲の状況を把握し、安全運転に努めてください。急アクセル時加速抑制は、状況によっては作動しない場合もあります。
- 急アクセル時加速抑制は衝突を防止するシステムではありません。車両を自動で停止させる機能はないため、加速抑制後も車両は惰性で動きます。周囲の交通状況を確認の上、必ずご自身でブレーキペダルを踏んでください。

● 急アクセル時加速抑制は意図せぬ急加速の防止を補助する機能ですが、走行状況によっては、加速が必要なときにもエンジン出力が抑制される場合があります。安全、かつ環境に優しい運転をするためにも、日頃からアクセルペダルはゆっくり操作するように心がけてください。

● お客様ご自身で急アクセル時加速抑制の作動テストを行わないでください。状況によってはシステムが正常に作動せず、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

### ■ 急アクセル時加速抑制が作動したとき

急アクセル時加速抑制が作動すると、エンジンの出力を抑制します。すみやかにアクセルペダルから足を離して、ブレーキペダルを踏んでください。アクセルペダルを踏み込んだままでいると、しばらくしたあとに車両が加速し、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

### ■ 右左折・車線変更するとき

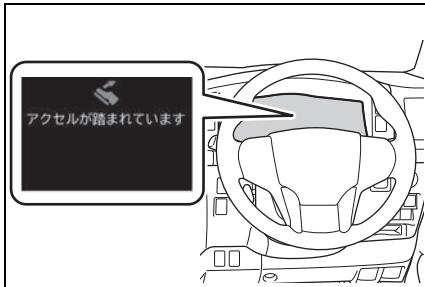
必ず方向指示灯を点滅させてください。方向指示灯が点滅していないと、急アクセル時加速抑制によりエンジンの出力が抑制され、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

## 急アクセル時加速抑制が作動したとき

急アクセル時加速抑制が作動したときは、ブザーや音声発話でお知らせするとともに、マルチインフォメーションディスプレイにメッセージが表示されます。

メッセージが表示されたときは、すみやかにアクセルペダルから足を離し、ブレーキペダルを踏んで

ください。



## □ 知識

### ■ 急アクセル時加速抑制の作動条件

プラスサポートが始動したあと、次の条件をすべて満たした場合、急アクセル時加速抑制が作動します。

- シフトポジションが P・N 以外のとき
  - 車速が約 30 km/h 以下のとき
  - アクセルペダルを速く強く踏み込んだとき（アクセルペダルを踏み込む速度と踏み込み量が一定以上のとき）
- 次の条件のいずれかを満たした場合、エンジンの出力抑制量を少なくし、前進時は約 30 km/h、後退時は約 12 km/h<sup>\*</sup>までゆるやかに加速します。
- 加速抑制作動中にアクセルペダルを約 5 秒間踏み続けたとき
  - 加速抑制作動後すぐにアクセルペダルを速く強く踏み直したとき
  - \* 状況によっては所定の速度以下に抑制できない場合があります

### ■ 急アクセル時加速抑制が作動しないときは

次の場合は、加速が必要な場合を考慮し、急アクセル時加速抑制が作動しません。アクセルペダルをゆっくり操作し、安全運転を心がけてください。

- 方向指示灯の点滅中、または消灯したあと約 2 秒間（前進時）

- ブレーキペダルを踏んでいるとき、またはブレーキペダルを離したあと約 2 秒間（前進時）

- 急な上り坂に自車がいるとき

### ■ システムが正常に作動しないおそれのある状況

次のような状況ではシステムが正常に作動しない場合があります。

#### ● 車両姿勢の変化

- ・ 積載状況などにより車両姿勢が大きく傾いたとき（ノーズアップ・ノーズダウンなど）
- ・ ローダウンサスペンション、純正と異なる径のタイヤなどを取り付けたとき

#### ● 周辺環境の影響

- ・ 坂道・凸凹道・砂利道などの非舗装路を走行しているとき
- ・ 雪道などスリップが発生するような場所を走行しているとき
- ・ 坂道の出口など車両姿勢が急激に変化したとき
- ・ スピードブレイカーや縁石など大きな段差を乗り越えるとき

### ■ 加速したい場面でシステムが作動するおそれのある状況

次のような状況では踏み間違いでなくてもシステムが作動する場合があります。アクセルを離してゆっくり踏み直してください。

#### ● 車両姿勢の変化

- ・ 積載状況などにより車両姿勢が大きく傾いたとき（ノーズアップ・ノーズダウンなど）
- ・ ローダウンサスペンション、純正と異なる径のタイヤなどを取り付けたとき

#### ● 周辺環境の影響

- ・ 坂道・凸凹道・砂利道などの非舗装路を走行しているとき
- ・ 雪道などスリップが発生するような場所を走行しているとき
- ・ 坂道の入り口など車両姿勢が急激に変

化したとき

- ・スピードブレイカーや縁石など大きな段差を乗り越えるとき
- 運転操作の影響
  - ・車線変更や右折などで方向指示灯を点滅させずに急いで加速しようとしたとき
  - ・惰性走行から急いで加速しようとしたとき
  - ・ETC ゲート通過後に急加速したとき
  - ・ブレーキホールドによるブレーキ保持中に急発進しようとしたとき

差点対向車注意喚起が作動しません。

作動対象	自車速度	対向車速度
対向車両	約 15 ~ 30km/h 以上	約 10km/h 以上
対向自動二輪車	約 15 ~ 30km/h 以上	約 25km/h 以上

### 交差点対向車注意喚起について

交差点で接近してくる対向車がいるときに右折しようとする場合、ブザーと表示で注意喚起を行います。

4

運転

### 交差点対向車注意喚起が作動したとき

交差点対向車注意喚起が作動したときは、ブザーでお知らせとともに、マルチインフォメーションディスプレイにメッセージが表示されます。



#### □ 知識

##### ■ 交差点対向車注意喚起の作動条件

方向指示灯が点滅していないときは、交

## 運転を補助する装置

走行の安全性や運転性能を確保するため、走行状況に応じて次の装置が自動で作動します。ただし、これらの装置は補助的なものなので、過信せずに運転には十分に注意してください。

### 運転を補助する装置について

#### ■ ABS（アンチロックブレーキシステム）

急ブレーキ時やすべりやすい路面でのブレーキ時にタイヤのロックを防ぎ、スリップを抑制します。

#### ■ ブレーキアシスト

急ブレーキ時などに、より大きなブレーキ力を発生させます。

#### ■ VSC（ビークルスタビリティコントロール）

急なハンドル操作や、すべりやすい路面で旋回するときに横すべりを抑え、車両の姿勢維持に寄与します。

#### ■ TRC（トラクションコントロール）

すべりやすい路面での発進時や加速時にタイヤの空転を抑え、駆動力確保に貢献します。

#### ■ ヒルスタートアシストコントロール

上り坂で発進するときに、車が後退するのを緩和します。

#### ■ 緊急ブレーキシグナル

急ブレーキ時に非常点滅灯を自動的に点滅させることにより、後続

車に注意をうながし、追突される可能性を低減させます。

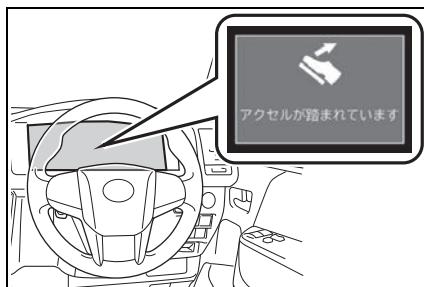
#### ■ セカンダリーコリジョンブレーキ

SRS エアバッグのセンサーが衝突を検知して作動したとき、自動的にブレーキと制動灯を制御することで、車両を減速させ二次衝突による被害の軽減に寄与します。

#### ■ 衝突時の急加速抑制

SRS エアバッグのセンサーが軽度の衝突を検知したときに、急アクセルによるエンジン出力を自動的に抑制することで、二次衝突による被害の軽減に寄与します。

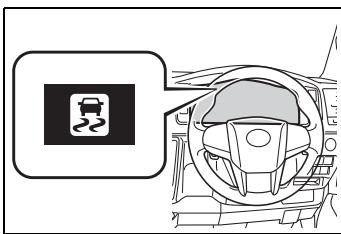
システム作動時はブザー、音声案内とマルチインフォメーションディスプレイのメッセージでお知らせします。



#### □ 知識

#### ■ TRC・VSC が作動しているとき

TRC・VSC が作動しているときは、スリップ表示灯が点滅します。

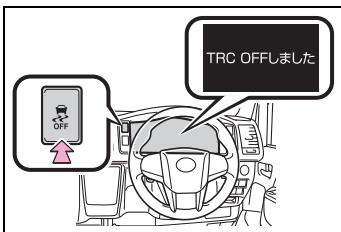


### ■ TRC を停止するには

ぬかるみや砂地、雪道などから脱出するときに、TRC が作動していると、アクセルペダルを踏み込んででもエンジンの出力が上がりらず、脱出が困難な場合があります。

このようなときに  を押すことにより、脱出しやすくなる場合があります。

TRC を停止するには  を押す



マルチインフォメーションディスプレイに“TRC OFF しました”と表示されます。

もう一度  を押すと、システム作動可能状態にもどります。

### ■ TRC と VSC を停止するには

TRC と VSC を停止するには、停車時に  を押し 3 秒以上保持する

VSC OFF 表示灯が点灯し、マルチインフォメーションディスプレイに“TRC OFF しました”と表示されます。\*

もう一度  を押すと、システム作動可能状態にもどります。

\* プリクラッシュブレーキアシスト・ブ

リクラッシュブレーキも停止します。PCS 警告灯が点灯し、マルチインフォメーションディスプレイにメッセージが表示されます。（→P.153）

### ■ を押さなくてもマルチインフォメーションディスプレイに TRC OFF 表示がされたとき

TRC が一時的に作動できない状態になっています。表示が継続する場合はトヨタ販売店にご相談ください。

### ■ ヒルスタートアシストコントロールの作動条件

次のときシステムが作動します。

- 前進での上り坂発進時にシフトレバーが D などの前進シフトのとき、後退での上り坂発進時にシフトレバーが R のとき

#### ● 車両停止状態

- アクセルペダルを踏んでいない
- パーキングブレーキがかかっていない
- エンジンスイッチが ON

### ■ ヒルスタートアシストコントロールの自動解除

次のいずれかのときシステムが解除されます。

- 前進での上り坂発進時にシフトレバーが D などの前進シフト以外のとき、後退での上り坂発進時にシフトレバーが R 以外のとき

#### ● アクセルペダルを踏んだ

- ブレーキペダルを踏んで、かつパーキングブレーキをかけた
- ブレーキペダルから足を離して最大2秒経過した

#### ● エンジンスイッチが OFF

### ■ ABS・ブレーキアシスト・TRC・VSC・ヒルスタートアシストコントロールの作動音と振動

- エンジン始動時や発進直後、ブレーキペダルをくり返し踏んだときなどに、エンジンルームから作動音が聞こえることがあります、異常ではありません。
- 上記のシステムが作動すると、次のような現象が発生することがあります、異常ではありません。
  - ・ 車体やハンドルに振動を感じる
  - ・ 車両停止後もモーター音が聞こえる
  - ・ ABS の作動時に、ブレーキペダルが小刻みに動く
  - ・ ABS の作動終了後、ブレーキペダルが少し奥に入る

### ■ TRC や VSC の自動復帰について

TRC や VSC を作動停止にしたあと、以下のときはシステム作動可能状態にもどります。

- エンジンスイッチを OFF にしたとき
- (TRC のみを作動停止にしている場合)  
車速が高くなったとき  
ただし、TRC と VSC の作動を停止している場合は、車速による自動復帰はありません。

### ■ 緊急ブレーキシグナルの作動条件

次のときシステムが作動します。

- 非常点滅灯が点滅していないこと
- 車速 55km/h 以上
- 車両の減速度から急ブレーキであるとシステムにより判断された

### ■ 緊急ブレーキシグナルの自動解除

次のいずれかのときシステムが解除されます。

- 非常点滅灯を点滅させた
- 車両の減速度から急ブレーキではないとシステムにより判断された

### ■ セカンダリーコリジョンブレーキの作動条件

走行中に SRS エアバッグのセンサーが衝突を検知して作動したとき。

ただし構成部品が破損した場合システムは作動しません。

### ■ セカンダリーコリジョンブレーキの自動解除

次のいずれかのとき自動的にシステムが解除されます。

- 車速が約 0km/h になったとき
- 作動して一定時間経過したとき
- アクセルペダルを大きく踏み込んだとき

### ■ 衝突時の急加速抑制について

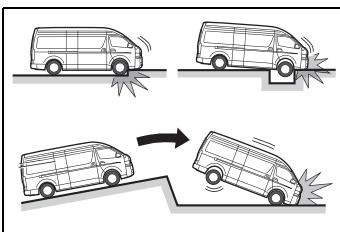
- 次の条件をすべて満たすと、システムが作動します。

- ・ 車速が約 60km/h 以下のとき
- ・ SRS エアバッグのセンサーが車両前方に軽度の衝突を検知したとき
- ・ 衝突の直前にブレーキ操作をしていないとき
- ・ アクセルペダルを速く強く踏み込んだ  
※ あとに衝突した、または衝突後にアクセルペダルを速く強く踏み込んだ※  
とき

※ アクセルペダルを踏み込む速度と踏み込み量が一定以上のとき

- 次のような状況では衝突していないても、システムが作動する場合があります。

- ・ 縁石や歩道の端など、固いものにぶつかったとき
- ・ 深い穴や溝に落ちたり、乗りこえたとき
- ・ ジャンプして地面にぶつかったり、道路から落下したとき



- アクセルペダルを離すとシステムの作動が解除されます。

## ⚠ 警告

### ■ ABS の効果を発揮できないとき

- タイヤのグリップ性能の限界をこえたとき（雪に覆われた路面を過剰に摩耗したタイヤで走行するときなど）
- 雨でぬれた路面やすべりやすい路面での高速走行時に、ハイドロブレーニング現象が発生したとき

### ■ ABS が作動することで、制動距離が通常よりも長くなる可能性があるとき

ABS は制動距離を短くする装置ではありません。特に次の状況では、常に速度を控えめにして前車と安全な車間距離をとってください。

- 泥・砂利の道路や積雪路を走行しているとき
- タイヤチェーンを装着しているとき
- 道路のつなぎ目など、段差をこえたとき
- 凹凸のある路面や石だらみなどの悪路を走行しているとき

### ■ TRCやVSCの効果を発揮できないとき

すべりやすい路面では、TRC や VSC が作動していても、車両の方向安定性や駆動力が得られないことがあります。車両の方向安定性や駆動力を失うような状況では、特に慎重に運転してください。

### ■ ヒルスタートアシストコントロールの効果を発揮できないとき

- ヒルスタートアシストコントロールを過信しないでください。急勾配の坂や凍った路面ではヒルスタートアシストコントロールが効かないことがあります。
- ヒルスタートアシストコントロールはパーキングブレーキのように車を長時間駐車するための機能ではありませんので、同機能を坂道での駐停車のために使用しないでください。思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

### ■ スリップ表示灯が点滅しているときは

TRC・VSC が作動中であることを知らせています。常に安全運転を心がけてください。無謀な運転は思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。表示灯が点滅したら特に慎重に運転してください。

### ■ TRC や VSC を OFF にするときは

TRC や VSC は駆動力や車両の方向安定性を確保しようとするシステムです。そのため、必要なとき以外は TRC・VSC を作動停止状態にしないでください。TRC や VSC を作動停止状態にしたときは、路面状況に応じた速度で、特に慎重な運転を心がけてください。

## ⚠️ 警告

### ■ タイヤまたはホイールを交換するときは

4輪とも指定されたサイズで、同じメーカー・ブランド・トレッドパターン（溝模様）のタイヤを使用し、推奨された空気圧にしてください。  
(→P.311)

異なったタイヤを装着すると、ABS・TRC・VSCなど、運転を補助するシステムが正常に作動しません。タイヤ、またはホイールを交換するときは、トヨタ販売店に相談してください。

### ■ タイヤとサスペンションの取り扱い

問題があるタイヤを使用したり、サスペンションを改造したりすると、運転を補助するシステムに悪影響をおよぼし、システムの故障につながるおそれがあります。

### ■ セカンダリーコリジョンブレーキについて

セカンダリーコリジョンブレーキを過信しないでください。本システムは、二次衝突による被害の軽減に寄与することを目的としていますが、その効果はさまざまなものによりかわります。システムを過信すると重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

### ■ 衝突時の急加速抑制

● 衝突時の急加速抑制を過信しないでください。本システムは、二次衝突による被害軽減に寄与することを目的としていますが、その効果はさまざまなものによりかわります。システムを過信すると重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- 本システムは急加速を抑制するものであり、ブレーキを作動させるものではありません。必要に応じてブレーキペダルを操作してください。

## 排出ガス浄化装置

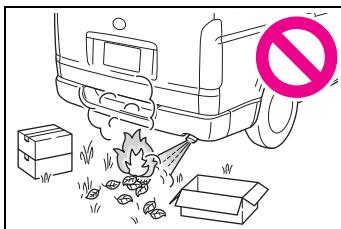
排出ガス浄化装置内のフィルターに捕集したススが一定量堆積すると、自動的にススを燃焼（再生）処理します。

### ⚠ 警告

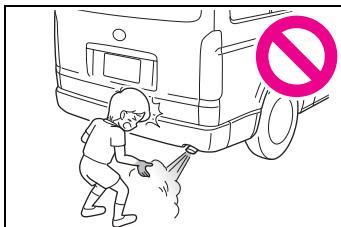
#### ■ ススの燃焼（再生）処理中は

次のことを必ずお守りください。お守りいただかないと、高温になった排気管・排気ガスによりやけどなどの重大な傷害を受けたり、火災などが発生するおそれがあり危険です。

- 燃えやすいものや乾いた草などの近くに車を停車しない



- 排気管周辺に人がいないことを確認する



- 車庫内など囲まれた場所ではススの燃焼（再生）処理を行わない
- 燃焼処理中は排気管・排気ガスにふれない

### ⚠ 注意

#### ■ 排出ガス浄化装置の故障を防ぐために

次のことをお守りください。お守りいただかないと、排出ガス浄化装置やエンジンなどの損傷につながるおそれがあります。

- マルチインフォメーションディスプレイに“DPF 再生不可 販売店で点検してください”と表示※されたまま長時間走行しない
- 指定以外の燃料を補給しない
- 指定の規格に相当する品質以外のエンジンオイルを使用しない
- 排気管の改造をしない
- 排気管の腐食や亀裂、異音の発生などがないか定期的に点検する  
異常が発見された場合は、すみやかにトヨタ販売店で点検を受けてください。

\* 警告メッセージに合わせてエンジン警告灯が点灯し、ブザーが鳴ります。

### 燃焼（再生）処理について

- 一般走行では数百km※走行するごとに、自動で捕集したススの燃焼処理が行われます。自動で燃焼処理が行われているときは、マルチインフォメーションディスプレイに“DPF 再生中”が表示されます。
- ススが規定量以上になったとき、スイッチ操作で燃焼処理を行うことができます。（→P.200）

\* 気候や走行状況等により異なります。

## 排出ガス浄化装置について

排出ガス浄化装置には、次のような特徴があります。

- 燃焼処理中はアイドリング回転数が上がる
- 排気ガスの臭いが従来のディーゼル車とは異なる
- 始動時や燃焼処理中に、排気管から白い煙（水蒸気）が出る場合がある
- 燃焼処理中は作動音（シューという音）が出る場合がある
- 燃焼処理中は加速が悪くなる場合がある

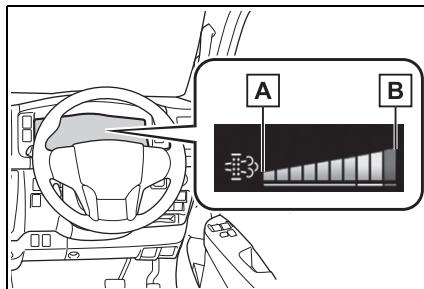
## 排出ガス浄化装置堆積モニターについて

マルチインフォメーションディスプレイ内の表示でススの堆積量を確認することができます。メーカー操作スイッチの＜または、

▶を押して  を選択し、

▲または、▼を押して、通知画面を表示してください。

排出ガス浄化スイッチを押したとき、または警告メッセージと一緒に表示されます。表示される情報は、参考としてご利用ください。



A 少ない

B 多い

ススの堆積量が規定以上になると、マルチインフォメーションディスプレイに“DPF 再生不十分 取扱書を確認し手動再生を実施ください”が表示されます。表示を確認したら必ずススの燃焼（再生）処理をしてください。（→P.200）

## 排出ガス浄化装置の警告メッセージが表示されたときは

- マルチインフォメーションディスプレイに“DPF 再生不十分 取扱書を確認してください”と表示されたときは、次の手順で燃焼処理を行ってください。

- 1 車を安全な場所に停車する
- 2 パーキングブレーキを確実にかけ、シフトレバーを P にする

エンジンは停止しないでください。

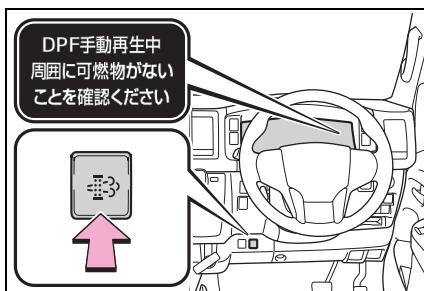
また、排気管の周辺に可燃物等がないことを確認してください。（→P.199）

エンジンが暖まっていることを確認してください。エンジンが冷えているときは、アクセルペダルを踏み込んでエンジンを暖めてください。※1

- 3 排出ガス浄化スイッチを押す
- マルチインフォメーションディスプレイ

にメッセージが表示され、アイドリング回転数が上がります。

燃焼（再生）処理が終了するまでに、約15～40分※2程度の時間が必要です。



燃焼（再生）処理が終了すると、マルチインフォメーションディスプレイの警告メッセージが消え、アイドリング回転数がもとにもどります。

※1状況により、エンジン回転数が3000rpmになるまでアクセルペダルを踏み込む必要があります。エンジン冷却水、または排出ガスの温度が低いと、燃焼（再生）処理に時間がかかることがあります。

※2燃焼（再生）に必要な時間は、外気温により異なります。また、排出ガス浄化スイッチを押してから10分後のエンジン回転数が約2000rpmのときは、排気ガスの温度が低い状態です。その場合は、アクセルペダルを踏み込んで、しばらくのあいだ約3000rpmまでエンジン回転数を上げてください。

● マルチインフォメーションディスプレイに“DPF再生不十分取扱書を確認し手動再生を実施ください”と表示されたときは、スイッチ操作で燃焼処理を行ってください。（→P.200）

- マルチインフォメーションディスプレイに“DPF再生不可販売店で点検してください”と表示※されたときは、ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

\* 警告メッセージに合わせてエンジン警告灯が点灯し、ブザーが鳴ります。

## □ 知識

### ■ 燃焼処理について

● 排出ガス浄化スイッチを押したあとは、アクセルペダルを踏まないでください。ペダルを踏むと処理が中断されます。処理が中断されてしまった場合は、すみやかに燃焼処理をやり直してください。

● 燃焼（再生）処理が終了した後は、排気管をきれいにするために数回空ぶかしをしてください。

● 走行直後など排気管の温度が高いときに行うと、エンジンが冷えているときよりも早く処理が終了します。

### ■ エンジンオイルについて

必ず指定の規格に相当する品質のオイルをご使用ください。（→P.306）

### ■ 排出ガス浄化装置の警告メッセージについて

走行距離が短い運転が連続したときや、ひんぱんなアイドリングストップを行った場合などに、通常より早く排出ガス浄化装置の警告メッセージが表示される場合があります。

 注意**■排出ガス浄化装置の警告メッセージ  
が表示されたとき**

排出ガス浄化装置の警告メッセージが表示されたまま走行を続けると、エンジン警告灯が点灯します\*。そのまま放置すると、排出ガス浄化装置やエンジンが損傷するおそれがあるため、ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

\* このときは、排出ガス浄化スイッチが機能しなくなります。

## 寒冷時の運転

**寒冷時に備えて、準備や点検など正しく処置していただいた上で適切に運転してください。**

### 冬の前の準備について

- 次のものはそれぞれ外気温に適したものをお使いください。
  - ・ エンジンオイル
  - ・ 冷却水
  - ・ ウオッシャー液
  - ・ 燃料
- バッテリーの点検を受けてください。
- 冬用タイヤ（4輪）やタイヤチェーン（後部タイヤ用）を使用してください。  
タイヤは4輪とも同一サイズで同一銘柄のものを、タイヤチェーンはタイヤサイズに合ったものを使用してください。（タイヤについて：→P.242）

### □ 知識

#### ■ タイヤチェーンについて

- 取り付け・取りはずし・取り扱い方法については次の指示に従ってください。
- 安全に作業できる場所で行う
  - 後2輪に取り付ける
  - タイヤチェーンに付属の取り扱い説明書に従う
  - 取り付け後0.5～1.0km走行したら締め直しを行う

#### ■ ディーゼル車の燃料について

軽油は外気温が低温になると凍結し、燃

料配管のつまりなどの故障の原因となります。寒冷地へ行くときは、現地に着くまでに燃料残量を半分以下にしておき、現地に着いたら寒冷地用燃料を補給してください。

使用燃料	使用限界温度の目安*
JIS 2号軽油	-5℃
JIS 3号軽油	-12℃
JIS 特3号軽油	-19℃

\* 環境や使用状況により異なります。



#### ■ 冬用タイヤを装着するとき

次のことを必ずお守りください。  
お守りいただかないと、車両のコントロールが不能となり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- 指定サイズのタイヤを使用する
- 空気圧を推奨値に調整する
- 装着する冬用タイヤの最高許容速度や制限速度をこえる速度で走行しない
- 冬用タイヤを装着する際は、必ず4輪とも装着する

#### ■ タイヤチェーンを装着するとき

次のことを必ずお守りください。  
お守りいただかないと、安全に車を運転することができずに、思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- 装着したチェーンに定められた制限速度、もしくは30km/hのどちらか低い方をこえる速度で走行しない
- 路面の凹凸や穴を避ける

## ⚠ 警告

- 急加速・急ハンドル・急ブレーキやシフト操作による急激なエンジンブレーキの使用は避ける
- カーブの入り口手前で十分減速して、車のコントロールを失うのを防ぐ

## ⚠ 注意

### ■ タイヤチェーンの使用について

この車両に適合したトヨタ純正タイヤチェーンのご使用をおすすめします。なお、トヨタ純正品以外のタイヤチェーンの中には、使用すると車体にあたり、走行のさまたげになるおそれがあるものもあります。市販のタイヤチェーンを使用する場合は、車体に干渉しないことをあらかじめご確認ください。

詳しくはトヨタ販売店にご相談ください。

### ■ タイヤチェーンの装着

タイヤチェーンを装着すると、タイヤ空気圧バルブ／送信機が正しく作動しないおそれがあります。

## 運転する前に

状況に応じて次のことを行ってください。

- ドアやワイパーが凍結したときは無理に開けたり動かしたりせず、ぬるま湯をかけるなどして氷を解かし、すぐに水分を十分にふき取ってください。
- フロントウインドウガラス前の外気取り入れ口に雪が積もっているときは、エアコンのファンを正常に作動させるために、雪

を取り除いてください。

- 外装ランプ・アウターミラー・ドアガラス・車両の屋根・タイヤの周辺やブレーキ装置に雪や氷が付いているときは、取り除いてください。
- 乗車する前に靴底に付いた雪をよく落としてください。

## □ 知識

### ■ 寒冷地用ワイパープレードについて

● 降雪期に使用する寒冷地用ワイパープレードは、雪が付着するのを防ぐために金属部分をゴムで覆っています。トヨタ販売店で各車指定のプレードをお求めください。

● 高速走行時は、通常のワイパープレードよりガラスがふき取りにくくなることがあります。その場合には速度を落としてください。

## ⚠ 注意

### ■ ガラスに付いた氷を除去するとき

氷をたたいて割らないでください。

ガラスがひび割れるおそれがあります。

## 運転するとき

ゆっくりスタートし、車間距離を十分にとって控えめな速度で走行してください。

## 駐車するとき

- パーキングブレーキをかけると、ブレーキ装置が凍結して解除できなくなるおそれがあります。パーキングブレーキはかけずに、シフトレバーを P に入れて駐車

し、必ず輪止め<sup>※1</sup>をしてください。

輪止めをしないと、車が動き思  
わぬ事故につながるおそれがあ  
り危険です。

- パーキングブレーキをかけずに  
駐車するときは、シフトレバー  
をPに入れた状態でシフトレ  
バーが動かないこと<sup>※2</sup>を確認  
してください。

\*<sup>1</sup> 輪止めは、トヨタ販売店で購入するこ  
とができます。

\*<sup>2</sup> ブレーキペダルを踏まないでPから  
シフトするときにロックがかかりま  
す。シフトできる場合は、シフトロッ  
クシステムなどの故障が考えられま  
す。ただちにトヨタ販売店で点検を受  
けてください。



## 室内装備・機能

5

## 5-1. エアコン・デフォッガーの使い方

オートエアコン ..... 208

リヤクーラー ..... 213

リヤヒーター ..... 215

## 5-2. 室内灯のつけ方

室内灯一覧 ..... 216

## 5-3. 収納装備の使い方

収納装備一覧 ..... 218

## 5-4. その他の室内装備の使い方

その他の室内装備 ..... 223

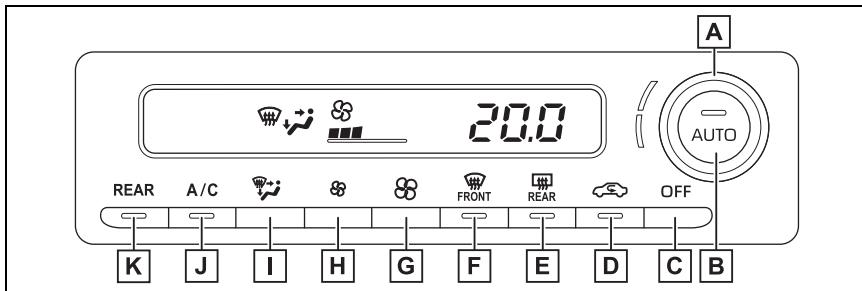
5

室内装備・機能

## オートエアコン

設定温度に合わせて吹き出し口と風量を自動で調整します。

### エアコン操作スイッチについて



- A** 温度調整ダイヤル
- B** AUTO スイッチ（オート設定）
- C** OFF スイッチ
- D** 内外気切りかえスイッチ
- E** リヤウインドウデフォッガー&ミラーヒータースイッチ★
- F** フロントデフロスタースイッチ
- G** 風量増スイッチ
- H** 風量減スイッチ
- I** 吹き出し口切りかえスイッチ
- J** 冷房・除湿スイッチ
- K** REAR スイッチ（リヤオートエアコンの作動／停止）

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

#### ■ 温度を調整する

設定温度を上げるときは温度調整ダイヤルを右へまわし、下げるときは左へまわす

冷房・除湿スイッチが押されていない場合は、送風または暖房で使用できます。

#### ■ 風量を切りかえる

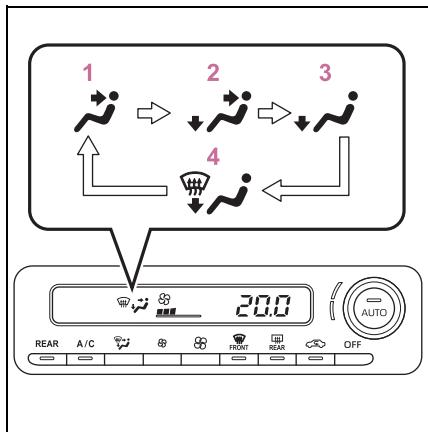
風量を増やすときは風量増スイッチを押し、減らすときは風量減スイッチを押す

OFFスイッチを押すと、ファンが止まります。

## ■ 吹き出し口を切りかえる

吹き出し口切りかえスイッチを押す

押すたびに次のように設定が切りかわります。



**1 上半身に送風**

**2 上半身と足元に送風**

**3 足元に送風**

**4 足元に送風・フロントウインドウガラスの曇りを取る**

## ■ 内気循環／外気導入を切りかえるには

内外気切りかえスイッチを押す

スイッチを押すたびに内気循環／外気導入が切りかわります。内気循環を選択しているときは、表示灯が点灯します。

## ■ エアコン（冷房・除湿機能）を切りかえるには

冷房・除湿スイッチを押す

冷房・除湿機能がONのときは、作動表示用が点灯します

## ■ フロントウインドウガラスの曇りを取り

フロントデフロスタースイッチを

## 押す

除湿機能が作動し、風量が増えます。内気循環をしている場合は、外気導入にしてください。(自動的に外気導入に切りかわることがあります)

風量を強くし、設定温度を上げると、より早く曇りを取ることができます。曇りが取れたら再度フロントデフロスタースイッチを押すと前のモードにもどります。

フロントデフロスタースイッチがONのときは、作動表示灯が点灯します。

## ■ リヤウインドウデフォッガー＆ミラーヒーター★

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

リヤウインドウガラスの曇りを取るときや、ドアミラーから雨滴や霜を取るときに使用してください。

リヤウインドウデフォッガー＆ミラーヒータースイッチを押す

リヤウインドウデフォッガー＆ミラーヒータースイッチがONのときは、作動表示灯が点灯します。

リヤウインドウデフォッガーとミラーヒーターは、しばらくすると自動的にOFFになります。

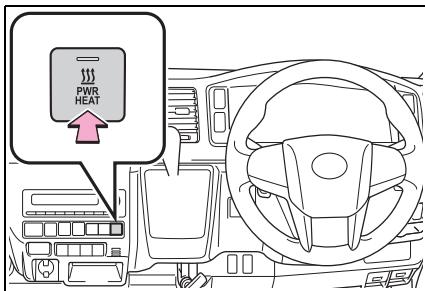
## ■ パワーヒーター★

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

エンジン冷却水の温度が低いとき、寒冷時に車内を急速に暖めるとき、車内の暖房効果を保持するときに使用してください。

パワーヒーターを使用するには、パワーヒータースイッチを押す

パワーヒーターがONのとき、スイッチの作動表示灯が点灯します。



### ■ ウィンドシールドデアイサー★

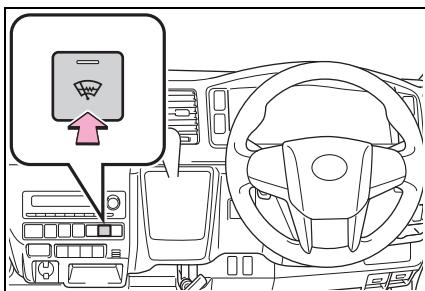
★ : グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

フロントウインドウガラスとワイパークリアードの凍結を防ぐために使用してください。

ウィンドシールドデアイサーを使用するには、ウィンドシールドデアイサーイッチを押す

ウィンドシールドデアイサーが ON のとき、スイッチの作動表示灯が点灯します。

ウィンドシールドデアイサーは、しばらくすると自動的に OFF になります。



### □ 知識

#### ■ ガラスの曇りについて

- 車室内の湿度が高いときはガラスが曇りやすくなります。その場合は、冷房・除湿スイッチを ON にすると、吹き出し口から除湿された風が出るため、効果的に曇りを取ることができます。

- 冷房・除湿スイッチを ON から OFF にすると、ガラスが曇りやすくなります。

- 内気循環を使うとガラスが曇る場合があります。

#### ■ 外気導入・内気循環について

- トンネルや渋滞などで、汚れた外気を車内に入れたくないときや、外気温度が高いときに冷房効果を高めたい場合は、内気循環にすると効果的です。

- 設定温度や室内温度などにより、自動的に切りかわる場合があります。

#### ■ 外気温度が 0 ℃近くまで下がったとき

冷房・除湿スイッチを押しても除湿機能が働かない場合があります。

#### ■ 換気とエアコンの臭いについて

- 車室外の空気を車室内に取り入れたいときは、外気導入にしてください。

- エアコン使用中に、車室内外のさまざまな臭いがエアコン装置内に取り込まれて混ざり合うことにより、吹き出入口からの風に臭いがすることがあります。

- エアコン始動時に発生する臭いを抑えるために、駐車時は外気導入にしておくことをおすすめします。

- エアコン始動時に発生する臭いを抑えるために、オート設定での使用時にはエアコン始動直後、しばらく送風が停止する場合があります。

#### ■ パワーヒーター★の機能について

★ : グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

次の 2 つの機能により、寒冷時の暖房効果を高めます。

- アイドルアップ機能：エンジンが冷えているときにアイドル回転数が上がり、暖房効果を高めます。
- ホットガスヒーター機能：

エアコン装置を利用する補助ヒーターです。作動条件が満たされているとき、自動的に働きます。

### ■ ホットガスヒーター★機能の作動条件

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

パワーヒータースイッチが ON で、次の条件をすべて満たすと、自動で作動します。

- ファンが作動しているとき
- エンジンが冷えているとき
- 外気温が低いとき（約 3 ~ 5 ℃以下）

### ■ ホットガスヒーター★機能の制限事項

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

- エアコン（冷房・除湿機能）が ON だと、ホットガスヒーター機能が作動しにくくなります。
- -30 ℃を下まわるような極寒時には作動しません。

### ■ エアコンフィルターについて

→P.245

### ■ カスタマイズ機能

AUTO スイッチを押したとき、除湿機能を連動させるかどうかなどを設定できます。（カスタマイズ一覧：→P.313）



### ■ フロントウインドウガラスの曇りを防止するために

外気の湿度が非常に高いときにエアコンを低い設定温度で作動させているときは、フロントデフロスター スイッチを押さないでください。外気とガラスの温度差でガラスの外側が曇り、視界をさまたげる場合があります。

### ■ リヤウインドウデフォッガー＆ミラーヒーター★が作動しているとき

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

ドアミラーの表面が非常に熱くなります。やけどをするおそれがあるのでふれないでください。

### ■ ウィンドシールドデアイサー★が作動しているとき

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

フロントウインドウガラス下部およびフロントピラー横の表面が熱くなっています。やけどをするおそれがあるのでふれないでください。



### 注意

### ■ バッテリーあがりを防ぐために

エンジン停止中は、エアコンを必要以上に使用しないでください。

### オート設定で使用する

#### 1 エアコン操作スイッチの AUTO スイッチを押す

冷房・除湿機能が作動し、風量と吹き出し口が自動で設定されます。

オート設定が ON のとき、スイッチの作動表示灯が点灯します。

#### 2 温度調整ダイヤルで温度を設定する

風量や吹き出し口を切りかえると、AUTO スイッチの作動表示灯が消灯しますが、操作した機能以外のオート設定は継続します。

ファンを止めたいときは、OFF スイッチを押す

知識

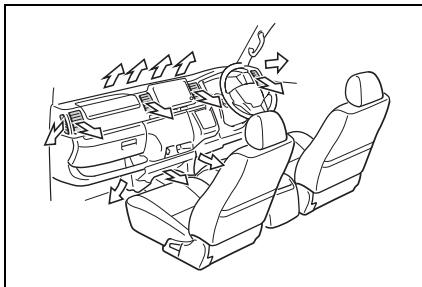
■ オート設定の作動について

風量は温度設定により自動で調整されるため、AUTOスイッチを押した直後、温風や冷風の準備ができるまでしばらく送風が停止する場合があります。

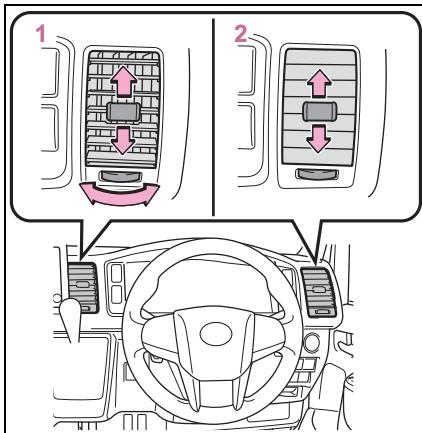
吹き出し口の配置・操作

■ 吹き出し口の位置

吹き出し口の切りかえ設定により、風が出る位置や風量が変化します。



■ 風向きの調整と吹き出し口の開閉



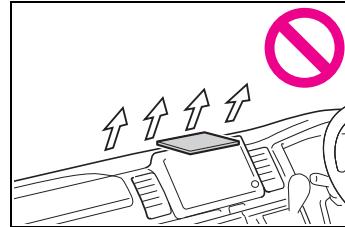
1 風向きの調整

2 吹き出し口を閉じる

**⚠ 警告**

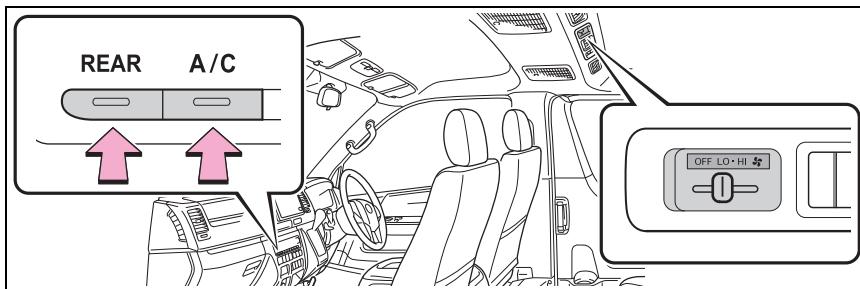
■ フロントウインドウガラスの曇り取りをさまたげないために

吹き出し口をさえぎるようなものを置かないでください。送風がさえぎられ、曇りが取れにくくなることがあります。



## リヤクーラー

後部座席付近を冷房することができます。



### リヤクーラーを使用する前に

フロントエアコンの A/C スイッチが ON になっていることを確認し、リヤクーラーメインスイッチを ON してください。

A/C スイッチが OFF のときは、リヤクーラーの冷房・除湿機能が作動せず、送風のみとなります。

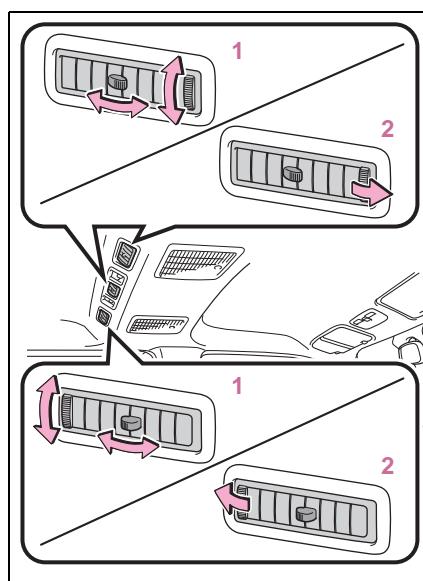
### リヤクーラーを使用するには

ファン調整レバーを右（増）か左（減）に操作する

送風を止めるときは、レバーを OFF の位置にします。

### 風向きの調整と吹き出し口の開閉

#### ▶ 操作部



#### 1 風向きの調整

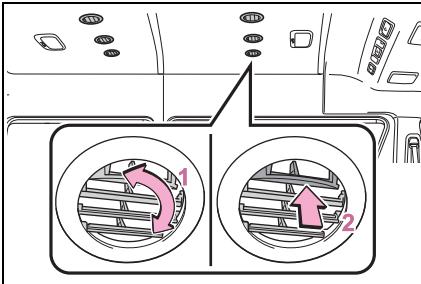
ノブを上下左右に動かして、風向きを調整します。

#### 2 吹き出し口の開閉

センター：閉めるときは、ノブをいっぱい今まで右に動かします。

サイド：閉めるときは、ノブをいっぱいまで車両外側に動かします。

#### ► 天井部



#### 1 風向きの調整

吹き出し口を動かして、風向きを調整します。

#### 2 吹き出し口の開閉

閉めるときは、吹き出し口のフィンを閉じる方向に動かします。

開けるときは、矢印の位置を押します。

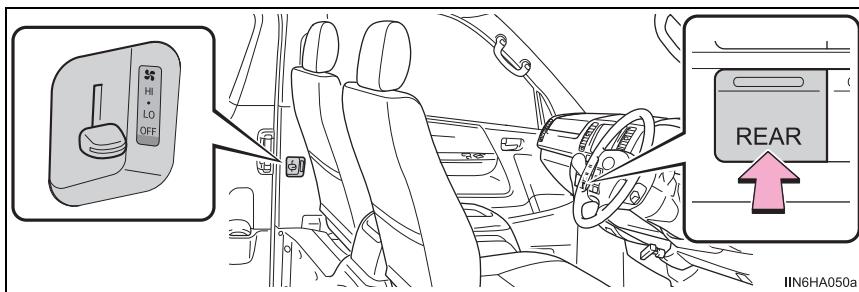


#### ■ バッテリーあがりを防ぐために

エンジン停止中は、必要以上にリヤクーラーを使用しないでください。

## リヤヒーター

車内の後方部分を暖房することができます。



### リヤヒーターを使用する前に

リヤヒーターメインスイッチを  
ONにしてください。

### リヤヒーターを使用するには

ファン調整レバーを上（増）か下（減）に操作する

送風を止めるときは、レバーを OFF の位置にします。

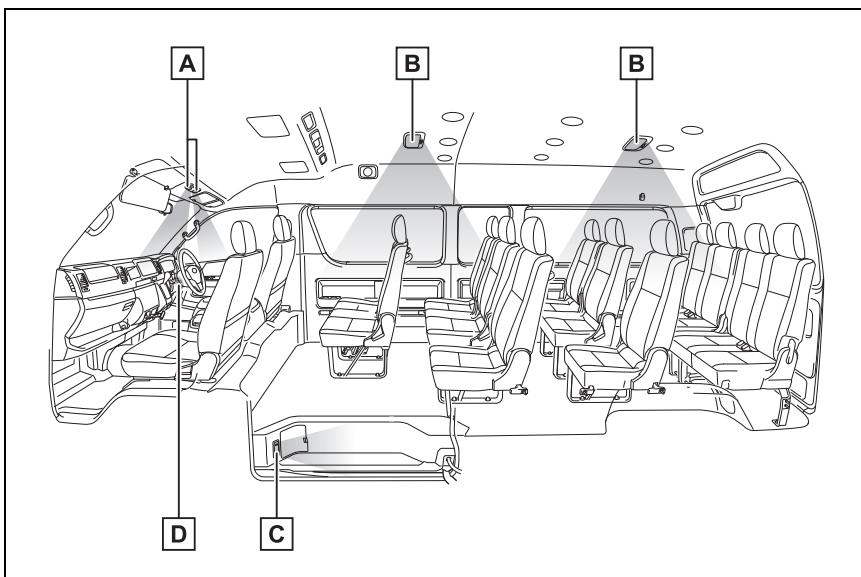


#### ■ バッテリーあがりを防ぐために

エンジン停止中は、必要以上にリヤヒーターを使用しないでください。

## 室内灯一覧

### 室内灯の位置



- A** パーソナルランプ (→P.217)
- B** リヤルームランプ (→P.217)
- C** スライドドアステップランプ (→P.77)
- D** エンジンスイッチ照明

#### □ 知識

##### ■各部照明の自動点灯／消灯について

- ドアの施錠／解錠・ドアの開閉・エンジンスイッチのモードにより、各部の照明が自動的に点灯・消灯します。(イルミネーテッドエントリーシステム)
- エンジンスイッチが OFF の場合、室内灯が点灯したままのときは、約 20 分後に自動消灯します。

##### ■室内灯の自動点灯について

SRS エアバッグの作動時または後方から強い衝撃を受けたときは、室内灯が約 20

分間自動で点灯します。

手動操作で消灯することもできますが、二次災害を防ぐため、安全が確保できるまでは消灯しないことをおすすめします。(衝撃の度合いや事故の状況によっては点灯しないことがあります。)

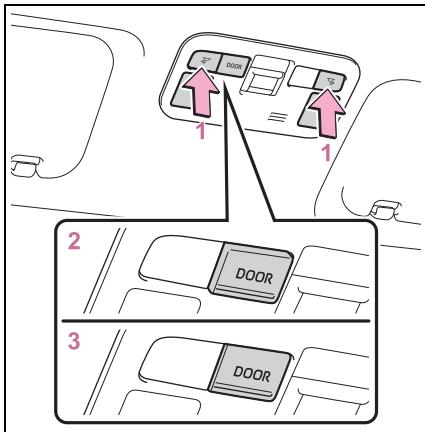
##### ■カスタマイズ機能

室内灯の消灯までの時間などを設定できます。(→P.320)

**⚠ 注意**

■ バッテリーあがりを防ぐために  
エンジンが停止した状態で、長時間ランプを点灯しないでください。

**パーソナルランプを操作するには**



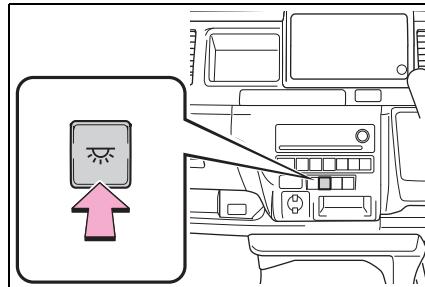
- 1 ランプを点灯・消灯する
- 2 ドア運動を OFF にする
- 3 ドア運動を ON にする（ドアポジション）

ドア運動 ON にしていると、フロントドアまたはスライドドアの開閉に連動してランプの点灯・消灯を切りかえます

**リヤルームランプを操作するには**

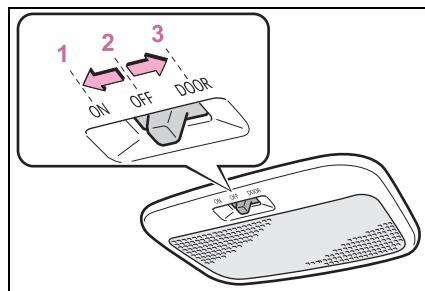
**■ メインスイッチ**

照明部のスイッチの位置が  
“ON” のとき、リヤルームランプの点灯／消灯を切りかえること  
ができます。



ON / OFF

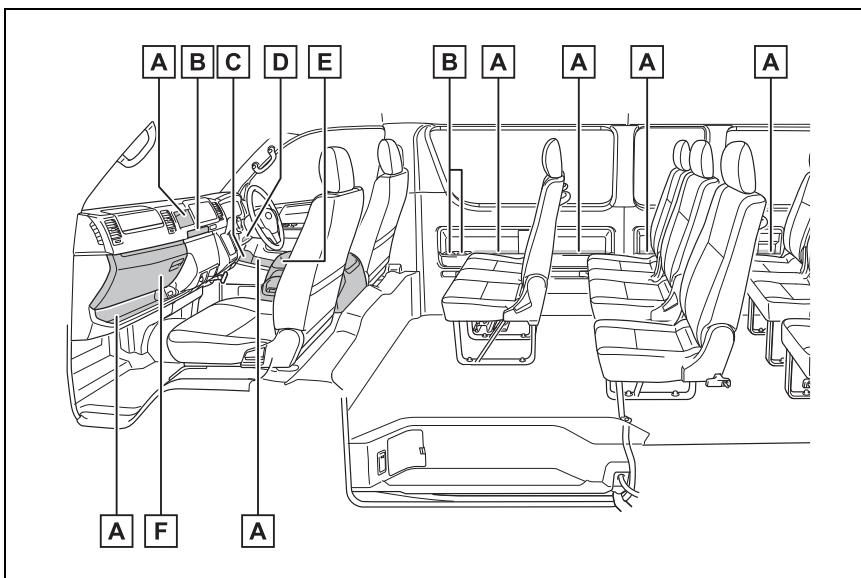
**■ 照明部**



- 1 メインスイッチの ON / OFF に連動して、ランプの点灯・消灯を切りかえる
- 2 ランプを消灯する
- 3 スライドドアまたはバックドアの開閉作動に連動して、ランプの点灯・消灯を切りかえる（ドアポジション）

## 収納装備一覧

### 収納装備の位置



- A** オープントレイ (→P.222)
- B** カップホルダー (→P.220)
- C** ボトルホルダー (→P.221)
- D** カードホルダー (→P.222)
- E** コンソールボックス (→P.219)
- F** グローブボックス (→P.219)

## ⚠ 警告

### ■ 収納装備に放置してはいけないもの

メガネ、ライターやスプレー缶を収納装備内に放置したままにしないでください。放置したままでいると、次のようなことが起こるおそれがあり危険です。

- 室温が高くなったときの熱や、他の収納物との接触などにより、メガネが変形やひび割れを起こす
- 室温が高くなったときにライターやスプレー缶が爆発したり、他の収納物との接触でライターが着火したりスプレー缶のガスがもれるなどして火災につながる

### ■ 収納装備を使用しないときは

フタを必ず閉じてください。  
急ブレーキや急旋回時などに、開いたフタが体に当たったり、収納していたものが飛び出したりして、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

## ⚠ 警告

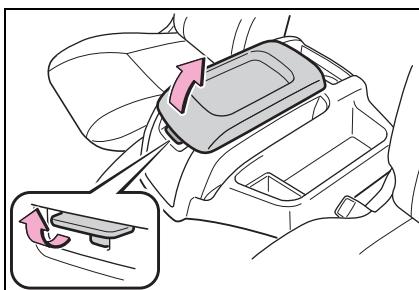
### ■ 走行中の警告

グローブボックスを必ず閉じてください。

急ブレーキや急旋回時などに、開いたフタが体に当たったり、収納していたものが飛び出したりして、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

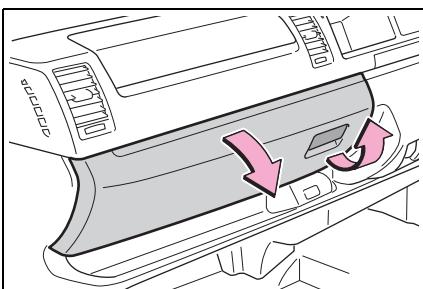
## センターコンソールボックスを使うには

レバーを引いてロックを解除し、フタを持ち上げて開く



## グローブボックスを使うには

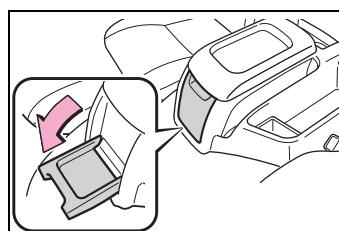
レバーを引いて開ける



## □ 知識

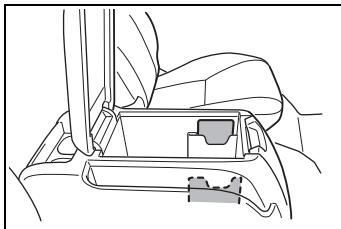
### ■ コンソールボックスを使用するときは

- フタを開けるときは、上部のトレイに物がないことを確認して開けてください。
- センターコンソールボックスの前面部分を倒すと、トレイとして使用できます。



- ボックス内の側面に、カードなどを收

納できるホルダーがあります。



## ⚠ 警告

### ■走行中の警告

- コンソールボックスを必ず閉じてください。  
急ブレーキや急旋回時などに、開いたふたが体に当たったり、収納していたものが飛び出したりして、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- 前面トレイにものを載せたまま走行しないでください。急ブレーキ時などに載せていたものが飛び出すなどして、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

## ⚠ 注意

### ■コンソールボックスの損傷を防ぐために

- 過度の負荷をかけないでください
- 前面トレイの破損を防ぐためにトレイの上に手をついたり、長時間ものを置いたままにしたりしないでください。

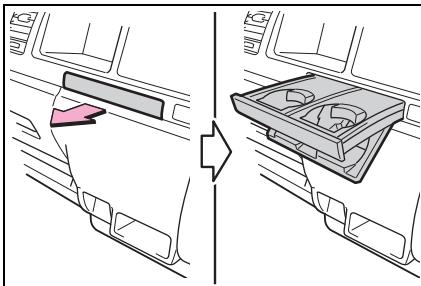
## カップホルダー／ボトルホルダーを使うには

### ■ カップホルダー

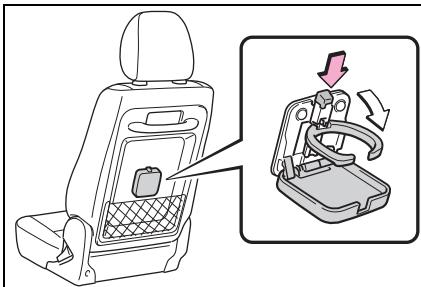
#### ▶ インストルメントパネル

使用するときは、手前にいっぱいまで引き出す

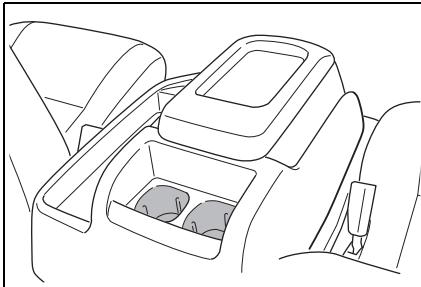
もどすときは、トレイ部を上げてから押し込みます。



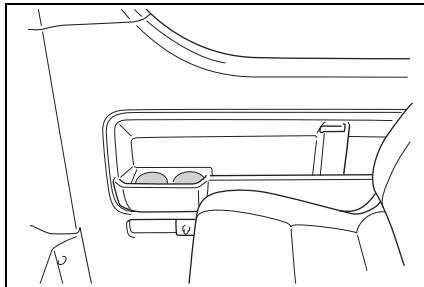
- ▶ リヤシートバック（最後列を除く）



- ▶ センターコンソール

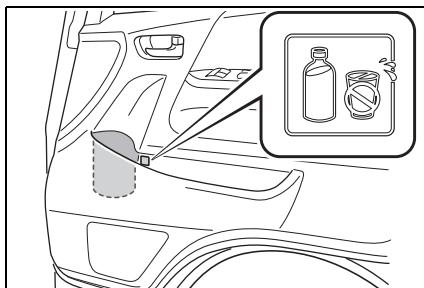


▶ リヤサイド（1列目）★

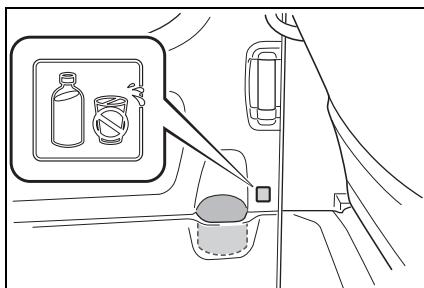


■ ボトルホルダー

▶ フロント



▶ スライドドア★



★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

知識

■ ボトルホルダーについて

- ペットボトルのフタを必ず閉めてから収納してください。
- ペットボトルの大きさ・形によっては

収納できないことがあります。

**⚠ 警告**

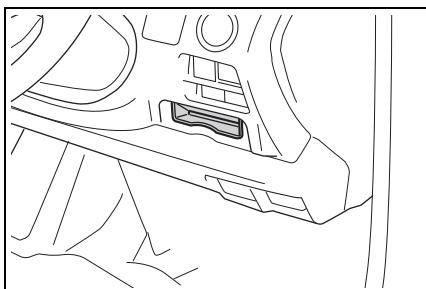
■ 収納してはいけないもの

- カップホルダーにはカップや缶以外のものを置かないでください。また、フタを閉じているときでも、ものを収納しないでください。  
急ブレーキや事故により落ちてけがをするおそれがあります。やけどを防ぐために温かい飲み物にはフタを閉めておいてください。
- インストルメントパネルのカップホルダーを使わないときは、必ずもとにもどしておいてください。  
急ブレーキ時などに、カップホルダーが体にあたったり、収納していたものが飛び出したりして、思わぬ事故につながりけがをするおそれがあります。

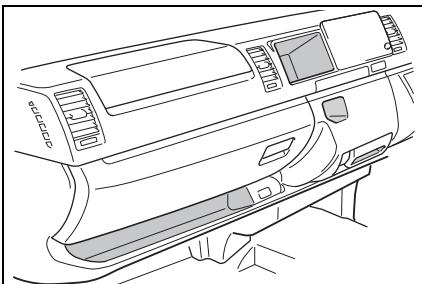
**⚠ 注意**

- カップホルダーに手をついたり、足で踏んだりしないでください。
- インストルメントパネルのカップホルダーは、必ずいっぶいまで引き出して使用してください。中間位置で使用すると、走行中にカップホルダーが動いて、飲み物がこぼれるおそれがあります。
- ボトルホルダーには、ジュースなどが入っている紙コップ・ガラス製のコップなどを収納しないでください。ジュースなどがこぼれたり、ガラス製品が割れたりするおそれがあります。

### カードホルダーを使うには

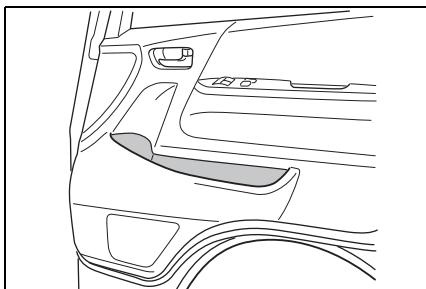


### ► インストルメントパネル

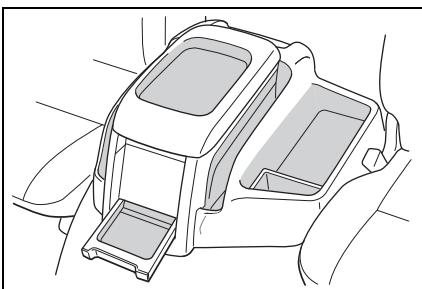


### オープントレイ

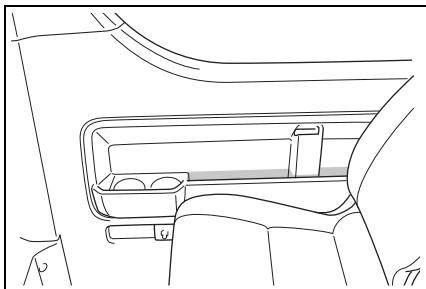
#### ► フロントドア



#### ► センターコンソール



#### ► リヤサイド★



★ : グレード、オプションなどにより、  
装備の有無があります。

### ⚠ 警告

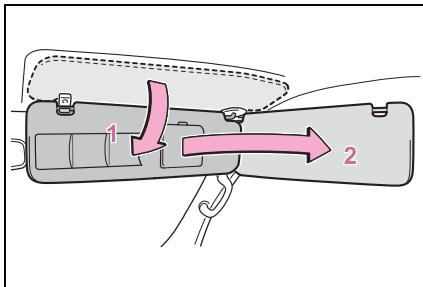
#### ■ 収納してはいけないもの

オープントレイに物を置くときは、次の注意事項を守ってください。急ブレーキや急ハンドル時などに収納していたものが飛び出し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

- 転がりやすいものや凹面より高さがあるものを置かないでください。
- トレイの端よりも高くものを積み重ねないでください。
- トレイの端からはみ出してものを置かないでください。

## その他の室内装備

### サンバイザーを使うには

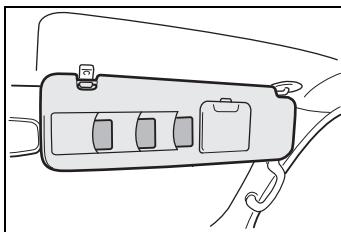


- 1 前方をさえぎるには、バイザーを下ろす
- 2 側方をさえぎるには、バイザーを下ろした状態でフックからはずし、横へまわす

#### 知識

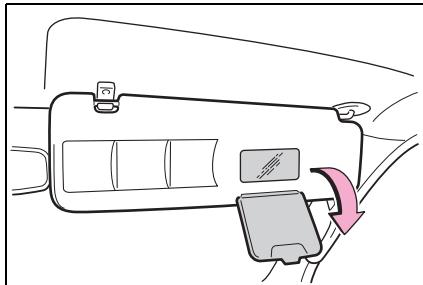
### ■ 3連式カードホルダー（運転席側サンバイザー）

カード類を収納することができます。



### パニティミラーを使うには

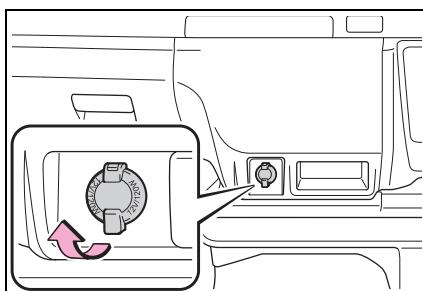
上側部分を引いてカバーを開ける



### アクセサリーソケットを使うには

DC12V/10A（消費電力120W）  
未満の電気製品を使用するときの  
電源としてお使いください。

フタを開けて使用する



#### 知識

### ■ 作動条件

エンジンスイッチがACC、ONまたはマルチメディアシステムの電源がONのとき

### ■ エンジンスイッチをOFFにするとき

モバイルバッテリーなどの、充電機能を備えた電気製品をはずしてください。接続したままにしておくと、エンジンスイッチを正常にOFFにすることができなくなる場合があります。

**⚠ 注意**

■ アクセサリーソケットを使用しないときは

異物が入ったり、飲料水などがかかつたりしないように、使用しないときはフタを閉めておいてください。

■ ショートや故障を防ぐために

挿し込み口に異物が入ったり、飲料水などがかかつたりしないように、使用しないときはフタを閉めておいてください。

■ ヒューズが切れるのを防ぐために

DC12V で最大電流 10A（最大消費電力 120W）以上の電気製品を使用しないでください。

■ バッテリーあがりを防ぐために

エンジンが停止した状態で、アクセサリーソケットを使用しないでください。

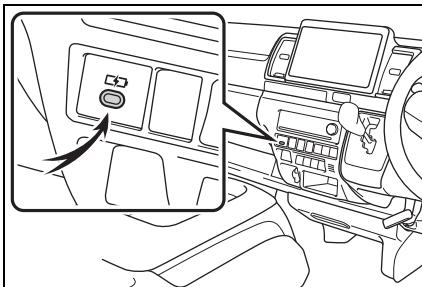
## 充電用 USB Type-C 端子を使うには

DC5V/3A（消費電力 15.75W）の電源としてお使いください。  
この USB Type-C 端子は充電専用でありデータ転送などは行えません。

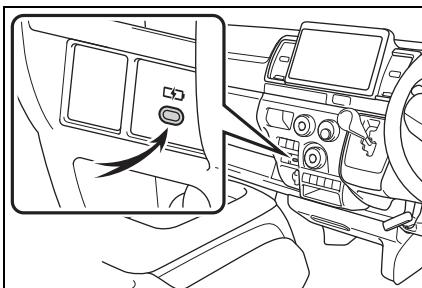
また、使用する機器によっては、正常に充電できない場合があります。ご使用になる機器に付属の取扱説明書もお読みください。

■ 充電用 USB Type-C 端子を使用するには

▶ オートエアコン装着車



▶ マニュアルエアコン装着車



**□ 知識**

■ 充電用 USB Type-C 端子の作動条件

エンジンスイッチが ACC または ON のとき

■ 充電用 USB Type-C 端子が正常に働かないおそれのある状況

- DC5V/3A（消費電力 15.75W）をこえる電力を要求する機器を接続したとき
- パソコンと通信を行う機器を接続したとき
- 接続機器の電源が OFF のとき（機器により異なります）
- 炎天下に駐車したあとなど、車室内の温度が高いとき

## ■ 使用する外部機器について

一部の機器では、充電中に充電がいったん停止後、再充電を開始する場合がありますが、故障ではありません。



### 注意

#### ■ 充電用 USB Type-C 端子の損傷を防ぐために

- 端子部に異物を入れないでください。
- 水や液体をかけないでください。
- 充電用 USB Type-C 端子を使わないときはフタを必ず閉じてください。端子部に異物や液体が入ると故障やショートの原因になります。
- 強い力や衝撃を加えないでください。
- 分解や改造、取りはずしをしないでください。

#### ■ 外部機器の損傷を防ぐために

- 機器を車室内に放置しないでください。車室内が高温となり、故障の原因となります。
- 機器が接続されているときに、外部機器や外部機器のケーブルを押し下げたり、不要な力を加えたりしないでください。

#### ■ バッテリーあがりを防ぐために

エンジンが停止した状態で、充電用 USB Type-C 端子を長時間使用しないでください。



## お手入れのしかた

## 6

## 6-1. お手入れのしかた

外装の手入れ .....	228
内装の手入れ .....	230

## 6-2. 簡単な点検・部品交換

エンジン点検口 .....	233
ボンネット .....	234
ガレージジャッキ .....	236
AdBlue <sup>®</sup> （尿素水）の補充 (ディーゼル車) .....	238
ウォッシャー液の補充 .....	241
タイヤについて .....	242
タイヤ空気圧について .....	244
エアコンフィルターの清掃 .....	245
キーの電池交換 .....	247
ヒューズの点検・交換 .....	249
電球（バルブ）の交換 .....	251

## 外装の手入れ

お手入れは、部位や素材にあつた適切な方法で実施してください。

### 手入れの作業要領

- 水を十分かけながら、車体・足まわり・下まわりの順番に上から下へ汚れを洗い落とす
- 車体はスポンジやセーム皮のようなやわらかいもので洗う
- 汚れがひどいときはカーシャンプーを使用し、水で十分洗い流す
- 水をふき取る
- 水のはじきが悪くなったときは、ワックス掛けを行う

ボデーの表面の汚れを落としても水が玉状にならないときは、車体の温度が冷えているときにワックスをかける。(およそ体温以下を目安としてください)

なお、ボデーコート・ホイールコート・ガラスコートなど、トヨタケミカル商品を施工された場合は、お手入れ方法が異なります。詳しくはトヨタ販売店にお問い合わせください。

### □ 知識

#### ■自動洗車機を使うとき

- お車を洗う前に：
  - ・ ドアミラーを格納する
  - ・ パワースライドドア★を停止する

車両前側から洗車してください。走行前は必ずドアミラーを復帰状態にもどしてください。

- ブラシで車体などに傷が付き、塗装を損なうことがあります。

- 洗車機によっては、リヤスピョイラーが引っかかり洗車できない場合や傷付いたり、破損したりするおそれがあります。

★ : グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

#### ■高圧洗車機を使うとき

- 室内に水に入るおそれがあるため、ノズルの先端をドアやガラスの開閉部に近付けすぎたり、同じ場所に連続してあてたりしないでください。

- 駆動系部品（ディファレンシャルギヤなど）のペアリングやオイルシール部品に近付けすぎないでください。近付けすぎると、水圧が高いため、内部への水入りやグリス流出により、性能が劣化するおそれがあります。

#### ■スマートエントリー＆スタートシステムについて

電子キーを携帯して洗車などで水をドアハンドルにかけた場合、施錠／解錠動作をくり返すことがあります。その場合は次のような処置をして、洗車などをしてください。

- 電子キーを車両から 2m 以上離れた場所に保管する（電子キーの盗難に注意してください）

- 電子キーを節電モードに設定し、スマートエントリー＆スタートシステムの作動を停止する（→P.86）

#### ■ホイール・ホイールキャップについて

- 中性洗剤を使用し、早めに汚れを落してください。
- 洗剤を使用したあとは放置せずに水で十分洗い流してください。
- 塗装の損傷を防ぐため、次のことを必ずお守りください。

- ・酸性・アルカリ性および研磨剤の入った洗剤を使用しない
- ・硬いブラシを使用しない
- ・夏場の走行後や駐車後でホイールが熱いときは、洗剤を使用しない

### ■ブレーキパッドやディスクローターについて

水に濡れた状態のまま駐車しておくと、錆びて貼り付くことがあります。洗車後は低速で走行し、ブレーキを数回かけて乾燥させてから駐車してください。

### ■バンパーについて

研磨剤入りの洗剤でこすらないようにしてください。

### ■メッキ部品のお手入れについて

メッキ部品の汚れが落ちにくい場合は、次の方法でお手入れをしてください。

- 中性洗剤を水で約5%に薄めてやわらかい布に含ませふき取る
- 乾いたやわらかい布で表面の水分をふき取る
- 油分を含んだ汚れはアルコール系ウェットティッシュなどで油を浮かせてからふき取る



### 警告

#### ■洗車をするときは

エンジンルーム内に水をかけないでください。

電気部品などに水がかかると、車両火災につながるおそれがあり危険です。

#### ■排気管について

排気管は排気ガスにより高温になります。洗車などでふれる場合は、十分に排気管が冷めてからにしてください。やけどをするおそれがあります。



### 注意

#### ■塗装の劣化や車体・部品（ホイールなど）の腐食を防ぐために

- 次のような場合は、ただちに洗車してください。

- ・海岸地帯を走行したあと
- ・凍結防止剤を散布した道路を走行したあと
- ・コールタール・花粉・樹液・鳥のふん・虫の死がいなどが付着したとき
- ・ばい煙・油煙・粉じん・鉄粉・化学物質などの降下が多い場所を走行したあと
- ・ほこり・泥などで激しく汚れたとき
- ・塗装にベンジンやガソリンなどの有機溶剤が付着したとき

- 塗装に傷が付いた場合は、早めに補修してください。

- ホイール保管時は、腐食を防ぐために汚れを落とし、湿気の少ない場所へ保管してください。

#### ■ランプの清掃

- 注意して洗ってください。有機溶剤や硬いブラシは使用しないでください。

ランプを損傷させるおそれがあります。

- ランプにワックス掛けを行わないでください。

レンズを損傷するおそれがあります。

#### ■アンテナの損傷を防ぐために

→P.106



### ■ 高圧洗浄機を使用するときは

- 洗車時に高圧洗浄機でカメラやカメラ周辺に直接水を当てないでください。高い水圧により衝撃が加わり、装置が正常に作動しなくなるおそれがあります。
- エンブレム裏に搭載されているレーダーに直接水をかけないでください。部品故障の原因になるおそれがあります。
- ノズルの先端を、下記部品の結合部やブーツ類（ゴムまたは樹脂製のカバー）、コネクタ類に近付けすぎないでください。  
高い水圧がかかることにより、部品が損傷するおそれがあります。
- ・ 駆動系部品
- ・ ステアリング部品
- ・ サスペンション部品
- ・ ブレーキ部品
- モール、バンパーなど樹脂部分は変形、損傷するおそれがあるため、洗浄ノズルと車体との距離を30cm以上離してください。また、同じ場所へ連続して水をあてないでください。
- フロントウインドウガラス下部へ連続して水をあてないでください。エアコンの空気取り入れ口があり、エアコンが正常に作動しなくなるおそれがあります。
- 高圧洗浄機で車両の下まわりを洗浄しないでください。

## 内装の手入れ

お手入れは、部位や素材に合った適切な方法で実施してください。

### 車内の手入れをするには

- 掃除機などでほこりを取り除き、水またはぬるま湯を含ませた布でふき取る
- 汚れが落ちない場合は、中性洗剤を水で約1%にうすめてやわらかい布に含ませふき取る  
水を浸した布を固くしぼり、表面に残った洗剤・水分をふき取る



### ■ カーペットの洗浄について

カーペットは常に乾いた状態を保つことをおすすめします。洗浄には、市販の泡タイプクリーナーをご利用になれます。

スポンジまたはブラシを使用して泡をカーペットに広げ、円を描くように塗り込んでください。直接水をかけたりせず、ふき取ってから乾燥させてください。

### ■ シートベルトの取り扱いについて

刺激の少ない洗剤とぬるま湯で、布やスポンジを使って洗ってください。シートベルトのすり切れ・ほつれ・傷などを定期的に点検してください。



### ■ 車両への水の浸入

- 車内に水をかけたり液体をこぼしたりしないでください。電気部品などに水がかかると、故障や車両火災につながるおそれがあり危険です。

## ⚠ 警告

- 車内で可燃性のスプレー（洗浄剤・消臭剤・潤滑剤など）を使用する場合は、電気部品などにかかるないようにしてください。故障や車両火災につながるおそれがあり危険です。
- SRSエアバッグの構成部品や配線をぬらさないでください。（→P.32）電気の不具合により、エアバッグが作動したり、正常に機能しなくなり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

### ■内装の手入れをするときは（特にインストルメントパネル）

艶出しワックスや艶出しクリーナーを使用しないでください。インストルメントパネルがフロントウインドウガラスへ映り込み、運転者の視界をさまたげ思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

## ⚠ 注意

### ■清掃するとき使用する溶剤について

- 変色・しみ・塗装はがれの原因になるため、次の溶剤は使用しないでください。
  - ・シート以外の部分：ベンジン・ガソリンなどの有機溶剤や酸性またはアルカリ性の溶剤・染色剤・漂白剤
  - ・シート部分：シンナー・ベンジン・アルコール・その他のアルカリ性や酸性の溶剤
- 艶出しワックスや艶出しクリーナーを使用しないでください。インストルメントパネルやその他内装の塗装のはがれ・溶解・変形の原因になるおそれがあります。

### ■床に水がかかると

水で洗わないでください。

オーディオやフロアカーペット下にある電気部品に水がかかると、車の故障の原因になったり、ボデーが錆びるおそれがあります。

### ■フロントウインドウガラスの内側を掃除するときは

前方カメラのレンズに、ガラスクリーナーが付着しないようにしてください。また、レンズにはふれないでください。（→P.146）

### ■リヤウインドウガラスの内側を掃除するときは

- 熱線を損傷するおそれがあるため、ガラスクリーナーなどを使わず、熱線にそって水またはぬるま湯を含ませた布で軽くふいてください。
- 熱線を引っかいたり、損傷させないように気を付けてください。

### ■リヤクォーターガラスの内側を掃除するときは（リヤクォーターガラスアンテナ装備車）

- アンテナ線を損傷するおそれがあるため、ガラスクリーナーなどを使わず、アンテナ線にそって水またはぬるま湯を含ませた布で軽くふいてください。
- アンテナ線を引っかいたり、損傷させないように気を付けてください。

### 本革部分の手入れをするには

- 掃除機などでほこりや砂を取り除く
- うすめた洗剤をやわらかい布に含ませ、汚れをふき取る

ウール用の中性洗剤を水で約5%にうすめて使用してください。

- 水を浸した布を固くしぼり、表面に残った洗剤をふき取る
- 乾いたやわらかい布で表面の水分をふき取り、風通しのよい日陰で乾燥させる



### 知識

#### ■ 本革部分のお手入れの目安

品質を長く保つため、年に2回程度の定期的なお手入れをおすすめします。



#### 注意

##### ■革の傷みを避けるために

皮革の表面の劣化や損傷を避けるために次のことをお守りください。

- 革に付着したほこりや砂はすぐに取り除く
- 直射日光に長時間さらさないようにする  
特に夏場は日陰で車を保管する
- ビニール製・プラスチック製・ワックス含有のものは、車内が高温になると革に張り付くおそれがあるため、革張りの上に置かない

#### 合成皮革部分の手入れをするには

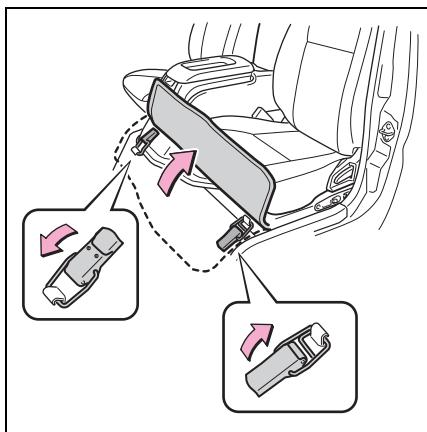
- 掃除機などでほこりを取り除く
- 中性洗剤を水で約1%にうすめてやわらかい布に含ませふき取る
- 水を浸した布を固くしぼり、表面に残った洗剤・水分をふき取る

## エンジン点検口

エンジンカバーを持ち上げて、エンジンルームの点検などが行えます。

### エンジン点検口の開け方

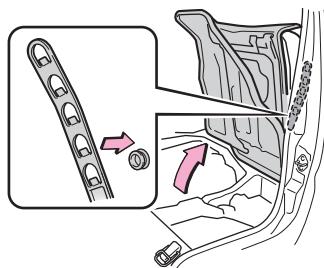
- 1 エンジンを停止し、シフトレバーをPにする
- 2 パーキングブレーキを確実にかける（→P.128）
- 3 カバーをめくってロック（2ヶ所）を解除する



- 4 エンジンカバーを持ち上げ、バンドをフックにかけて固定する

フックをバンドの穴にしっかりとめ込んで、確実に固定されたことを確認して

ください。



- 5 エンジン点検口を閉めるときは逆の手順で操作する

### 警告

#### ■走行前の確認

エンジンカバーがしっかりとロックされていることを確認してください。ロックせずに走行すると、走行中にシートが突然動いて、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

#### ■エンジンカバーを開けるときは

次のことを必ずお守りください。  
お守りいただかない場合、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- 走行中にエンジンカバーを開けない
- 平坦な場所でパーキングブレーキを確実にかけ、シフトレバーをPにする
- お子さまに操作させない

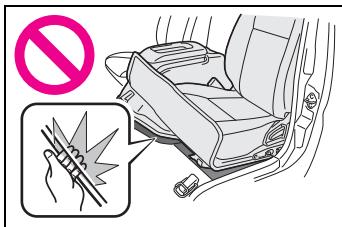
#### ■エンジンルームを点検したあとは

エンジンルーム内に工具や布を置き忘れていないことを確認してください。点検や清掃に使用した工具や布などをエンジンルーム内に置き忘れていると、故障の原因になったり、また、エンジンルーム内は高温になるため車両火災につながるおそれがあり危険です。

## ⚠ 警告

### ■ エンジンカバーを閉めるときは

エンジンカバーを閉めるときは、手などを挟まないように注意してください。重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。



## ⚠ 注意

### ■ エンジンカバーを開ける前の注意

エンジンカバーを開けると、シートバックコンソール★・センターコンソールボックス★も同時に持ち上がります。荷物の破損などを防ぐため、次のことをお守りください。

- ★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。
- オープントレイ上に荷物がある場合は降ろしておく
- ボックス内に壊れやすいものがある場合は取り出しておく
- カップホルダーに飲み物が置かれていないことを確認する

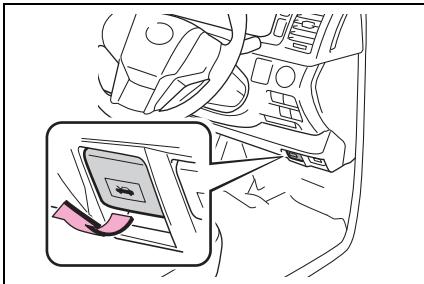
### ■ エンジンカバーを閉めるときは

シートベルトを挟み込まないように注意してください。

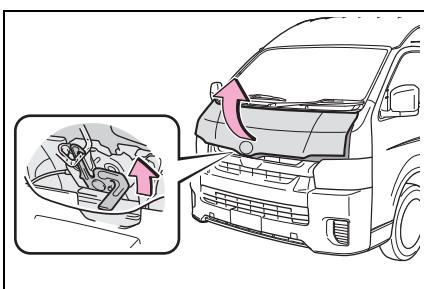
## ポンネット

### ポンネットを開けるには

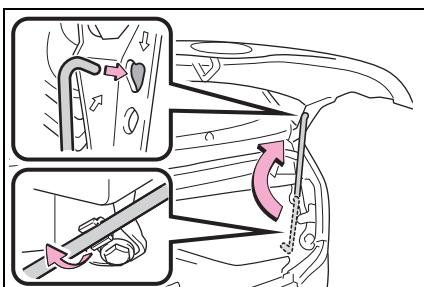
- 1 ボンネット解除レバーを引く  
ボンネットが少し浮き上がります。



- 2 レバーを引き上げてポンネットを開ける



- 3 ボンネットステーをステー穴に挿し込む



## ⚠ 警告

### ■走行前の確認

ポンネットがしっかりとロックされていることを確認してください。ロックせずに走行すると、走行中にポンネットが突然開いて、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

### ■けがを防ぐために

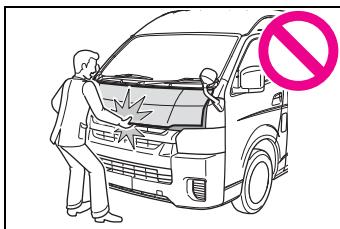
走行後のエンジンルーム内は高温になっています。熱くなった部品にさわるとやけどなどの重大な傷害を受けるおそれがあります。

### ■エンジンルーム点検後の確認

エンジンルーム内に工具や布を置き忘れていないことを確認してください。点検や清掃に使用した工具や布などをエンジンルーム内に置き忘れていると、故障の原因になったり、また、エンジンルーム内は高温になるため車両火災につながるおそれがあり危険です。

### ■ポンネットを閉めるときは

ポンネットを閉めるときは、手などを挟まないように注意してください。重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。



## ⚠ 注意

### ■ポンネットを閉めるときは

ポンネットステーをステー穴から取りはずし、クリップに正しくもどしてください。

ステーを正しくもどさない状態でポンネットを閉めると、ポンネットやステーが損傷するおそれがあります。

### ■ポンネットへの損傷を防ぐために

●ポンネットを閉めるときは、体重をかけるなどして強く押さないでください。ポンネットがへこむおそれがあります。

## ガレージジャッキ

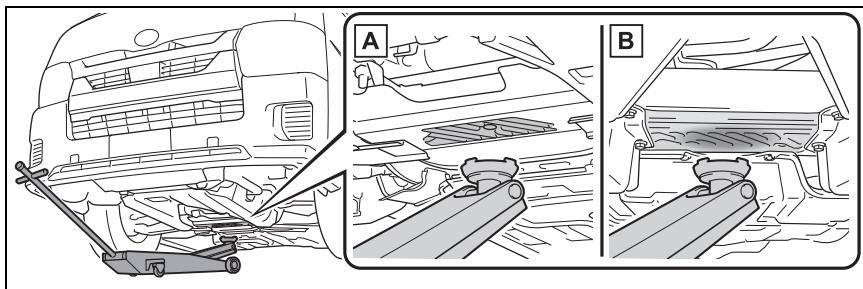
ガレージジャッキを使用するときは、ガレージジャッキに付属の取り扱い説明書に従って、安全に作業してください。

ガレージジャッキを使用して車両を持ち上げるときは、正しい位置にガレージジャッキをセットしてください。

正しい位置にセットしないと、車両が損傷したり、けがをしたりするおそれがあります。

ジャッキポイントの位置を確認する

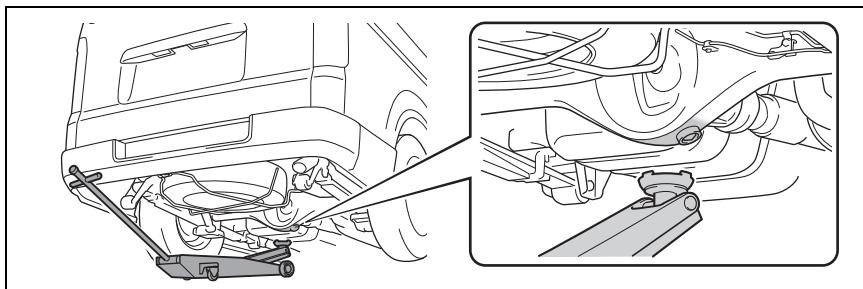
### ■ フロント側



A FR 車

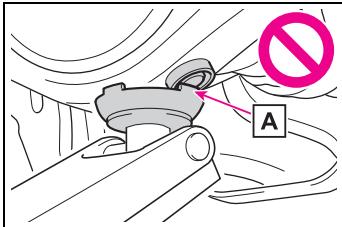
B 4WD 車

### ■ リヤ側



**⚠ 注意****■ ガレージジャッキでリヤ側を持ちあげるとき**

ガレージジャッキの受け皿の凸部がボルトにあたらないようにしてください。ボルトがゆるんでオイルがもれるおそれがあります。

**A** 凸部

## AdBlue<sup>®</sup> (尿素水) の補充 (ディーゼル車)

この車は排気ガス中の窒素酸化物を低減するために AdBlue<sup>®</sup> を使用しています。AdBlue<sup>®</sup> について、次のことにご留意ください。

- AdBlue<sup>®</sup> は走行に従って消費されます。
- AdBlue<sup>®</sup> の残量がなくなると、エンジンを再始動できなくなります。

### 走行可能距離について

AdBlue<sup>®</sup> の消費量は運転状況や走行環境などにより異なります。

AdBlue<sup>®</sup> の消費量が多くなると、AdBlue<sup>®</sup> の補給が必要になるまでの走行可能距離が短くなります。

走行可能距離		
短 <sup>※1</sup>		長
<p>[高負荷走行]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ アクセルを深く踏み込んでいるとき</li> <li>・ 長い上り坂を走行しているとき</li> <li>・ 排出ガス浄化装置が働いているとき</li> </ul>	[通常走行] <sup>※2</sup>	<p>[低負荷走行]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 短距離を走行するとき</li> <li>・ 渋滞のとき</li> </ul>

<sup>※1</sup>高地（標高が高いとき）や気温が低い時も、AdBlue<sup>®</sup> の消費量が増加します。

<sup>※2</sup>通常の走行では、約 1000km 走行すると、1L の AdBlue<sup>®</sup> を消費します。また、最大まで補充した状態から約 10400km 走行すると、残量がなくなります。

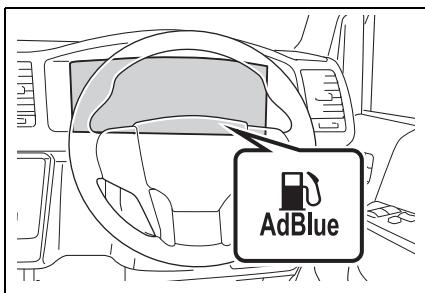
### AdBlue<sup>®</sup> の警告灯・警告メッセージ

AdBlue<sup>®</sup> の残量が少なくなると警告メッセージ（→P.239）と警告灯でお知らせします。

走行可能距離が約 3000km になると警

告メッセージが表示されます。

走行可能距離が約 2000km 以下になると警告灯が点灯し、警告メッセージが表示されます。



■ マルチインフォメーションディスプレイに AdBlue® に関する警告メッセージが表示されたとき

それぞれ、次のように対処してください。

警告メッセージ	対処方法
AdBlue が低下 2000km 以内に 補充必要 取扱書を 確認 ※1, 2	AdBlue® をいっぶ いまで補充してく ださい。
あと 800km で 再 始動不可 AdBlue 補充必要 取扱書を 確認 ※1, 2	表示されている距 離をこえて走行す ると、エンジンを 再始動できなくな ります。ただちに AdBlue® をいっぶ いまで補充してく ださい。
エンジン再始動不 可 AdBlue 補充必 要 取扱書を確認 ※2	ただちに AdBlue® をいっぶいまで補 充してください。 エンジンを停止さ せると、再始動で きません。エンジ ンを停止せず、た だちにトヨタ販売 店にご連絡くだ さい。

イに表示される走行距離は、目安とし  
てご利用ください。補充方法・運転状  
況・走行環境などにより、表示された  
走行可能距離と実際の走行距離とが異  
なる場合があります。(→P.238)

\*2警告メッセージに合わせてマスター  
ウォーニングが点灯し、ブザーが鳴り  
ます。

!  
注意

■ AdBlue® の残量が少なくなったとき

AdBlue® の残量がなくなると、エンジ  
ンを始動できなくなります。

残量がなくなる前に AdBlue® をいっぶ  
いまで補充してください。

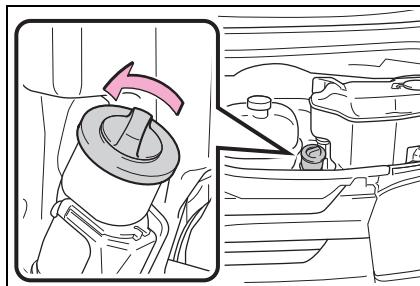
AdBlue® を補充するときは

AdBlue® は AdBlue® 取り扱い給  
油所の補充装置で補充するこ  
とができます。※ 次の手順で AdBlue®  
を補充してください。

※ トヨタ販売店でも補充するこ  
とができます。

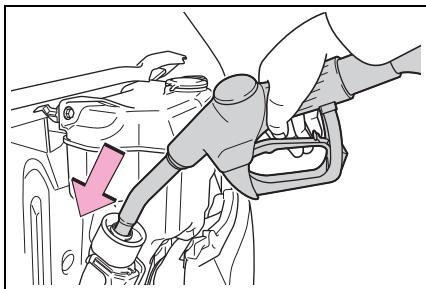
1 平坦な場所に駐車してエンジン  
スイッチを OFF (にし、ボン  
ネットを開ける (→P.234)

2 補給口のキャップを開ける



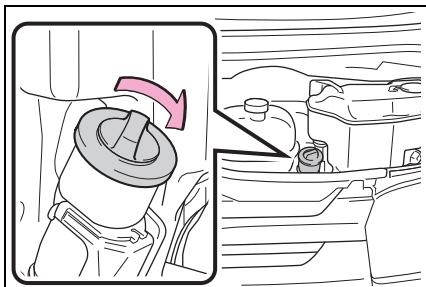
\*1マルチインフォメーションディスプレ

### 3 ノズルを挿入し AdBlue<sup>®</sup> を いっぱいまで補充する



### 4 補給口のキャップを閉める

キャップが「カチッ」と鳴るまで閉めてください。



### 5 エンジンが始動することを確認する

警告灯・警告メッセージが消えたことを確認してください。



#### ■ AdBlue<sup>®</sup> の補充について

AdBlue<sup>®</sup> (ISO 22241-1 に準拠したもの) を使用してください。

AdBlue<sup>®</sup> は、Verband der Automobilindustrie e.V. (VDA) の登録商標です。

排出ガス削減のために AdBlue<sup>®</sup> が必要な場合、AdBlue<sup>®</sup> を消費しない車両を使用することは関連法規に違反する可能性

があります。

#### ■ AdBlue<sup>®</sup> を補充するとき

AdBlue<sup>®</sup> の補充後は、エンジンが始動するまでの時間が通常よりも数秒、長くなることがあります。

#### ■ AdBlue<sup>®</sup> タンクについて

タンク容量は 10.4L です。



#### ■ AdBlue<sup>®</sup> を補充するとき

AdBlue<sup>®</sup> を補充するときは次のことをお守りください。お守りいただかないで車両の部品や塗装などの損傷につながるおそれがあります。

- AdBlue<sup>®</sup> 以外の尿素水を補充しない
- AdBlue<sup>®</sup> が車両の塗装部分に付着してしまった場合は、すぐに水で洗い流す
- AdBlue<sup>®</sup> をエンジンルームにこぼしてしまった場合は、水を含ませた布ですぐにふき取る

#### ■ 補充装置で AdBlue<sup>®</sup> を補充するとき

- 繰ぎ足し補充をしないでください。
- 補給口にノズルを確実に挿入してください。

#### ■ AdBlue<sup>®</sup> の保管について

AdBlue<sup>®</sup> を保管するときは次のことをお守りください。お守りいただかないで車両の部品や塗装の損傷、また、AdBlue<sup>®</sup> の成分が変質し異臭の発生につながるおそれがあります。

- AdBlue<sup>®</sup> を車内に放置しない

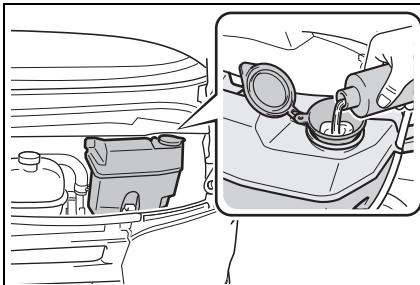
**⚠ 注意**

- AdBlue<sup>®</sup> の容器を密閉し、直射日光の当たらない、換気の良い冷暗所に保管する

## ウォッシャー液の補充

### 補充するには

タンク側面から液量を確認し、不足しているときは、キャップを開けてウォッシャー液を補充する



**⚠ 警告**

### ■ ウォッシャー液を補充するとき

エンジンが熱いときやエンジンがかかっているときは、ウォッシャー液を補充しないでください。ウォッシャー液にはアルコール成分が含まれているため、エンジンなどにかかると出火するおそれがあり危険です。

**⚠ 注意**

### ■ ウォッシャー液について

ウォッシャー液のかわりに、せっけん水やエンジン不凍液などを入れないでください。塗装にしみが付くことや、ポンプが故障してウォッシャー液が出なくなるおそれがあります。

### ■ ウォッシャー液のうすめ方

必要に応じて水でうすめてください。水とウォッシャー液の割合は、ウォッシャー液の容器に表示してある凍結温度を参考にしてください。

## タイヤについて

タイヤの点検は、法律で義務付けられています。日常点検として必ずタイヤを点検してください。

タイヤの摩耗を均等にし寿命をのばすために、タイヤローション（タイヤ位置交換）をFR車は10,000kmごとに、4WD車は5,000kmごとに行ってください。

### タイヤの点検項目

タイヤは次の項目を点検してください。

点検方法は別冊「メンテナンスノート」を参照してください。

#### ● タイヤ空気圧

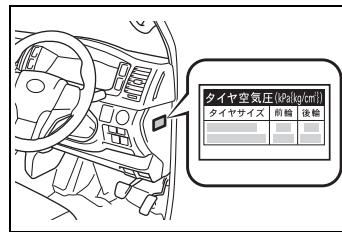
空気圧の点検は、タイヤが冷えているときに行ってください。

- タイヤの亀裂・損傷の有無
- タイヤの溝の深さ
- タイヤの異常摩耗（極端にタイヤの片側のみが摩耗していたり、摩耗程度が他のタイヤと著しく異なるなど）の有無

### 知識

#### ■ タイヤ空気圧について

タイヤの指定空気圧は、インストルメントパネル横（運転席側）のタイヤ空気圧ラベルで確認することができます。



#### ■ タイヤ空気圧が適正でない場合

適切に調整されていないタイヤ空気圧で走行すると、次のようなことが起こる場合があります。

- 燃費の悪化
- 乗り心地や操縦安定性の低下
- 摩耗によるタイヤ寿命の低下
- 安全性の低下

#### ■ タイヤ関連の部品を交換するとき

タイヤ・ディスクホイール・ホイール取り付けナットを交換するときは、トヨタ販売店にご相談ください。

### 警告

#### ■ 点検・交換時について

必ず次のことをお守りください。  
お守りいただかないと、駆動系部品の損傷や不安定な操縦特性により、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- タイヤはすべて同一メーカー・同一銘柄・同一トレッドパターンで、摩耗差のないタイヤを使用する
- メーカー指定サイズ以外のタイヤやホイールを使用しない
- ラジアルタイヤ・バイアスベルテッドタイヤ・バイアスプライタイヤを混在使用しない
- サマータイヤ・オールシーズンタイヤ・冬用タイヤを混在使用しない

## ⚠ 警告

- 他の車両で使用していたタイヤを使用しない  
以前どのように使用されていたか不明のタイヤは使用しない
- タイヤ空気圧は乗車人数に合わせて使用する

### ■異常があるタイヤの使用禁止

異常があるタイヤをそのまま装着していると、走行時にハンドルをとられたり、異常な振動を感じることがあります。また、次のような事態になり、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

- 破裂などの修理できない損傷を与える
- 車両が横すべりする
- 車両の本来の性能（燃費・車両の安定性・制動距離など）が発揮されない

### ■タイヤ交換時の注意

- 必ずナットのテーパー部を内側にして取り付けてください。（→P.290）  
テーパー部を外側にして取り付けると、ホイールが破損しそれてしまい、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- ねじ部にオイルやグリースを塗らないでください。ナットを締めるときに必要以上に締め付けられ、ボルトが破損したり、ディスクホイールが損傷するおそれがあります。ナットを取り付けるときに、オイルやグリースがねじ部に付いている場合はふき取ってください。

### ■異常があるホイールの使用禁止

亀裂や変形などがあるホイールは使用しないでください。走行中にタイヤの空気が抜けて、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

## ⚠ 注意

### ■走行中に空氣もれが起こったら

走行を続けないでください。  
タイヤまたはホイールが損傷することがあります。

### ■悪路走行に対する注意

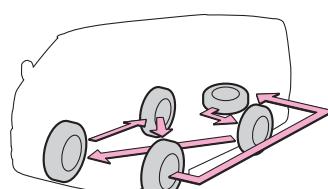
段差や凹凸のある路上を走行するときは注意してください。  
タイヤの空気が抜けて、タイヤのクッション作用が低下します。また、タイヤ・ホイール・車体などの部品も損傷するおそれがあります。

## タイヤローテーションをするには

図で示すようにタイヤのローテーションを行う

タイヤの摩耗状態を均一にし、寿命をのばすために、トヨタは定期点検ごとのタイヤローテーションをおすすめします。

タイヤローテーション後は、タイヤ空気圧警報システムの初期化を確実に行ってください。



## タイヤ空気圧について

タイヤの空気圧を適正に維持するため、タイヤの空気圧点検を月に1回以上実施してください。

### □ 知識

#### ■ タイヤ空気圧が適正でない場合

適切に調整されていないタイヤ空気圧で走行すると、次のようなことが起こる場合があります。

- 燃費の悪化
- 乗り心地や操縦安定性の低下
- 摩耗によるタイヤ寿命の低下
- 安全性の低下

ひんぱんにタイヤ空気圧が低下する場合は、トヨタ販売店でタイヤの点検を受けてください。

#### ■ タイヤ空気圧の点検のしかた

タイヤ空気圧の点検の際は、次のことをお守りください。

- タイヤが冷えているときに点検する
- タイヤ空気圧ゲージを必ず使用する  
タイヤの外観だけでは空気圧が適正かどうか判断できません。
- 走行後はタイヤの発熱により空気圧が高くなります。異常ではありませんので減圧しないでください。
- 荷物を積んだり、多人数で乗車するときは荷重を不均等にかけないようにする

### ⚠ 警告

#### ■ タイヤの性能を発揮するために

適正なタイヤ空気圧を維持してください。

タイヤ空気圧が適正に保たれていないと、次のようなことが起こるおそれがあり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- 過度の摩耗
- 偏摩耗
- 操縦安定性の低下
- タイヤの過熱による破裂
- タイヤとホイールのあいだから空氣もれ
- ホイールの変形、タイヤの損傷
- 走行時にタイヤが損傷する可能性の増大（路上障害物、道路のつなぎ目や段差など）

### ⚠ 注意

#### ■ タイヤ空気圧の点検・調整をしたあとは

タイヤのバルブキャップを確実に取り付けてください。

バルブキャップをはずしていると、ほこりや水分がバルブに入り空気がもれ、タイヤの空気圧が低下するおそれがあります。

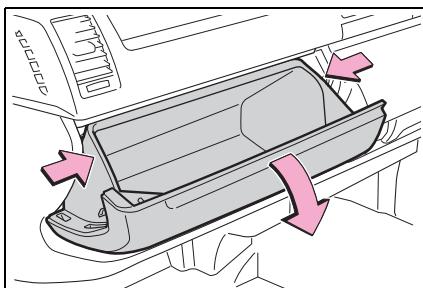
## エアコンフィルターの清掃

エアコン・リヤクーラーを快適にお使いいただくために、エアコンフィルターを定期的に清掃してください。

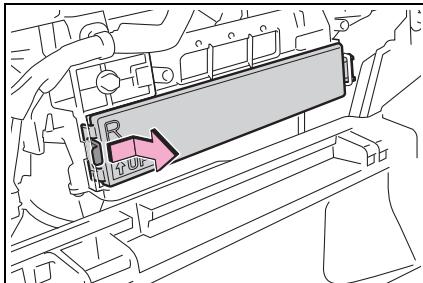
### 清掃のしかた

#### ▶ フロントエアコン

- 1 エンジンスイッチを OFF にする
- 2 グローブボックスを開き、グローブボックス側面を内側に押して上部のツメを片側ずつはずし、下部のツメをはずして取りはずす



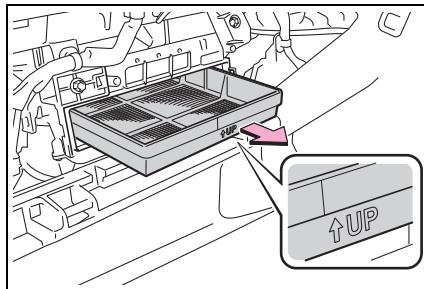
#### 3 フィルターカバーを取りはずす



#### 4 エアコンフィルターを取りはずして清掃する

水洗いするか、裏面からエアブローでほ

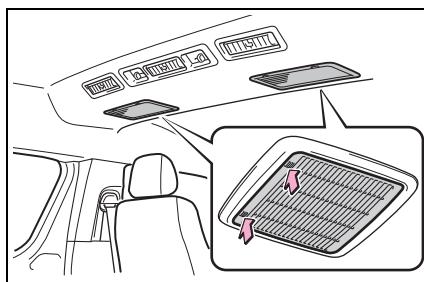
こりを取り除きます。



5 取り付けるときは、取りはずしたときと逆の手順で取り付ける  
「↑ UP」マークの矢印が上を向くように取り付けます。

#### ▶ リヤクーラー

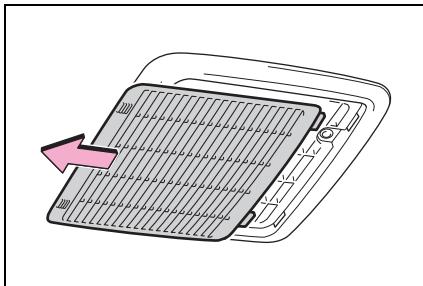
- 1 エンジンスイッチを OFF にする
- 2 図に示す位置（2ヶ所）を押して、ロックをはずす



#### 3 エアコンフィルターを取りはずして清掃する

水洗いするか、裏面からエアブローでほ

こりを取り除きます。



- フィルターは水洗いするか、エアブローを使って清掃してください。ブラシなどでこすると、フィルターが損傷するおそれがあります。

**4** 取り付けるときは、取りはずしたときと逆の手順で取り付けるエアコンフィルターのツメを挿し込んでから、反対側を押さえてロックします。

### □ 知識

#### ■ フィルターの清掃について

エアコン・リヤクーラーを快適にお使いいただくために、フィルターを定期的に清掃してください。

#### ■ エアコン・リヤクーラーの風量が減少したときは

フィルターの目づまりが考えられますので、フィルターを清掃してください。

#### ■ 運転席側エアフィルターの清掃について

縦型収納庫のオープンストッパー（患者室側の扉用）や、天井カバーのネジをはずしたときは、紛失しないように保管してください。

### ⚠ 注意

#### ■ エアコン・リヤクーラーを使用するときの注意

- フィルターを装着せずにエアコン・リヤクーラーを使用すると、故障の原因になることがあります。必ずフィルターを装着してください。

## キーの電池交換

電池が消耗しているときは、新しい電池に交換してください。電池はご自身で交換できますが、部品が破損するおそれがあるので、トヨタ販売店で交換することをおすすめします。

### □ 知識

■ 電子キーの電池が消耗していると  
次のような状態になります。

- スマートエントリー＆スタートシステム、ワイヤレス機能が作動しない
- 作動距離が短くなる

## 事前に用意するもの

交換をするには、次のものを準備してください。

- マイナスドライバー
- 小さいマイナスドライバー
- リチウム電池：CR2450

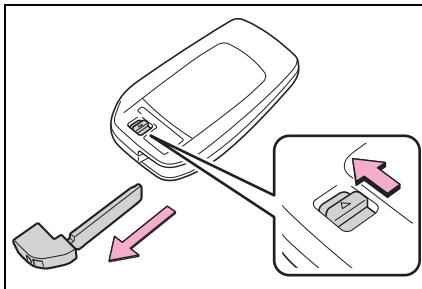
### □ 知識

#### ■ リチウム電池 CR2450 の入手

電池はトヨタ販売店・時計店およびカメラ店などで購入できます。

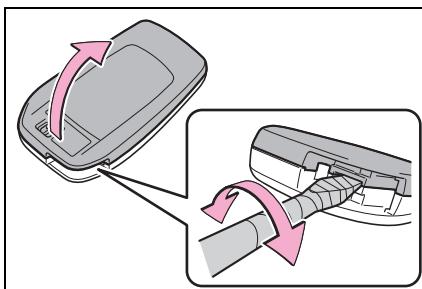
## 電池交換のしかた

- 1 ロックを解除してメカニカルキーを抜く



- 2 カバーをはずす

傷が付くのを防ぐため、マイナスドライバーの先端に布などを巻いて保護してください。

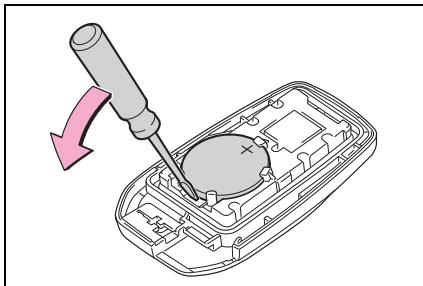


- 3 消耗した電池を取り出す

カバーをはずしたときに、上側のカバーに電子キーのモジュールが貼り付き、電池面が隠れている場合があります。この場合、電子キーのモジュールをひっくり返し、図のように電池が見える状態で作業してください。

新しい電池は、+極を上にして取り付け

ます。



- 4 取り付けるときは、取りはずしたときと逆の手順で取り付ける

## ⚠ 警告

### ■キーの電池について

次のことを必ずお守りください。お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- 誤って電池を飲み込まないように注意してください。化学熱傷のおそれがあります。
- キーにはコイン電池もしくはボタン電池が使われています。電池を飲み込むと、わずか2時間で重度の化学熱傷を引き起こし、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- 新しい電池および取りはずした電池は、お子さまにさわらせないでください。
- カバーがしっかりと閉まらない場合はそのまま使用せず、お子さまの手の届かない場所に保管し、トヨタ販売店で点検を受けてください。
- 誤って電池を飲み込んだ、または体の一部に入れてしまった場合は、すぐに医師の診察を受けてください。

### ■電池の爆発や可燃性の液体またはガスの漏れを防ぐために

- 同じタイプの電池と交換してください。異なったタイプの電池を使用すると、電池が爆発するおそれがあります。
- 極端に温度の高いところや、高度が高く極端に気圧が低いところに電池を持ち込まないでください。
- 電池を燃やしたり、つぶしたり、切ったりしないでください。

## ⚠ 注意

### ■電池を交換するときは

適切なサイズのマイナスドライバーを使用してください。無理な力がかかると、カバーが変形したり破損したりするおそれがあります。

- 交換後、正常に機能させるために
 

次のことを必ずお守りください。

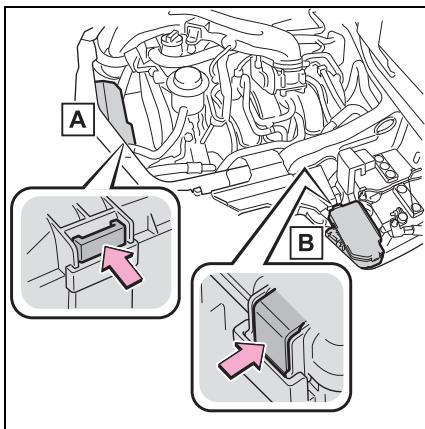
  - ぬれた手で電池を交換しない  
錆の原因になります。
  - 電池以外の部品に、ふれたり動かしたりしない
  - 電極を曲げない

## ヒューズの点検・交換

ランプがつかないときや電気系統の装置が動かないときは、ヒューズ切れが考えられます。ヒューズの点検を行ってください。

### ヒューズの点検・交換をするには

- 1 エンジンスイッチを OFF にする
- 2 ヒューズボックスを開ける
  - ▶ エンジルーム内  
エンジン点検口（→P.233）を開けて、ツメを押しながら、カバーを持ち上げる

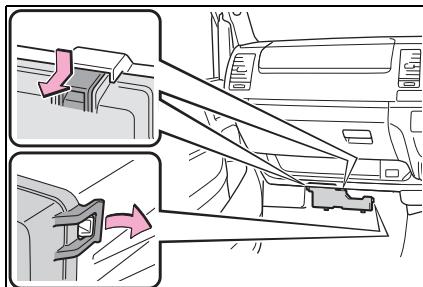


A 中央ヒューズボックス

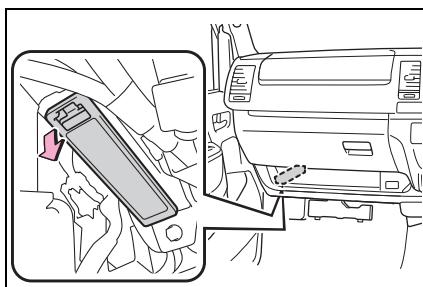
B 助手席側ヒューズボックス

▶ 助手席足元

ツメを押しながら、カバーを手前に引く

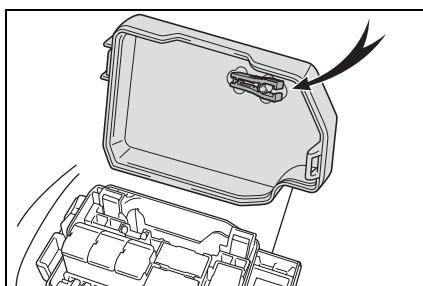


- ▶ グローブボックス下  
ヒューズボックスカバーを取りはずす



3 ヒューズを引き抜く

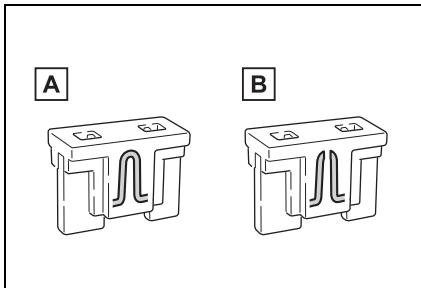
ヒューズはずしてヒューズを引き抜くことができます。



4 ヒューズが切れていないか点検する

ヒューズボックスの表示に従い、規定容

量のヒューズに交換します。



**A** 正常

**B** ヒューズ切れ

### □ 知識

#### ■ ヒューズを交換したあと

- 縦型収納庫床下：床板を取り付けるときは、プレートを切り欠きに挿し込んでください。
- 交換しても再度ヒューズが切れる場合は、トヨタ販売店で点検を受けてください。

#### ■ バッテリーからの回路に過剰な負荷がかかると

配線が損傷を受ける前にヒューズが切れるように設計されています。

#### ■ バッテリーがはずされたり、バッテリーがあがってしまった場合は

次の装置の初期化が必要です。

- パワースライドドア★ (→P.76)
  - パワーウィンドウ (→P.107)
- ★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

### ▲ 警告

#### ■ 車の故障や、車両火災を防ぐために

次のことをお守りください。  
お守りいただかない場合、車の故障や火災、けがをするおそれがあります。

- 規定容量以外のヒューズ、またはヒューズ以外のものを使用しないでください。
- 必ずトヨタ純正ヒューズか同等品を使用してください。
- ヒューズやヒューズボックスを改造しないでください。

### △ 注意

#### ■ ヒューズを交換する前に

ヒューズが切れた原因が電気の過剰負荷だと判明したときは、トヨタ販売店で点検を受けてください。

## 電球（バルブ）の交換

次に記載する電球は、ご自身で交換できます。電球交換の難易度は電球によって異なります。部品が破損するおそれがあるので、トヨタ販売店で交換することをおすすめします。

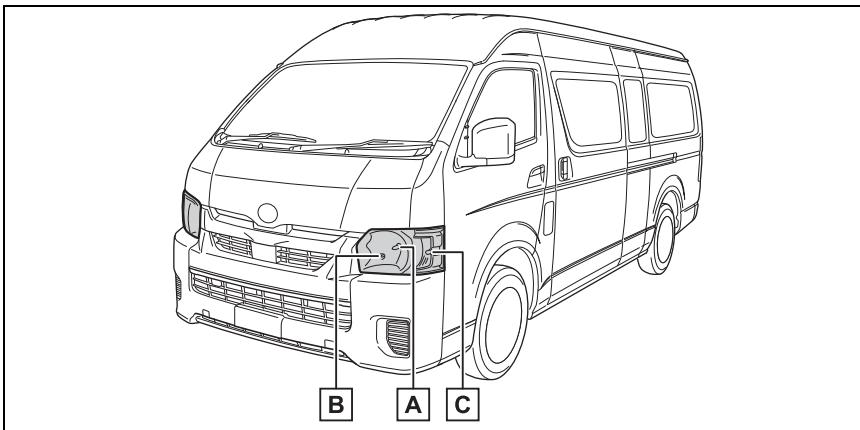
## 電球の用意

切れた電球のW(ワット)数を確認してください。（→P.311）

### バルブ位置

#### ■ フロント

- ▶ ハロゲンヘッドライト装着車

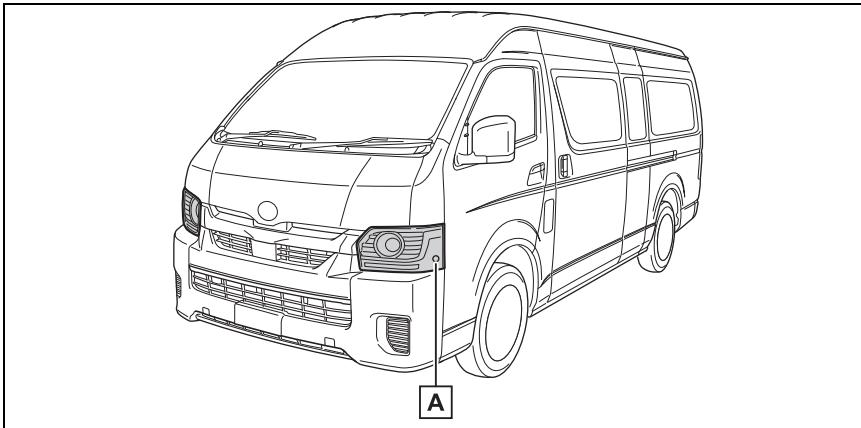


**A** ヘッドライト

**B** 車幅灯

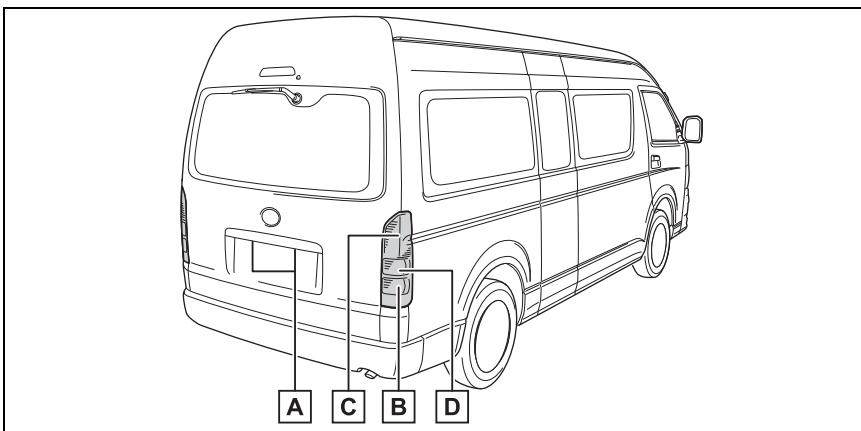
**C** フロント&サイド方向指示灯／非常点滅灯

► LED ヘッドライト装着車



**A** フロント&サイド方向指示灯／非常点滅灯

■ リヤ



**A** 番号灯

**B** 後退灯／リヤフォグランプ★

**C** 制動灯／尾灯

**D** リヤ方向指示灯／非常点滅灯

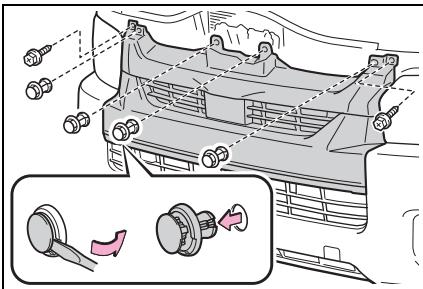
★ : グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

## 電球交換のしかた

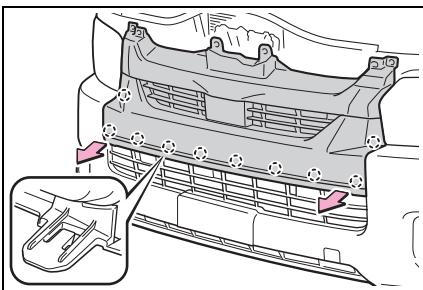
### ■ ヘッドライト（ハロゲンヘッドランプ装着車）

電球交換するときは、必ずエンジンスイッチを OFF にしてください。

- 1 クリップ（4 個）とネジ（2 本）をはずす



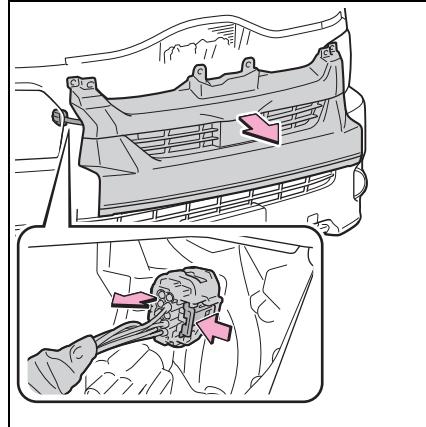
- 2 ラジエーターグリルのツメを取りはずす



- 3 ラジエーターグリルを取りはずす

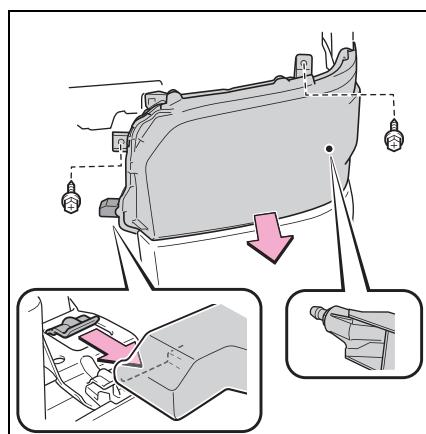
レーダーにつながっているコネクターを

取りはずしてください。

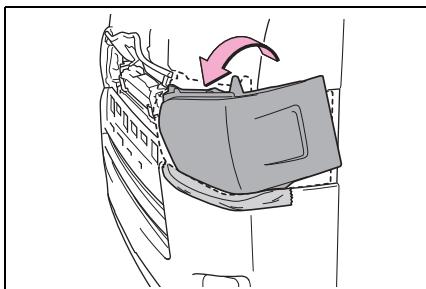


- 4 電球を交換する側のドア（運転席または助手席）を開けて作業スペースを広げ、バンパーのヘッドライト前側部分に保護テープを貼る

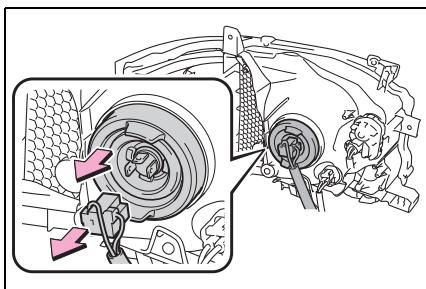
- 5 ネジ（2 本）をはずし、ヘッドライト本体を手前に引いて各部の固定をはずす



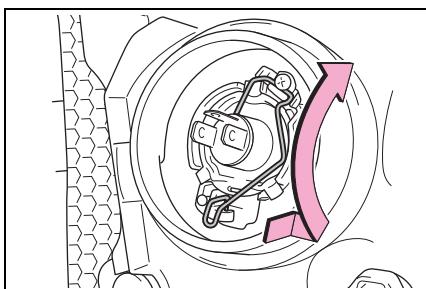
- 6 ヘッドライト本体を回転させながら取りはずす**



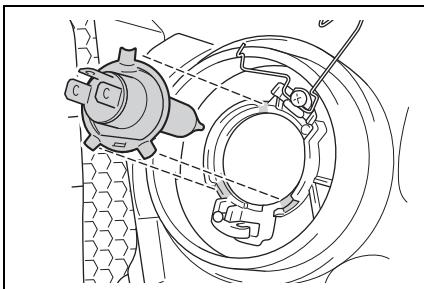
- 7 コネクターとゴムカバーを取りはずす**



- 8 止め金をはずす**



- 9 電球を取りはずす**

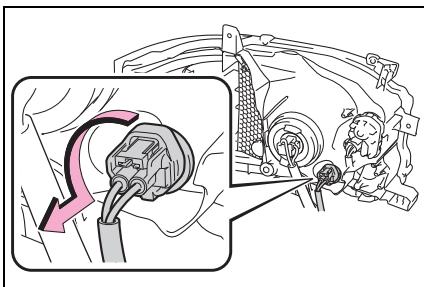


- 10 取り付けるときは、取りはずしたときと逆の手順で取り付ける**

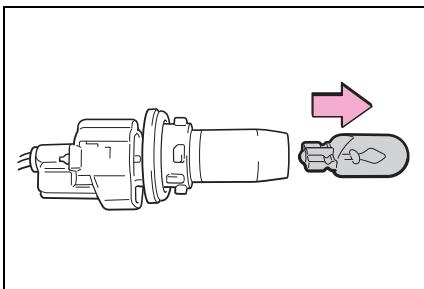
**■ 車幅灯（ハロゲンヘッドライト装着車）**

- 1 ヘッドライト本体を取りはずす  
（→P.253）**

- 2 ソケットを取りはずす**



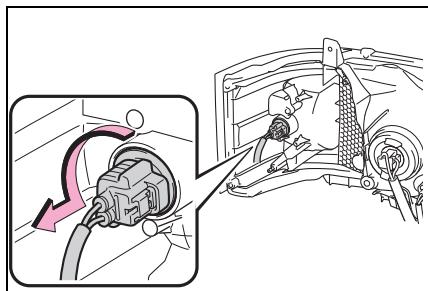
- 3 電球を取りはずす**



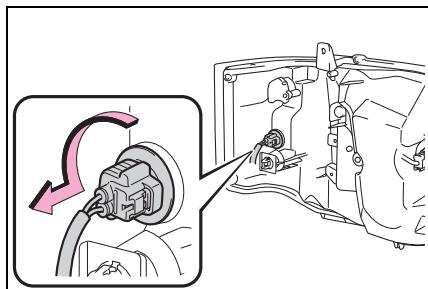
- 4 取り付けるときは、取りはずしたときと逆の手順で取り付ける**

## ■ フロント&サイド方向指示灯／非常点滅灯

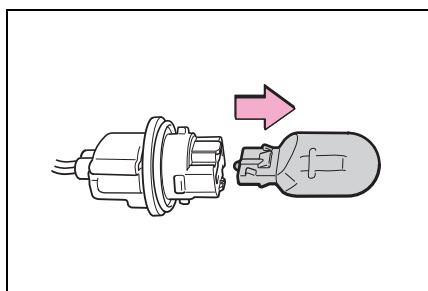
- 1 ヘッドライト本体を取りはずす  
→P.253)
  - 2 ソケットを取りはずす
- ▶ ハロゲンヘッドライト装着車



▶ LED ヘッドライト装着車



3 電球を取りはずす



4 取り付けるときは、取りはずしたときと逆の手順で取り付ける

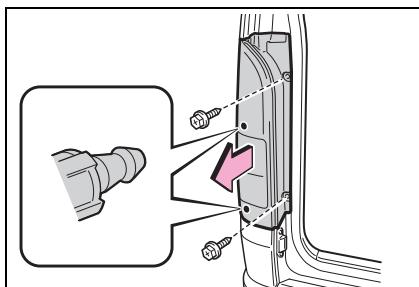
## ■ 制動灯／尾灯・リヤ方向指示灯／非常点滅灯・後退灯／リヤ フォグランプ★

★ : グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

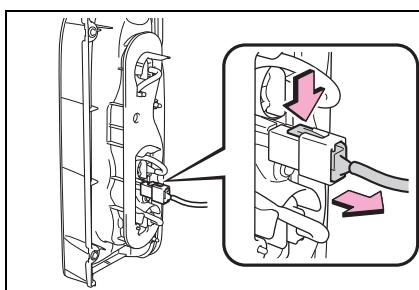
交換には、トヨタ販売店で部品(ガスケット)の購入が必要となります。交換作業が難しいと感じられる場合は、トヨタ販売店にご相談ください。

- 1 ネジ(2本)をはずし、ランプ本体を手前に引き出す

コネクターケーブルを損傷しないよう、慎重に作業してください。



2 コネクターを取りはずす

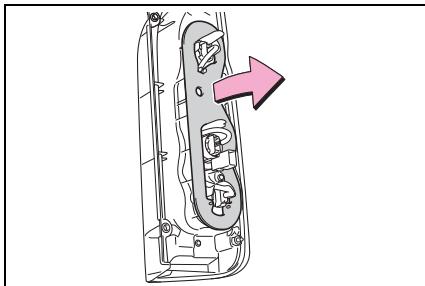


3 ガスケットをはがす

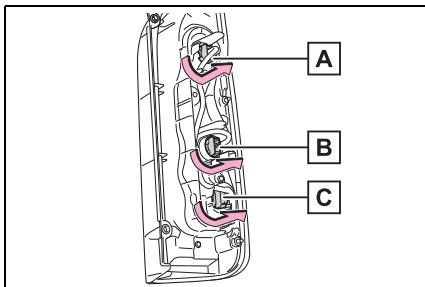
確実にものとの状態にもどせるようにガスケットをはがす前には、ガスケットの貼り付け位置をよく確認しておいてください。

また、ボデー側に残ったガスケットはす

べてはがしてください。



#### 4 ソケットを取りはずす



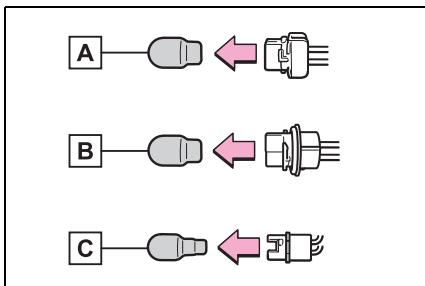
**A** 制動灯／尾灯

**B** リヤ方向指示灯／非常点滅灯

**C** 後退灯／リヤフォグランプ\*

\* 運転席側のみに装着されます。

#### 5 電球を取りはずし、新しい電球を取り付ける



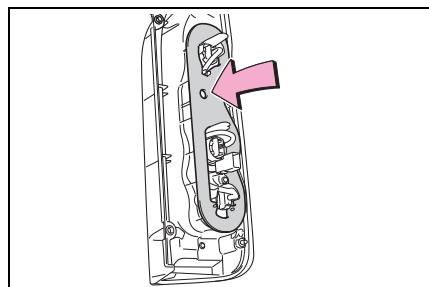
**A** 制動灯／尾灯

**B** リヤ方向指示灯／非常点滅灯

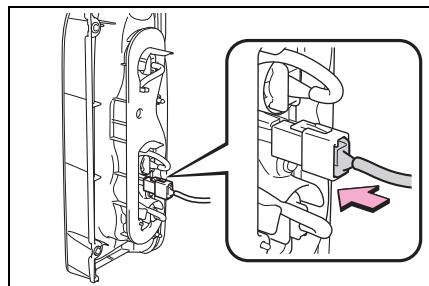
**C** 後退灯／リヤフォグランプ

#### 6 新品のガスケットを貼り付ける

手順 3 で確認した貼り付け位置に確実に取り付けてください。



#### 7 コネクターを取り付ける

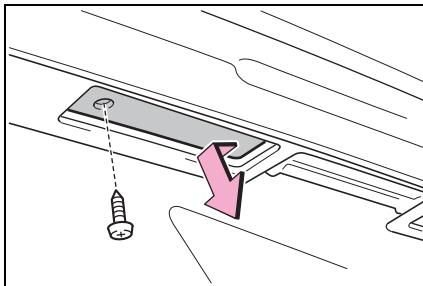


#### 8 ランプ本体を取り付けるときは、取りはずしたときと逆の手順で取り付ける

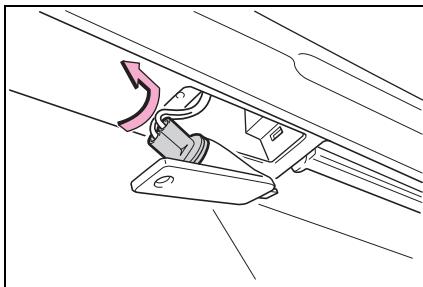
ボデーとのあいだに配線が挟まっていることを確認の上、突起部をしっかりとはめ込んでください。

## ■ 番号灯

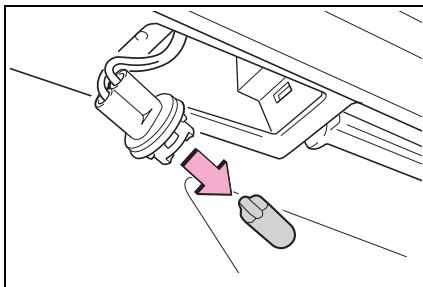
- 1 交換する側のネジ（1本）をはずし、ランプ本体を引き出す



- 2 ソケットを取りはずす



- 3 電球を取りはずす



- 4 取り付けるときは、取りはずしたときと逆の手順で取り付ける  
ランプ本体のツメが確実にかかっている  
ことを確認してください。

## ■ 次の電球を交換するには

次のランプが切れたときは、  
トヨタ販売店で交換してください。

- 車幅灯（LED ヘッドライト装着車）

- ヘッドライト（LED ヘッドライト装着車）

- ハイマウントストップランプ

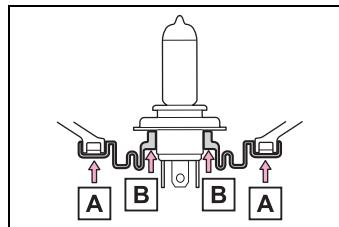
★：グレード、オプションなどにより、  
装備の有無があります。

## □ 知識

- ハロゲンヘッドライト★のゴムカバーを取り付けるときは

★：グレード、オプションなどにより、  
装備の有無があります。

確実にはめ込まれていることを確認してください。



**A** ゴムカバーの外周をしっかりとはめ込む

**B** ゴムカバー内周（電球まわり）を全周にわたり電球の金具部分が確認できるまで押し込む

## ■ LED ランプについて

LED ヘッドライト★・ハイマウントストップランプは数個の LED で構成されています。もし LED がひとつでも点灯しないときは、トヨタ販売店で交換してください。

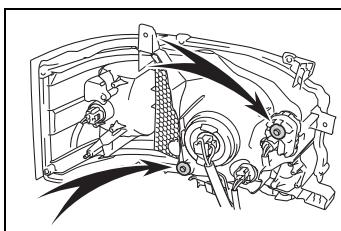
★：グレード、オプションなどにより、  
装備の有無があります。

## ■ レンズ内の水滴と曇り

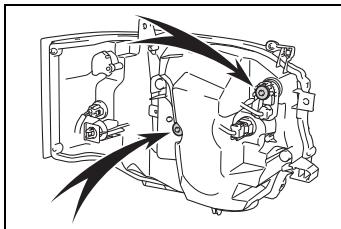
レンズ内の一時的な曇りは、機能上問題

ありません。ただし、次のようなときは、トヨタ販売店にご相談ください。

- レンズ内側に大粒の水滴が付いている
- ランプ内に水がたまっている
- ヘッドライト本体の固定をはずすときは
  - ヘッドライトの光軸がずれるおそれがあるため、光軸調整用のネジにふれないでください。
- ▶ハロゲンヘッドライト装着車



#### ▶ LED ヘッドライト装着車



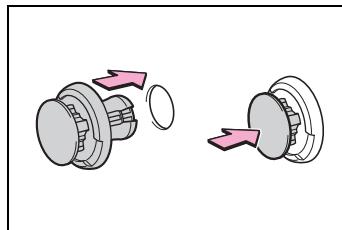
- 電球を交換したあとは、トヨタ販売店でヘッドライトの光軸の点検を受けてください。

#### ■ 電球の交換について

電球の交換作業をするときに、部品などの破損が心配な方は、トヨタ販売店にご相談ください。

#### ■ ラジエーターグリルのクリップの取り付け

クリップを穴に挿し込み、中央部を押込む



#### ■ ラジエーターグリルの取り扱いについて

ラジエーターグリルにはレーダーが取り付けられています。(→P.146)

#### ⚠ 警告

##### ■ 電球を交換するときは

- ランプは消灯してください。消灯直後は高温になっているため、交換しないでください。やけどをすることがあります。
- 電球のガラス部を素手でふれないでください。  
やむを得ずガラス部を持つ場合は、電球に油脂や水分を付着させないために、乾いた清潔な布などを介して持ってください。  
また、電球を傷付けたり、落下させたりすると球切れや破裂することがあります。
- 電球や電球を固定するための部品はしっかり取り付けてください。  
取り付けが不十分な場合、発熱や発火、またはヘッドライト内部への浸水による故障や、レンズ内に曇りが発生することがあります。
- 電球・ソケット・電気回路・および構成部品を、修理または分解しないでください。感電により、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

 **警告**

- お車の故障や火災を防ぐために  
電球が正しい位置にしっかりと取り付けられていることを確認してください。

 **注意**

- 制動灯／尾灯・リヤ方向指示灯／非常点滅灯・後退灯／リヤフォグランプ★の交換について

制動灯／尾灯・リヤ方向指示灯／非常点滅灯・後退灯／リヤフォグランプの交換には、新品のガスケットが必要となります。ガスケットをはがすときは、次のことをお守りください。ランプ内へ水が浸入するおそれがあります。

- 一度でも使用したガスケットは絶対に再使用しないでください。
- ガスケットを貼り付けるときは、制動灯／尾灯・リヤ方向指示灯／非常点滅灯・後退灯／リヤフォグランプの交換手順 3 で確認した貼り付け位置に確実に貼り付けてください。

★：グレード、オプションなどにより、  
装備の有無があります。



## 万一の場合には

## 7

## 7-1. まず初めに

故障したときは .....	262
非常点滅灯（ハザードランプ）.....	263
発炎筒.....	263
消火器.....	264
車両を緊急停止するには .....	265
水没・冠水したときは.....	266
車中泊が必要なときは.....	267

## 7-2. 緊急時の対処法

けん引について .....	268
フューエルポンプシャットオフシステム（ガソリン車）.....	272
警告灯がついたときは.....	273
警告メッセージが表示されたときは .....	278
パンクしたときは .....	284
エンジンがかからないときは ..	294
キーをなくしたときは.....	296
電子キーが正常に働かないときは .....	296
バッテリーがあがったときは ..	298
オーバーヒートしたときは.....	302
スタックしたときは.....	304

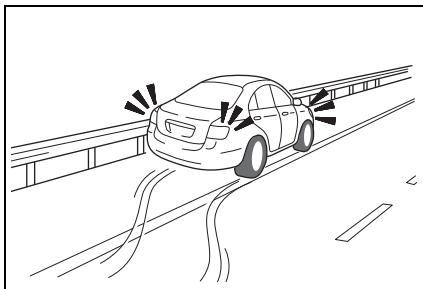
## 故障したときは

故障のときはすみやかに次の指示に従ってください。

### 対処のしかた

- 非常点滅灯（→P.263）を点滅させながら、車を路肩に寄せ停車します。

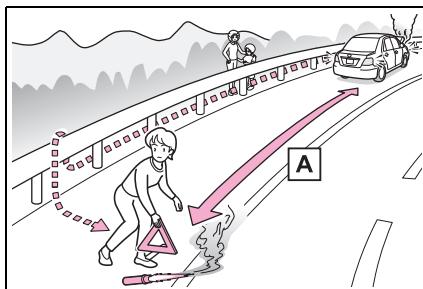
非常点滅灯は、故障などでやむを得ず路上駐車する場合、他車に知らせるため使用します。



- 高速道路や自動車専用道路では、次のことに従う

- 1 同乗者を避難させる
- 2 車両の 50m 以上後方 (A) に発炎筒（→P.263）と停止表示板を置くか、停止表示灯を使用する
  - ・ 見通しが悪い場合はさらに後方に置いてください。
  - ・ 発炎筒は、燃料もれの際やトンネル内では使用しないでください。

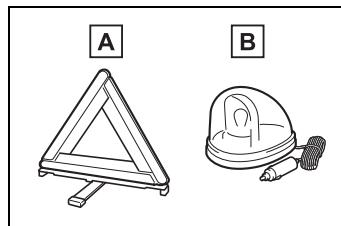
- 3 その後、ガードレールの外側などに避難する



### 知識

#### ■ 停止表示板・停止表示灯について

- 高速道路や自動車専用道路でやむを得ず駐停車する場合は、停止表示板または停止表示灯の表示が、法律で義務付けられています。



**A** 停止表示板

**B** 停止表示灯

- 停止表示板のご購入については、トヨタ販売店にお問い合わせください。

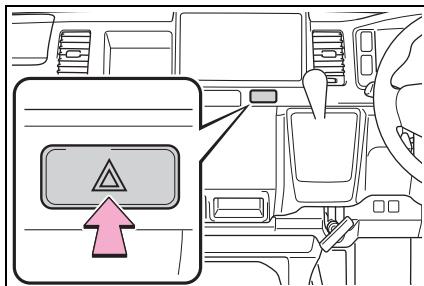
## 非常点滅灯（ハザードランプ）

故障などでやむを得ず路上駐車する場合、他車に知らせるために使用してください。

### 点滅させるには

スイッチを押す

すべての方向指示灯が点滅します。  
もう一度押すと消灯します。



### 知識

#### ■ 非常点滅灯について

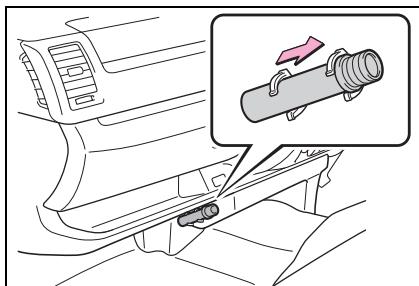
- エンジン停止中に、非常点滅灯を長時間使用すると、バッテリーがあがるおそれがあります。
- SRS エアバッグの作動時または後方から強い衝撃を受けたときは、非常点滅灯が自動で点滅します。  
非常点滅灯スイッチを 2 回押すか、約 20 分経過すると消灯します。  
(衝撃の度合いや事故の状況によっては点滅しないことがあります)

## 発炎筒

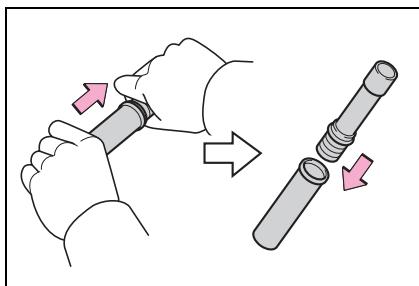
高速道路や踏切などでの故障・事故時に非常信号用として使用します。(トンネル内や可燃物の近くでは使用しないでください)  
発炎時間は約 5 分です。非常点滅灯と併用してください。

### 発炎筒を使うには

#### 1 助手席足元の発炎筒を取り出す



#### 2 本体をまわしながら抜き、本体を逆さにして挿し込む

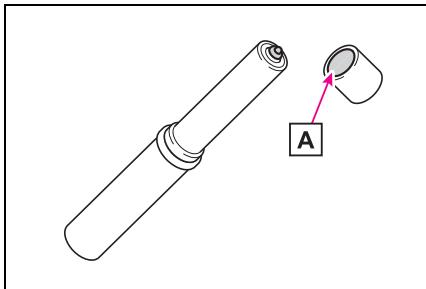


#### 3 先端のフタを取り、すり薬

**A** で発炎筒の先端をこすり、着火させる

必ず車外で使用してください。  
着火させる際は、筒先を顔や体に向けな

いでください。



### □ 知識

#### ■ 発炎筒の交換について

本体に表示してある有効期限が切れる前に、トヨタ販売店でお求めください。有効期限が切れると、着火しなかったり、炎が小さくなる場合があります。

### ⚠ 警告

#### ■ 発炎筒を使用してはいけない場所

次の場所では、発炎筒を使用しないでください。

煙で視界が悪くなったり、引火するおそれがあるため危険です。

- トンネル内
- ガソリンなど可燃物の近く

#### ■ 発炎筒の取り扱いについて

次のことを必ずお守りください。お守りいただかないと、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

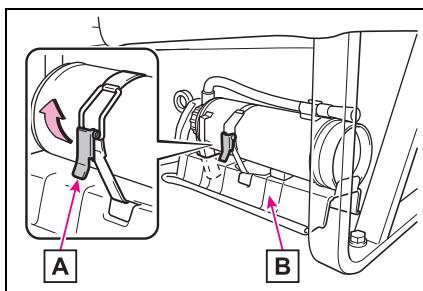
- 使用中は、発炎筒を顔や体に向けたり、近付けたりしない
- 発炎筒は、お子さまにさわらせない

## 消火器

使用方法については、消火器本体に記載されている説明をよく読んで万一に備えてください。

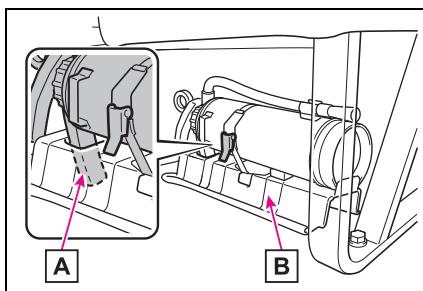
### 取り出し方

レバー[A]を引き上げてフックを金具からはずし、ブラケット[B]から消火器を取りはずします。



### 格納のしかた

消火器のレバー[A]をブラケット[B]の穴に挿し込み、フックをかけて確実に固定する



### □ 知識

#### ■ 有効期限について

消火器には有効期限があります。有効期

限が切れる前に新品と交換してください。

### ⚠ 警告

#### ■ 消火器の取り扱いについて

消火器は必ず所定の格納位置に格納してください。固定しないままフロアなどに置いておくと、走行中や急ブレーキをかけたときなどに飛び出し、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

### ⚠ 注意

#### ■ 注意事項について

消火器本体のラベルに記載されている注意事項を遵守し、正しくご使用ください。

## 車両を緊急停止するには

万一、車が止まらなくなったときの非常時のみ、手順に従って車を停止させてください。

## 車を停止するには

### 1 ブレーキペダルを両足でしっかりと踏み続ける

ブレーキペダルをくり返し踏まないでください。通常より強い力が必要となり、制動距離も長くなります。

### 2 シフトレバーを N に入れる

▶ シフトレバーが N に入った場合

### 3 減速後、車を安全な道路脇に停める

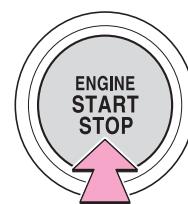
### 4 エンジンを停止する

▶ シフトレバーが N に入らない場合

### 3 ブレーキペダルを両足で踏み続け、可能な限り減速させる

### 4 次の手順でエンジンを停止する

エンジンスイッチを 2 秒以上押し続けるか、素早く 3 回以上連続で押してエンジンを停止する



### 5 車を安全な道路脇に停める

## 知識

### ■ エンジンを再始動するには

走行時のエンジン緊急停止後にエンジンを再始動するには、シフトレバーを Nにしてからエンジンスイッチを短く確実に押します。

## 警告

### ■ 走行中にやむを得ずエンジンを停止するとき

走行中にエンジンを停止してもハンドルやブレーキの操作は可能ですが、車両が停止する前に操作力補助がなくなり、ハンドルとブレーキの操作が困難になるおそれがあるため、車のコントロールがしにくくなり危険です。エンジンを停止する前に、十分に減速するようにしてください。

## 水没・冠水したときは

この車両は水深が深い道路を走行できるように設計されていません。冠水路または冠水のおそれがある道路は、走行しないでください。車両が水没や漂流することが予想される場合は、車内に留まると危険です。落ち着いて次のように対処してください。

- ドアを開けることができる場合、ドアを開けて車外に出てください。
- ドアを開けることができない場合、パワーウィンドウスイッチでドアガラスを開けて避難経路を確保してください。
- ドアガラスが開けられる場合、窓から車外に出てください。
- 水没によりドアおよびドアガラスを開けることができない場合、落ち着いて車内外の水圧差がなくなるまで車内が浸水するのを待ってからドアを開けて車外に出てください。

車外の水位がドア高さの半分を超えると、水圧で車内からドアを開けることができなくなります。

## 知識

### ■ 水位がフロアを超えると

水位がフロアを超えて時間が経過すると、電気装置が損傷し、パワーウィンドウやパワースライドドア★が作動しなくなったり、エンジンが停止し、車が移動できなくなるおそれがあります。

★ : グレード、オプションなどにより、装

備の有無があります。

### ■緊急脱出用ハンマー<sup>\*</sup> の使用について

合わせガラスは、緊急脱出用ハンマー<sup>\*</sup>で割ることができます。

この車両のドアガラスとリヤウインドウガラスに合わせガラスは使用されています。

\* 詳しくはトヨタ販売店にお問い合わせください。

### !**警告**

#### ■走行中の警告

冠水路または冠水のおそれがある道路は、走行しないでください。車両が故障して動かなくなり、水没や漂流から死亡につながるおそれがあります。

## 車中泊が必要なときは

### !**警告**

車中泊としてお車をご利用になる場合は、エコノミークラス症候群や熱中症、一酸化炭素中毒などのリスクを伴うため十分注意してください。

●詳しい注意事項などを以下の URL で確認することができます。

[https://www.toyota.co.jp/jpn/  
sustainability/social\\_contribution/  
tdrs/emergency](https://www.toyota.co.jp/jpn/sustainability/social_contribution/tdrs/emergency)



## けん引について

けん引は、できるだけトヨタ販売店または専門業者にご依頼ください。

その場合は、レッカー車または、車両運搬車を使用することをおすすめします。

やむを得ず他車にロープでけん引してもらう場合は、車両積載車までの移動など、できるだけ短距離にとどめてください。

### ⚠ 警告

次のことを必ずお守りください。お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

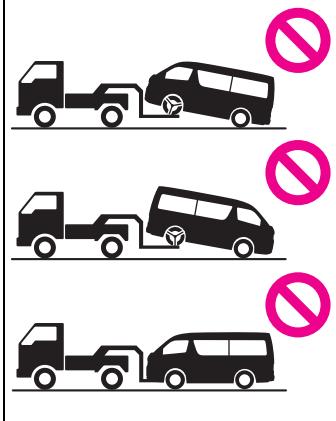
#### ■ レッカー車でけん引するとき

##### ▶ FR 車

必ず4輪とも持ち上げた状態で運搬してください。タイヤが地面に着いた状態でけん引すると、駆動系部品が破損したり、車の向きがかわり事故につながりするおそれがあります。

##### ▶ 4WD車

4輪とも持ち上げた状態で運搬してください。タイヤが地面に着いた状態でけん引すると、駆動系部品が破損したり車が台車から飛び出したりするおそれがあります。



#### ■ 他車にけん引してもらうときの運転について

- けん引フックやロープに過剰な負荷をかける急発進などを避けてください。

けん引フックやロープが破損し、その破片が周囲の人などにあたり、重大な傷害を与えるおそれがあります。

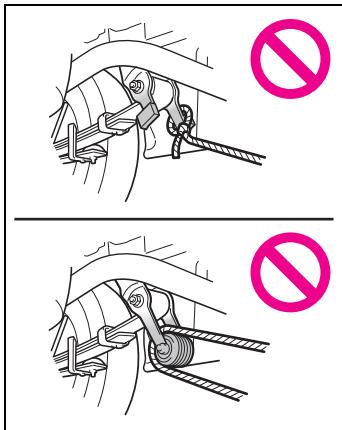
#### ■ けん引フックを車両に取り付けるとき

指定の位置にしっかりと取り付けてください。

指定の位置にしっかりと取り付けないとけん引時にフックがはずれるおそれがあります。

## ⚠ 警告

- やむを得ず他車をけん引するときは  
図のようなリーフスプリング付きの車両は、図に示す部分でのけん引は絶対にしないでください。



## ■ リーフスプリングについて

やむを得ない場合以外は使用しないでください。装置の変形や車両の損傷などにつながるおそれがあります。

## けん引の前に販売店への連絡が必要な状況

次の場合は、駆動系の故障が考えられるため、トヨタ販売店または専門業者へご連絡ください。

- エンジンはかかるが車が動かない
- 異常な音がする

## レッカー車でけん引するには

- ▶ 前向きにけん引するときは



台車を使用して後輪を持ち上げる

- ▶ うしろ向きにけん引するときは



台車を使用して前輪を持ち上げる

## ⚠ 注意

### ■ 車両の損傷を防ぐために

- 他車にけん引してもらうときは次のことを必ずお守りください。
  - ・ ワイヤーロープは使用しない
  - ・ 速度 30km/h 以下、距離 80km 以内でけん引する
  - ・ 前進方向でけん引する
  - ・ サスペンション部などにロープをかけない

- この車両で他車やボート（トレーラー）などをけん引しないでください。

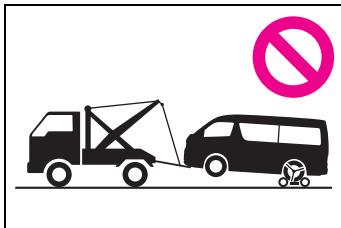
### ■ 長い下り坂でけん引するときは

レッカー車で 4 輪とも持ち上げた状態でけん引してください。レッカー車でけん引しないと、ブレーキが過熱し効きが悪くなるおそれがあります。

**⚠ 注意**

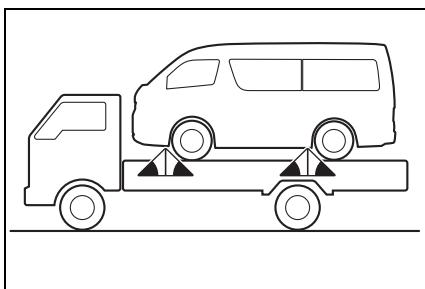
**■ レッカーカー車でけん引するとき**

車両の損傷を防ぐために図のようなレッカーカー車ではけん引しないでください。



**車両運搬車を使用するとき**

鎖やケーブルなどを使用して車両を固縛する場合は図に黒く示す角度が45°になるように固縛する



**⚠ 注意**

**■ 車両運搬車に車を固縛するとき**

ケーブル等を過度に締め付け過ぎないでください。車両の損傷につながるおそれがあります。

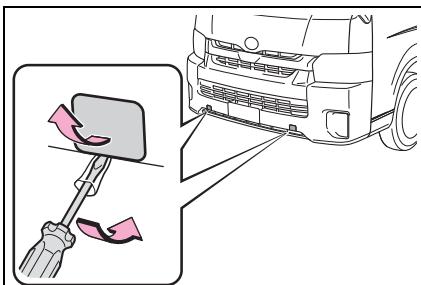
**他車にけん引してもらうとき**

他車にけん引してもらうときは、けん引フックを取り付ける必要があります。手順に従って取り付けてください。

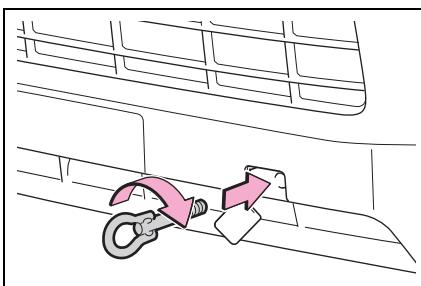
**1 工具袋からホイールナットレンチ、けん引フックを取り出す  
(→P.285)**

**2 マイナスドライバーを使ってフタをはずす**

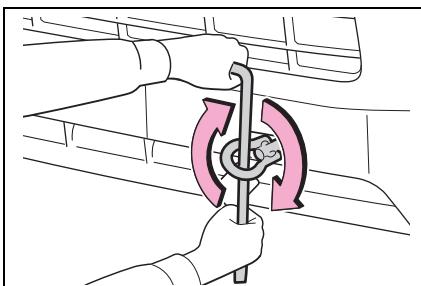
傷が付くのを防ぐため、マイナスドライバーの先端に布などを巻いて保護してください。



**3 けん引フックを穴に挿し込んでまわし、軽く締める**



**4 ホイールナットレンチや金属の固い棒などを使い確実に取り付ける**

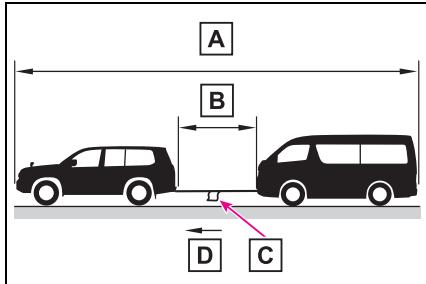


## 5 車体に傷が付かないようにロープをけん引フックにかける

車体に傷が付かないように注意してください。また、前進方向でけん引してください。

## 6 ロープの中央に白い布を付ける 布の大きさ：

0.3m 平方 (30cm×30cm) 以上



**A** 25m 以内

**B** 5m 以内

**C** 白い布

**D** けん引方向

## 7 運転者はけん引される車両に乗 り、エンジンを始動する

エンジンが始動しないときは、エンジンスイッチを ON にしてください。

## 8 けん引される車両のシフトレ バーを N にしてから、パークィ グブレーキを解除する

けん引中は、ロープがたるまないよう、減速時なども前の車の速度に合わせてください。

シフトレバーがシフトできないときは：→P.125

使うものであり、他車をけん引するためのものではありません。

### ■他車にけん引してもらうときに

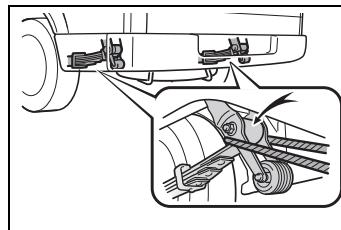
エンジンが停止しているとブレーキの効きが悪くなったり、ハンドル操作が通常より重くなったりします。

### ■ホイールナットレンチについて

工具袋に搭載されています。（→P.285）

### ■リーフスプリングについて

リーフスプリングは、自車より軽い車をやむを得ず一般路上でロープによりけん引するときに使用することができます。ロープは図に示す箇所にかけてください。



### □ 知識

#### ■けん引フックの使用目的

けん引フックはけん引してもらうときに

## フューエルポンプシャットオフシステム（ガソリン車）

エンジン停止時および SRS エアバッグ作動時は、フューエルポンプシャットオフシステムが作動し、燃料供給を停止し、燃料もれを最小限に抑えます。

### システム作動後にエンジンを再始動するには

システムが作動したあと、エンジンを始動するには、次の手順に従ってください。

- 1 エンジンスイッチを ACC または OFF にする
- 2 エンジンを再始動する



#### ■ エンジンを始動する前に

車両下をよく確認してください。  
地面に燃料もれを見つけた場合は、燃料システムに損傷があり、修理する必要があります。その場合はエンジンを再始動しないでください。

## 警告灯がついたときは

警告灯が点灯または点滅したままの場合は、落ち着いて次のように対処してください。なお、点灯・点滅しても、その後消灯すれば異常ではありません。ただし、同じ現象が再度発生した場合は、トヨタ販売店で点検を受けてください。

### 警告灯・警告ブザーへの対応

#### ■ ブレーキ警告灯（警告ブザー）

警告灯	警告内容・対処方法
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ブレーキ液の不足</li> <li>●ブレーキ系統の異常</li> </ul> <p>→ ただちに安全な場所に停車し、トヨタ販売店へ連絡してください。走行を続けると危険です。</p>

#### ■ 充電警告灯

警告灯	警告内容・対処方法
	<p>充電系統の異常</p> <p>→ ただちに安全な場所に停車し、トヨタ販売店へ連絡してください。</p>

#### ■ 高水温警告灯※（警告ブザー）

警告灯	警告内容・対処方法
	<p>エンジン冷却水の高温異常</p> <p>→ ただちに安全な場所に停車してください。(対処方法: →P.302)</p>

\* マルチインフォメーションディスプレイに表示されます。

#### ■ 油圧警告灯※（警告ブザー）

警告灯	警告内容・対処方法
	<p>エンジンオイルの圧力が異常に低いと表示されます。</p> <p>→ ただちに安全な場所に停車し、トヨタ販売店へ連絡してください。</p>

\* マルチインフォメーションディスプレイに表示されます。

### ■ エンジン警告灯

警告灯	警告内容・対処方法
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● エンジン電子制御システムの異常</li> <li>● 電子制御スロットルの異常</li> <li>● トランスマッision電子制御システムの異常</li> <li>● 排出ガス浄化装置の異常 → ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。</li> </ul>

### ■ SRS エアバッグ／プリテンショナー警告灯

警告灯	警告内容・対処方法
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● SRS エアバッグシステムの異常</li> <li>● プリテンショナー付きシートベルトシステムの異常 → ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。</li> </ul>

### ■ ABS & ブレーキアシスト警告灯

警告灯	警告内容・対処方法
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ABS の異常</li> <li>● ブレーキアシストの異常 → ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。</li> </ul>

### ■ PCS 警告灯（警告ブザー）

警告灯	警告内容・対処方法
	<p>PCS（プリクラッシュセーフティ）の異常が考えられます。 → マルチインフォメーションディスプレイに表示されているメッセージの指示に従ってください。</p> <p>プリクラッシュセーフティが OFF、または VSC（ビークルスタビリティコントロール）システムが停止しているときも点灯します。</p>

### ■ クリアランスソナー OFF 表示灯（警告ブザー）

警告灯	警告内容・対処方法
	<p>クリアランスソナーの異常 → ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● センサー部の汚れなどによりシステムが一時的に使用できない → マルチインフォメーションディスプレイに表示されているメッセージの指示に従ってください。（→P.281）</li> </ul>

## ■ スリップ表示灯

警告灯	警告内容・対処方法
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●VSC システムの異常</li> <li>●TRC システムの異常</li> <li>●ヒルスタートアシストコントロールシステムの異常</li> </ul> <p>ヒルスタートアシストコントロールを除く上記のシステムの作動時は点滅します。</p> <p>→ ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。</p>

## ■ LDA 表示灯 ※ (警告ブザー)

警告灯	警告内容・対処方法
 (黄色)	<p>LDA (レーンディバーチャーアラート) の異常が考えられます。</p> <p>→ マルチインフォメーションディスプレイに表示されているメッセージの指示に従ってください。</p>

\* マルチインフォメーションディスプレイに表示されます。

## ■ クルーズコントロール表示灯 (警告ブザー)

警告灯	警告内容・対処方法
 (黄色)	<p>クルーズコントロールの異常が考えられます。</p> <p>→ マルチインフォメーションディスプレイに表示されているメッセージの指示に従ってください。</p>

## ■ レーダークルーズコントロール表示灯 (警告ブザー)

警告灯	警告内容・対処方法
 (黄色)	<p>レーダークルーズコントロールの異常が考えられます。</p> <p>→ マルチインフォメーションディスプレイに表示されているメッセージの指示に従ってください。</p>

### ■ ペダル誤操作警告灯<sup>\*</sup>（警告ブザー）

警告灯	警告内容・対処方法
	<p>ブザーが鳴った場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ブレーキオーバーライドシステムの異常</li> <li>●ドライブスタートコントロール作動時</li> <li>●ドライブスタートコントロールの異常</li> </ul> <p>→マルチインフォメーションディスプレイに表示されているメッセージの指示に従ってください。</p> <p>ブザーが鳴らなかつた場合：</p> <p>ブレーキオーバーライドシステム作動時</p> <p>→アクセルペダルから足を離し、ブレーキペダルを踏んでください。</p> <p>パーキングサポートブレーキ（PKSB）作動時にも点灯します。（→P.184）</p>

\* マルチインフォメーションディスプレイに表示されます。

### ■ 運転支援情報表示灯

警告灯	警告内容・対処方法
	<p>次のシステムに異常が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●PCS（プリクラッシュセーフティ）</li> <li>●LDA（レーンディィパー-チャアラート）</li> </ul> <p>→マルチインフォメーションディスプレイに表示されているメッセージの指示に従ってください。</p> <p>次のシステムに異常、または停止が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●PKSB（パーキングサポートブレーキ）</li> </ul> <p>→マルチインフォメーションディスプレイに表示されているメッセージの指示に従ってください。</p>

### ■ パーキングブレーキ表示灯<sup>\*</sup>（警告ブザー）

警告灯	警告内容・対処方法
	<p>パーキングブレーキの未解除</p> <p>パーキングブレーキが解除されていないときも点灯します。</p> <p>解除後、消灯すれば正常です。</p> <p>→パーキングブレーキを解除する</p>

\* パーキングブレーキ未解除走行時警告ブザー：パーキングブレーキをかけたまま、車速が5km/hをこえたとき、警告ブザーが鳴ります。

## ■ 燃料残量警告灯

警告灯	警告内容・対処方法
	燃料の残量が約 10.5 L 以下になった → 燃料を補給する

## ■ 運転席・助手席シートベルト非着用警告灯（警告ブザー※）

警告灯	警告内容・対処方法
	運転席・助手席シートベルトの非着用 → シートベルトを着用する

※ 運転席・助手席シートベルト非着用警告ブザー：

運転席・助手席シートベルト非着用のまま車速が一定以上になると警告ブザーが一定時間断続的に鳴ります。

## ■ AdBlue® 残量警告灯★

警告灯	警告内容・対処方法
	AdBlue® の残量不足により再始動できなくなるおそれがある → AdBlue® を補充してください。（→P.239）

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

### □ 知識

#### ■ シートベルト非着用警告灯の乗員検知センサーの作動について

- 助手席に乗員がいなくとも、シートに荷物などを置くと、センサーが重量を検知して警告灯が点滅することがあります。
- 助手席に座布団などを敷くと、センサーが乗員を検知せず警告灯が作動しないことがあります。

#### ■ 警告ブザーについて

状況によっては、外部の騒音やオーディオの音などにより、ブザー音が聞こえない場合があります。

### ▲ 警告

■ 警告灯の点灯や警告ブザーの吹鳴に合わせて、マルチインフォメーションディスプレイに警告メッセージが表示されたとき

メッセージの内容に従って対処してください。お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

**⚠ 警告**

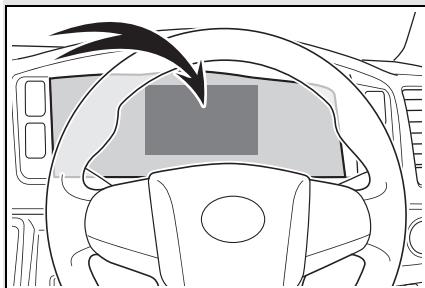
- ABS 警告灯とブレーキ警告灯が同時に点灯したとき

ただちに安全な場所に停車し、トヨタ販売店にご連絡ください。

ABS またはブレーキアシストシステムに異常が発生しているだけでなく、強めのブレーキの際に車両が不安定になるおそれがあり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

**警告メッセージが表示されたときは**

マルチインフォメーションディスプレイには、システムの故障や誤った操作をしたときの警告、メンテナンスが必要であることをお知らせするメッセージが表示されます。メッセージが表示されたときは、メッセージの内容に従って対処してください。



処置後に再度メッセージが表示されたときは、トヨタ販売店へご連絡ください。

## メッセージと警告作動

メッセージの内容によって警告灯や警告ブザーの作動が次のように切りかわります。ディーラーで点検をするように表示されたときは、ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

警告灯	警告ブザー*	警告内容
—	あり	<ul style="list-style-type: none"> <li>走行にかかわるシステムの故障や、そのまま放置すると思わぬ危険を招くおそれがあるなどの重要なメッセージを意味します。</li> <li>車両への損傷や、思わぬ危険を招くおそれがあるなどのメッセージを意味します。</li> </ul>
点灯または点滅	あり	表示されたシステムに故障のおそれがあるなどのメッセージを意味します。
—	なし	<ul style="list-style-type: none"> <li>電装品の故障や状態、メンテナンスのお知らせなどのメッセージを意味します。</li> <li>車両を正しく操作していない場合や、操作方法のアドバイスなどを意味します。</li> </ul>

\* メッセージを最初に表示したときに作動します。



### 知識

#### ■ 警告メッセージについて

文中の警告メッセージの表示は、使用状況や車両の仕様により実際の表示と異なる場合があります。

#### ■ 警告ブザーについて

状況によっては、外部の騒音やオーディオの音などにより、ブザー音が聞こえない場合があります。

#### ■ “販売店で点検してください” の警告メッセージが表示されたとき

警告メッセージで名称が表示されたシステム、または部位などに問題が発生しています。

すみやかにトヨタ販売店で点検を受けてください。

#### ■ 各部の操作に関するメッセージが表示されたとき

- アクセルペダル・ブレーキペダルの操作に関するメッセージが表示されたとき
- PCS（プリクラッシュセーフティ）やレーダークルーズコントロールなどの走行支援システムの作動中、ブレーキ操作に関する警告メッセージが表示される場合があります。  
メッセージが表示されたときは、必ず減速、または画面で指示された操作を行ってください。
- ブレーキオーバーライドシステムが作動したときに、警告メッセージが表示されます。（→P.112）
- ドライブスタートコントロールが作動したときに、警告メッセージが表示されます（→P.118）。  
画面の指示に従って対処してください。
- エンジンスイッチの操作に関するメッ

### セージが表示されたとき

正しい手順で始動操作をしていないときや、誤操作の可能性があるときなどに、エンジンスイッチの操作に関するアドバイスが表示されます。

画面の指示に従って操作し直してください。

### ●シフトレバーの操作に関するメッセージが表示されたとき

誤ったシフトポジションの選択や、停車中の意図せぬ車両の動き出しなどを防止するため、シフトレバーの操作が指示されることがあります。

その場合は、画面の指示に従ってシフトポジションを変更してください。

### ●各部の開閉状態や、消耗品の補充などに関するメッセージ・画像が表示されたとき

画面の表示、または警告灯で指示された部位を確認し、開いているドアを閉めたり、消耗品を補充したりするなどの対処を行ってください。

### ■取扱説明書の確認をうながすメッセージが表示されたとき

- 次のメッセージが表示されたときは、対処方法に従ってください。
  - ・“エンジン冷却水高温”（→P.302）
  - ・“AdBlue を 3000km 以内に 補充必要”（→P.239）
  - ・“AdBlue が低下 2000km 以内に 補充必要”（→P.239）
  - ・“あと 800km で 再始動不可 AdBlue 補充必要”（→P.239）
  - ・“エンジン再始動不可 AdBlue 補充必要”（→P.239）
  - ・“DPF 再生不十分”（→P.200）
- “スマートエントリー＆スタートシステム故障”的メッセージが表示されたときは、故障している可能性があります。ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

●次のメッセージが表示されたときは、ただちに安全な場所に停車し、トヨタ販売店へ連絡してください。走行を続けると危険です。

- ・“エンジン油圧不足”
- ・“故障のためブレーキ力が低下”

●“燃料フィルタに水がたまっています”的メッセージが表示されたときは、燃料フィルタ内に規定レベル以上の水がたまっています。ただちに安全な場所に停車し、トヨタ販売店へ連絡してください。

### ■“駐車時はPレンジに入れてください”が表示されたとき

シフトレバーが P 以外でエンジンスイッチを OFF にせずに運転席ドアが開いたときにメッセージが表示されます。駐車時は P にしてください。

### ■“バッテリー保護のため自動で電源を Off しました”が表示されたとき

自動電源 OFF 機能が作動したときに表示されます。

この場合、次回エンジン始動時にエンジン回転数を少し高めにし、約 5 分間その回転数を保持しバッテリーを充電してください。

### ■“エンジンオイル量不足 補充するか、交換してください”が表示されたとき

エンジンオイルが不足しているときにメッセージが表示されます。エンジンオイル量を点検し、オイルを補給してください。

また、傾斜路などに停車したときに表示される場合があります。水平な路面に移動し、メッセージが表示されるか確認してください。

### ■“DPF 再生不十分 取扱書を確認し手動再生を実施ください”が表示されたとき

排出ガス浄化装置に捕集したススの燃焼

処理が必要です。

→P.200

### ■ “DPF 再生中” が表示されたとき

排出ガス浄化装置に捕集したススの燃焼処理が自動で行われています。→P.199

### ■ “アクセルとブレーキが両方踏まれています” が表示されたとき

アクセルペダルとブレーキペダルが同時に踏まれているため、ブレーキオーバーライドシステムが作動しています。

(→P.112) アクセルペダルから足を離し、ブレーキペダルを踏んでください。

### ■ “エンジン停止のためハンドルが重くなります” が表示されたときは

走行中にエンジンが停止したときにメッセージが表示されます。

ハンドル操作が通常より重いときは、ハンドルをしっかりと持ち、通常より強く操作してください。

### ■ “温度条件により高負荷走行を控えてください” が表示されたときは

次のような状況の時にメッセージが表示される場合があります。

#### ● エンジン暖機中

● 高負荷走行を長時間継続し、トランスミッションフルードが高温になった場合

負荷の高い走行を控えてしばらく走行してください。

### ■ “アクセルを戻してください” が表示されたときは

次の機能が作動したときに表示されます。アクセルペダルから足を離し、ブレーキペダルを踏んでください。

・ ドライブスタートコントロール  
(→P.118)

・ プラスサポート（販売店装着オプション）(→P.189)

### ■ “機能停止 ソナーに水滴、雪等が付着しています” が表示されたときは

クリアランスソナーのセンサーに水滴、氷・雪・泥などが付着していることが考えられます。この場合はセンサーの水滴、氷・雪・泥などを取り除けば、正常に復帰します。

また、低温時にはセンサーの凍結などにより異常表示が出たり、静止物があっても検知しないことがあります。氷が解ければ、正常に復帰します。

汚れているセンサーの位置はディスプレイ上に表示されます。水滴・氷・雪・泥がないのに異常表示が出ている場合は、センサーの異常が考えられますので、トヨタ販売店で点検を受けてください。

### ■ “機能停止 周辺監視用カメラ視界不良取扱書を確認” が表示されたときは

次のいずれかのシステムが停止しています。

#### ● PKSB (パーキングサポートブレーキ) ★

後方カメラの汚れや付着物を取り除いてください。

### ■ “機能故障 販売店で点検” が表示されたときは

次のいずれかのシステムが停止しています。

#### ● PCS (プリクラッシュセーフティ)

#### ● LDA (レーンディバーチャーラート)

#### ● AHB (オートマチックハイビーム)

#### ● レーダークルーズコントロール

#### ● RSA (ロードサインアシスト)

#### ● 発進遅れ告知

- クリアランスソナー

- PKSB (パーキングサポートブレーキ) ★

すみやかにトヨタ販売店で点検を受けてください。

★ : グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

#### ■ “機能停止 取扱書を確認” が表示されたときは

次のいずれかのシステムが停止しています。

- PCS (プリクラッシュセーフティ)

- LDA (レーンディバーチャーラート)

- AHB (オートマチックハイビーム)

- レーダークルーズコントロール

- RSA (ロードサインアシスト)

- 発進遅れ告知

- クリアランスソナー

- PKSB (パーキングサポートブレーキ) ★

次の対処法に従ってください。

- ・ バッテリー電圧を確認する
- ・ Toyota Safety Sense で使用するセンサーに付着物がないか確認し、あつた場合には取り除いてください。  
(→P.147)
- ・ RCD 装着車：バックドアが開いていないか確認してください。

センサーが正しく作動しなくなる状況を確認し、該当する場合は改善してください。  
(→P.146, 179)

- ・ センサーとカメラに付着物がないか確認し、ある場合には取り除いてください

い。(→P.177)

- ・ センサー周辺のリヤバンパーに付着物がないか確認し、ある場合は取り除いてください。(→P.177)

センサーが正しく作動しなくなる状況が解決すると、表示が消える場合があります。

★ : グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

#### ■ “機能停止 前方カメラ視界不良 取扱書を確認” が表示されたときは

次のいずれかのシステムが停止しています。

- PCS (プリクラッシュセーフティ)

- LDA (レーンディバーチャーラート)

- AHB (オートマチックハイビーム)

- レーダークルーズコントロール

- RSA (ロードサインアシスト)

- 発進遅れ告知

次の対処法に従ってください。

- ・ ワイパー機能を使って、フロントウインドウガラスの汚れや付着物を取り除く。
- ・ エアコン機能を使って、フロントウインドウガラスの曇りを取り除く。
- ・ ボンネットを閉じる、またはステッカーを剥がすなど、カメラの視界を遮らないようにする。

★ : グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

#### ■ “機能停止 前方カメラ作動温度範囲外常温までお待ちください” が表示されたときは

次のいずれかのシステムが停止しています。

- PCS (プリクラッシュセーフティ)
- LDA (レーンディパーサーチャーラート)
- AHB (オートマチックハイビーム)
- レーダークルーズコントロール
- RSA (ロードサインアシスト)
- 発進遅れ告知

次の対処法に従ってください。

- ・ 炎天下での駐車時など、前方カメラが高温のときは、エアコンでカメラ周辺の温度を下げる
- ・ 特に駐車時に太陽光を反射するサンシェードなどをフロントウインドウガラスに使用すると前方カメラが高温になります
- ・ 極寒での駐車時など、前方カメラが低温の時は、エアコンで前方カメラ周辺の温度を上げる

★ : グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

#### ■ “機能停止 前方レーダー汚れ 汚れを除去してください”が表示されたときは

次のいずれかのシステムが停止しています。

- PCS (プリクラッシュセーフティ)
- レーダークルーズコントロール
- 発進遅れ告知

次の対処法に従ってください。

- ・ レーダーおよびレーダー専用カバーに付着物がないか確認し、あった場合は取り除いてください。 (→P.146)
  - ・ 砂漠・草原・郊外などの、周辺車両や構造物が少ない広々とした地域を走行すると表示される場合があります。
- 車両周辺に構造物や車両などが存在す

る場所まで走行すると、表示が消える場合があります。

#### ■ “機能停止 前方レーダー作動温度範囲 外 常温までお待ちください”が表示されたときは

次のいずれかのシステムが停止しています。

- PCS (プリクラッシュセーフティ)
- レーダークルーズコントロール
- 発進遅れ告知

レーダー周辺の温度が作動条件外です。  
適切な温度になるまでお待ちください。

#### ■ “機能停止 前方レーダー向き調整中 取扱書を確認”が表示されたときは

次のいずれかのシステムが停止しています。

- PCS (プリクラッシュセーフティ)
- レーダークルーズコントロール
- 発進遅れ告知

次の対処法に従ってください。

- ・ レーダーおよびレーダー専用カバーに付着物がないか確認し、あった場合には取り除いてください。 (→P.146)
- ・ レーダーの向きがずれている可能性があり、レーダーが走行中に自動で再調整しています。しばらく走行を続けてください。

#### ■ “クルーズコントロール 使用できません 取扱書を確認してください”が表示されたときは

次のいずれかのシステムが停止しています。

- レーダークルーズコントロール
- クルーズコントロール

走行支援スイッチを短時間に繰り返し操

作したときにメッセージが表示されることがあります。走行支援スイッチを短く確実に押してください。

### ⚠ 警告

- 警告灯の点灯や警告ブザーの吹鳴に合わせて、マルチインフォメーションディスプレイに警告メッセージが表示されたとき

→P.277

### ⚠ 注意

- エンジンオイル量に関する警告が表示されたとき

エンジンオイルが不足した状態で走行を続けると、エンジンの損傷につながります。

- “燃料フィルタに水がたまっています 取扱書を確認してください” が表示されたとき

警告メッセージが表示されたまま走行しないでください。燃料フィルタ内に水がたまつた状態で走行を続けると、燃料噴射ポンプの損傷につながります。

## パンクしたときは

パンクしたタイヤを、備え付けのタイヤと交換してください。  
(タイヤについての詳しい説明は P.242 を参照してください)

### ⚠ 警告

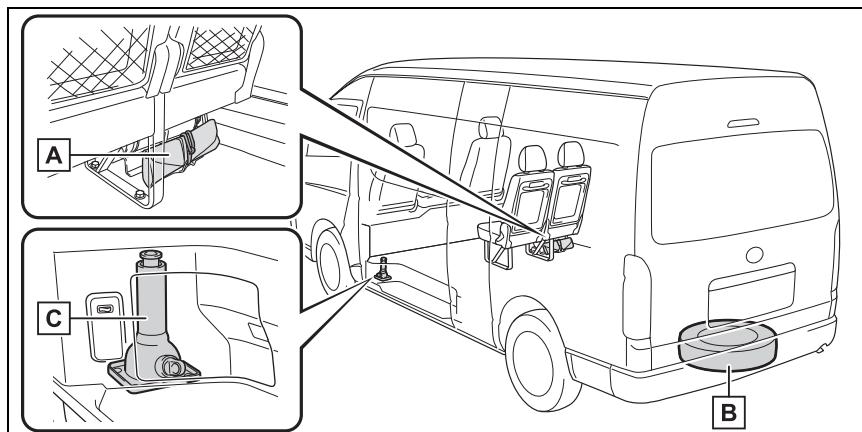
- タイヤがパンクしたとき

パンクしたまま走行しないでください。短い距離でも、タイヤとホイールが修理できないほど損傷したり、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

## ジャッキで車体を持ち上げる前に

- 地面が固く平らで安全な場所に移動する
- パーキングブレーキをかける
- シフトレバーを P にする
- エンジンを停止する
- 非常点滅灯を点滅させる  
(→P.263)
- パワースライドドア装着車：パワースライドドアメインスイッチを OFF にする (→P.75)

## スペアタイヤ・工具・ジャッキの位置



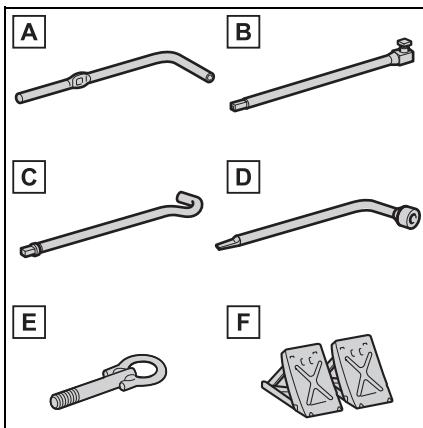
**A** 工具袋（工場出荷時）

**B** スペアタイヤ

**C** ジャッキ

### 工具

工具袋の中に収納されています。  
(工具袋の取り出し方 : →P.286)



**A** ジャッキハンドル

**B** ジャッキハンドル延長用バー

**C** ジャッキハンドルバー

**D** ホイールナットレンチ

**E** けん引フック

**F** 輪止め

### 警告

#### ■ ジャッキの使用について

次のことをお守りください。

ジャッキの取り扱いを誤ると、車が落下して重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- ジャッキはタイヤ交換・タイヤチェーン取り付け・取りはずし以外の目的で使用しない

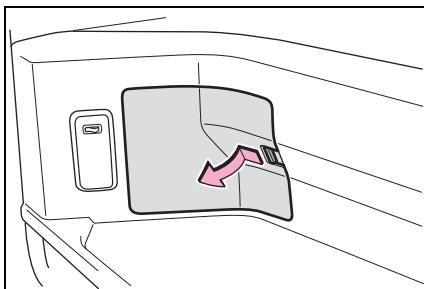
- 備え付けのジャッキは、お客様の車にしか使うことができないため、他の車に使ったり他の車のジャッキをお客様の車に使用したりしない

## ⚠ 警告

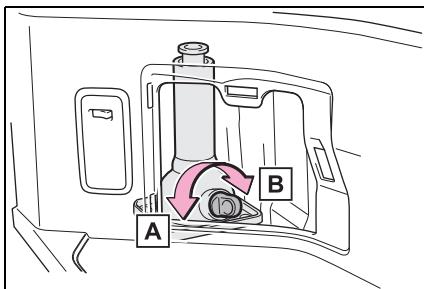
- ジャッキはジャッキセット位置に正しくかける
- ジャッキで支えられている車の下に体を入れない
- 車がジャッキで支えられている状態で、エンジンを始動したり車を走らせない
- 車内に人を乗せたまま車を持ち上げない
- 車を持ち上げるときは、ジャッキの上または下にものを置かない
- 車を持ち上げるときは、タイヤ交換できる高さ以上に上げない
- 車の下にもぐり込んで作業する場合は、ジャッキスタンドを使用する
- 地面が固く平らな場所に停車し、パーキングブレーキをかけてシフトレバーをPにする
- 対角の位置にあるタイヤに輪止めをする
- 車を下げるときは、周囲に人がいないことを確認し、人がいるときは声をかけてから下げる
- ジャッキハンドルを使用するときは**  
使用中、不意に分解しないように、  
ジャッキハンドル各部を確実に組み付け、接続用ボルトをしっかりと締め付けてください。 (→P.288)

## ジャッキを取り出すには

- 1 ツメを引きながら、カバーを取りはずす



- 2 ジャッキをゆるめて取りはずす



A ゆるむ

B 締まる

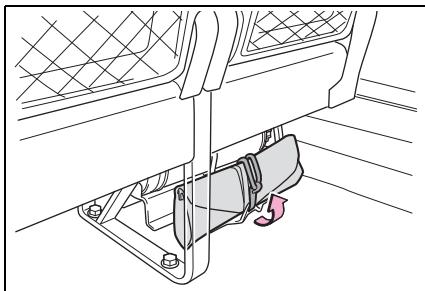
使用後はもとの位置にもどし、確実に固定してください。

## 工具袋を取り出すには

固定バンドをはずす

使用後はもとの位置にもどします。

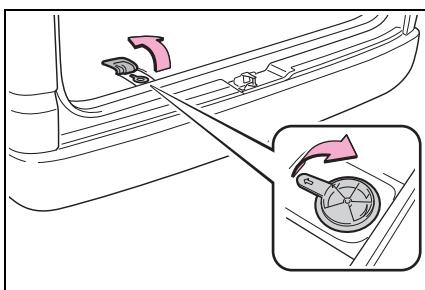
固定バンドで確実に固定してください。



### スペアタイヤを取り出すには

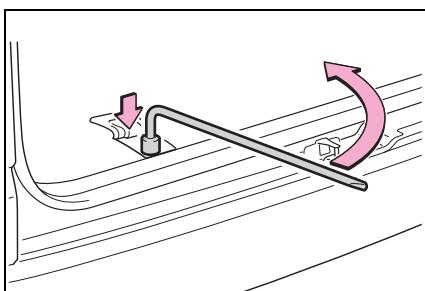
- 1 バックドアを開けてからキャップをはずす

マットの切り欠き部分をめくり、キャップをはずします。



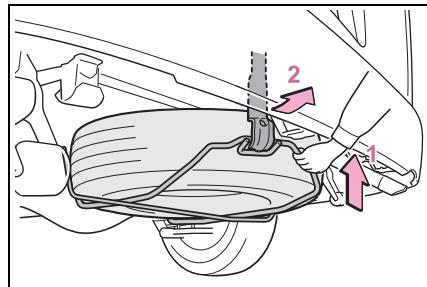
- 2 ホイールナットレンチを使って、スペアタイヤ格納具がフックからはずせる程度にボルトをゆるめる

ボルトをゆるめすぎると、格納具が落下するおそれがあるため注意してください。

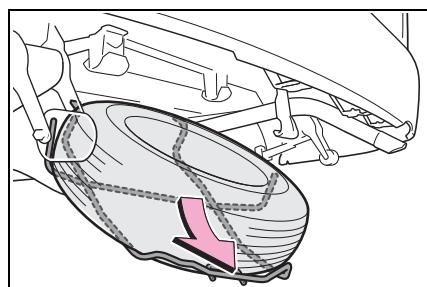


- 3 スペアタイヤ格納具を少し持ち上げ（1）、フックを手前に引いてはずす（2）

格納具が落下しないように、手でしっかりと支えてください。



- 4 スペアタイヤ格納具を地面に降ろして、スペアタイヤを取り出す



- 5 スペアタイヤ格納具をいったんもとにもどす

格納具をフックにかけ、ボルトを締め付けてもとにもどします。

スペアタイヤを格納するとき：→P.292

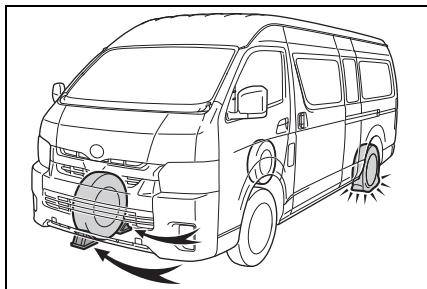
### ⚠ 警告

#### ■ スペアタイヤを収納するとき

ボーダーとスペアタイヤとのあいだに、指などを挟まないように注意してください。

## パンクしたタイヤを交換するには

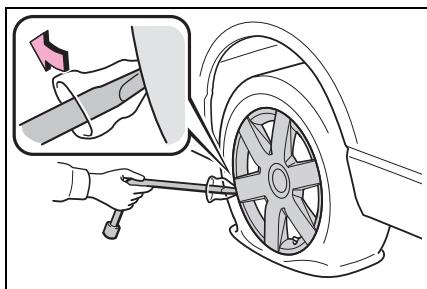
### 1 輪止めをする



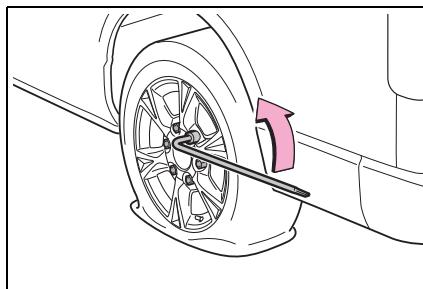
パンクしたタイヤ	輪止めの位置
左前輪	右側後輪の前後
右前輪	左側後輪の前後
左後輪	右側前輪の前後
右後輪	左側前輪の前後

### 2 ホイールキャップをはずす（スチールホイール装着車）

傷が付くのを防ぐため、図のように布などを巻いて保護してください。

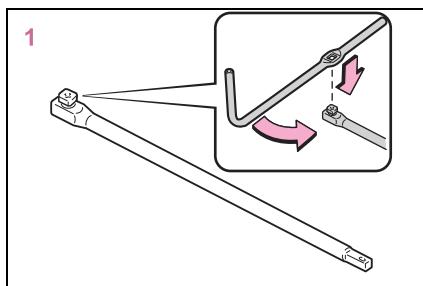


### 3 ナットを少し（約1回転）ゆるめる

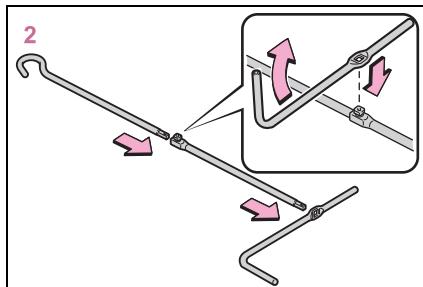


### 4 ジャッキハンドルを組み付ける

工具袋からジャッキハンドル、ジャッキハンドル延長用バー、ジャッキハンドルバーを取り出して以下の手順で組み付けてください。



### 1 ジャッキハンドルの穴部を使い、ジャッキハンドル延長用バーの接続用ボルトをゆるめる

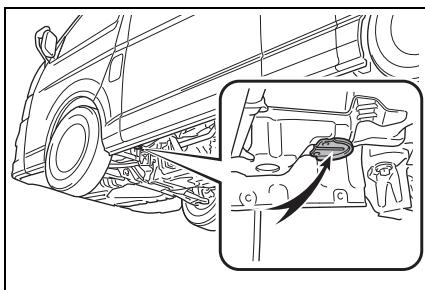


### 2 ジャッキハンドルバーとジャッキハンドル延長用バーとを接続して、ジャッキハンドルの穴部

を使い、接続用ボルトを締め付ける。ジャッキハンドル延長用バーをジャッキハンドルの穴部に確実に挿し込む。

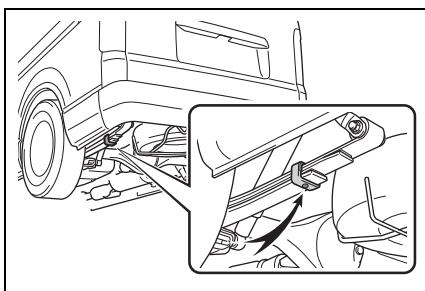
- 5 組み付けたジャッキハンドルをジャッキの穴部に挿し込み、ジャッキセット位置にジャッキをかける

▶ フロント側



▶ リヤ側（A タイプ）

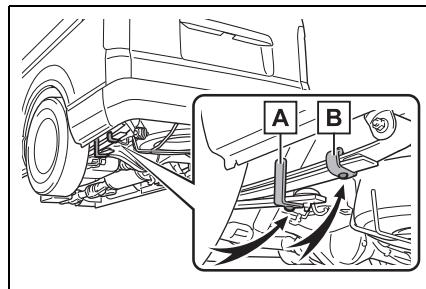
ジャッキ上部の溝を合わせてください。  
（→P.293）



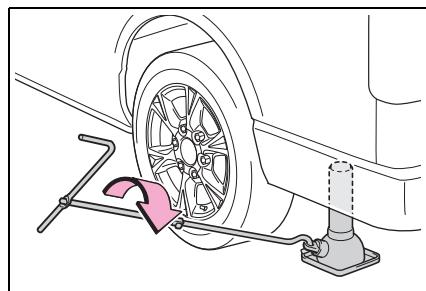
▶ リヤ側（B タイプ）

ジャッキ上部の溝を合わせてください。  
（→P.293）

路面状況などにより、**A** の位置にジャッキをセットできないときは、**B** の位置でジャッキアップしてください。

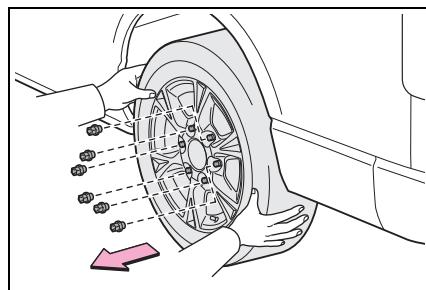


- 6 タイヤが地面から少し離れるまで、車体を上げる



- 7 ナットすべてを取りはずし、タイヤを取りはずす

タイヤを直接地面に置くときは、ホイールの意匠面に傷が付かないよう意匠面を上にします。



## ⚠️ 警告

### ■ タイヤ交換について

● 次のことを必ずお守りください。お守りいただかないと、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

- ・スペアタイヤは、ジャッキアップする前に格納具から取りはずしておく
- ・ホイールキャップ・センターオーナメントは直接手をかけて取らない
- ・走行直後、ディスクホイールやブレーキまわりなどにはふれないでください。走行直後のディスクホイールやブレーキまわりは高温になっているためタイヤ交換などで手や足などがふれると、やけどをするおそれがあります。

● 次のことをお守りいただかないとナットがゆるみ、ホイールがはずれ落ち、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- ・タイヤを交換したあとは、速やかに締め付けトルクを確認してください。締め付けトルク：100N・m（1020kgf・cm）
- ・タイヤの取り付けには、使用しているホイール専用のナットを使用する
- ・ボルトやナットのねじ部や、ホイールのボルト穴につぶれや亀裂などの異常がある場合は、トヨタ販売店で点検を受ける
- ・ナットを取り付けるときは、必ずテーパー部を内側にして取り付ける

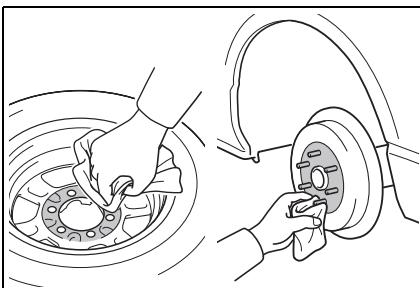
● タイヤ交換などをする際は、パワースライドドア★の作動（→P.75）を停止してください。停止しないと、誤ってパワースライドドア★を作動させたときにスライドドアが動き、指や手を挟んだけがをするおそれがあります。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

### スペアタイヤを取り付けるには

#### 1 ホイール接触面の汚れをふき取る

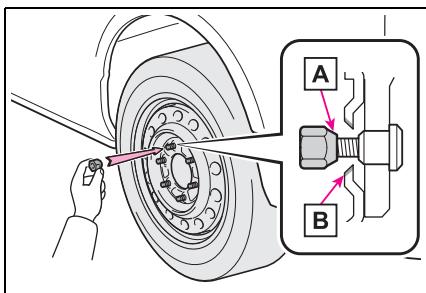
ホイール接触面が汚れていると、走行中にナットがゆるみ、タイヤがはずれるおそれがあります。



#### 2 スペアタイヤを取り付け、タイヤがたつかない程度まで手でナットを仮締めする

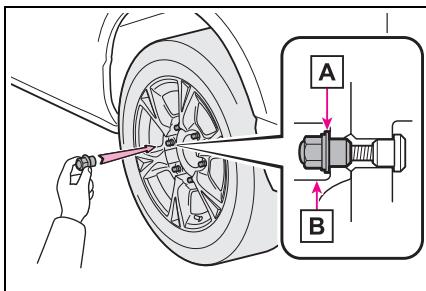
##### ▶ スチールホイール装着車

ナットのテーパー部[A]がホイールのシート部[B]にあたるまでまわします。

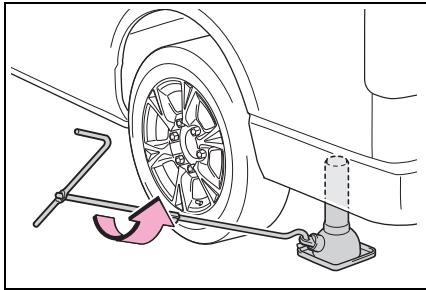


► アルミホイール装着車

ナットの座金 **A** がホイール **B** にあたるまでまわします。



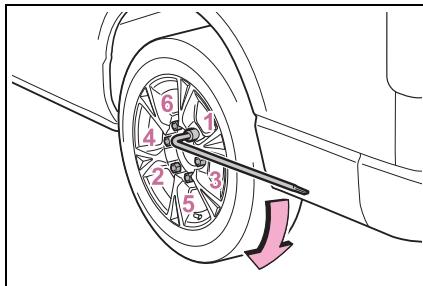
**3** 車体を下げる



**4** ホイールナットレンチを使用し、図の番号順でナットを2、3度しっかり締め付ける

締め付けトルク：

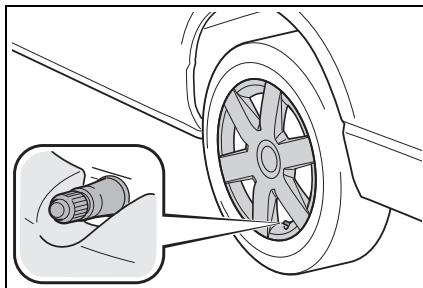
100N・m (1020kgf・cm)



**5** センターオーナメント、またはホイールキャップを取り付ける

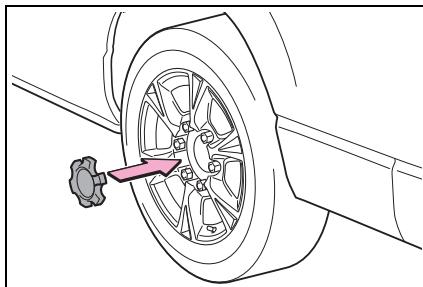
► スチールホイール装着車

タイヤのバルブ（空気口）に切り欠きを合わせてホイールキャップを確実に取り付けます。



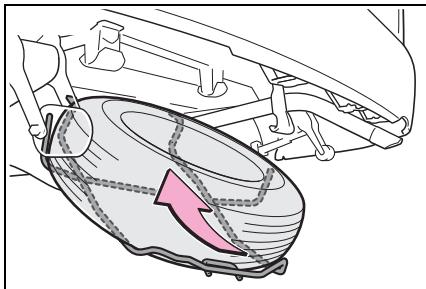
► アルミホイール装着車

はずしたタイヤからセンターオーナメントを取りはずして、交換したタイヤに取り付けます。



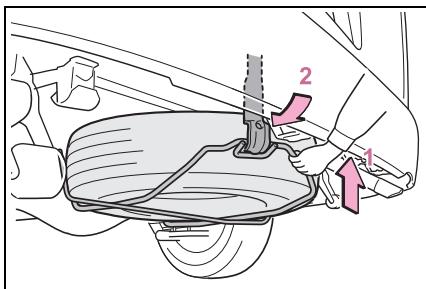
## スペアタイヤの格納

- パンクしたタイヤをスペアタイヤ格納具に載せる  
ホイールの意匠面を上にします。



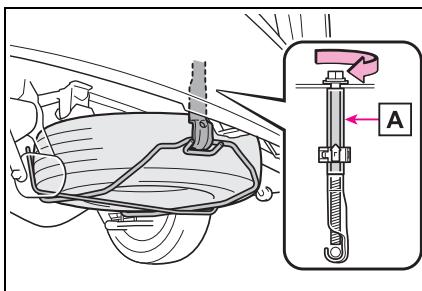
- スペアタイヤ格納具を持ち上げ  
(1)、フックをかける (2)。  
フックを格納具にかけるときは、はずした場所と同じ位置に  
かけてください。

格納具にタイヤが確実に固定されていることを確認します。



- パイプががたつかなくなるまで  
ボルトを締め付けたあと、さらに  
1/3回転以上締め付ける  
締め付けトルク：

24.0N・m (245kgf・cm) 以上

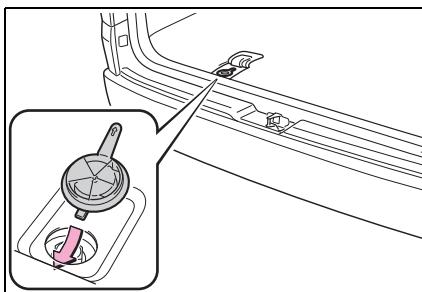


**A** パイプ

- すべての工具・ジャッキを収納する
- キャップを取り付ける

キャップのツメをフロア下に挿し込んで、ボルトの頭にキャップ下部を合わせて、キャップ上部をフロアにはめてください。

キャップ上部が確実にはまっていることを確認してください。



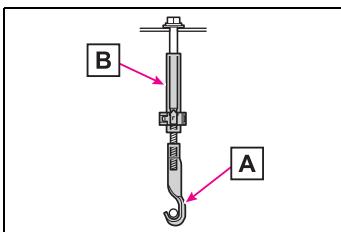
### □ 知識

#### ■ スペアタイヤについて

空気圧を必ず点検してください。  
(→P.311)

#### ■ スペアタイヤ格納具のフックについて

スペアタイヤ格納具を降ろす際に、ボルトをゆるめすぎてフックが脱落した場合は、図のようにパイプが入っているのを確認してからフックを取り付けてください。

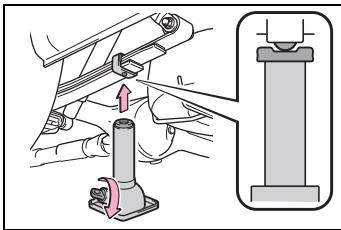


■ フック

■ パイプ

## ■ リヤ側ジャッキセット位置について

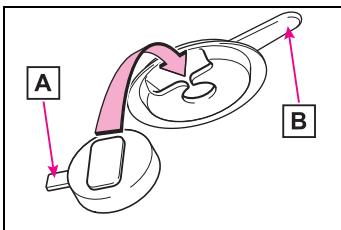
ジャッキ上部の溝を、図のように合わせてください。



## ■ キャップについて

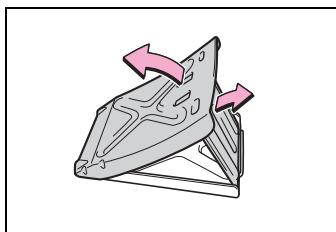
キャップ上部と下部がはずれたときは、図のようにはめ込んでから、フロアに取り付けてください。

キャップ下部のツメ[A]の位置が、キャップ上部の取っ手[B]と反対側になるようにはめ込んでください。



## ■ 輪止めの使い方

図のように展開して使用します。

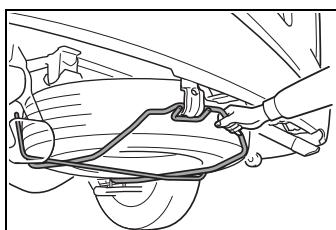


## ■ 警告

## ■ スペアタイヤを取り出すときは

次のことを必ずお守りください。お守りいただかないと、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

- スペアタイヤ格納具のボルトをゆるめすぎない
- スペアタイヤ格納具を操作するときは、可動部分やスペアタイヤのあいだに手や足などを挟まないように注意する
- スペアタイヤ格納具を降ろす、または持ち上げるときは、足の上などに落とさないよう、手でしっかり支える



- スペアタイヤは完全に地面に降ろしてから取り出す

## ■ ジャッキや工具を使用したあとは

走行前に正しい位置に格納されているか確認してください。正しく格納されていないと、事故や急ブレーキの際、重大な傷害につながるおそれがあり危険です。

**⚠ 注意**

■ スペアタイヤ格納具のボルトについて

操作をするときはホイールナットレンチを使用してください。

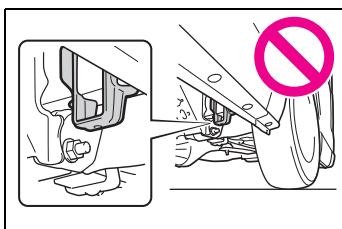
■ スペアタイヤを格納するときは

- タイヤと車両とのあいだにものが挟まっていないことを確認してください。

- タイヤを格納したあとは、確実に固定されていることを確認してください。固定されていないとタイヤががたつき、走行中にはずれるおそれがあります。

■ 車載ジャッキでジャッキアップするときは

図のマウントハンガーにジャッキをかけないください。マウントハンガーが破損するおそれがあります。



**エンジンがかからないときは**

正しいエンジンのかけ方  
(→P.120) に従っても、エンジンがかからないときは、次の状況の中であてはまるものを確認し、適切に対処してください。

**スターターは正常にまわっているのにエンジンがかからない場合**

次の原因が考えられます。

- 燃料が入っていない可能性があります。  
給油してください。
- 燃料を吸い込みすぎている可能性があります。  
再度、正しい手順 (→P.120) に従って、エンジンをかけてください。
- エンジンイモビライザーシステムに異常がある可能性があります。(→P.47)

**スターターがゆっくりまわる／室内灯・ヘッドライトが暗い／ホーンの音が小さい、または鳴らない場合**

次の原因が考えられます。

- バッテリー上がりの可能性があります。(→P.298)
- バッテリーのターミナルがゆるんでいる可能性があります。

### スターーターがまわらない場合 (スマートエントリー&スタートシステム装着車)

電子キーの電池切れやヒューズ切れなど、電気系統異常の可能性があります。異常の種類によっては、エンジンを一時的な処置でかけることができます。（→P.295）

### スターーターがまわらない／室内灯・ヘッドライトが点灯しない／ホーンが鳴らない場合

次の原因が考えられます。

- バッテリーのターミナルがはずれている可能性があります。
- バッテリーあがりの可能性があります。（→P.298）

対処の方法がわからないとき、あるいは対処をしてもエンジンがかからないときは、トヨタ販売店にご連絡ください。

### 緊急時の始動について（スマートエントリー&スタートシステム装着車）

通常のエンジン始動操作でエンジンが始動しないときは、次の手順でエンジンが始動する場合があります。

緊急時以外は、この方法で始動させないでください。

- 1 パーキングブレーキがかかっていることを確認する  
(→P.128)

メーター内のパーキングブレーキ表示灯が点灯します。

- 2 シフトレバーが P の位置にあることを確認する

- 3 エンジンスイッチを ACC にする
- 4 ブレーキペダルをしっかり踏んでエンジンスイッチを約 15 秒以上押し続ける

上記の方法でエンジンが始動しても、システムの故障が考えられます。ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

## キーをなくしたときは

キーナンバープレートに打刻されたキーナンバーと残りのキーから、トヨタ販売店でトヨタ純正品の新しいキーを作ることができます。

キーナンバープレートは車の中以外の安全な場所（財布の中など）に保管してください。



### ■電子キーを紛失したとき

電子キーを紛失した状態で放置すると、盗難の危険性が極めて高くなります。

車両に付属している残りの電子キーをすべてお持ちの上、ただちにトヨタ販売店にご相談ください。

## 電子キーが正常に働かないときは

電子キーと車両間の通信がさまたげられたり（→P.86）、電子キーの電池が切れたときは、スマートエントリー＆スタートシステムとワイヤレスリモコンが使用できなくなります。このような場合、次の手順でドアを開けたり、エンジンを始動したりすることができます。



### ■電子キーが正常に働かないとき

- 車両カスタマイズ機能でスマートエントリー＆スタートシステムの設定を確認し、非作動になっている場合には、作動可能に設定変更してください。（→P.316）

- 電子キーが節電モードに設定されていないことを確認してください。設定されている場合は解除してください。（→P.85）

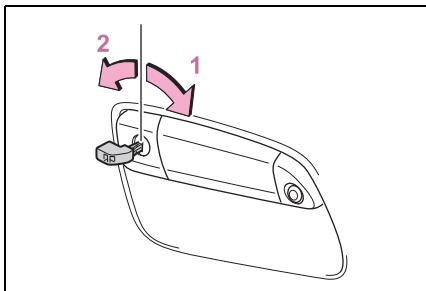


### ■スマートエントリー＆スタートシステムの故障などで販売店に車両を持っていくとき

車両に付属しているすべての電子キーをお持ちください。

## ドアを施錠・解錠するには

メカニカルキー（→P.68）を使って次の操作ができます。（運転席ドアのみ）



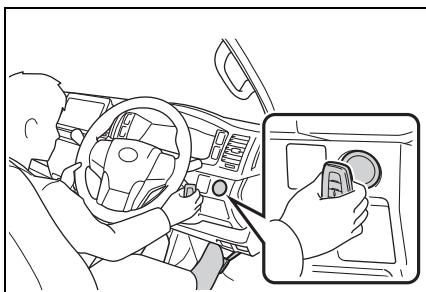
- 1 全ドア施錠
- 2 全ドア解錠

### エンジンを始動するには

- 1 シフトレバーが P の状態でブレーキペダルを踏む
- 2 図のように、電子キーのスイッチを表に向けた状態で、エンジンスイッチにふれる

電子キーを認識するとブザーが鳴り、ONへ切りかわります。

車両カスタマイズ機能でスマートエントリー＆スタートシステムの設定が非作動になっているときは、ACC へ切りかわります。



- 3 ブレーキペダルをしっかりと踏み込んで、マルチインフォメーションディスプレイに が表示されていることを確認する
- 4 エンジンスイッチを短く確実に押す

処置をしても作動しないときは、トヨタ販売店にご連絡ください。

### □ 知識

#### ■ エンジンの停止方法

通常のエンジンの停止方法と同様に、シフトレバーを P にし、パーキングブレーキをかけてエンジンスイッチを押します。

#### ■ 電子キーの電池交換

ここで説明しているエンジンの始動方法は一時的な処置です。電池が切れたときは、ただちに電池の交換をおすすめします。（→P.247）

#### ■ オートアラームについて

メカニカルキーで施錠した場合、オートアラームが設定されません。なお、オートアラーム設定中にメカニカルキーで解錠すると、警報が鳴りますのでご注意ください。（→P.48）

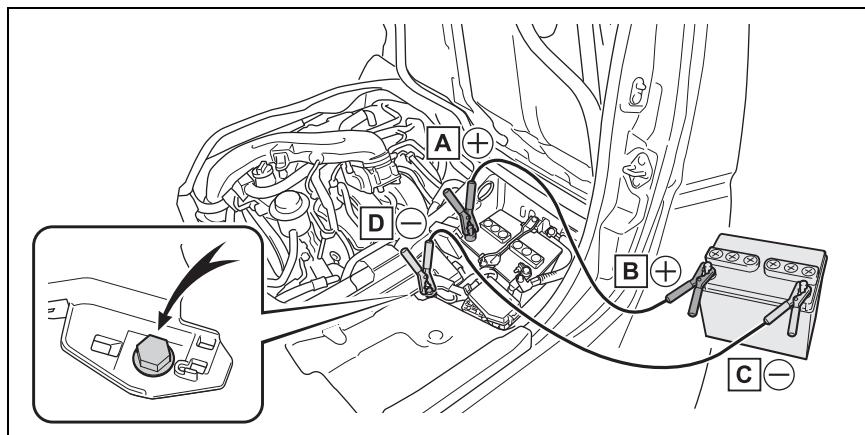
#### ■ エンジンスイッチのモードの切りかえ

エンジン始動方法の手順 3 で、ブレーキペダルから足を離してエンジンスイッチを押すと、エンジンが始動せず、スイッチを押すごとにモードが切りかわります。（→P.122）

## バッテリーがあがったときは

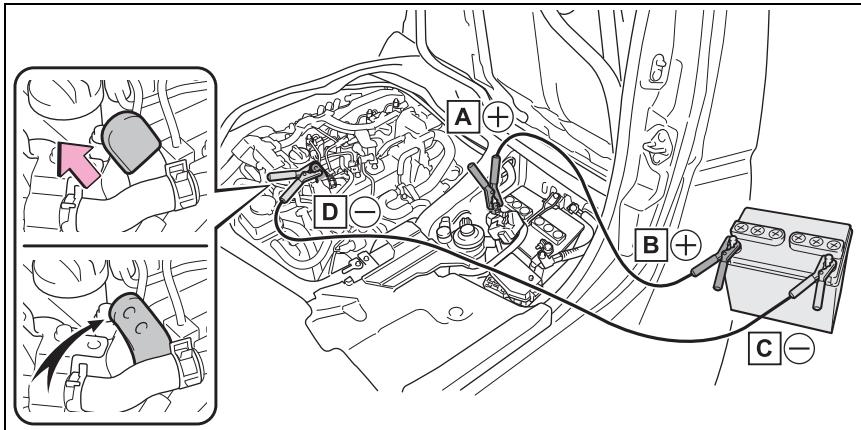
バッテリーがあがった場合、次の手順でエンジンを始動することができます。

- ブースターケーブルと 12V のバッテリー付き救援車があれば、次の手順に従って、エンジンを始動させることができます。
- 1 エンジン点検口を開ける (→P.233)
  - 2 バッテリーの+端子のカバーをはずし、ブースターケーブルを次の順につなぐ
- ▶ ガソリン車



- [A] 赤色のブースターケーブルを自車のバッテリーの+端子につなぐ
  - [B] 赤色のブースターケーブルのもう一方の端を救援車のバッテリーの+端子につなぐ
  - [C] 黒色のブースターケーブルを救援車のバッテリーの-端子につなぐ
  - [D] 黒色のブースターケーブルのもう一方の端をバッテリーから離れた、金属部（図に示すような固定された部分）につなぐ
- ブースターケーブルは、指定の端子および接続箇所に届くものを使用してください。

## ▶ ディーゼル車



- A** 赤色のブースターケーブルを自車のバッテリーの + 端子につなぐ
- B** 赤色のブースターケーブルのもう一方の端を救援車のバッテリーの + 端子につなぐ
- C** 黒色のブースターケーブルを救援車のバッテリーの - 端子につなぐ
- D** 黒色のブースターケーブルのもう一方の端をバッテリーから離れた、  
金属部（図に示すような固定された部分）につなぐ

ブースターケーブルをつなぐ前にカバーを取りはずす

ブースターケーブルは、指定の端子および接続箇所に届くものを使用してください。

- 3 救援車のエンジンをかけ、回転を少し高めにして、約 5 分間自車のバッテリーを充電する
- 4 救援車のエンジン回転を維持したまま、エンジンスイッチをいったん ON にしてからエンジンを始動する
- 5 自車のエンジンが始動したら、ブースターケーブルをつないだときと逆の順では必ず

ディーゼル車はカバーを取り付ける

エンジンがかからっても、早めにトヨタ販売店で点検を受けてください。

**知識**

■バッテリーあがり時の始動について

この車両は、押しがけによる始動はできません。

■バッテリーあがりを防ぐために

- エンジンがかかっていないときは、ランプやエアコン、オーディオなどの電源を切ってください。
- 渋滞などで長時間止まっているときは、不必要的電装品の電源を切ってください。

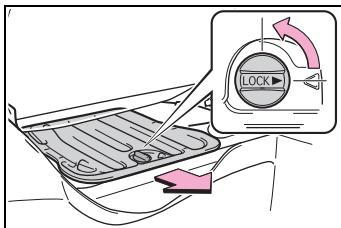
### ■バッテリーがあがってしまったときは

- コンピューターに記憶されている情報が消去されます。バッテリーがあがったときはトヨタ販売店で点検を受けてください。
- 初期設定が必要な機能があります。  
(→P.322)

### ■バッテリー 2 個搭載車について

エンジンルーム内と運転席うしろに、計2個のバッテリーが搭載されています。

- 運転席うしろのバッテリーを点検するときは、カバーをめくり、ダイヤルをまわしてフタを取りはずします。



- バッテリーが2個ありますが、24Vではありません。
- ブースターケーブルを接続する場合は、必ずエンジンルーム内のバッテリーで行ってください。
- バッテリーの交換は必ず2個同時に、同メーカー・同一型式のバッテリーを使用してください。
- 長期駐車などでー端子をはずす場合は、必ず両方のバッテリーのー端子をはずしてください。

### ■バッテリーの充電について

バッテリーの電力は、車両を使用していないあいだも、一部の電装品による消費や自然放電のために、少しずつ消費されています。そのため、車両を長期間放置すると、バッテリーがあがってエンジンを始動できなくなるおそれがあります。  
(バッテリーは走行中に自動で充電されま

す)

### ■バッテリーあがり時や取りはずし時など

- バッテリー脱着直後はスマートエントリー＆スタートシステムによるドアの解錠ができない場合があります。解錠できなかった場合はワイヤレスリモコン、またはメカニカルキーで解錠・施錠を実施してください。
- バッテリー脱着後、最初の始動操作ではエンジンが始動できないことがありますが異常ではありません。再度始動操作を行ってください。

- 車両は常にエンジンスイッチの状態を記憶しています。バッテリー脱着時、車両はバッテリーをはずす前の状態に復帰します。バッテリーを脱着する際は、エンジンスイッチをOFFにしてから行ってください。バッテリーがあがる前の状態が不明の場合、バッテリー接続時は特に注意してください。

### **⚠ 警告**

#### ■バッテリーの引火または爆発を防ぐために

バッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発するおそれがあり危険ですので、火や火花が発生しないよう、次のことをお守りください。

- ブースターケーブルは正しい端子または接続箇所以外に接続しない
- ブースターケーブルは+側とー側の端子を絶対に接触させない
- バッテリー付近では、喫煙したりマッチやライターなどで火を起こさない

## 警告

### ■ バッテリーの取り扱いについて

バッテリー内には有毒で腐食性のある酸性の電解液が入っており、また関連部品には鉛または鉛の混合物を含んでいるので、取り扱いに関し、次のことを必ずお守りください。

- バッテリーを取り扱うときは保護メガネを着用し、バッテリー液（酸）が皮膚・衣服・車体に付着しないようする
- 必要以上、顔や頭などをバッテリーに近付けない
- 誤ってバッテリー液（酸）が体に付着したり目に入ったりした場合、ただちに大量の水で洗い、すぐに医師の診察を受ける  
また、医師の診察を受けるまで、水を含ませたスポンジや布を患部にあてておく
- 誤ってバッテリー液（酸）を飲み込んだ場合、多量の水を飲んで、すぐに医師の診察を受ける
- バッテリーの支柱・ターミナル・その他の関連部品の取り扱い後は手を洗う
- お子さまをバッテリーに近付けない

### ■ ブースターケーブルを接続するときは

指定の端子および接続箇所以外にブースターケーブルを接続しないでください。電子機器に悪影響をおよぼしたり、破損につながったりするおそれがあります。

## 注意

### ■ ブースターケーブルの取り扱いについて

ブースターケーブルを接続したり、取りはずすときは、ベルトに巻き込まれないように十分注意してください。

## オーバーヒートしたときは

次のような場合は、オーバーヒートの可能性があります。

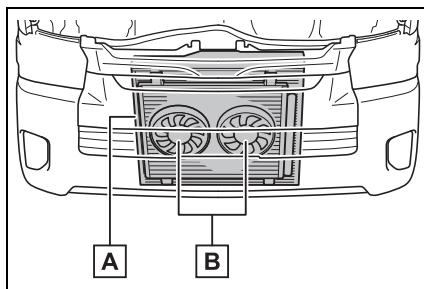
- 水温計（→P.55）の表示がレッドゾーンに入ったり、エンジンの出力が低下する（スピードが出ないなど）
- マルチインフォメーションディスプレイに“エンジン冷却水高温 安全な場所に停車して取扱書を確認してください”が表示される
- エンジンルームから蒸気が出る

### 対処するには

- 1 安全な場所に停車し、エアコンをOFFにしてから、エンジンを停止する
- 2 蒸気が出ている場合：  
蒸気が出なくなったことを確認してから、注意してボンネットとエンジン点検口を開ける  
蒸気が出ていない場合：  
注意してボンネットとエンジン点検口を開ける
- 3 エンジンが十分に冷えてから、ラジエーターコア部（放熱部）やホースなどからの冷却水もれを点検する

多量の冷却水もれがある場合は、ただち

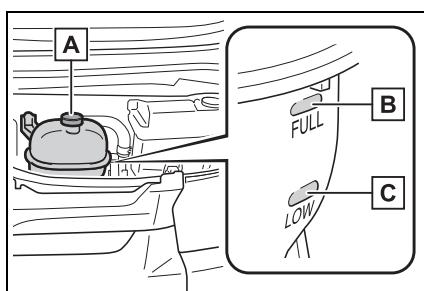
にトヨタ販売店に連絡してください。



A ラジエーター

B ファン

- 4 冷却水の量がリザーバータンクの“FULL”（上限）と“LOW”（下限）のあいだにあるかを点検する



A リザーバータンク

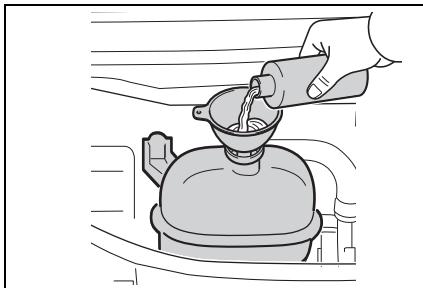
B “FULL”（上限）

C “LOW”（下限）

- 5 冷却水が不足している場合は、冷却水を補給する

冷却水がない場合は、応急措置として水

を補給してください。



- 6 エンジンを始動し、エアコンを作動させてラジエーター冷却用のファンが作動しているか、およびラジエーターコアやホースなどから冷却水もれがないことを再度確認する**

エンジンが冷えた状態での始動直後は、エアコンをONにすることでファンが作動します。ファンの音や風で確認してください。わかりにくいときは、エアコンのON・OFFをくり返してください。(ただし、氷点下となる寒冷時はファンが作動しないことがあります)

- 7 ファンが作動していない場合：**  
すぐにエンジンを停止し、トヨタ販売店に連絡する  
**ファンが作動している場合：**  
最寄りのトヨタ販売店で点検を受ける

### □ 知識

#### ■ 冷却水の補給について

冷却水の量がLOW(下限)以下になった場合は、冷却水の補給後にエア抜きが必要となります。

### ▲ 警告

#### ■ エンジンルームを点検しているとき

次のことを必ずお守りください。  
お守りいただかない場合、やけどなどの重大な傷害を受けるおそれがあります。

- ポンネット周辺から蒸気が出ている場合は、蒸気が出なくなるまでポンネットやエンジン点検口を開けないでください。エンジンルーム内が高温になっています。
- 手や着衣(特にネクタイ・スカーフ・マフラーなど)をファンやベルトから離してください。手や着衣が巻き込まれ、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- ポンネット(→P.234)・エンジン点検口(→P.233)の注意事項も併せてお読みください。
- エンジンおよびラジエーターが熱い場合は、冷却水リザーバータンクのキャップを開けないでください。  
高温の蒸気や冷却水が圧力によって噴き出すおそれがあります。

### △ 注意

#### ■ 冷却水を入れるとき

エンジンが十分に冷えてからゆっくり入れてください。  
エンジンが熱いときに急に冷たい冷却水を入れると、エンジンが損傷するおそれがあります。

#### ■ 冷却系統の故障を防ぐために

次のことをお守りください。

- 異物(砂やほこりなど)を冷却水に混入させない
- 冷却水用添加剤を使用しない

## スタックしたときは

ぬかるみや砂地・雪道などでタイヤが空転したり埋まり込んで動けなくなつたときは次の方法で脱出してください。

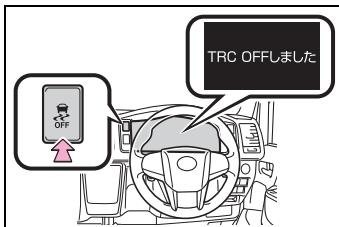
### 脱出するには

- 1 パーキングブレーキをかけシフトレバーをPにして、エンジンを停止する
- 2 後輪周辺の土や雪などを取り除く
- 3 後輪の下に木や石などをあてがう
- 4 エンジンを再始動する
- 5 シフトレバーをDまたはRに入れ、パーキングブレーキを解除して注意しながらアクセルペダルを踏む



### 脱出しにくいとき

 OFF を押して TRC を OFF にしてください (→P.195)



## ⚠ 警告

### ■ 脱出するとき

前進と後退をくり返してスタックから脱出する場合、他の車・ものまたは人との衝突を避けるため周囲に何もないことを確認してください。

スタックから脱出するとき、車が前方または後方に飛び出すおそれがありますので、特に注意してください。

### ■ シフトレバーを操作するとき

アクセルペダルを踏み込んだまま操作しないように気を付けてください。

車が急発進し、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

## ⚠ 注意

### ■ トランスミッションやその他の部品への損傷を避けるために

- タイヤが空転するのを避け、必要以上にアクセルペダルを踏まないでください。
- 上記の方法で脱出できなかつた場合、けん引による救援が必要です。

**8-1. 仕様一覧**

メンテナンスデータ（指定燃料・オイル量など） ..... **306**

**8-2. カスタマイズ機能**

ユーザー カスタマイズ機能 ..... **313**

**8-3. 初期設定**

初期設定が必要な項目 ..... **322**

**8-4. フリー／オープンソフトウェア**

フリー／オープンソフトウェア情報 ..... **323**

## メンテナンスデータ（指定燃料・オイル量など）

使用するオイルや液類の品質により、お車の寿命は著しく左右されます。

トヨタ車には、最も適したトヨタ純正オイル・液類（以下、「指定銘柄」といいます）のご使用をおすすめします。

指定銘柄以外を使用される場合は、指定銘柄に相当する品質のものをご使用ください。

### 燃料

#### ▶ ガソリン車

指定燃料	容量 [L] (参考値)
・ 無鉛レギュラーガソリン	
・ バイオ混合ガソリン（レギュラー）*	70

\* エタノールの混合率 10% 以下または、ETBE の混合率 22% 以下のガソリン（酸素含有率 3.7% 以下）を使用することができます。

#### ▶ ディーゼル車

指定燃料	容量 [L] (参考値)
超低硫黄軽油 (S10ppm 以下)	70

### エンジンオイル

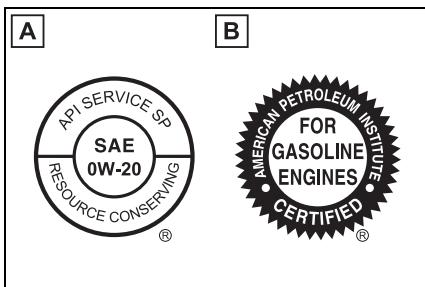
#### ▶ ガソリン車

指定銘柄	容量 [L] (参考値 *)	
	オイルのみ交換	オイルとオイル フィルター交換
推薦： トヨタ純正モーターオイル SP 0W-20 —API SP/RC, ILSAC GF-6A, SAE 0W-20		
適合： トヨタ純正モーターオイル SP 5W-30 —API SP/RC, ILSAC GF-6A, SAE 5W-30	4.9	5.3

\* エンジンオイルの容量は交換する際の目安です。オイル量の確認は、エンジンを暖機後に停止し、5 分以上経過してからレベルゲージで行ってください。

## ■ 指定エンジンオイル

API 規格 SP/RC、SN PLUS/RC、SN/RC か、ILSAC 規格に合致したオイルをご使用ください。OW-20 は、新車時に工場充填されている推奨オイルであり、優れた省燃費性能を発揮できます。OW-20 が入手困難な場合は、5W-30 もご使用いただけます。なお、ILSAC 規格合格油の缶には ILSAC CERTIFICATION (イルサックサーティフィケーション) マークが付いています。



**A** API マーク

### ► ディーゼル車

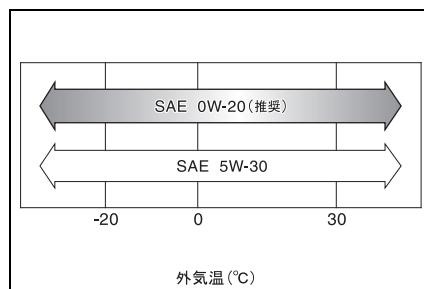
指定銘柄	容量 [L] (参考値 *)	
	オイルのみ交換	オイルとオイルフィルター交換
推奨： トヨタ純正モーターオイル C5 OW-20 —ACEA C5, SAE OW-20  適合： トヨタ純正モーターオイル DL-1 OW-30 —JASO DL-1, SAE OW-30 トヨタ純正モーターオイル DL-1 5W-30 —JASO DL-1, SAE 5W-30	5.5	6.1

\* エンジンオイルの容量は交換する際の目安です。オイル量の確認は、エンジンを暖機後に停止し、5 分以上経過してからレベルゲージで行ってください。

## B ILSAC CERTIFICATION マーク

### ■ エンジンオイル推奨粘度

下記図に基づき、外気温に適した粘度のものをご使用ください。

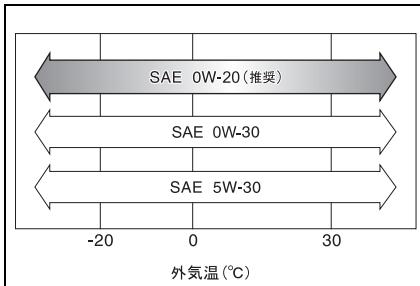


オイル粘度について（例として OW-20 で説明します）：

- ・ OW-20 の OW は、低温時のエンジン始動特性を示しています。W の前の数値が小さいほど冬場や寒冷時のエンジン始動が容易になります。
- ・ OW-20 の 20 は、高温時の粘度特性を示しています。

### ■ エンジンオイル推奨粘度

下記図に基づき、外気温に適した粘度のものをご使用ください。



オイル粘度について（例として 0W-20 で説明します）：

- ・ 0W-20 の 0W は、低温時のエンジン始動特性を示しています。W の前の数値が小さいほど冬場や寒冷時のエンジン始動が容易になります。
- ・ 0W-20 の 20 は、高温時の粘度特性を示しています。

### ■ 指定エンジンオイル

ACEA 規格 C5 に合致したオイルをご使用ください。

0W-20 は、新車時に工場充填されている推奨オイルであり、優れた省燃費性能を発揮できます。  
0W-20 が入手困難な場合は、JASO DL-1 0W-30、5W-30 もご使用いただけます。

なお、JASO 規格合格油の缶には JASO DL-1 マークが付いています。

D023ABC456

**DL-1**

JASO DL-1 マーク



注意

#### ■ エンジンオイルの交換について

- エンジンオイルは必ず指定の規格に相当する品質のものをご使用ください。  
異なる品質のオイルを使用すると、排出ガス浄化装置の寿命短縮につながります。
- エンジンオイルは必ず約20,000km ごと（ただし12ヶ月をこえないこと）、オイルフィルターは必ず約20,000km ごとに交換してください。  
定められた期間でエンジンオイル・オイルフィルターを交換しないと、排出ガス浄化装置やターボ装置などの故障につながるおそれがあります。

## ラジエーター

指定銘柄	エンジン	容量 [L] (参考値)
トヨタ純正スーパー長ライフクーラント	ガソリン車	13.2
凍結保証温度		
濃度 30% - 12 ℃	ディーゼル車	15.9
濃度 50% - 35 ℃		

## オートマチックトランスミッション

指定銘柄	エンジン	容量 [L] (参考値*)
トヨタ純正オートフルード WS	ガソリン車	FR 7.9
		4WD 7.8
	ディーゼル車	8.9

\* 交換が必要な際はトヨタ販売店にご相談ください。



### ■トランスミッションフルードについて

指定銘柄以外のフルードを使用すると、振動・異音の発生や、故障などの原因になるおそれがあります。

## フロントディファレンシャル (4WD 車)

指定銘柄 (推奨粘度)	容量 [L] (参考値)
トヨタ純正ハイポイドギヤオイル SX (API GL-5 SAE 85W-90)	1.30

## リヤディファレンシャル

指定銘柄 (推奨粘度)	駆動方式	容量 [L] (参考値)
トヨタ純正ディファレンシャルギヤオイル LT (API GL-5 SAE 75W-85)	FR	3.12
	4WD	3.40

## トランスファー（4WD車）

指定銘柄（推奨粘度）	容量 [L]（参考値）
トヨタ純正 MG ギヤオイルスペシャルⅡ (API GL-3 SAE 75W-90)	1.3

## パワーステアリング

指定銘柄	容量 [L]（参考値）
トヨタ純正パワーステアリングフルード	0.9

## ブレーキ

### ■ ブレーキフルード

指定銘柄
トヨタ純正ブレーキフルード 2500H-A

### ■ ブレーキペダル

項目	基準値 [mm]
遊び	1 ~ 6
踏み込んだときの床板とのすき間 ※	120

\* エンジン停止時に 500 N (51 kgf) の踏力をかけたときの床板（フロアパネル上面）とのすき間の最小値

### ■ パーキングブレーキ

項目	基準値 [回数]
引きしろ 操作力 200 N (20 kgf) のときのノッチ ※ 数	12 ~ 18

\* ノッチとは、パーキングブレーキをかけるときの節度（“カチッ”という音）のことです。

## ウォッシャータンク

容量 [L]（参考値）
3.2

## タイヤ・ホイール

### ■ サイズ・空気圧

タイヤサイズ	ホイールサイズ	タイヤが冷えているときの空気圧 kPa (kg/cm <sup>2</sup> )	
		前輪	後輪
195/80R15 107/105S LT	15×6J	375 (3.75)	400 (4.00)

### ■ ホイールナット締め付けトルク

トルク [N・m (kgf・cm)]
100 (1020)

## 電球（バルブ）※

電球	W(ワット)数	
車外	ヘッドライト ・ ハロゲンヘッドライト装着車 (バルブタイプ:H4)	60／55
	車幅灯（ハロゲンヘッドライト装着車）	5
	フロント&サイド方向指示灯／非常点滅灯	21
	リヤ方向指示灯／非常点滅灯	21
	制動灯／尾灯	21／5
	後退灯	16
	番号灯	5
	リヤフォグランプ★	21
車内	リヤルームランプ★	8
	スライドドアステップランプ	5

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

※ 表に記載のないランプは LED を採用しています。

**車両仕様**

型式	エンジン	駆動方式
TRH223B	2TR-FE (2.7L ガソリン)	FR (後輪駆動)
TRH228B		4WD (4 輪駆動)
GDH223B	1GD-FTV (2.8L ディーゼル)	FR (後輪駆動)

## ユーザーカスタマイズ機能

お車に装備されている各種の機能は、ご希望に合わせてトヨタ販売店で作動内容を変更することができます。また、マルチメディアディスプレイ・マルチインフォメーションディスプレイの操作により設定を変更することができる機能もあります。

機能によっては、他の機能と連動して設定がかわるものもあります。詳しくはトヨタ販売店へお問い合わせください。

### 設定を変更するには

#### ■ マルチメディアディスプレイで設定するには

- 1 マルチメディアディスプレイの  ボタンを選択する
- 2 “車両カスタマイズ”を選択する
- 3 設定を変更したいカテゴリーを選択する
- 4 一覧表示された中から設定を変更する項目を選択する
- 5 機能の作動内容を選択する  
作動・非作動を変更できる機能では、  
 (作動) ·  (非作動) を選択します。

音量やセンサーの感度などを変更できる機能では、バー上のアイコンをスライドしてレベルを調整します。

#### ■ マルチインフォメーションディスプレイで設定するには

- 1 メーター操作スイッチの ▲ または ▼ を押して  を選択する
- 2 メーター操作スイッチの < または > を押して変更する項目を選択する
- 3 ON / OFF を切りかえる機能では、メーター操作スイッチの OK を押してご希望の設定に切りかえる
- 4 詳細設定が可能な機能では、OK を押し続けて設定画面を表示する

詳細設定の方法は、各画面ごとに異なります。画面に表示されているアドバイス文を参考に設定を行ってください。

前の画面にもどったり、設定を終了する場合は、 スイッチを押します。

### 知識

#### ■ カスタマイズ設定を行うとき

安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけ、シフトレバーを P にしてください。また、バッテリー上がりを防ぐため、エンジンがかかっている状態で操作を行ってください。

### 警告

#### ■ カスタマイズ設定を行うとき

エンジンを始動した状態で操作を行うため、車庫内など囲まれた場所では、十分に換気をしてください。換気をしないと、排気ガスが充満し、排気ガスに含まれる一酸化炭素 (CO) により、重大な健康障害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。



### ■ カスタマイズ設定を行うとき

バッテリー上がりを起こす可能性がありますので、確実にエンジンがかかっている状態で実施してください。

## 車両カスタマイズ設定一覧

機能によっては、他の機能と連動して設定がかわるものもあります。詳しくはトヨタ販売店へお問い合わせください。

- A** マルチメディアディスプレイの画面操作で設定変更可能
- B** マルチインフォメーションディスプレイで設定変更可能
- C** トヨタ販売店で設定変更可能

### ■ メーター・マルチインフォメーションディスプレイ (→P.58)

機能の内容 <sup>※1</sup>	カスタマイズ設定	<b>A</b>	<b>B</b>	<b>C</b>
言語	●日本語 ●英語	—	○	—
単位	●km/L ●L/100km	—	○	—
メーターデザイン	●カジュアル ●スマート ●スポーティー	—	○	—
アナログメーター	●タコメーター ●スピードメーター ●シンプル	—	○	—
エコドライブインジケーターランプ	●あり（自動点灯） ●なし	—	○	—
燃費グラフ	●始動後平均燃費 ●リセット間平均燃費 ●給油後平均燃費	—	○	—
オーディオ表示	●あり ●なし	—	○	—

機能の内容 <sup>*1</sup>	カスタマイズ設定	<b>A</b>	<b>B</b>	<b>C</b>
ドライブインフォ項目	●平均車速 ●走行距離 ●走行時間	—	○	—
TRIP A 項目	●平均車速 ●走行距離 ●走行時間	—	○	—
TRIP B 項目	●平均車速 ●走行距離 ●走行時間	—	○	—
割込表示	●あり ●なし	—	○	—
MID 消灯	●表示 ●非表示	—	○	—
提案サービス <sup>*2</sup>	●あり ●あり（停車中のみ） ●なし	○	—	○

<sup>\*1</sup>機能についての詳しい説明は P.58 を参照してください。

<sup>\*2</sup>マイセッティングと連動して設定が変更されます。

## ■ ドアロック (→P.69, 296)

機能の内容	カスタマイズ設定	<b>A</b>	<b>B</b>	<b>C</b>
車速感応オートドアロック <sup>*</sup>	●あり ●なし	○	—	○
シフトレバーを P 以外にしたときの全ドア施錠 (シフト操作連動ドアロック) <sup>*</sup>	●あり ●なし	○	—	○
シフトレバーを P にしたときの全ドア解錠 (シフト操作連動アンロック) <sup>*</sup>	●あり ●なし	○	—	○
運転席を開けたときの全ドア自動解錠 (運転席ドア開連動アンロック) <sup>*</sup>	●あり ●なし	○	—	○

\* マイセッティングと連動して設定が変更されます。

■ スマートエントリー＆スタートシステム（→P.84）、ワイヤレスドアロック共通（→P.69）

機能の内容	カスタマイズ設定	A	B	C
作動の合図（非常点滅灯）*	●あり ●なし	○	—	○
解錠後、ドアを開けなかったときの自動施錠までの時間*	●30秒 ●60秒 ●120秒	—	—	○

\* マイセッティングと連動して設定が変更されます。

■ スマートエントリー＆スタートシステム（→P.84）

機能の内容	カスタマイズ設定	A	B	C
スマートエントリー＆スタートシステム	●あり ●なし	○	—	○
連続ロック操作の有効回数	●2回 ●無制限	—	—	○
作動の合図（ブザー音量調整）	●レベル0（なし）～レベル7	○	—	○
半ドア警告ブザー	●あり ●なし	—	—	○

■ ランプ自動点灯・消灯システム（→P.129）

機能の内容	カスタマイズ設定	A	B	C
ライトセンサーの感度調整*	●より暗い ●暗い ●標準 ●明るい ●より明るい	○	—	○
ランプ消し忘れ防止機能	●ドアと連動 ●エンジンスイッチと連動	—	—	○
ワイパー連動ヘッドライト点灯機能	●あり ●なし	—	—	○

\* マイセッティングと連動して設定が変更されます。

## ■ リヤワイパー (→P.137)

機能の内容	カスタマイズ設定	A	B	C
バックドア開運動リヤワイパー停止機能	●する ●しない	—	—	○
ウォッシャー液を噴射したときのリヤワイパー作動	●する ●しない	—	—	○
リバース運動機能	●1回のみ作動 ●連続作動 ●OFF	—	—	○

## ■ ドライブスタートコントロール (→P.118)

機能の内容	カスタマイズ設定	A	B	C
後退速度の抑制制御	●あり ●なし *	—	○	—

\* “なし”に変更しても、エンジンスイッチをONにするたびに“あり”にもどります。

## ■ プリクラッシュセーフティ (→P.151)

機能の内容	カスタマイズ設定	A	B	C
プリクラッシュセーフティ	●ON ●OFF	—	○	—
警報タイミング *	●遅い ●標準 ●早い	—	○	—

\* マイセッティングと連動して設定が変更されます。

## ■ レーンディパーチャーアラート (LDA) (→P.158)

機能の内容	カスタマイズ設定	A	B	C
レーンディパーチャーアラート (LDA)	●ON ●OFF	—	○	—

機能の内容	カスタマイズ設定	A	B	C
警報タイミング※	●標準 ●早い	—	○	—
低車速支援※	●ON ●OFF	—	○	—

\* マイセッティングと連動して設定が変更されます。

### ■ レーダークルーズコントロール (DRCC) (→P.166)

機能の内容	カスタマイズ設定	A	B	C
加速度設定※	●弱 ●中 ●強	—	○	—
速度設定（短押し）※	●1km/h ●5km/h ●10km/h	—	○	—
速度設定（長押し）※	●1km/h ●5km/h ●10km/h	—	○	—
ガイド文言表示※	●ON ●OFF	—	○	—
カーブ速度抑制※	●OFF ●弱 ●中 ●強	—	○	—

\* マイセッティングと連動して設定が変更されます。

### ■ 発進遅れ告知 (→P.162)

機能の内容	カスタマイズ設定	A	B	C
先行車※	●ON ●OFF	—	○	—

機能の内容	カスタマイズ設定	A	B	C
信号*	●ON ●OFF	—	○	—
告知タイミング*	●早い ●標準 ●遅い	—	○	—

\* マイセッティングと連動して設定が変更されます。

### ■ ロードサインアシスト (→P.163)

機能の内容	カスタマイズ設定	A	B	C
ロードサインアシスト*	●ON ●OFF	—	○	—
速度標識超過告知方法*	●無 ●表示 ●表示とブザー	—	○	—
その他告知方法*	●無 ●表示 ●表示とブザー	—	○	—
速度超過告知車速*	●10km/h ●5km/h ●2km/h	—	○	—

\* マイセッティングと連動して設定が変更されます。

### ■ 休憩提案 (→P.159)

機能の内容	カスタマイズ設定	A	B	C
休憩提案	●ON ●OFF	—	○	—

### ■ PKSB (パーキングサポートブレーキ) (→P.183)

機能の内容	カスタマイズ設定	A	B	C
PKSB (パーキングサポートブレーキ) 機能	●ON ●OFF	—	○	—

### ■ クリアランスソナー (→P.177)

機能の内容	カスタマイズ設定	A	B	C
クリアランスソナー機能*	●ON ●OFF	—	○	—
ブザー音量	●レベル1～レベル3	—	○	—

\* マイセッティングと連動して設定が変更されます。

### ■ フロントオートエアコン (→P.208)

機能の内容	カスタマイズ設定	A	B	C
AUTOスイッチがONのとき、連動して外気導入と内気循環を自動的に切りかえる	●する ●しない	—	—	○
AUTOスイッチをONにしたとき、A/Cスイッチが連動してONになる	●する ●しない	—	—	○

### ■ イルミネーション (→P.216)

機能の内容	カスタマイズ設定	A	B	C
ドアの開閉後に点灯している室内灯が自動で消灯するまでの時間(室内照明消灯時間調節)*	●7.5秒 ●15秒 ●30秒 ●OFF	○	—	○
エンジンスイッチOFF後の室内灯自動点灯機能	●する ●しない	—	—	○
ドアを解錠したときの室内灯自動点灯	●する ●しない	—	—	○

\* マイセッティングと連動して設定が変更されます。

### ■ リヤシートリマインダー (→P.76)

機能の内容	カスタマイズ設定	A	B	C
リヤシートリマインダー*	●あり ●なし	—	○	—

\* マイセッティングと連動して設定が変更されます。

## ■ マイセッティング (→P.110)

機能の内容	カスタマイズ設定	A	B	C
ドライバーの切りかえ	●ドライバー 1 ●ドライバー 2 ●ドライバー 3 ●ゲスト	○	—	—

## ■ エンジンスイッチ (→P.122)

機能の内容	カスタマイズ設定	A	B	C
ACC カスタマイズ★	●ON	○	—	○
ACC の ON/OFF を切りかえる	●OFF			

\* : グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。



## ■ 車両カスタマイズについて

- “車速感応式自動ドアロック” と “シフトレバーを P 以外にしたときの全ドア施錠” を両方とも “あり” にした場合次のように作動します。
  - ・ シフトレバーを P 以外にすると全ドア施錠されます。
  - ・ 全ドア施錠された状態で発進した場合、車速感応式自動ドアロックは作動しません。
  - ・ 発進前にいずれかのドアロックを解錠してから発進した場合は、車速感応式ドアロックが作動します。
- 解錠後にドアを開けなかったときの自動施錠が作動した合図は、“作動の合図（非常点滅灯）”・“作動の合図音量（ブザー音量の調整）”の設定に依存します。

## 初期設定が必要な項目

次の項目はバッテリーを再接続したり、メンテナンスを行ったあとなどに、システムを正しく作動させるために初期設定が必要です。

## 設定が必要な項目

項目	初期設定が必要なとき	参照先
パーキングサポートブレーキ	・ バッテリーの充電・交換後の再接続時 ・ ヒューズ交換時	P.183
パワースライドドア★		P.76
クリアランスソナー		P.177
パワーウィンドウ	正常に動かないとき	P.107

★ : グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

## フリー／オープンソフトウェア情報

### 計器類

本製品はフリー／オープンソースソフトウェアを含んでいます。

このようなフリー／オープンソースソフトウェアのライセンス情報やソースコードの両方またはどちらか片方は以下の URL で入手することができます。

<https://www.yazaki-group.com/rd-tech/oss/899>



# さくいん

こんなときは（症状別さくいん）	326
車から音が鳴ったときは（音さくいん）	328
アルファベット順さくいん	330
五十音順さくいん	331

## こんなときは（症状別さくいん）

お困りの際は、トヨタ販売店にご連絡いただく前にまず次のことを確認してください。

### 施錠／解錠／ドアの開閉ができない



キーをなくした

- メカニカルキーをなくした場合、トヨタ販売店でトヨタ純正の新しいメカニカルキーを作ることができます。（→P.296）
- 電子キーをなくすと盗難の危険性が極めて高くなるため、ただちにトヨタ販売店にご相談ください。（→P.296）



施錠・解錠できない

- キーの電池が消耗、または電池が切れていませんか？（→P.247）
- エンジンスイッチが ON になつていませんか？  
施錠するときは、エンジンスイッチを OFF にしてください。（→P.122）
- 電子キーを車内に置き忘れていませんか？  
施錠するときは、電子キーを携帯していることを確認してください。
- 電波状況により、機能が正常に

働いていない可能性があります。  
(→P.86)

### 故障かな？と思ったら



エンジンがかからない

- ブレーキペダルをしっかりと踏みながらエンジンスイッチを押していますか？（→P.120）
- シフトレバーは P になっていますか？（→P.124）
- キーが車内の検知される場所にありますか？（→P.85）
- キーの電池が消耗、または電池が切れていませんか？  
このときは、一時的な方法でエンジンをかけることができます。（→P.301）
- バッテリーがあがっていませんか？（→P.298）



ブレーキペダルを踏んでいてもシフトレバーが P から動かない

- エンジンスイッチは ON になつていませんか？  
エンジンスイッチが ON でブレーキを踏んでも解除できないとき（→P.125）



パワーウィンドウスイッチを操作してもドアガラスが開閉しない

- ウィンドウロックスイッチが押されていませんか？

ウインドウロックスイッチが押されていると、助手席のパワー ウインドウは操作できなくなります。（→P.108）



エンジンスイッチが自動的に OFF になった



立ち往生した

- ぬかるみ・砂地・雪道などで動けなくなったときの脱出方法を試してください。（→P.304）

- 一定時間 ACC または ON（エンジンがかかっていない状態）にしておくと、自動電源 OFF 機能が作動します。（→P.123）



警告音・アラーム・ホーンが鳴りだした

- 警告音が鳴りだしたときは、「車から音が鳴ったときは（音さくいん）」（→P.328）をご確認ください。



警告灯や警告メッセージが表示されたとき

- 警告灯や警告メッセージが表示されたときは、P.273、278をご確認ください。

## トラブルが発生した



タイヤがパンクした

- 車を安全な場所に停め、パンクしたタイヤをスペアタイヤに交換してください。（→P.284）

## 車から音が鳴ったときは（音さくいん）

次の状況のとき、車の状態や誤操作などをお知らせするために警告音が鳴ります。

### 車に乗るとき／降りるとき

状況	原因	詳細
解錠したとき	盗難防止装置（オートアラーム）が作動した※	P.48
ドアを開閉したとき	シフトポジションがP以外になっている	P.278
	盗難防止装置（オートアラーム）が作動した※	P.48
エンジンを停止したとき	電子キーの電池残量が少なくなっている	P.66
施錠しようとしたとき (施錠できないとき)	いずれかのドアが確実に閉まっていない	P.85
	電子キーを車内に置き忘れている	P.85

\* ドアを解錠する、またはエンジンスイッチをACCまたはONにするか、エンジンを始動すると、警報を解除することができます。

### 走行しているとき

状況	原因	詳細
走り出したとき	いずれかのドアが確実に閉まっていない	P.70
	パーキングブレーキが解除されていない	P.128
	運転席または助手席のシートベルトを着用していない※	P.277
シフトダウンしたとき	シフトダウン制限をこえて操作した	P.127
ブレーキペダルを踏んだとき（きしみやひっかき音）	ブレーキパッドが摩耗しているおそれがある	P.115
先行車に接近したとき	レーダークルーズコントロールを使用している	P.171
前方の障害物と衝突しそうになつたとき	PCS（プリクラッシュセーフティ）が作動した	P.151
車線から逸脱しそうになつたとき	LDA（レーンディパーテチャーアラート）を使用している	P.158

状況	原因	詳細
制限速度より一定の速度を超過したとき		
はみ出し通行禁止の道路で追い越しをかけたとき	RSA（ロードサイナリスト）が作動した	P.163
障害物との距離が近づいたとき	クリアランスソナーが作動した	P.177

\* 助手席に荷物を置いている場合にもブザーが鳴ることがあります。

# アルファベット順さくいん

<b>A/C</b>	
(エアコン) .....	208
<b>ABS</b>	
(アンチロックブレーキシステム) .....	194
<b>AdBlue®</b>	
(アドブルー) .....	238, 277
<b>AHB</b>	
(オートマチックハイビーム) ..	132
<b>AI-SHIFT</b>	
(アーティフィカルインテリジェンスシフト) .....	125
<b>EDR</b>	
(イベントデータレコーダー) .....	8
<b>ILSAC CERTIFICATION</b>	
(イルサックサーティフィケーション) .....	307
<b>LDA</b>	
LDA (レーンディパーチャーラート) .....	158
<b>PCS</b>	
(プリクラッシュセーフティ) ..	151
<b>PKSB</b>	
(パーキングサポートブレーキ) .....	183
<b>RSA</b>	
(ロードサインアシスト) .....	163
<b>SCB</b>	
(セカンダリーコリジョンブレーキ) .....	194
<b>SRS</b>	
(サブリメンタルレストレイントシステム) .....	32
<b>Toyota Safety Sense</b>	
AHB (オートマチックハイビーム) .....	132
PCS (プリクラッシュセーフティ) .....	151
RSA (ロードサインアシスト) .....	163
<b>LDA (レーンディパーチャーラート)</b>	158
<b>クルーズコントロール</b>	174
ソフトウェアアップデートを確認する .....	142
レーダークルーズコントロール .....	166
発進遅れ告知機能 .....	162
<b>TRC</b>	
(トラクションコントロール) ..	194
<b>VSC</b>	
(ビーカルスタビリティコントロール) .....	194

# 五十音順さくいん

## あ

アースポイント（バッテリーあがりの処置）	298
アウターミラー（ドアミラー）	105
格納のしかた	106
操作	105
ミラーヒーター	209
アクセサリーソケット	223
AdBlue®	238
AdBlue® 残量警告灯	277
補充	238
アラーム	
オートアラーム	48
音さくいん	328
警告ブザー	273, 278
アンチロックブレーキシステム（ABS）	194
アンテナ	
スマートエントリー＆スタートシステム	
	84
ラジオ	106

## い

イージークローザー	
スライドドア	75
イグニッションスイッチ（エンジンスイッチ）	
車両を緊急停止する	265
位置交換（タイヤローテーション）	243
イベントデータレコーダー（EDR）	8
イモビライザーシステム	47
イルミネーテッドエントリーシステム	
	216
インジケーター（表示灯）	53
インナーミラー	95, 96
リヤカメラウォッシャー	137

## う

ウインカー（方向指示灯）	127
電球（バルブ）の交換	255
方向指示レバー	127
ウインドウ	
ウォッシャー	135, 137
パワーウィンドウ	107
リヤウインドウデフォッガー	209
ウインドウロックスイッチ	108
ウンドシールドディアイサー	210
ウォーニングランプ（警告灯）	273
ウォッシャー	135, 137
液の補充	241
スイッチ	135, 137
冬の前の準備・点検	203
動けなくなったときは（スタック）	304
運転	
雨の日の運転	112
運転を補助する装置	194
寒冷時の運転	203
正しい運転姿勢	27
手順	112
運転支援機能情報表示	60
運転席シートベルト非着用警告灯	277

## え

エアコン	
オートエアコン	208
曇り取り（フロントガラス）	209
フィルターの清掃	245
エアコン・デフォッガー	209
エアバッグ	
SRS エアバッグ警告灯	274
改造・廃棄	35
作動条件	33
正しい姿勢	27
配置	32

エコドライブインジケーター .....	59
エンジン	
エンジンイモビライザーシステム .....	47
エンジンが始動できない .....	294
エンジン警告灯 .....	274
エンジン点検口 .....	234
エンジンを停止する前に .....	113
オーバーヒート .....	302
タコメーター .....	55
フューエルポンプシャットオフシステム .....	272
エンジンイモビライザーシステム .....	47
エンジンオイル .....	306
冬の前の準備・点検 .....	203
メンテナンスデータ .....	306
油圧警告灯 .....	273
容量 .....	306
エンジン回転計（タコメーター） .....	55
エンジンスイッチ（イグニッションスイッチ）	

車両を緊急停止する .....	265
エンジン点検口 .....	234
エンジンルーム	
エンジンルームから蒸気が出ている ...	302

**お**

オイル（エンジンオイル） .....	306
応急用タイヤ	
空気圧 .....	311
交換方法 .....	284
オートアラーム .....	48
オートエアコン .....	208
オートドアロック・アンロック機能 ..	70
オートマチックトランスマッision ..	124
オートマチックトランスマッision ...	124
シフトレバーがシフトできない .....	125
オートマチックハイビーム（AHB） ..	132

オーバーヒート .....	302
オープナー	
給油扉 .....	140
バックドア .....	82
ボンネット .....	234
オープントレイ .....	222
お子さまを乗せるとき .....	37
ウインドウロックスイッチ .....	108
お子さまの安全のために .....	37
シートベルトの着用 .....	30
スライド式リヤサイドガラスに関する警告 .....	109
スライドドアに関する警告 .....	72
発炎筒の取り扱いに関する警告 .....	264
バックドアに関する警告 .....	80
パワーウィンドウに関する警告 .....	108
オドメーター .....	57
表示項目 .....	57

**か**

カードホルダー .....	222, 223
カーペット .....	230
洗浄 .....	230
フロアマットの取り付け方 .....	26
外気温度表示 .....	55
カスタマイズ機能 .....	313
ガソリンスタンドでの情報 .....	344
カップホルダー .....	220
カメラ	
前方カメラ .....	146
デジタルインナーミラー .....	101
ガラスの曇り取り（リヤウインドウデフォッガー） .....	209
ガラスの曇り取り	
前方カメラ取り付け部 .....	148
ガレージジャッキ .....	236
冠水路走行 .....	117

寒冷時の運転 ..... 203

## き

### キー

エンジンが始動できない ..... 294

キーの構成 ..... 68

キーレスエントリー ..... 68, 84

正常に働かない ..... 296

施錠・解錠ができない ..... 296

電池が切れた ..... 296

メカニカルキー ..... 68

ワイヤレスリモコン ..... 68

### キーレスエントリー

スマートエントリー＆スタートシステム ..... 84

ワイヤレスドアロック ..... 68

きしみやひっかき音が聞こえる（ブレーキパッドウェアインジケーター）... 115

急発進の抑制制御（ドライブスタートコントロール） ..... 118

### 給油

給油のしかた ..... 139

緊急時シートベルト固定機構 ..... 31

緊急始動機能 ..... 295

### 緊急時の対処

エンジンが始動できない ..... 294

オーバーヒートした ..... 302

キーの電池が切れた ..... 296

警告灯がついた ..... 273

警告メッセージが表示された ..... 278

けん引 ..... 268

故障したときは ..... 262

車中泊が必要なときは ..... 267

車両を緊急停止する ..... 265

消火器 ..... 264

水没・冠水したときは ..... 266

スタックした ..... 304

電子キーが正常に働かない ..... 296

発炎筒 ..... 263

バッテリーがあがった ..... 298

パンクした ..... 284

緊急ブレーキシグナル ..... 194

## く

### 曇り取り

前方カメラ取り付け部 ..... 148

フロントガラス ..... 209

ミラーヒーター ..... 209

リヤウインドウデフォッガー ..... 209

クラクション（ホーン） ..... 94

クリアランスソナー ..... 177

クリアランスランプ（車幅灯）

スイッチ ..... 129

電球（バルブ）の交換 ..... 254, 257

ワット数 ..... 311

### クリップ

フロアマット ..... 26

### クルーズコントロール

クルーズコントロール ..... 174

レーダークルーズコントロール ..... 166

グローブボックス ..... 219

## け

警音器（ホーン） ..... 94

計器類（メーター） ..... 55

### 警告灯

AdBlue® 残量警告灯 ..... 277

運転支援情報表示灯 ..... 276

ABS（アンチロックブレーキシステム）& ブレーキアシスト ..... 274

SRS エアバッグ ..... 274

LDA（レーンディビーチャーアラート）表示灯 ..... 275

エンジン ..... 274

クリアランスソナー OFF 表示灯 ..... 274

クルーズコントロール表示灯	275
高水温	273
シートベルト非着用	277
充電	273
スリップ表示灯	275
ドライブスタートコントロール	276
燃料残量	277
パーキングブレーキ表示灯	276
PCS (プリクラッシュセーフティ)	274
プリテンショナー	274
ブレーキ	273
ブレーキオーバーライドシステム	276
油圧	273
レーダークルーズコントロール表示灯	275
<b>警告ブザー</b>	
クリアランスソナー	177
高水温	273
シートベルト非着用	277
シフトダウン制限	127
車線逸脱警報 (LDA)	158
衝突警報 (PCS)	151
接近警報 (レーダークルーズコントロール)	171
パーキングブレーキ未解除走行時	276
半ドア	69
半ドア走行	70
ブレーキ	273
油圧	273
リバース	124
<b>警告メッセージ</b>	
化粧ミラー (バニティミラー)	223
<b>けん引</b>	
けん引のしかた	268
フック	270

**こ**

<b>交換</b>	
タイヤ	284

ヒューズ	249
工具 (ツール)	285
航続可能距離	55, 63
後退速度の抑制制御 (ドライブスタートコントロール)	118
コンライト (自動点灯・消灯装置)	129

**さ**

サイド方向指示灯	127
方向指示レバー	127
サイドミラー (ドアミラー)	105
格納のしかた	106
操作	105
ミラーヒーター	209
サンバイザー	223

**し**

シート	89, 90
正しい運転姿勢	27
調整	89
手入れ	230
フロントシート	89
ヘッドレスト	92
リヤシート	90
シートベルト	29
お子さまの着用	29, 30
緊急時シートベルト固定機構	31
シートベルト非着用警告灯	277
正しく着用するには	30
着け方、はずし方	31
手入れ	230
妊娠中のの方の着用	29
シートベルト非着用警告灯	277
シートベルトプリテンショナー	31
機能	31
プリテンショナー警告灯	274
室内灯	216

シフトポジション .....	124
シフトレバー .....	124
シフトポジションの切りかえ .....	124
シフトロックシステム (解除ボタン) .....	125
操作 .....	124
リバース警告ブザー .....	124
シフトレバーがシフトできないときは .....	125
シフトロックシステム .....	125
締め付けトルク (ホイール) .....	290, 311
ジャッキ	
ガレージジャッキ .....	236
車載ジャッキ .....	285
ジャッキハンドル .....	285
車幅灯 .....	129
電球 (バルブ) の交換 .....	254, 257
ランプスイッチ .....	129
ワット数 .....	311
車両仕様 (スペック) .....	306
車両情報表示 .....	60
車両データの記録 .....	7
車両を緊急停止するには .....	265
充電用 USB Type-C 端子 .....	224
収納装備 .....	218
瞬間燃費 .....	59, 63
消火器 .....	264
衝撃感知ドアロック解除システム .....	69
初期化 .....	322
パワーウィンドウ .....	107
パワースライドドア .....	76
助手席シートベルト非着用警告灯 .....	277
信号切替り告知機能 .....	162
す	
水温計 .....	55
スイッチ	
ウインドウロック .....	108
ウインドシールドデアイサー .....	210
ウォッシャー .....	135, 137
オートマチックハイビームスイッチ .....	132
クルーズコントロール .....	174
車間距離切りかえ (レーダークルーズコントロール) .....	166, 168
ドアミラー .....	105
ドアロック .....	70
排出ガス浄化装置 .....	200
ハザードランプ .....	263
パワーウィンドウ .....	107
パワースライドドア .....	74
パワースライドドアメインスイッチ .....	75
パワーヒーター .....	209
非常点滅灯 (ハザードランプ) .....	263
VSC (ビークルスタビリティコントロール) OFF .....	195
フォグランプ .....	134
方向指示レバー .....	127
ホーン (警音器) .....	94
メーター操作 .....	58
ランプ .....	129
リヤウインドウデフォッガー .....	209
レーダークルーズコントロール .....	166, 168
ワイパー .....	135, 137
スター	
スターが回らない .....	294
スタック .....	304
ステアリングホイール (ハンドル) .....	94
位置調整 .....	94
メーター操作スイッチ .....	58
ストップランプ (制動灯) .....	54
緊急ブレーキシグナル .....	194
制動灯表示灯 .....	54
電球 (バルブ) の交換 .....	255
ワット数 .....	311
スノータイヤ (冬用タイヤ) .....	203
スピードメーター .....	55
スペアタイヤ (応急用タイヤ) .....	284

空気圧	242, 311
交換方法	287
スペック (車両仕様)	306
スマートエントリー＆スタートシステム	84
アンテナの位置	84
カスタマイズ設定	313
緊急始動機能	295
作動範囲	85
節電機能	85
電波がおよぼす影響について	88
ドアの解錠・施錠	69
バックドアの施錠・解錠	82
スモールランプ (車幅灯)	129
電球 (バルブ) の交換	254, 257
ランプスイッチ	129
ワット数	311
スライド式リヤサイドガラス	109
スライドドア	72
イージークローザー	75
操作	73
パワースライドドア	73
スライドドアステップランプ	
スイッチ	77
ワット数	311

**せ**

清掃	228, 230
アルミホイール	228
外装	228
シートベルト	230
内装	230
レーダーセンサー	146
制動灯	
緊急ブレーキシグナル	194
電球 (バルブ) の交換	255
表示灯	54
ワット数	311

セカンダリーコリジョンブレーキ (SCB)	194
積算距離計 (オドメーター)	57
セキュリティインジケーター	47, 48
接近警報 (レーダークルーズコントロール)	171
先行車発進告知機能	162
センサー	
LDA	158
インナーミラー	95
クリアランスソナー	177
前方カメラ	146
前方レーダー	146
デジタルインナーミラー	99
ライトセンサー	130
洗車	228
前照灯 (ヘッドライト)	129
手動光軸調整ダイヤル	131
電球 (バルブ) の交換	253, 257
ライトセンサー	130
ランプ消し忘れ防止機能	130
ランプスイッチ	129
センターコンソールボックス	219

**そ**

走行距離	60
走行時間	60
走行情報表示	59
速度計 (スピードメーター)	55

**た**

ターンシグナルランプ (方向指示灯)	127
電球 (バルブ) の交換	255
方向指示レバー	127
ワット数	311
タイヤ	242

空気圧 .....	244
交換 .....	242, 284
締め付けトルク .....	290, 311
スペアタイヤ（応急用タイヤ）.....	284
チェーン .....	203
点検 .....	242
パンクしたときは.....	284
冬用タイヤ .....	203
ローテーション（位置交換）.....	243
タイヤが空まわりする（スタックした）.....	304
タイヤチェーン .....	203
タコメーター .....	55
 ち	
チェーン（タイヤチェーン）.....	203
駐車ブレーキ（パーキングブレーキ）.....	128
操作 .....	128
冬季の注意 .....	204
パーキングブレーキ表示灯 .....	276
ブレーキ警告灯.....	273
未解除走行時警告ブザー .....	276
 つ	
ツール（工具） .....	285
 て	
ディスプレイ	
マルチインフォメーションディスプレイ .....	58
手入れ.....	228, 230
アルミホイール .....	228
外装 .....	228
シートベルト .....	230
デジタルインナーミラー .....	100
内装 .....	230
レーダーセンサー .....	146
テールランプ（尾灯） .....	129
電球（バルブ）の交換 .....	255
ランプスイッチ .....	129
ワット数 .....	311
デジタルインナーミラー .....	96
リヤカメラウォッシャー .....	137
デフォッガー（リヤウインドウデフォッガ）.....	209
点検基準値（メンテナンスデータ）.	306
電子キー	
作動範囲 .....	85
正常に働かないとき .....	296
節電機能 .....	86
電池が切れた.....	296

## と

## ドア

オートドアロック・アンロック機能 .....	70
衝撃感知ドアロック解除システム .....	69
スマートエントリー＆スタートシステム .....	84
スライドドア .....	72
ドアガラス .....	107
ドアロックスイッチ .....	70
バックドア .....	80
フロントドア .....	69
ロックレバー .....	70
ワイヤレスリモコン .....	69
ドアミラー .....	105
格納のしかた .....	106
操作 .....	105
ミラーヒーター .....	209
盗難防止装置	
イモビライザーシステム .....	47
オートアラーム .....	48

時計 .....	55
ドライブインフォメーション .....	60
ドライブスタートコントロール ....	118,
125	
急発進の抑制制御.....	118
後退速度の抑制制御 .....	118
トラクションコントロール (TRC) .....	194
トランスマッision .....	124
シフトダウン制限警告ブザー .....	127
操作 .....	124
メンテナンスデータ .....	309

## な

## 内装

収納装備 .....	218
手入れ .....	230

## に

## 荷物

積むときの注意 .....	119
---------------	-----

## ぬ

ぬかるみにはまった (スタック) ....	304
-----------------------	-----

## ね

## 燃費

給油後平均燃費 .....	59
瞬間燃費 .....	59, 63
燃費情報 .....	63
平均燃費 .....	59, 63

## 燃料

ガソリンスタンドでの情報 .....	344
給油 .....	139
冬季の注意 .....	203
燃料計 .....	55
燃料残量警告灯 .....	277

フューエルポンプシャットオフシステム .....	272
--------------------------	-----

## は

パーキングサポートブレーキ (PKSB) .....	183
----------------------------	-----

パーキングサポートブレーキ (前後方静止物) .....	187
------------------------------	-----

## パーキングブレーキ

操作 .....	128
冬季の注意 .....	204
パーキングブレーキ表示灯 .....	276
ブレーキ警告灯 .....	273
未解除走行時警告ブザー .....	128

パーソナルランプ .....	217
----------------	-----

排気ガス .....	36
------------	----

排出ガス浄化装置 .....	199
----------------	-----

排出ガス浄化装置堆積モニター .....	200
----------------------	-----

ハイビーム (ヘッドライト) .....	129
----------------------	-----

AHB (オートマチックハイビーム) ....	132
電球 (バルブ) の交換 .....	253, 257
ランプスイッチ .....	129
ワット数 .....	311

## ハイマウントストップランプ

電球 (バルブ) の交換 .....	257
--------------------	-----

ハザードランプ (非常点滅灯) .....	263
-----------------------	-----

スイッチ .....	263
------------	-----

## 挟み込み防止機能

パワーウィンドウ .....	107
----------------	-----

パワースライドドア .....	76
-----------------	----

発炎筒 .....	263
-----------	-----

バックドア .....	80
-------------	----

バックドアストラップ .....	83
------------------	----

バックドアハンドル .....	82
-----------------	----

発進遅れ告知機能 .....	162
----------------	-----

## バッテリー

警告灯 .....	273
-----------	-----

バッテリーがあがったときは .....	298
---------------------	-----

バニティ（化粧用）ミラー	223
パワーウィンドウ	107
ウインドウロックスイッチ	108
閉めることができないときは	107
初期化	107
操作	107
挟み込み防止機能	107
パワースライドドア	
開け方	73
初期化	76
挟み込み防止機能	76
パワースライドドアインスイッチ	75
パワーヒーター	209
パンクした	284
番号灯（ライセンスプレートランプ）	
電球（バルブ）の交換	257
ランプスイッチ	129
ワット数	311
ハンドル（ステアリングホイール）	94
位置調整	94
メーター操作スイッチ	58

**ひ**

ビーカルスタビリティコントロール (VSC)	194
ヒーター	
前方カメラ	148
パワーヒーター	209
フロントオートエアコン	208
ミラーヒーター	209
リヤヒーター	215
非常点滅灯（ハザードランプ）	
スイッチ	263
尾灯（テールランプ）	129
電球（バルブ）の交換	255
ランプスイッチ	129
ワット数	311

ヒューズ	249
表示灯	53
日よけ（サンバイザー）	223
ヒルスタートアシストコントロール	194

**ふ**

ブースターケーブルのつなぎ方	298
フォグランプ	
スイッチ	129
電球（バルブ）の交換	255
ブザー	
PKSB（パーキングサポートブレーキ）	
休憩提案機能（LDA）	159
クリアランスソナー	181
高水温	273
シートベルト非着用警告	277
シフトダウン制限警告	127
車線逸脱警報機能（LDA）	158
衝突警報（PCS）	151
スマートエントリー＆スタートシステム	
接近警報（レーダークルーズコントロール）	171
パーキングブレーキ未解除走行時警告	276
発進遅れ告知機能	162
半ドア警告	69
半ドア走行時警告	70
ブレーキ警告	273
油圧	273
リバース警告	124
フック	
けん引フック	270
フロアマット固定フック	26
フューエルポンプシャットオフシステム	
	272
フューエルメーター（燃料計）	55

フューエルリッド（給油口）	
給油のしかた	139
冬の前の準備（寒冷時の運転）	203
冬用タイヤ	203
プラスサポート	189
プリクラッシュセーフティ（PCS）	
機能	151
PCS（プリクラッシュセーフティ）警告灯	
.....	274
ブレーキ	
緊急ブレーキシグナル	194
パーキングブレーキ	128
ブレーキ警告灯	273
ブレーキアシスト	194
ABS（アンチロックブレーキシステム）&	
ブレーキアシスト警告灯	274
機能	194
ブレーキオーバーライドシステム	112
ブレーキ付近からキーキー音が聞こえる	
.....	115
フロアマット	26
フロントエアコン	208
フロントシート	89
正しい運転姿勢	27
調整	89
手入れ	230
ヘッドラスト	92
フロントドア	69
フロント方向指示灯	127
電球（バルブ）の交換	255
方向指示レバー	127

**へ**

平均車速	60, 63
平均燃費	59, 63
ヘッドランプ	129
手動光軸調整ダイヤル	131
電球（バルブ）の交換	253, 257

ライトセンサー	130
ランプ消し忘れ防止機能	130
ランプスイッチ	129
ヘッドラスト	92

**ほ**

ホイール	
交換（タイヤ）	284
ホイールナットレンチ	285
方向指示灯	
電球（バルブ）の交換	255
方向指示レバー	127
ホーン（警音器）	94
保証	9
ボトルホールダー	221
ボンネット	234
警告ブザー	70

**ま**

マイセッティング	110
マルチインフォメーションディスプレイ	
.....	58
運転支援機能情報表示	60
エコドライブインジケーター	59
オーディオシステム連携	60
警告メッセージ	278
車両情報表示	60
設定	61
走行情報表示	59
ドライブインフォメーション	60
燃費グラフ	59
メーター操作スイッチ	58
メニューアイコン	58

**み**

ミラー	
-----	--

アウターミラー（ドアミラー）	105
インナーミラー	95
デジタルインナーミラー	96
バニティミラー	223
ミラーヒーター	209
リヤカメラウォッシャー	137

**め****メーター（計器類）**

警告灯	273
警告メッセージ	278

**メーター**

計器類	55
設定	61
時計	55
表示灯	53
マルチインフォメーションディスプレイ	58
メーター操作スイッチ	58
メカニカルキー	68
メニューアイコン	58
メンテナンスデータ	306

**ゆ**

ユーザーカスタマイズ機能	313
雪道ですべって動けない（スタックした）	304
油脂類	306

**ら**

ライセンスプレートランプ（番号灯）	129
電球（バルブ）の交換	257
ランプスイッチ	129
ワット数	311
ラジエーター	

オーバーヒート	302
---------	-----

**ランプ**

AHB（オートマチックハイビーム）	132
室内灯	216
スライドドアステップランプ	77
電球（バルブ）の交換	253
パーソナルランプ	217
非常点滅灯（ハザードランプ）	263
ヘッドライト（前照灯）	129
方向指示灯（ターンシグナルランプ／ワイパー）	127
ライトセンサー	130
ランプ消し忘れ防止機能	130
リアルームランプ	217
リヤフォグラランプ	134
ワット数	311
ランプ消し忘れ防止機能	130

**り**

リアルームランプ	217
リヤウインドウデフォッガー	209
リヤウインドウデフォッガースイッチ	209
リヤクーラー	213
リヤシート	90
ヘッドレスト	92
リヤヒーター	215
リヤフォグラランプ	134
スイッチ	134
電球（バルブ）の交換	255
ワット数	311
リヤ方向指示灯	
電球（バルブ）の交換	255
方向指示レバー	127

**る**

ルームミラー（インナーミラー）	95, 96
-----------------	--------

## れ

## 冷却水

冬の前の準備 ..... 203

## 冷却装置（ラジエーター）

オーバーヒート ..... 302

## レーダークルーズコントロール ..... 166

接近警報 ..... 171

レーダー ..... 146

## レーンディバーチャーラート（LDA）

..... 158

## レバー

シフト ..... 124

方向指示 ..... 127

ボンネット解除 ..... 234

ロック（ドア） ..... 70

## ろ

## ロードサインアシスト（RSA） ..... 163

## ロック

ウインドウロック ..... 108

シフトロック ..... 125

スマートエントリー＆スタートシステム

..... 84

スライドドア ..... 72

バックドア ..... 80

フロントドア ..... 69

ワイヤレスリモコン ..... 68

## わ

## ワイパー &amp; ウオッシャー

ウォッシャー液の補充 ..... 241

フロント ..... 135

リヤ ..... 137

## ワイパブレード（寒冷地用） ..... 204

## ワイヤレスリモコン ..... 68

作動の合図 ..... 69

操作 ..... 68

半ドア警告ブザー ..... 69

ワックス ..... 228

輪止め ..... 285

---

次の装備は、別冊「マルチメディア取扱説明書」をお読みください。

・オーディオ

・パノラミックビューモニター

・ハンズフリー

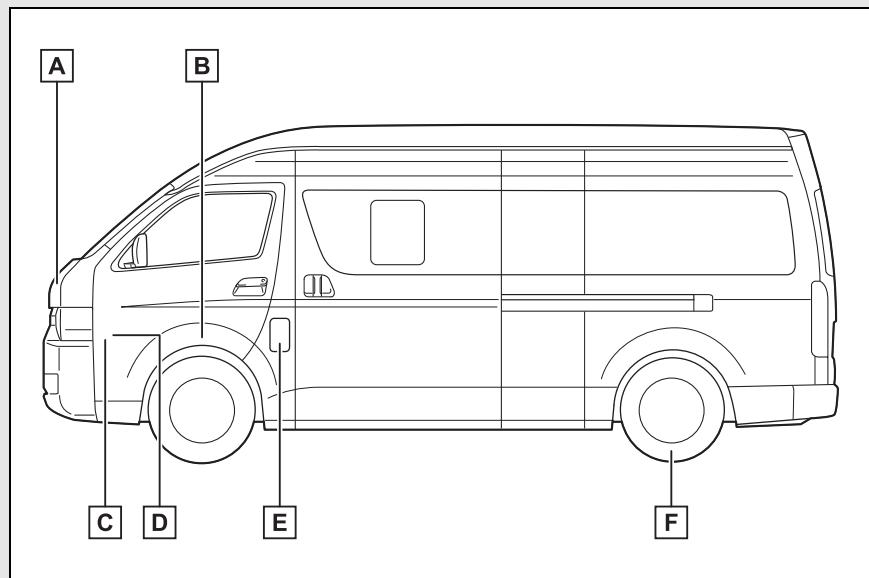
・T-Connect

・ナビゲーションシステム



## ガソリンスタンドでの情報

給油や交換などの際に必要になる項目をまとめてあります。



- A** ボンネットフック (→P.234)
- B** エンジン点検口 (→P.233)
- C** ボンネット解除レバー (→P.234)
- D** 給油口オーブナー (→P.140)
- E** 給油口 (→P.140)
- F** タイヤ空気圧 (→P.311)

燃料の容量（参考値）	70L
燃料の種類	P.306
タイヤが冷えているときの空気圧	P.311
エンジンオイル容量（参考値）	P.306
エンジンオイルの種類	P.306

お車の取り扱い方法、故障、修理に関するご相談については、お買い上げ  
いただきましたトヨタ販売店、または最寄りのトヨタ販売店へお問合せください。  
また、リコール情報については、右記の QR コードからご確認ください。

販売店検索 リコール等情報



#### トヨタ自動車株式会社 お客様相談センター

所在地 〒450-8711 名古屋市中村区名駅4丁目7番1号



お電話によるお問い合わせ



WEBページからのお問い合わせ



全国共通・フリーコール  
**0800-700-7700**



インターネットフォーム  
によるお問い合わせ



チャットによる  
お問い合わせ



手話通訳サービス  
によるお問い合わせ

各お問い合わせサービスのご利用・受付時間など詳細につきましては右記の QR コードからご確認ください。

「個人情報保護方針」については、[https://toyota.jp/privacy\\_statement/](https://toyota.jp/privacy_statement/) にて掲載しております。



●ご愛用車のお問い合わせは、自動車検査証（車検証）をご用意いただくと、スムーズな対応が可能です。

●QR コードは（株）デンソーウェーブの登録商標です。

**トヨタ自動車株式会社**  
<https://toyota.jp>

ハ-35



Publication No. M26C28  
Part No. 01999-26C28  
Printed in Japan 01-2602 N  
ハイエースコミューター